

**豊中市地域福祉計画に係る市民意識調査
【平成29年度(2017年度)実施】**

《報告書》

平成30年(2018年)3月

豊 中 市

目次

調査の概要	1
あなたとご家族について	3
お住まいの地域との関わりについて	12
生活する上での課題や福祉サービスについて	57
地域福祉を進めるための取り組みについて	76
自由回答意見	98
参考資料（アンケート調査に用いた調査票）	120

調査の概要

1 調査について

地域における助けあいや支えあいの仕組みづくり、福祉活動の支援などの取り組みを一層進めるため、地域の現状や福祉に対する市民の意識、取り組み状況等を伺い、次期「地域福祉計画」策定の基礎資料とするために、アンケート調査を実施しました。

2 調査方法

調査対象	豊中市個人情報保護条例に基づき、住民基本台帳から無作為抽出した市内にお住まいの18歳以上の方 3,000人
調査方法	郵送等による配布・回収（礼状兼督促1回）
調査期間	平成29年(2017年)10月～11月
回収状況	回収数 1,522件（回収率：50.7%、前回：平成24年(2012年)46.0%） ※このほか、未記入の白票1件を回収

※アンケート調査結果における各設問の母数n (Number of caseの略)は、設問に対する有効回答者数を意味しません。
※各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。
※グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。
※クロス集計結果のうち、全体の回答者数には各属性無回答の件数を含みます。

3 主な集計結果

《あなたとご家族について》

- ・何かあれば頼りにできる親戚や知人がいると答えた人が88.1%を占めますが、頼りにできる人は誰もいないと答えた人も9.7%見られます。

《お住まいの地域との関わりについて》

- ・“自分のまち”と感じる範囲については、自宅周辺の近隣から豊中市全域まで回答が分散しており、過去の調査結果と比べると徐々に広域化している様子が見受けられます。
- ・隣近所の人間関係については64.4%が良好と認識していますが、住民による交流や身近な助けあいやボランティア活動の状況、手助けや見守りを必要としている人への地域の人々の関心、地域で抱える課題について住民どうしで話しあい考える機会や場については、いずれもあまり評価しない回答が多くを占めています。
- ・地域の活動に参加している人は34.1%で、年齢が高くなるほど参加経験のある人の割

合も高くなります。参加した内容は、お祭り・ふれあい行事、自治会活動、清掃美化・環境保全活動、防災・防犯活動への参加が多く、子どもの育成や高齢者のための福祉活動などに参加した人は10%前後となっています。

- ・自治会への加入率は43.2%で、65歳以上や一戸建てに住む人で高くなっています。
- ・地域に愛着を感じている人は82.3%、これからも住み続けたいと思う人66.7%で、その理由として買い物や交通の便、住みなれている、まちの環境をあげる人が多く、人間関係に関する理由をあげる人は多くありません。
- ・誰もが暮らしやすい地域に向けて、すべての住民が安心して暮らせるまちをつくると答えた人が56.2%、次いで困ったときに助けあえる関係をつくるが44.5%となっています。

《生活する上での課題や福祉サービスについて》

- ・日頃の悩みや不安は、高齢になってからのひとり暮らし、災害、からだの健康や健康診査、福祉や介護サービスの費用負担、親などの介護、高齢者が地域で自立して生活することの順で多く、高齢期の生活に関わる内容が上位を占めています。
- ・悩みや不安などがあるときに知人・友人に相談する人が70.3%を占めていますが、相談する人がいないという人も7.9%見られます。
- ・福祉サービスを安心して利用できるようにするために充実すべきこととして、いろいろな相談や手続きを1か所でまとめて行える窓口が61.1%、福祉サービスを適切に利用できるよう支援する相談窓口が46.4%、悪質な事業者を排除する仕組みが30.9%となっています。
- ・成年後見制度について聞いたことがある人は60.6%。法定後見制度、任意後見制度、日常生活自立支援事業については、30~40%程度にとどまっています。

《地域福祉を進めるための取り組みについて》

- ・市社会福祉協議会、校区福祉委員会が行う取り組みについて何らかの内容を知っている人は48.6%、民生委員・児童委員の役割を知っている人は34.1%となっています。
- ・地域福祉計画の理念について身近に感じるという人は19.5%で、前回調査より低下しています。
- ・福祉を充実させていくうえで、行政も住民もともに課題解決に取り組むべきと答える人が44.7%を占めています。また、必要と思う行政の役割として、活動をPRするための広報活動が44.0%、気軽に集える場の整備が41.7%となっています。
- ・地域福祉に関わる活動や災害発生時の支援のために、個人情報共有・提供してもよいが少し不安や抵抗があると答える人が49.7%、個人情報を提供してほしくないという人が29.5%となっています。
- ・身近な地域での助けあい活動に参加意向を示す人は31.6%となっています。
- ・回答者自身ができそうなこと、やってみたいことについては、福祉への関心を持つが26.6%と最も多く、これに次いで、話し相手や相談相手、見守り活動・安否確認の声かけ、地域で行う行事の準備や参加などの順となっています。

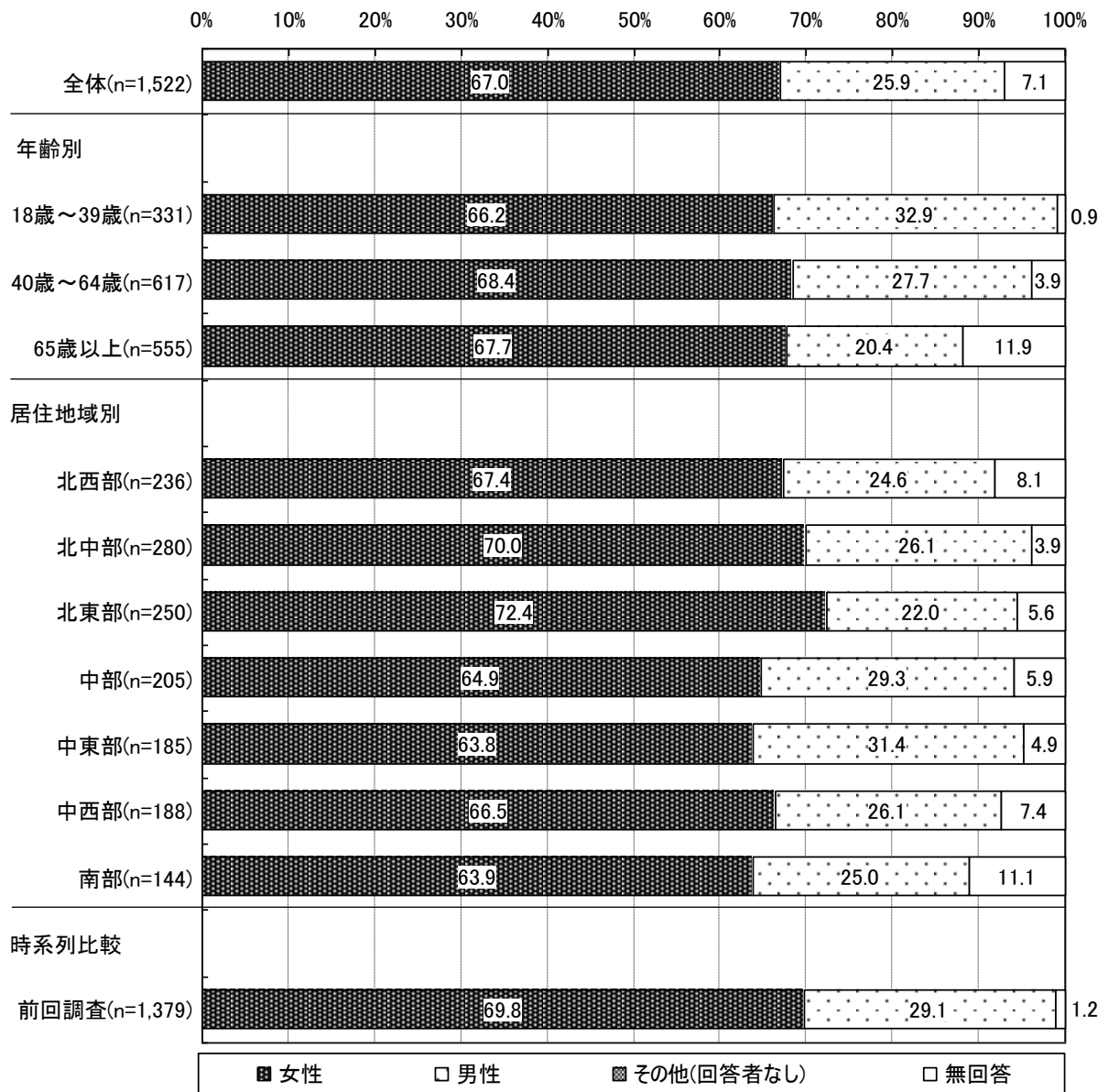
あなたとご家族について

問1 あなたについてお答えください。

(1) 性別

《概要》

・「女性」が67.0%、「男性」が25.9%となっています。



※前回調査は、平成24年(2012年)11月から12月にかけて実施

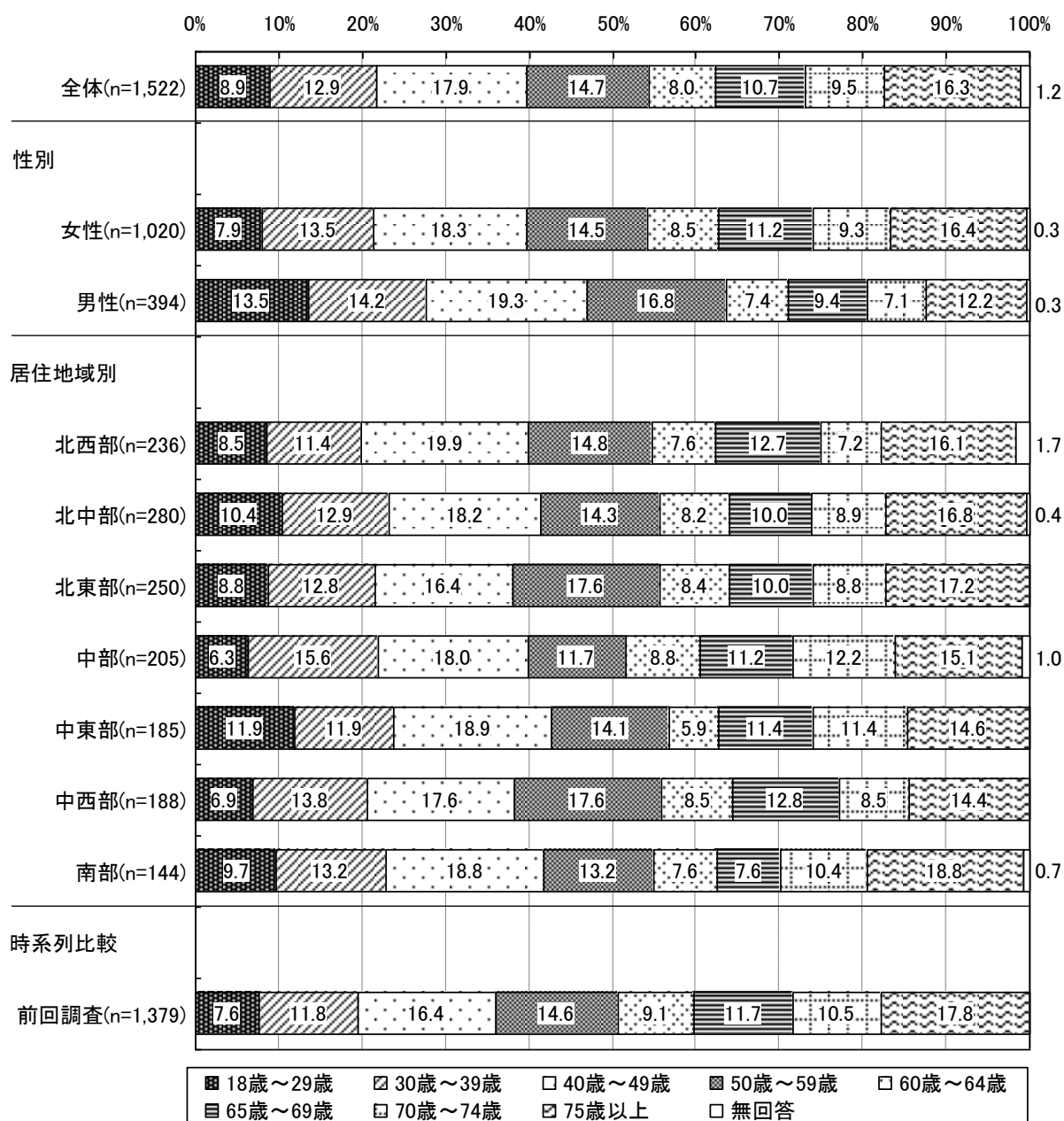
(2) 年齢

《概要》

- ・「40歳～49歳」が17.9%と最も多く、次いで「75歳以上」が16.3%となっています。
- ・65歳以上の人割合は36.5%を占めています。

《属性別》

- ・男性で、「18歳～29歳」の割合が13.5%となるなど、女性と比べて回答者の年齢が低い傾向にあります。



※各設問の年齢別分析は、世代間の意識の違いをより明確に把握できるよう、介護保険制度の第2号被保険者となる40歳、第1号被保険者となる65歳を区切りとして、「18歳～39歳」「40歳～64歳」「65歳以上」の3つの年齢階級に分けて集計・分析を行っています。

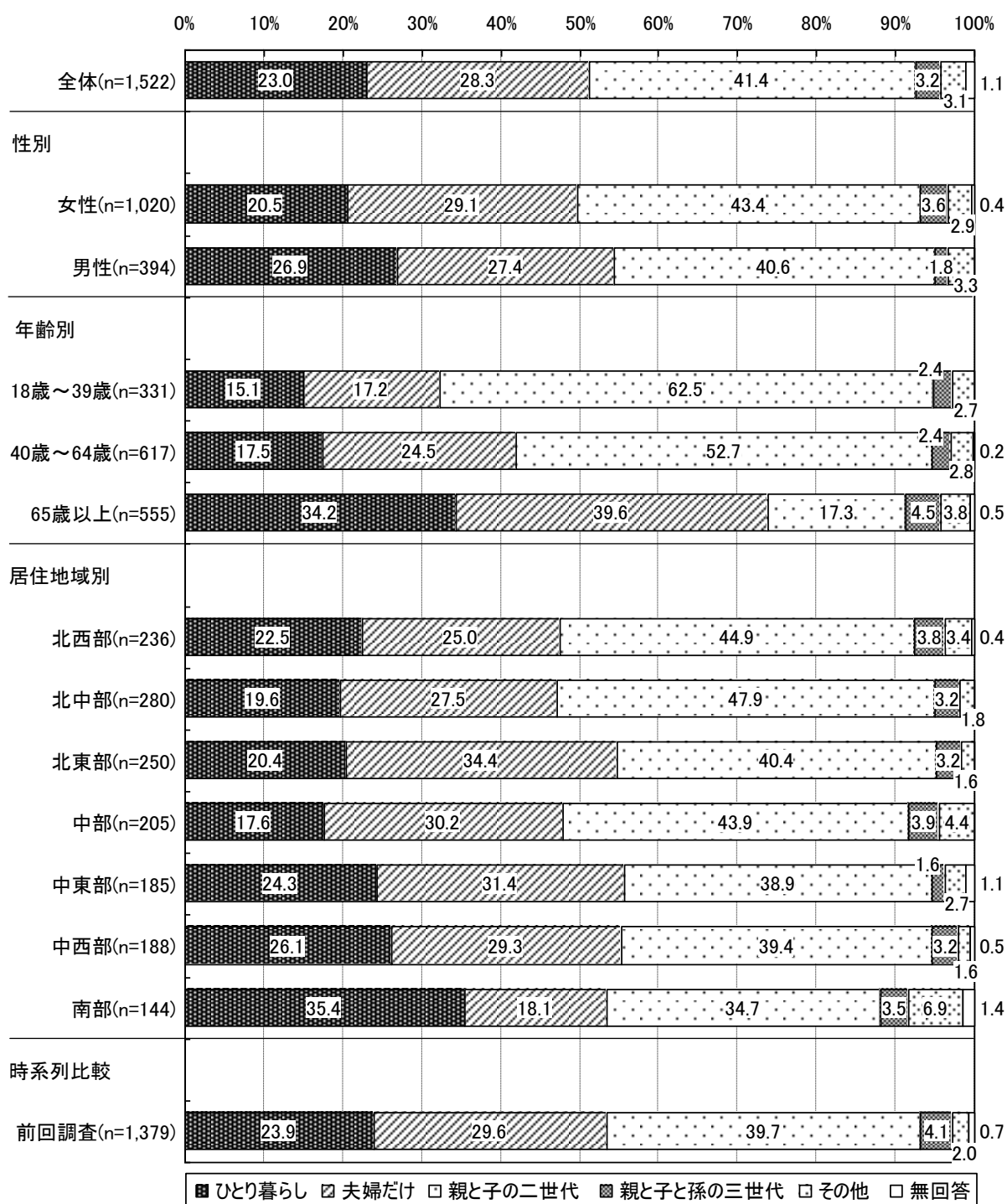
(3) 一緒に住んでいる家族の構成

《概要》

・「親と子の二世帯」が41.4%、「夫婦だけ」が28.3%、「ひとり暮らし」が23.0%、「親と子と孫の三世帯」が3.2%となっています。

《属性別》

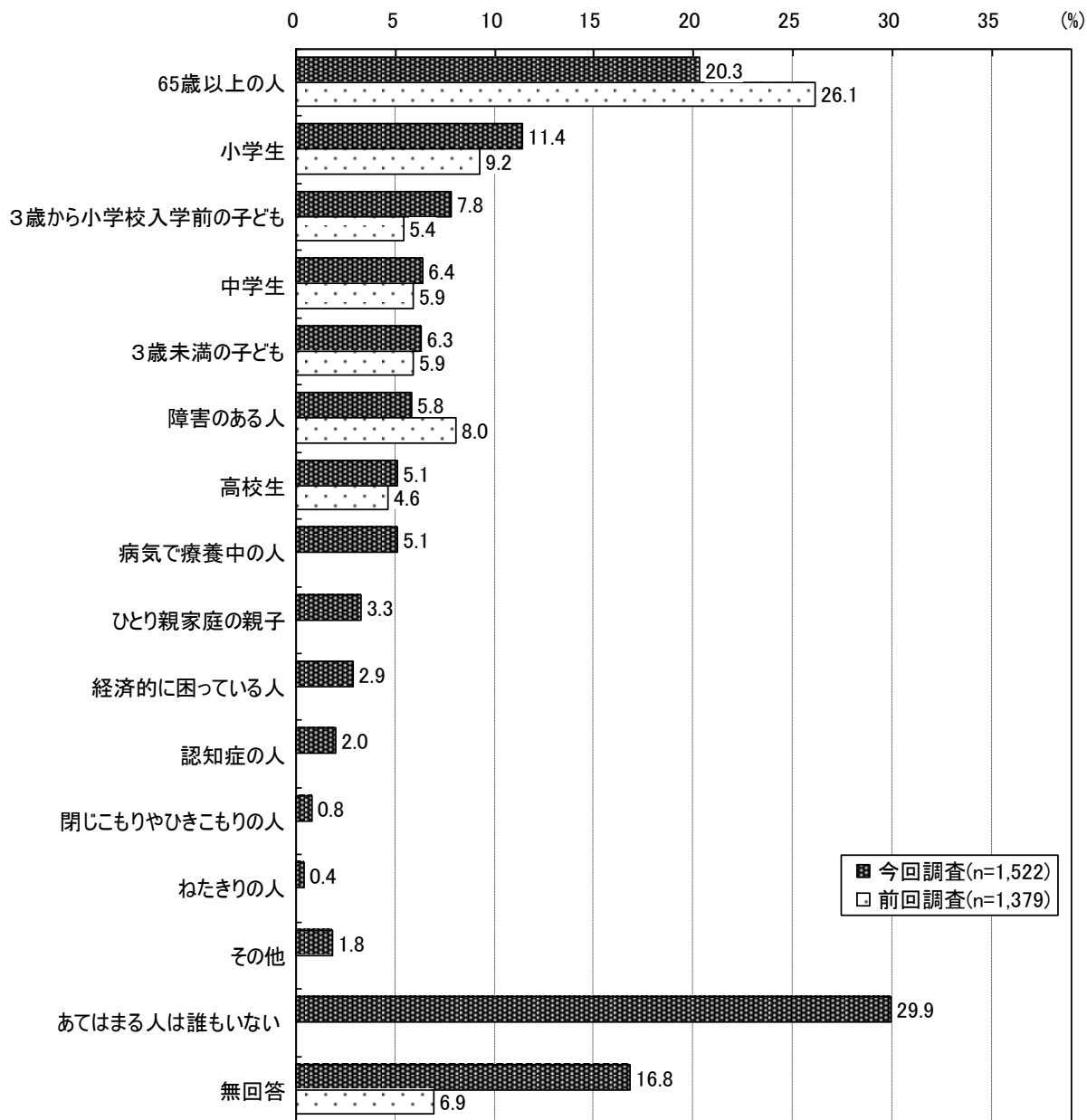
・「ひとり暮らし」と答えた人は、65歳以上で34.2%、南部で35.4%と多く見られます。



(4) 一緒に住んでいるご家族に次のような方がいますか（あなたご自身も含みます）

《概要》

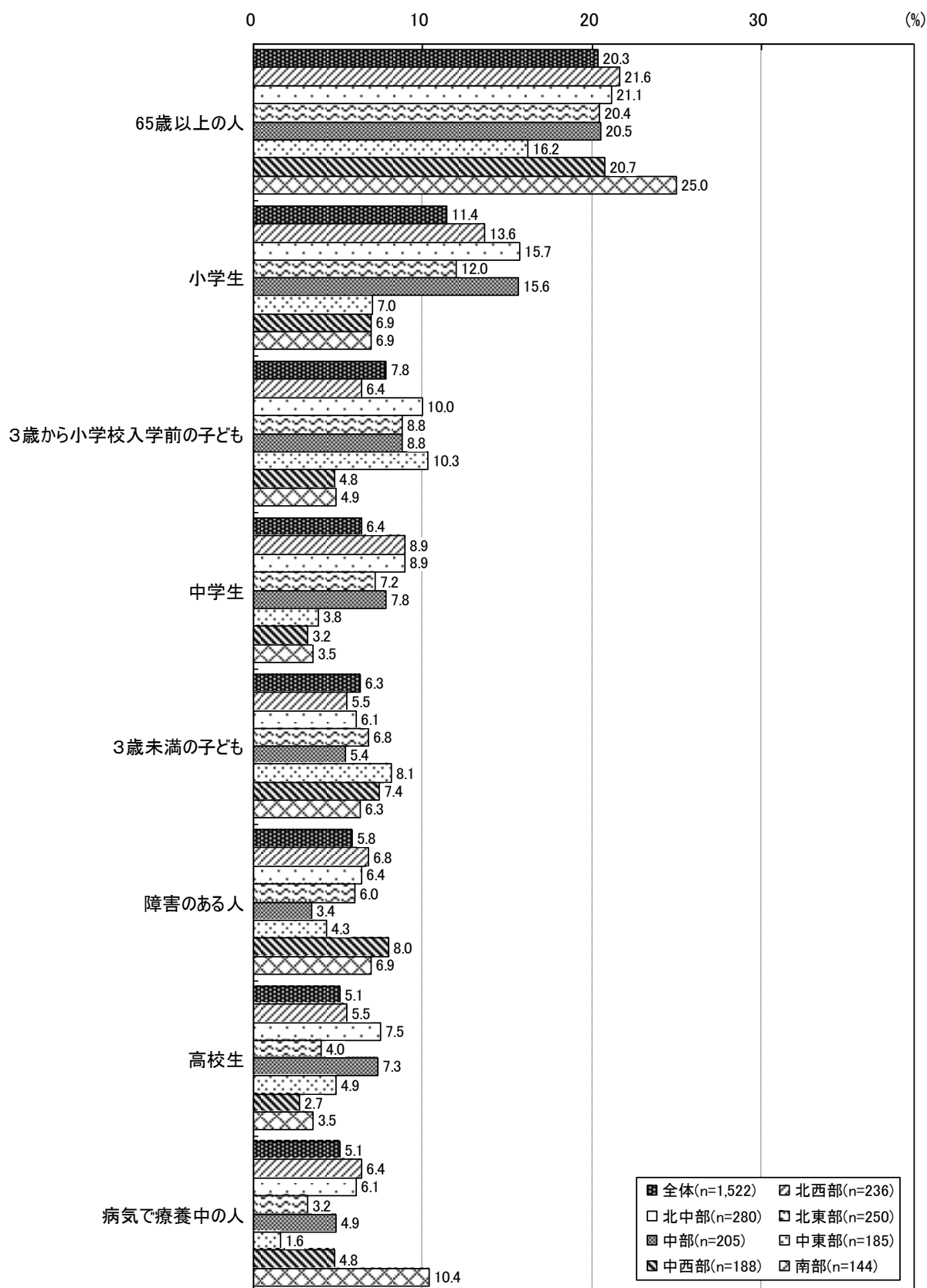
・「65歳以上の人」が20.3%と最も多く、次いで「小学生」が11.4%、「3歳から小学校入学前の子ども」が7.8%などとなっています。

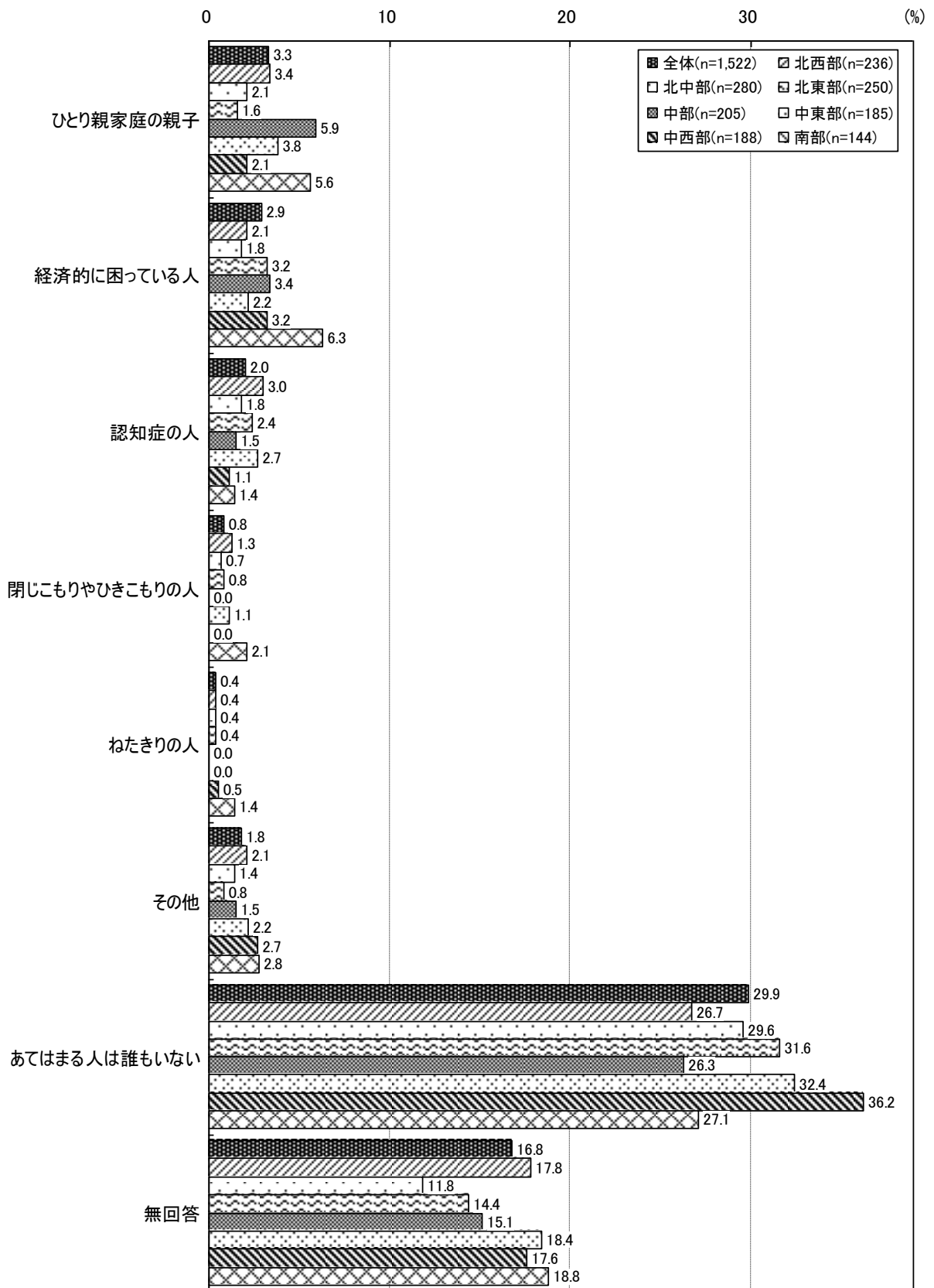


※前回調査については、比較できる選択肢のみ表記

《属性別》

- ・地域別に見ると、「65歳以上の人」は南部（25.0%）、「小学生」は北中部（15.7%）と中部（15.6%）、「病気で療養中の人」は南部（10.4%）、「あてはまる人は誰もいない」は中西部（36.2%）で、それぞれ多く見られます。





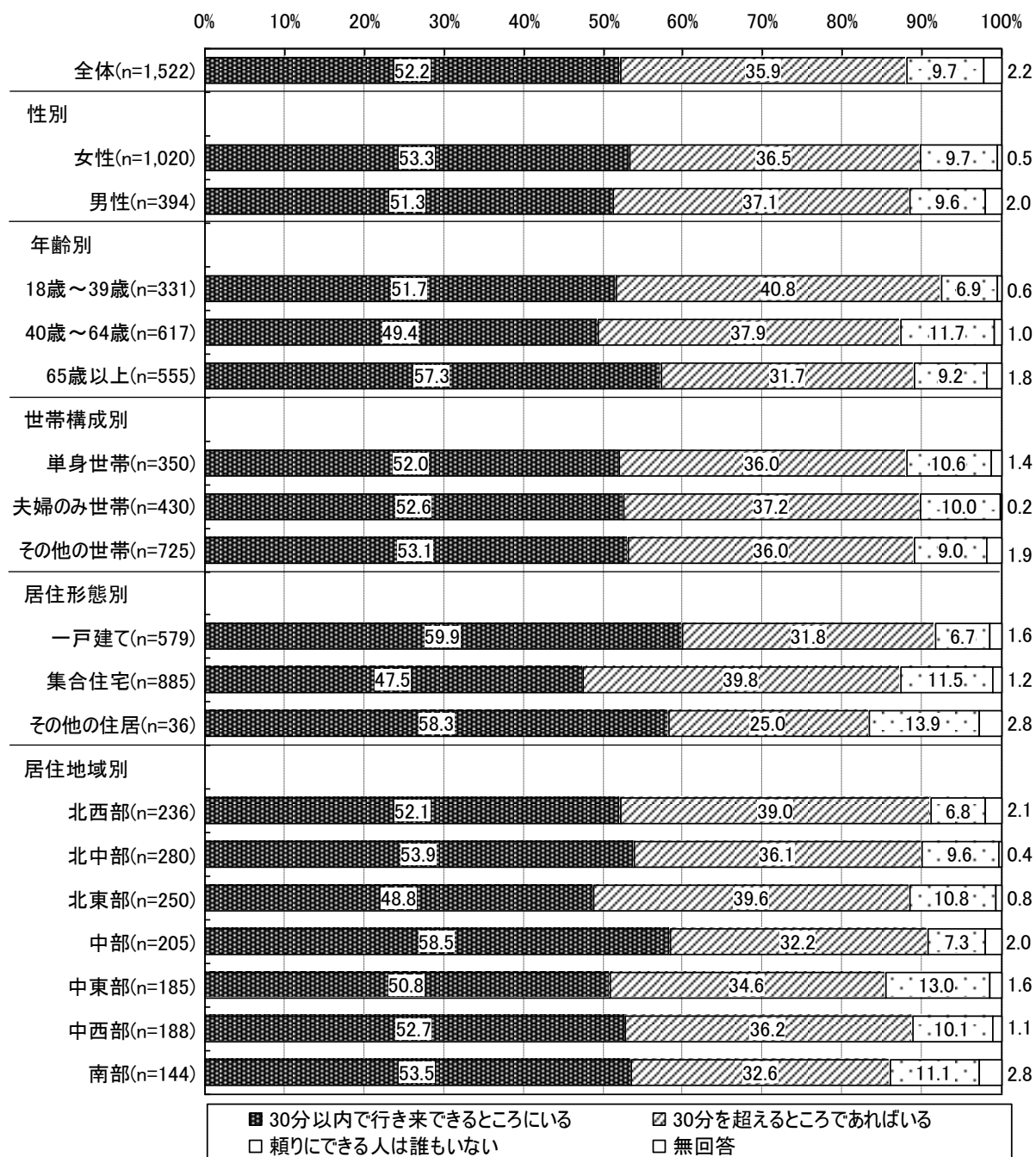
(5) 何かあれば頼りにできる親戚・知人についてお聞きします

《概要》

- ・「30分以内で行き来できるところにいる」が52.2%、「30分を超えてるところであればいい」が35.9%を占めており、合わせて88.1%の人が頼りにできる人がいます。
- ・一方、「頼りにできる人は誰もいない」は9.7%となっています。

《属性別》

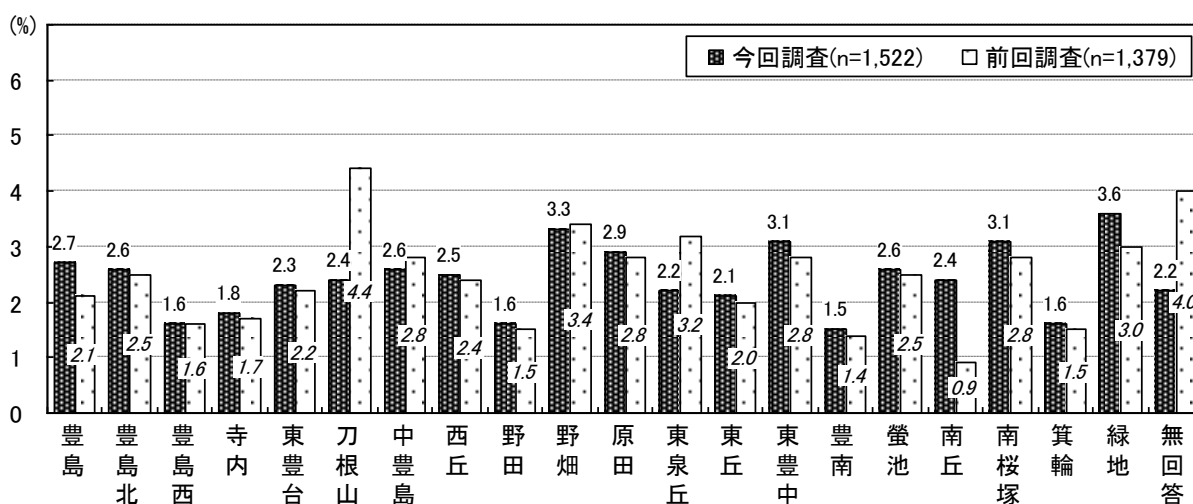
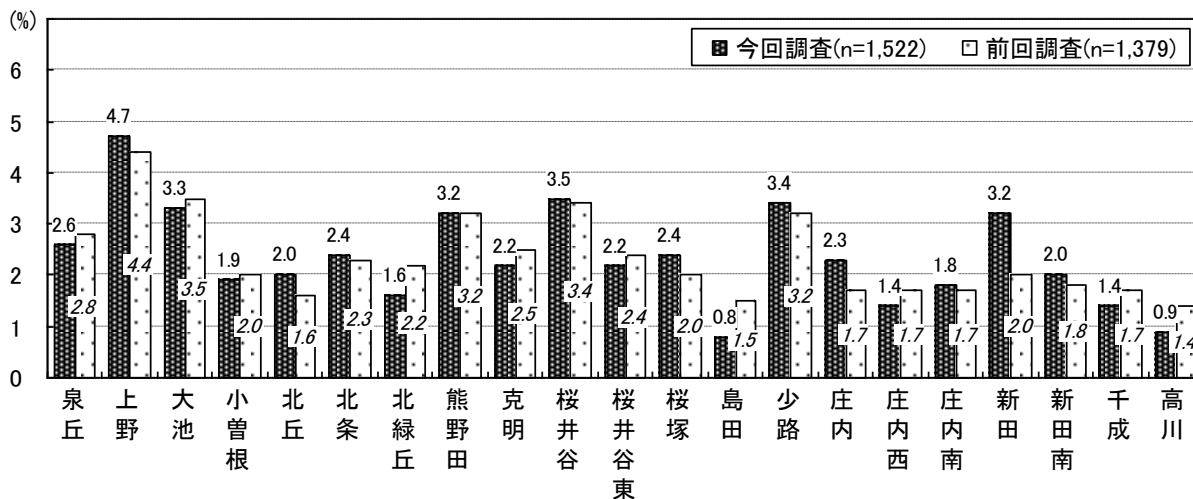
- ・65歳以上で「30分以内で行き来できるところにいる」と答えた人の割合が57.3%と多いほか、居住形態別には一戸建て（59.9%）やその他の住居（58.3%）、居住地域別には中部（58.5%）で多く見られます。



(6) 現在住んでいる小学校区 (50音順)

《概要》

- ・「上野」が4.7%と最も多く、「緑地」(3.6%)、「桜井谷」(3.5%)、「少路」(3.4%)、「大池」と「野畑」(各3.3%) などとなっています。



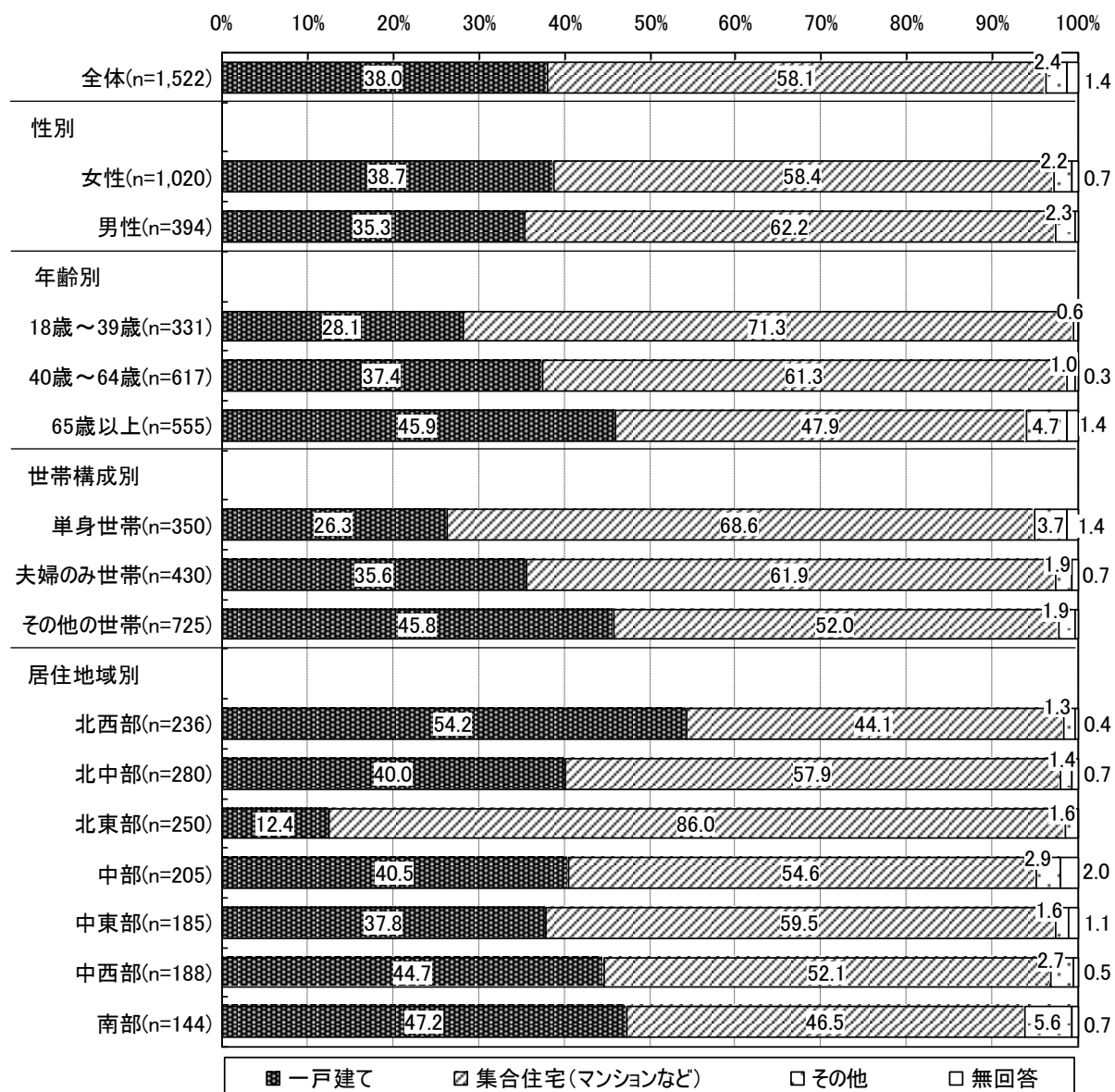
(7) 現在住んでいる住居の形態

《概要》

- ・住居形態について、「集合住宅（マンションなど）」が58.1%、「一戸建て」が38.0%を占めています。

《属性別》

- ・「集合住宅（マンションなど）」が多い属性は、18歳から39歳（71.3%）、単身世帯（68.6%）、北東部（86.0%）などとなっています。
- ・「一戸建て」が多い属性は、65歳以上（45.9%）、北西部（54.2%）、南部（47.2%）などとなっています。



お住まいの地域との関わりについて

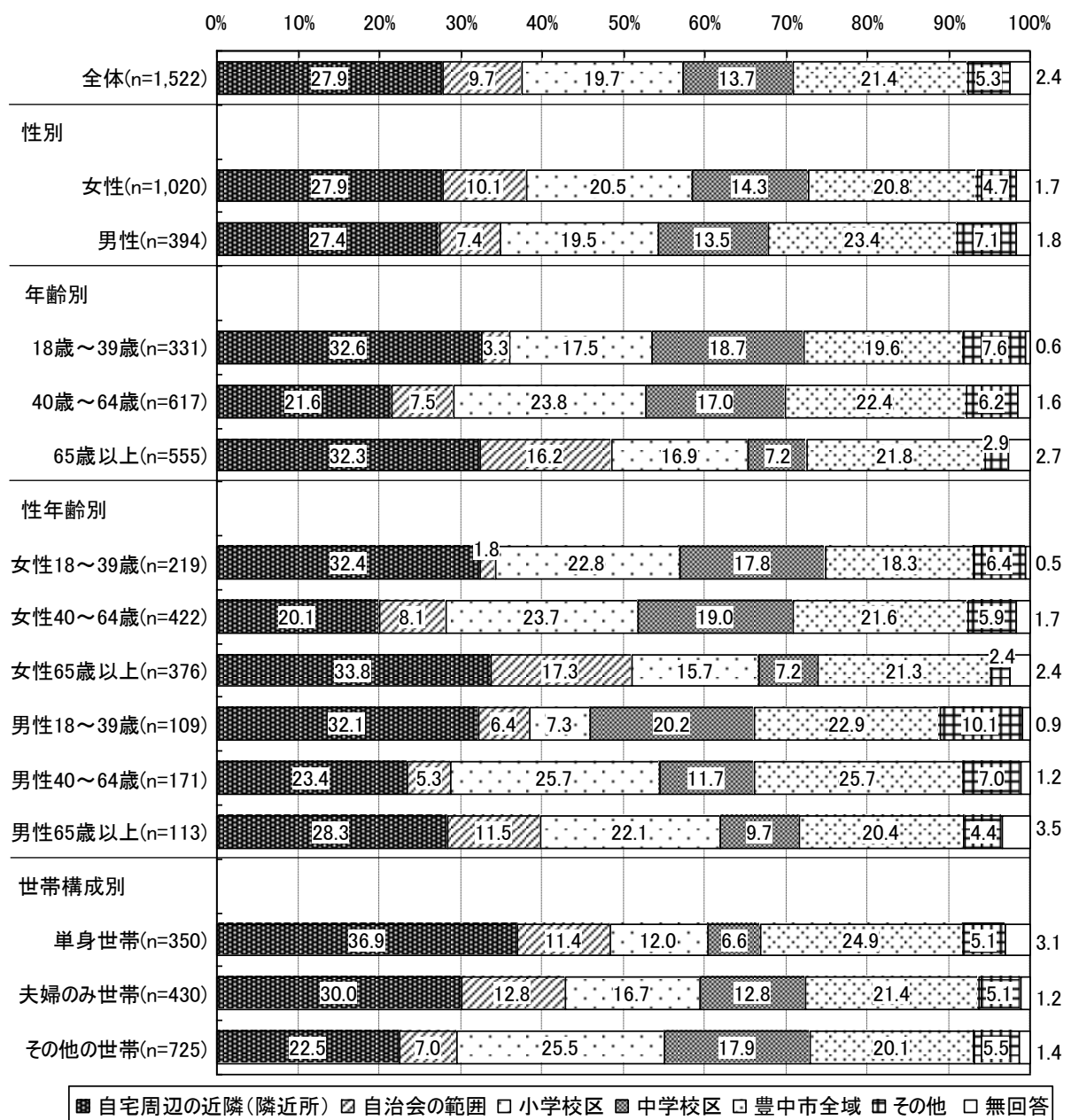
問2 あなたにとって、“自分のまち”と感じるのはどのくらいの範囲ですか。お考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

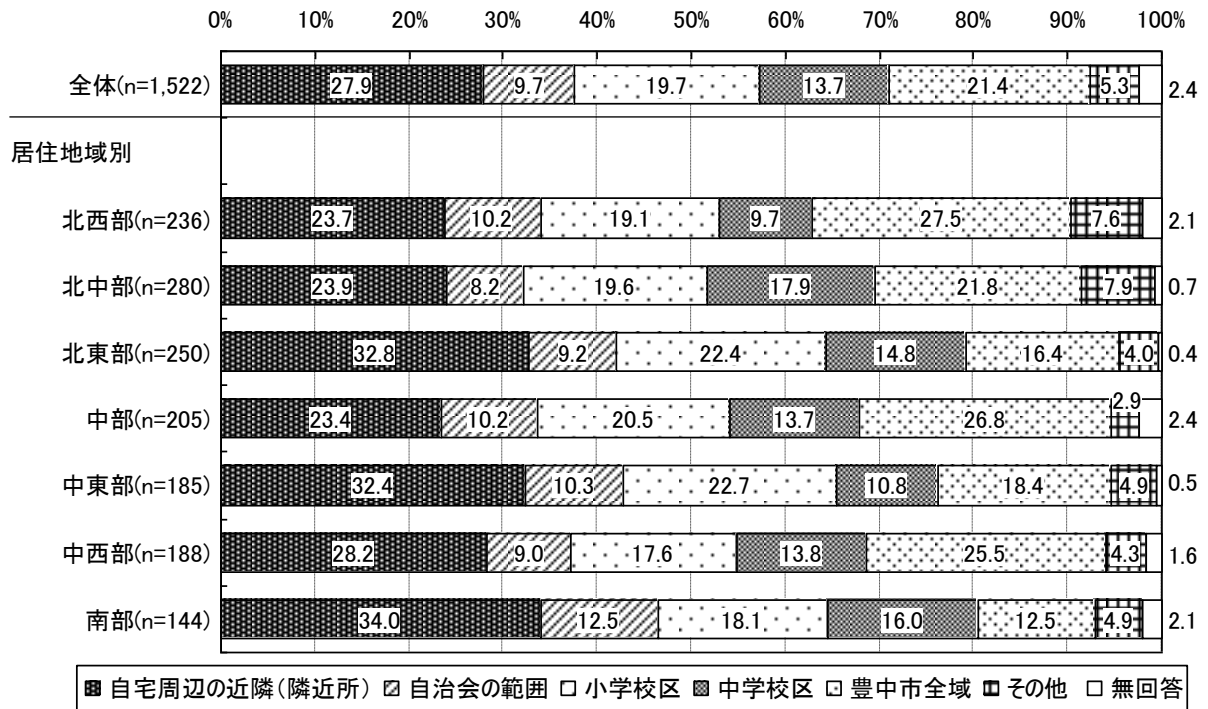
《概要》

- ・「自宅周辺の近隣（隣近所）」が27.9%、「豊中市全域」が21.4%、「小学校区」が19.7%と、身近な範囲から市全域まで回答が分散する結果となっています。

《属性別》

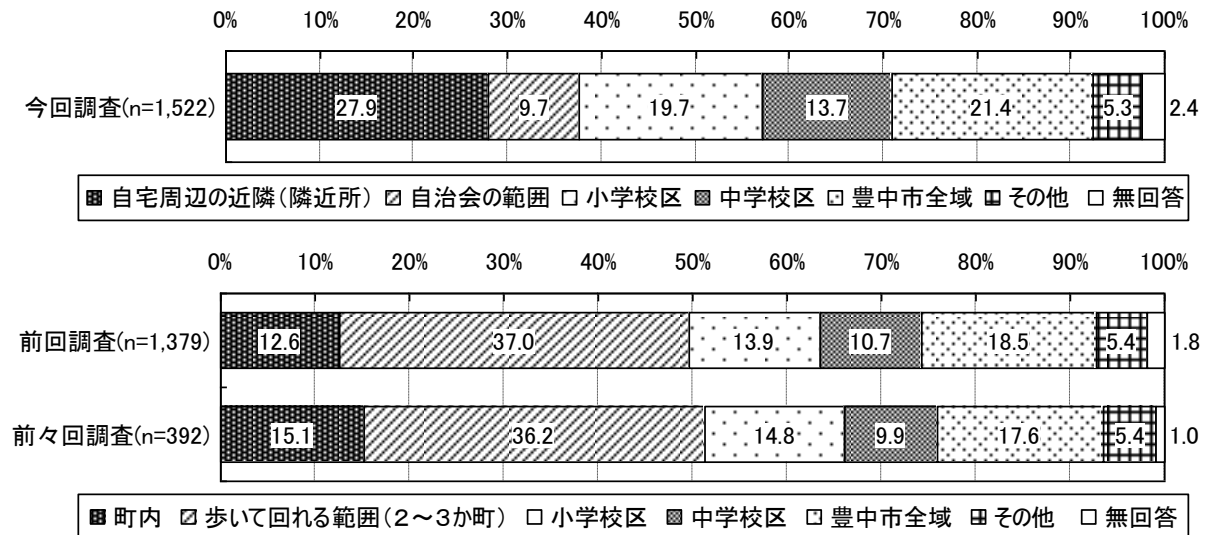
- ・「自宅周辺の近隣（隣近所）」が多い属性は、単身世帯（36.9%）、南部（34.0%）、北東部（32.8）などとなっています。
- ・「豊中市全域」が多い属性は、北西部（27.5%）、中部（26.8%）などとなっています。





《時系列比較》

・ 選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、「豊中市全域」「小学校区」「中学校区」と答える人は概ね調査を行うにつれて増える傾向にあり、“自分のまち”として感じる範囲が徐々に広がっている様子が見受けられます。



※前々回調査は、平成19年(2007年)11月に実施

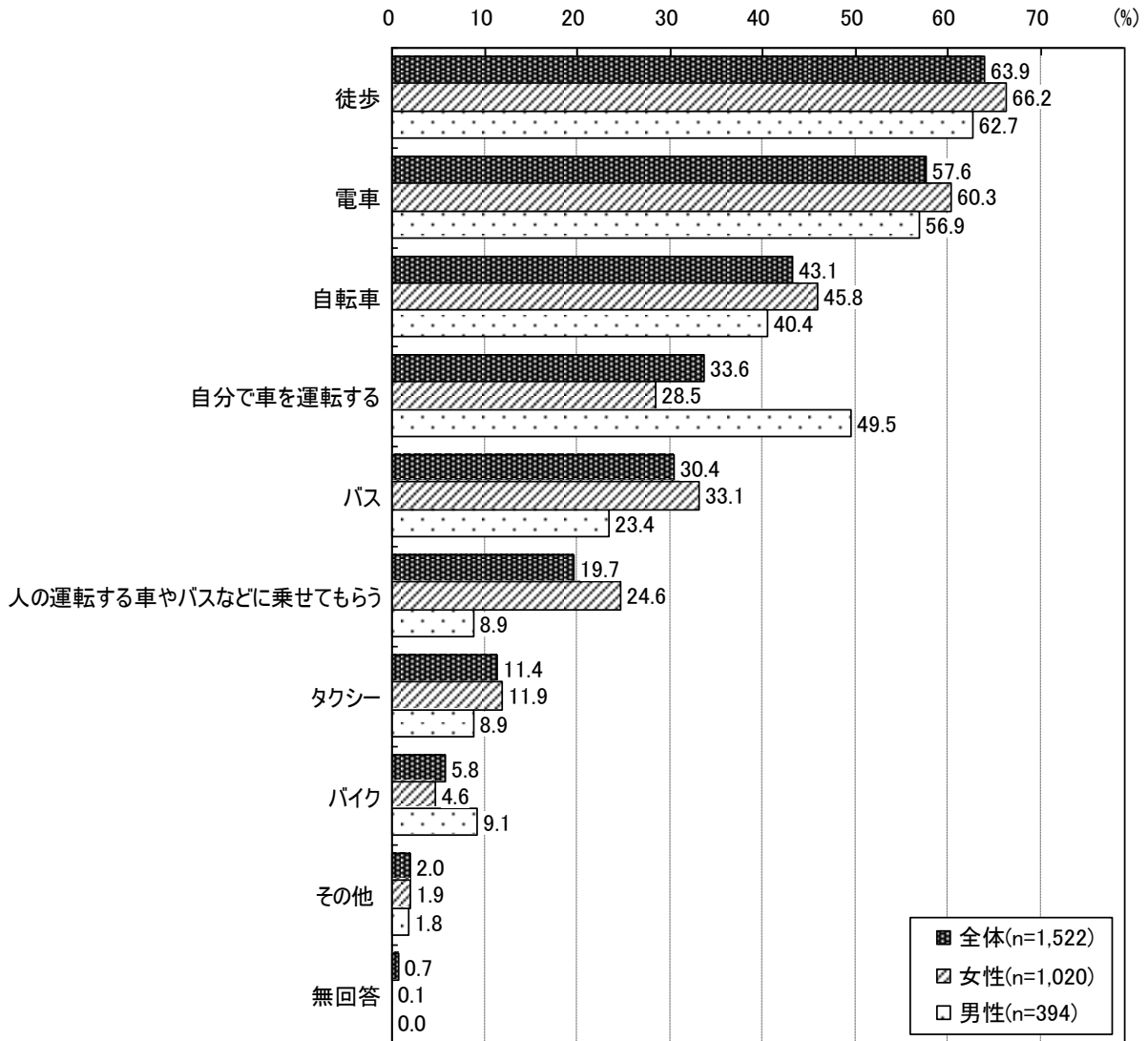
問3 外出する際によく使う移動手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

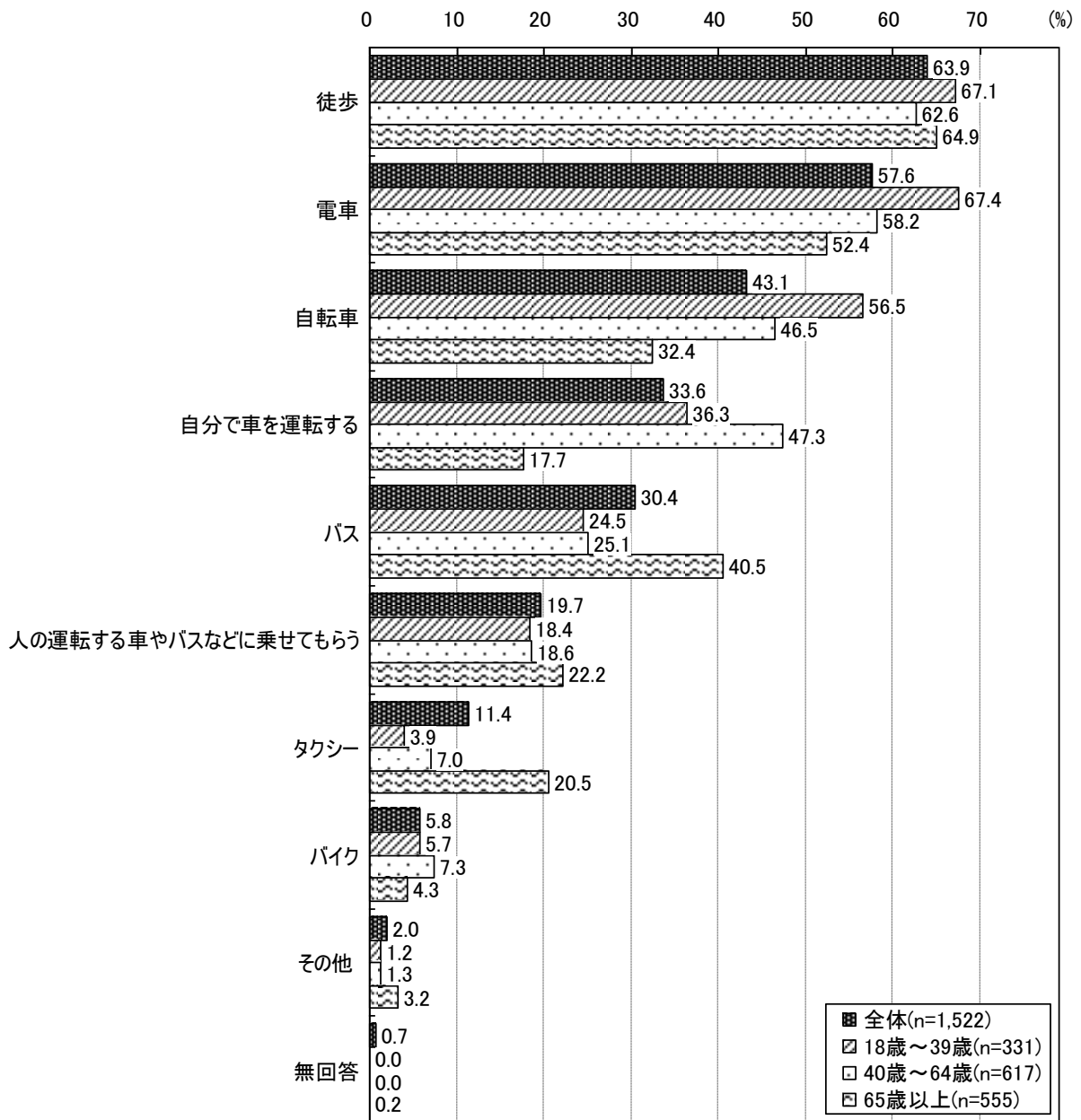
- ・「徒歩」が63.9%、「電車」が57.6%、「自転車」が43.1%、「自分で車を運転する」が33.6%、「バス」が30.4%などとなっています。

《属性別》

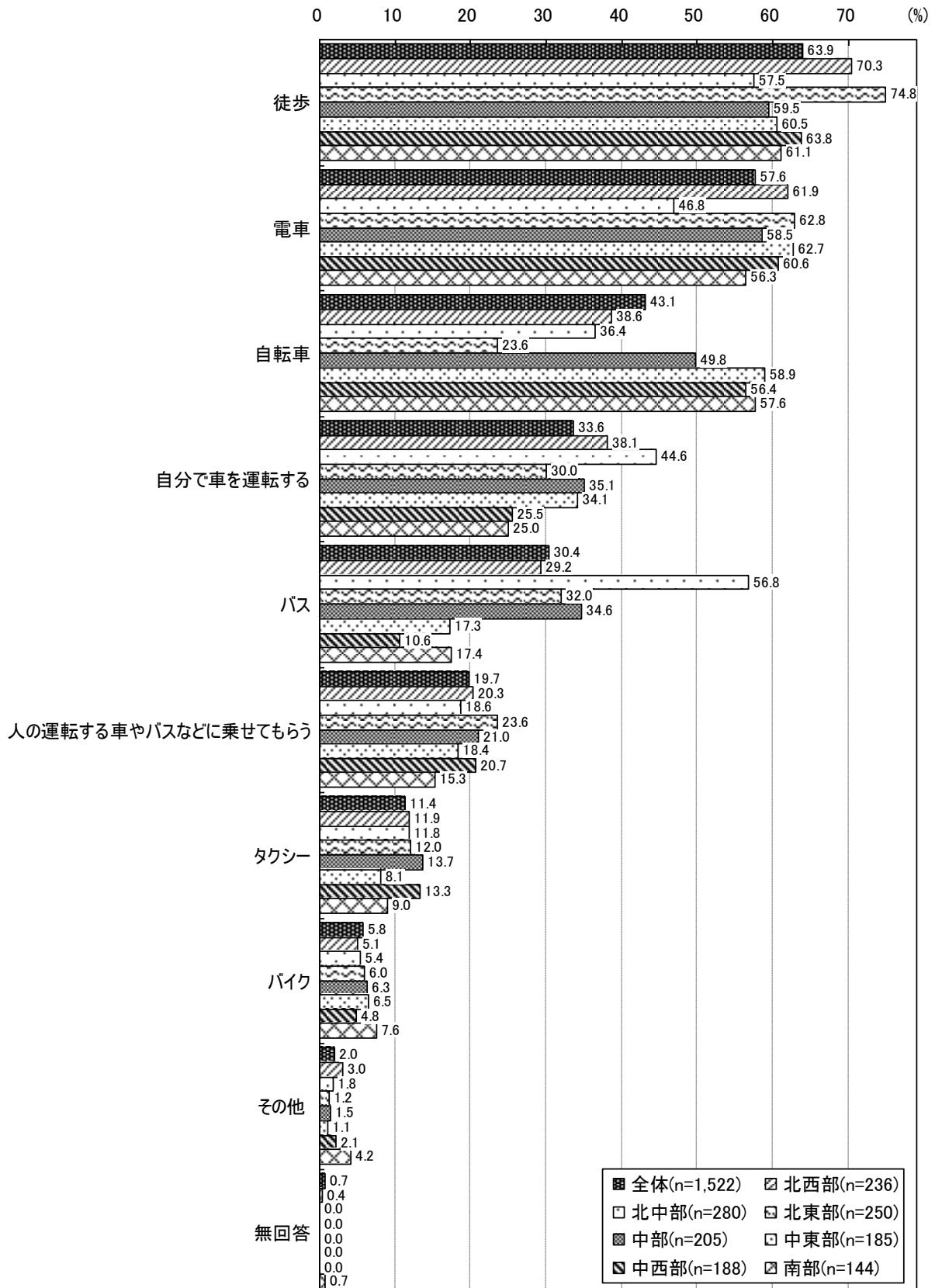
- ・性別に見ると、男性で「自分で車を運転する」が49.5%、女性で「人の運転する車やバスなどに乗せてもらう」が24.6%と多く見られます。



・年齢別に見ると、18歳から39歳で「電車」が67.4%、「自転車」が56.5%と多く見られます。40歳から64歳では「自分で車を運転する」が47.3%、65歳以上では「バス」が40.5%、「タクシー」が20.5%をそれぞれ占めています。



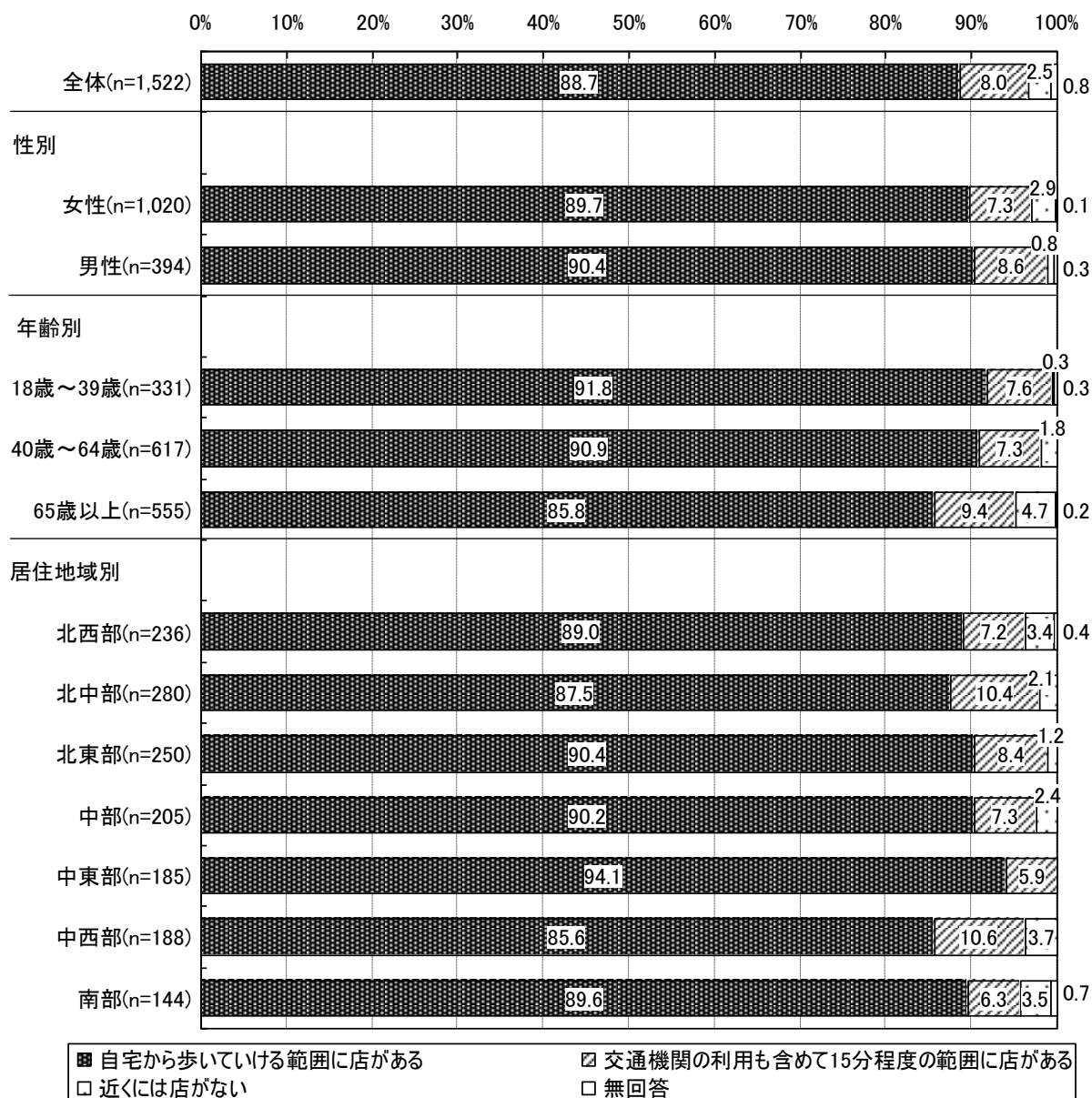
- ・地域別に見ると、北中部で「バス」(56.8%)や「自分で車を運転する」(44.6%)が多くなっています。
- ・「自転車」と答える人は、中東部(58.9%)、南部(57.6%)、中西部(56.4%)で多く見られます。



問4 自宅のご近所にお店やスーパーはありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「自宅から歩いていける範囲に店がある」が88.7%を占めており、「交通機関の利用も含めて15分程度の範囲に店がある」は8.0%、「近くには店がない」は2.5%となっています。



問5 住んでいる地域について、どのように思いますか。①～⑥のそれぞれの項目について、お考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

①隣近所の間人間関係が良好だ

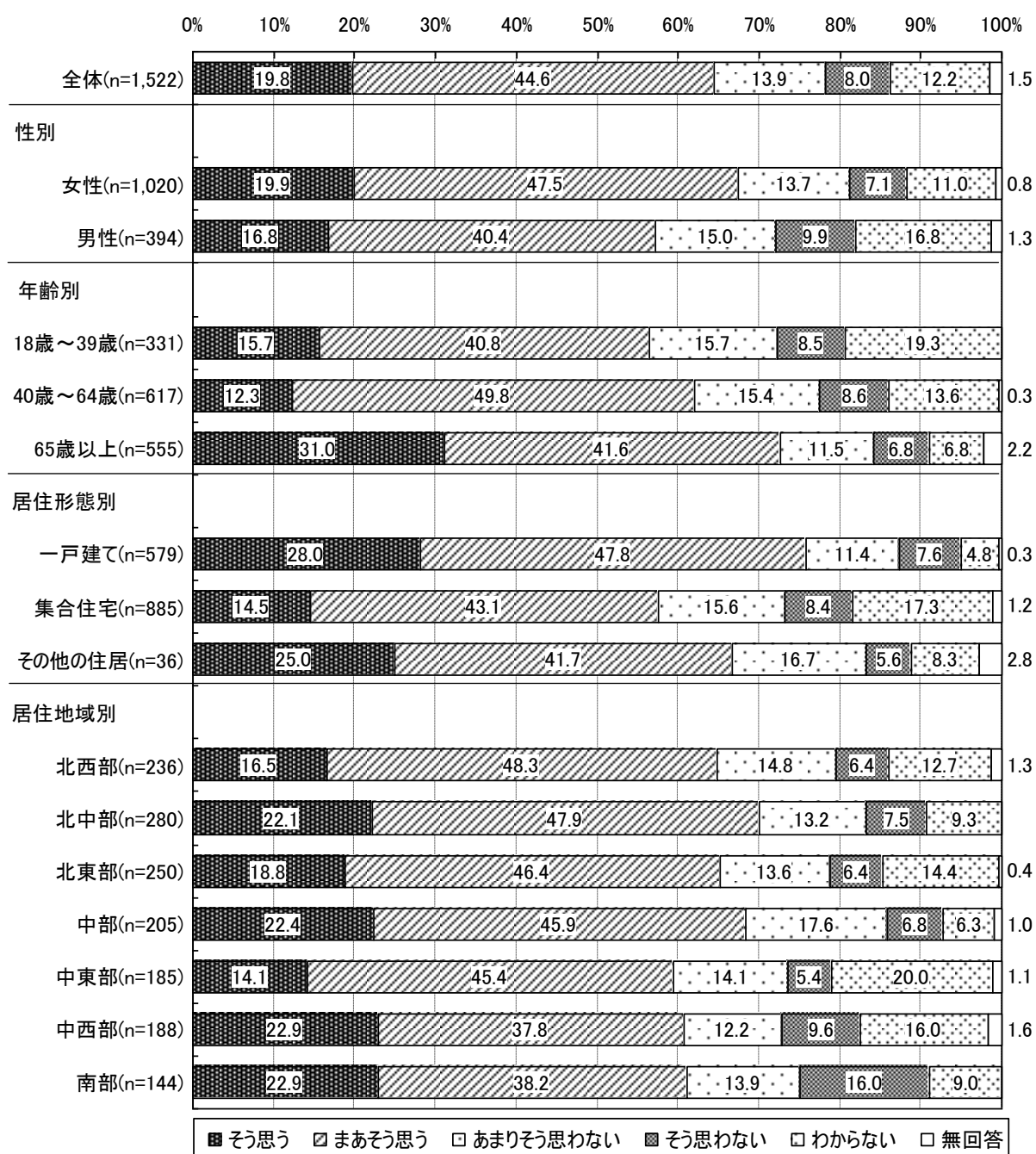
《概要》

・「まあそう思う」が44.6%、「そう思う」が19.8%と、合わせて64.4%が隣近所の間人間関係が良好だと感じています。

《属性別》

・「そう思う」と答える人が多い属性は、65歳以上（31.0%）や一戸建て（28.0%）などとなっています。

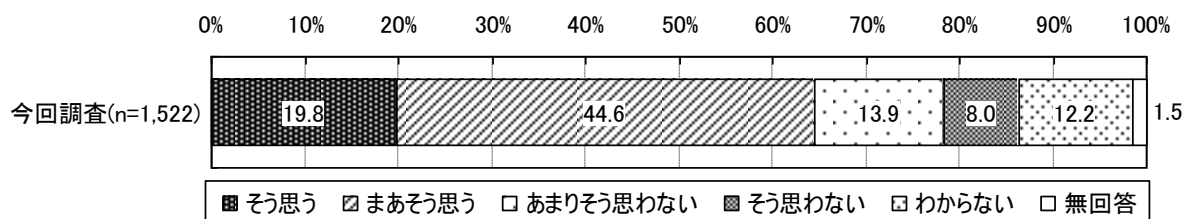
・南部では「そう思わない」が16.0%と他地域より多く見られます。



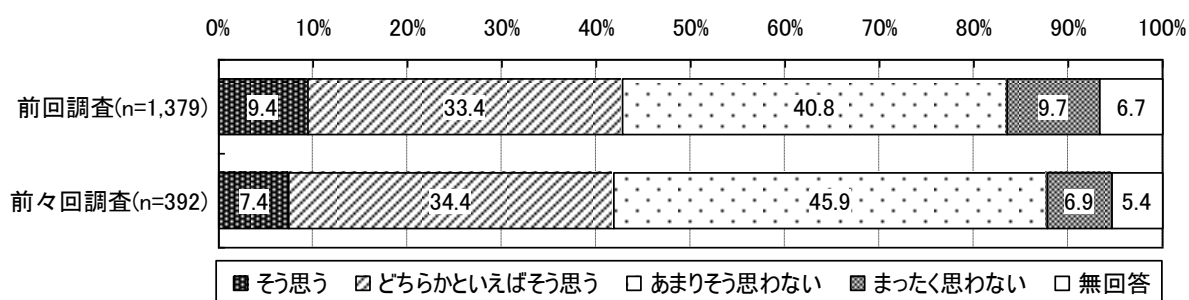
《時系列比較》

- ・ 項目の内容が異なるため、厳密な比較はできませんが、「そう思う」「まあそう思う」という人の割合は、前回調査、前々回調査より大幅に高まっています。

◆隣近所の人間関係が良好だ



◆近所づきあいや助けあいなど近隣関係が良好である



②住民による交流が活発だ

《概要》

- ・「そう思う」が5.5%、「まあそう思う」が24.3%と、合わせて29.8%が住民による交流が活発だと感じています。
- ・一方、「そう思わない」が24.8%、「あまりそう思わない」が27.6%と、合わせて52.4%が住民による交流は活発ではないと感じています。

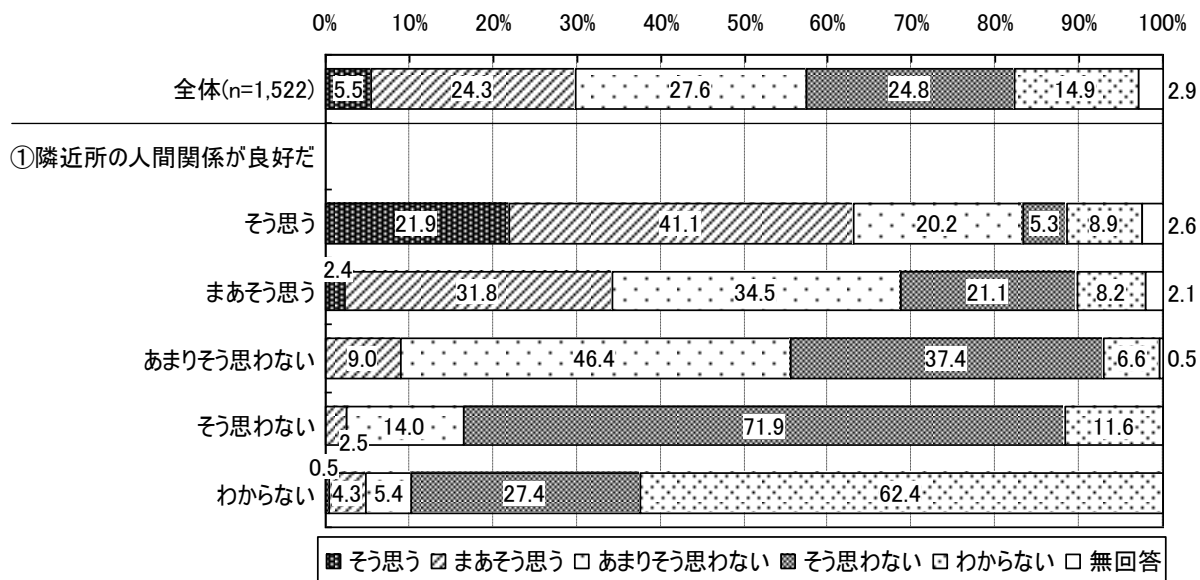
《属性別》

- ・「そう思う」「まあそう思う」という人の割合が高い属性は、65歳以上（36.7%）や北東部（40.0%）などとなっています。
- ・「そう思わない」「あまりそう思わない」という人の割合が高い属性は、18歳から39歳（59.8%）、北中部（60.3%）、北西部（57.7%）などとなっています。
- ・性年齢別に見ると、18歳から64歳の男性は「そう思う」「まあそう思う」という人の割合が低く、「わからない」という人が多く見られます。



《設問間分析》

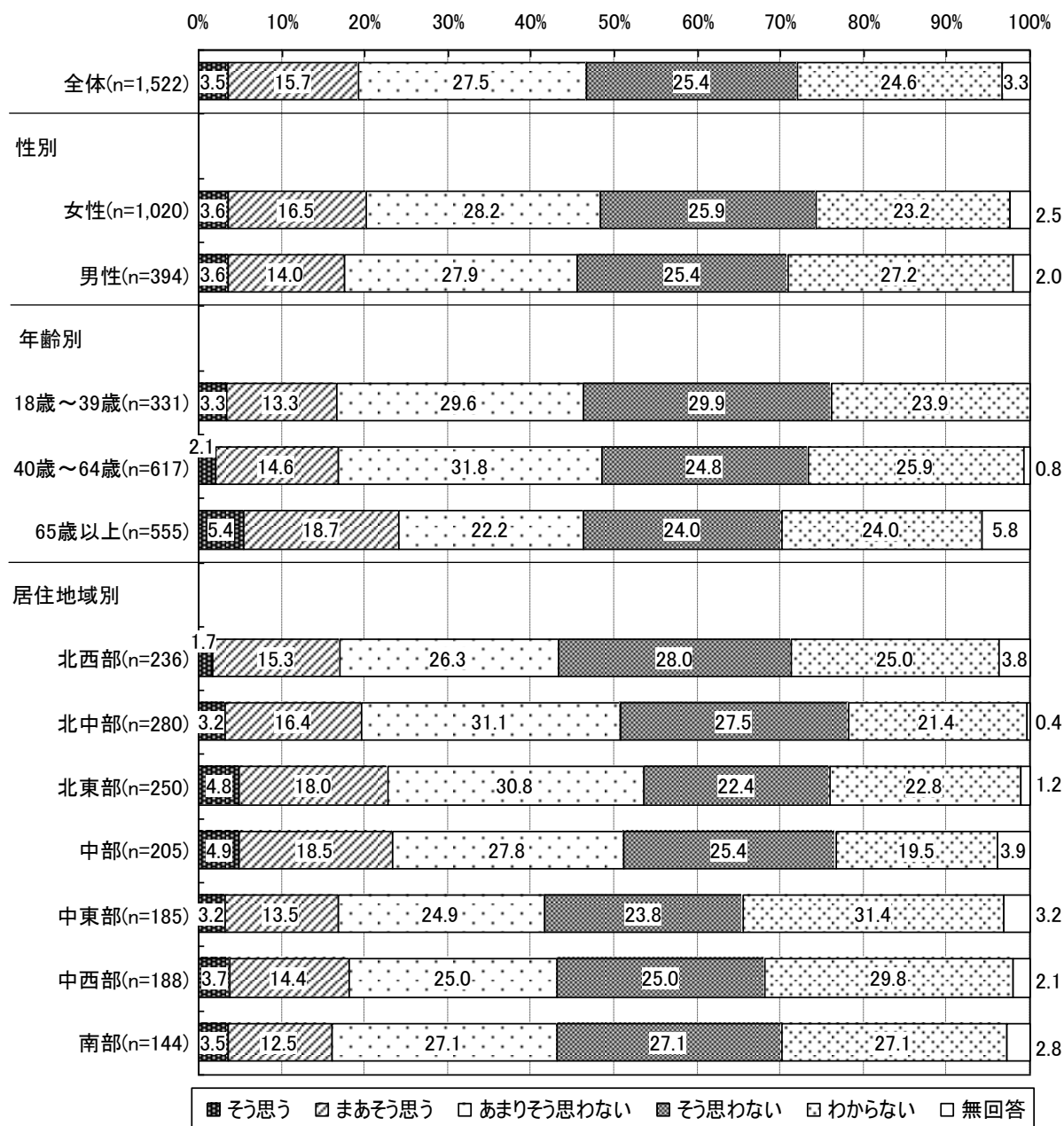
- ・「①隣近所の人間関係が良好だ」と「②住民による交流が活発だ」の相関を見ると、人間関係が良好だと思う人ほど、住民による交流も活発だと認識していることがわかります。



③身近な助けあいやボランティア活動が活発だ

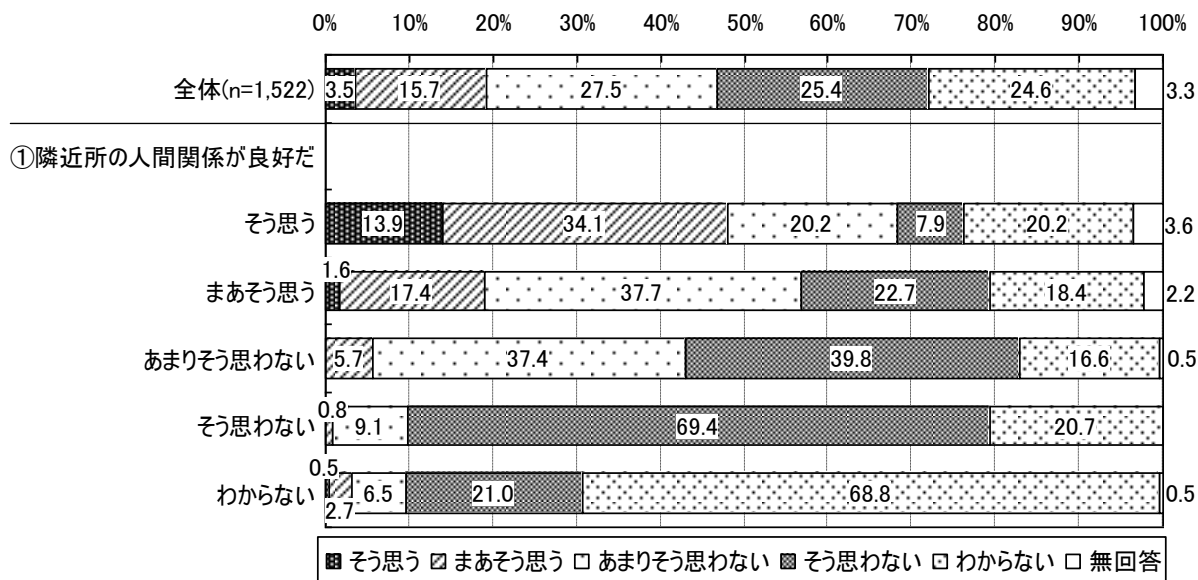
《概要》

- ・「そう思う」が3.5%、「まあそう思う」が15.7%と、合わせて19.2%が身近な助けあいやボランティア活動が活発だと感じています。
- ・一方、「そう思わない」が25.4%、「あまりそう思わない」が27.5%と、合わせて52.9%は身近な助けあいやボランティア活動は活発ではないと感じています。



《設問間分析》

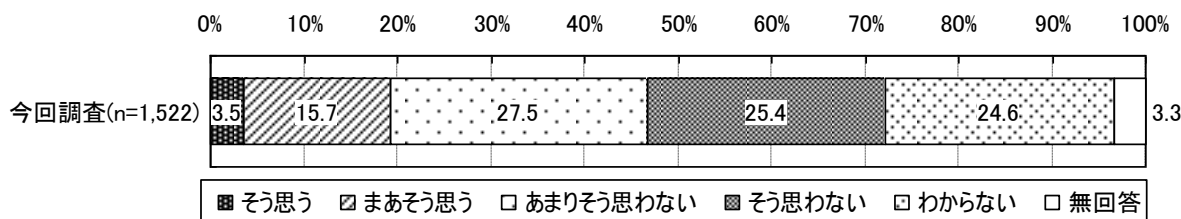
- ・「①隣近所の人間関係が良好だ」と「③身近な助けあいやボランティア活動が活発だ」の相関を見ると、人間関係が良好だと思う人ほど、身近な助けあいやボランティア活動が活発だと認識していることがわかります。



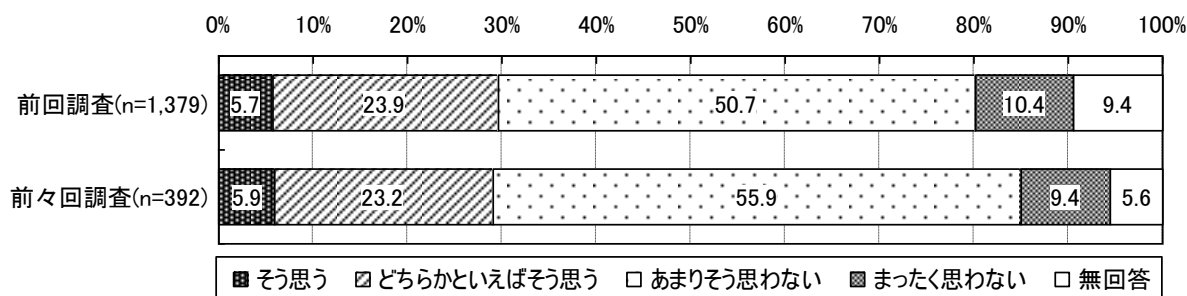
《時系列比較》

- ・項目の内容が異なるため、厳密な比較はできませんが、身近な助けあいやボランティア活動が活発だと思う人の割合は前回調査より低くなっています。

◆身近な助けあいやボランティア活動が活発だ



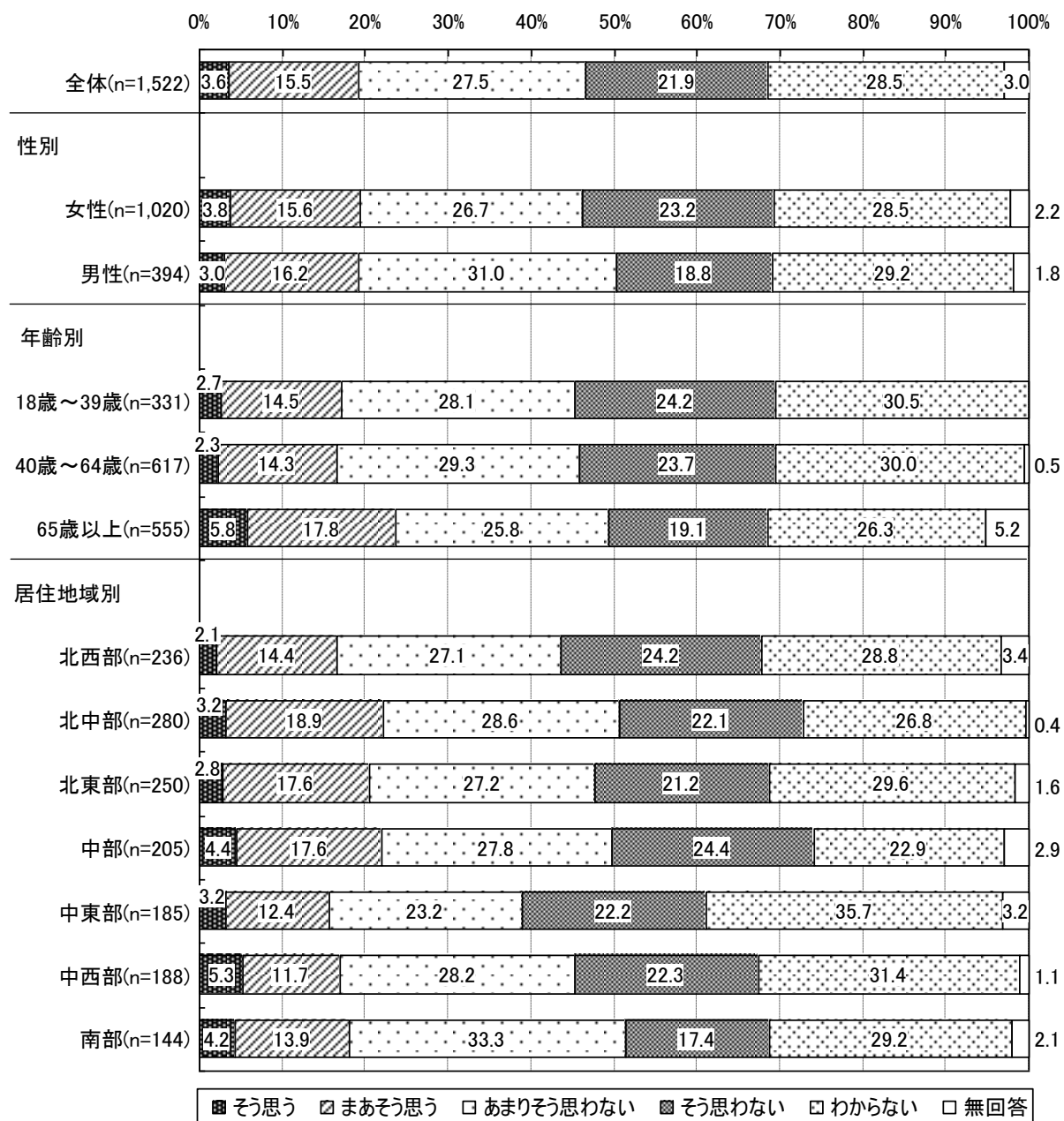
◆地域活動やボランティア活動が活発である



④手助けや見守りを必要としている人への地域の人々の関心が強い

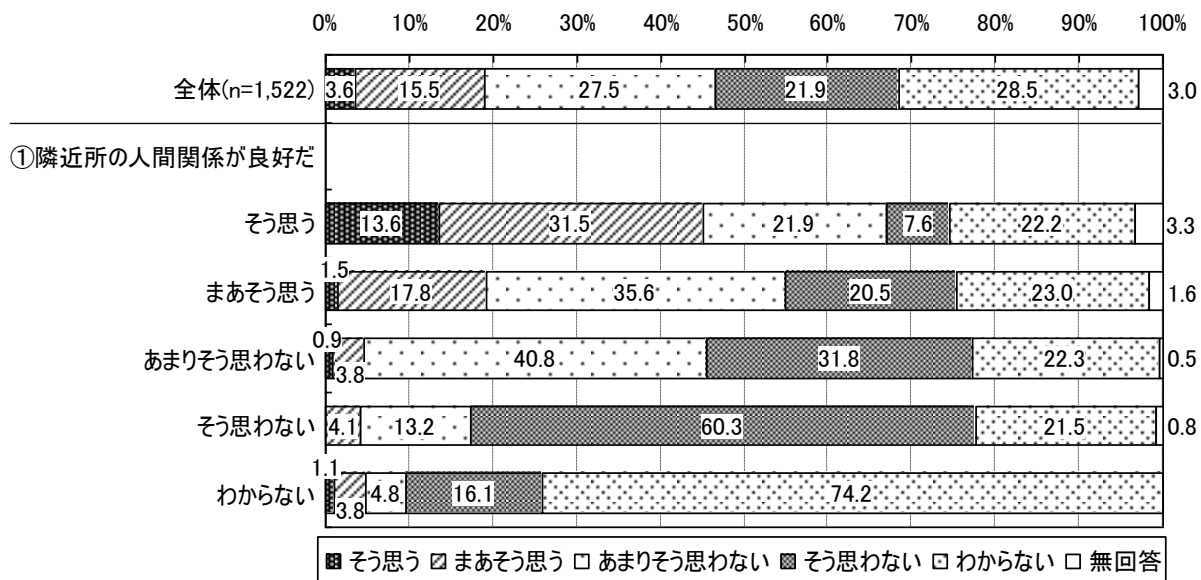
《概要》

- ・「そう思う」が3.6%、「まあそう思う」が15.5%と、合わせて19.1%が手助けや見守りを必要としている人への地域の人々の関心が強いと感じています。
- ・一方、「そう思わない」が21.9%、「あまりそう思わない」が27.5%と、合わせて49.4%は地域の人々の関心が強いとは感じていません。



《設問間分析》

- ・「①隣近所の人間関係が良好だ」と「④手助けや見守りを必要としている人への地域の人々の関心が強い」の相関を見ると、人間関係が良好だと思える人ほど、手助けや見守りを必要としている人への地域の人々の関心が強いと認識していることがわかります。



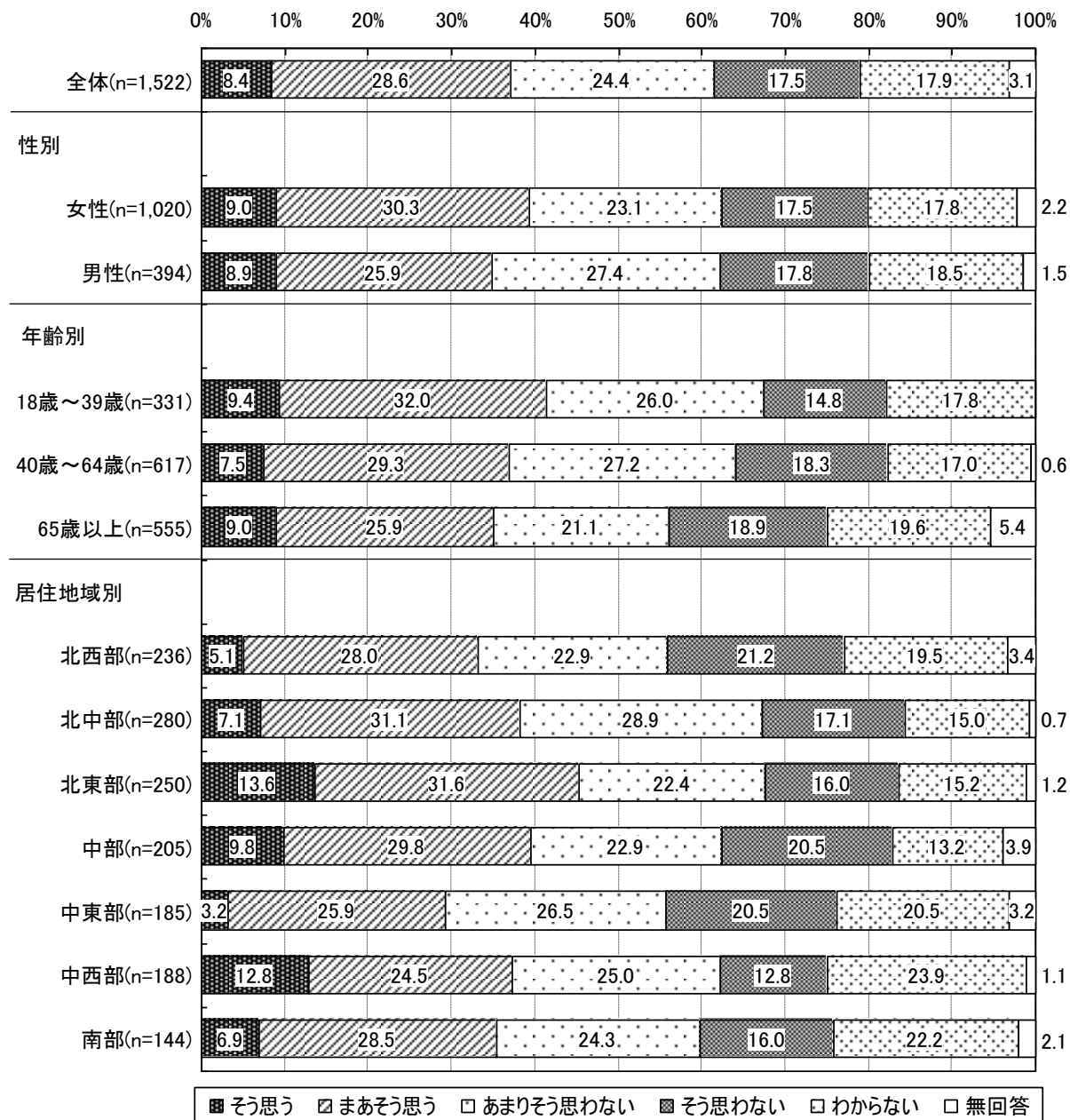
⑤住民が利用しやすい施設が整っている

《概要》

- ・「そう思う」が8.4%、「まあそう思う」が28.6%と、合わせて37.0%が住民が利用しやすい施設が整っていると感じています。
- ・一方、「そう思わない」が17.5%、「あまりそう思わない」が24.4%と、合わせて41.9%は施設が整っているとは感じていません。

《属性別》

- ・北東部では「そう思う」「まあそう思う」を合わせて45.2%と、高くなっています。



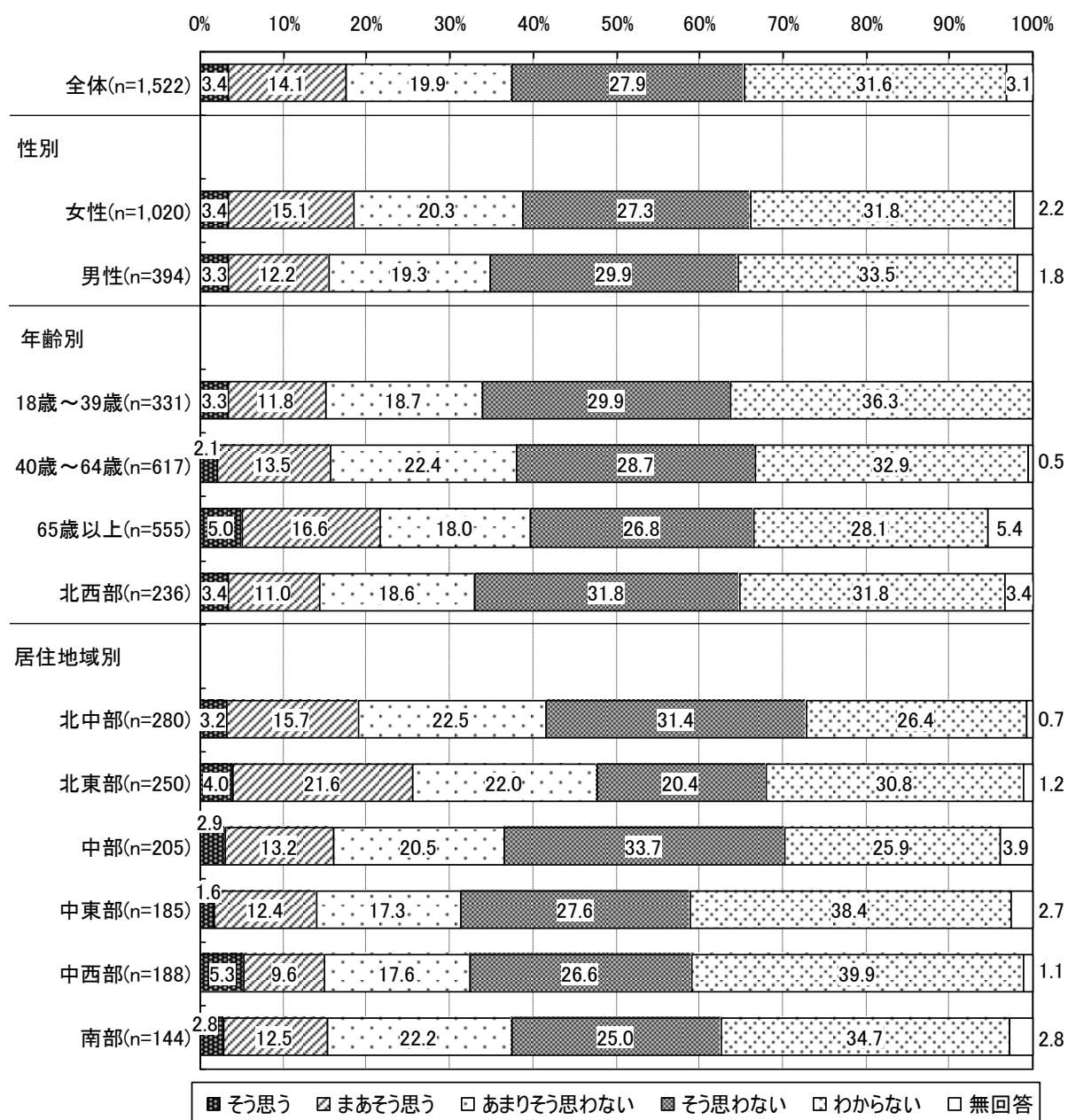
⑥地域で抱える課題について住民どうして話しあい、みんなで考えるような機会や場がある

《概要》

- ・「そう思う」が3.4%、「まあそう思う」が14.1%と、合わせて17.5%が地域で抱える課題について住民どうして話しあい、みんなで考えるような機会や場があると感じています。
- ・一方、「そう思わない」が27.9%、「あまりそう思わない」が19.9%と、合わせて47.8%はそのような機会や場があるとは感じていません。

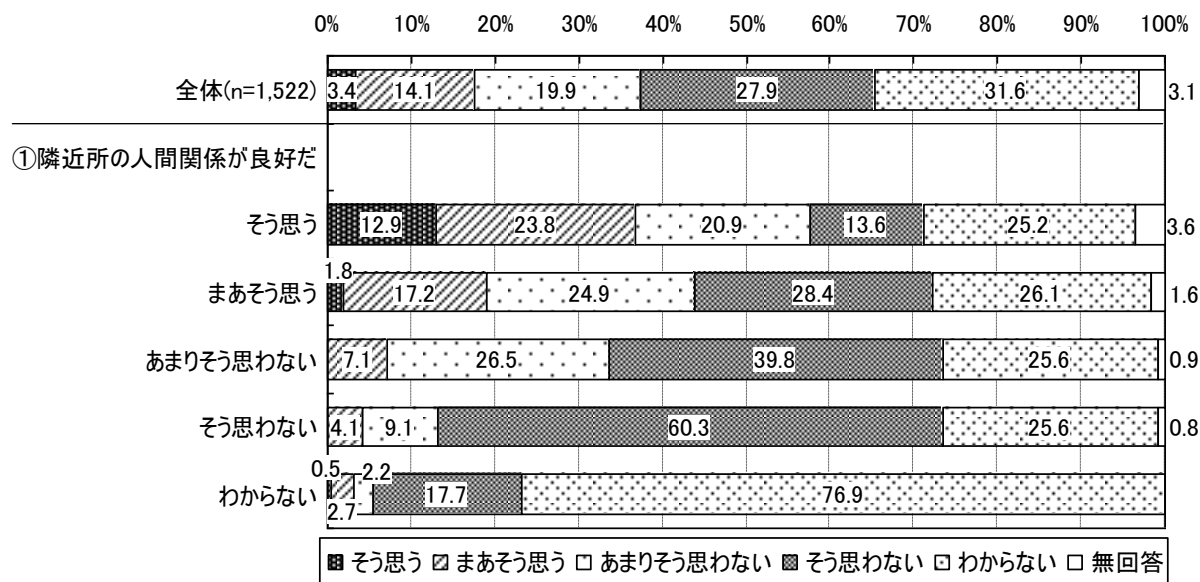
《属性別》

- ・北東部では「そう思う」「まあそう思う」を合わせて25.6%と、高くなっています。



《設問間分析》

- ・「①隣近所の人間関係が良好だ」と「⑥地域で抱える課題について住民どうして話しあい、みんなで考えるような機会や場がある」の相関を見ると、人間関係が良好だと思う人ほど、住民どうして話しあい、考えるような機会や場があると認識していることがわかります。



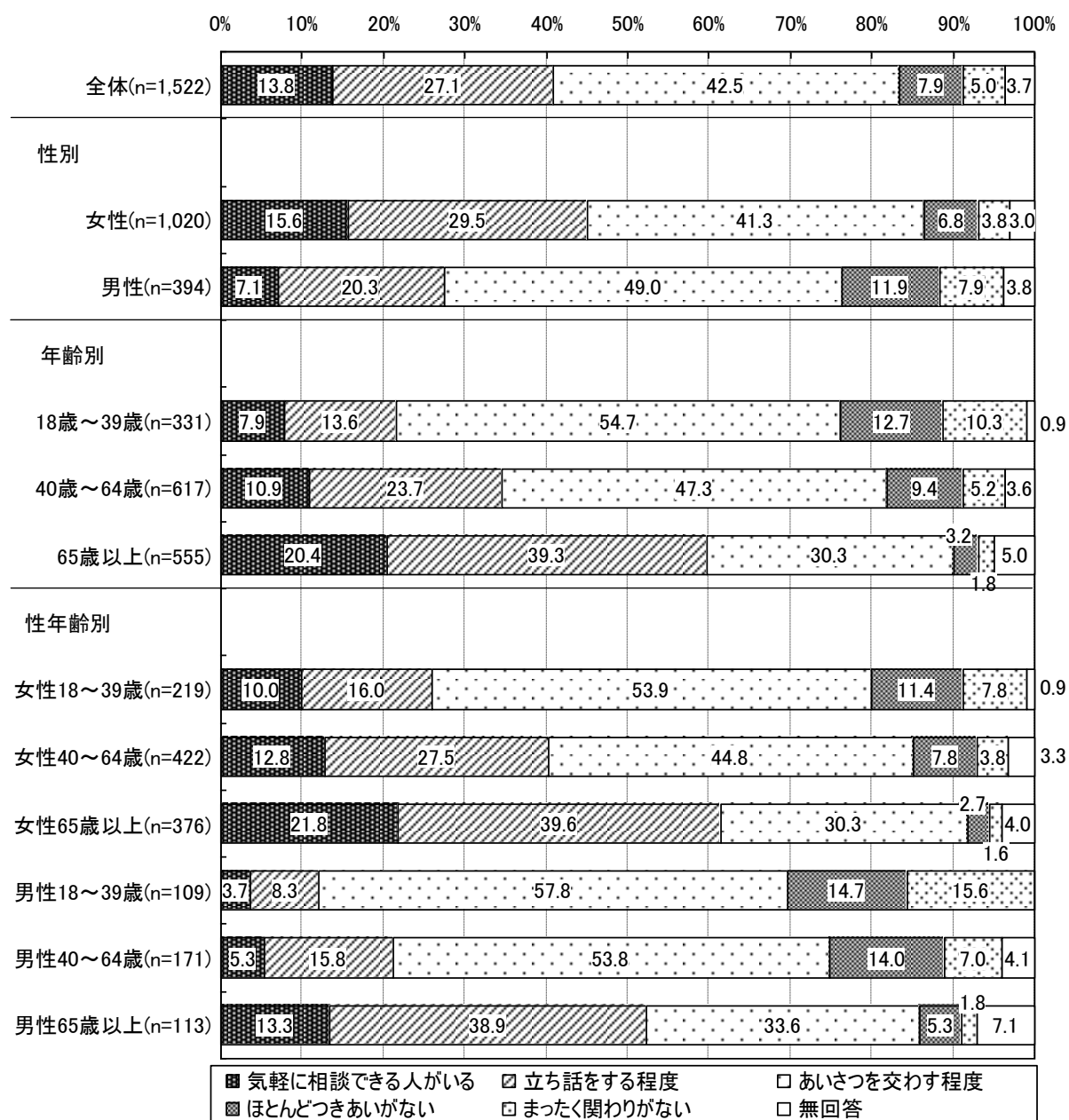
問6 ふだん、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。主にあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

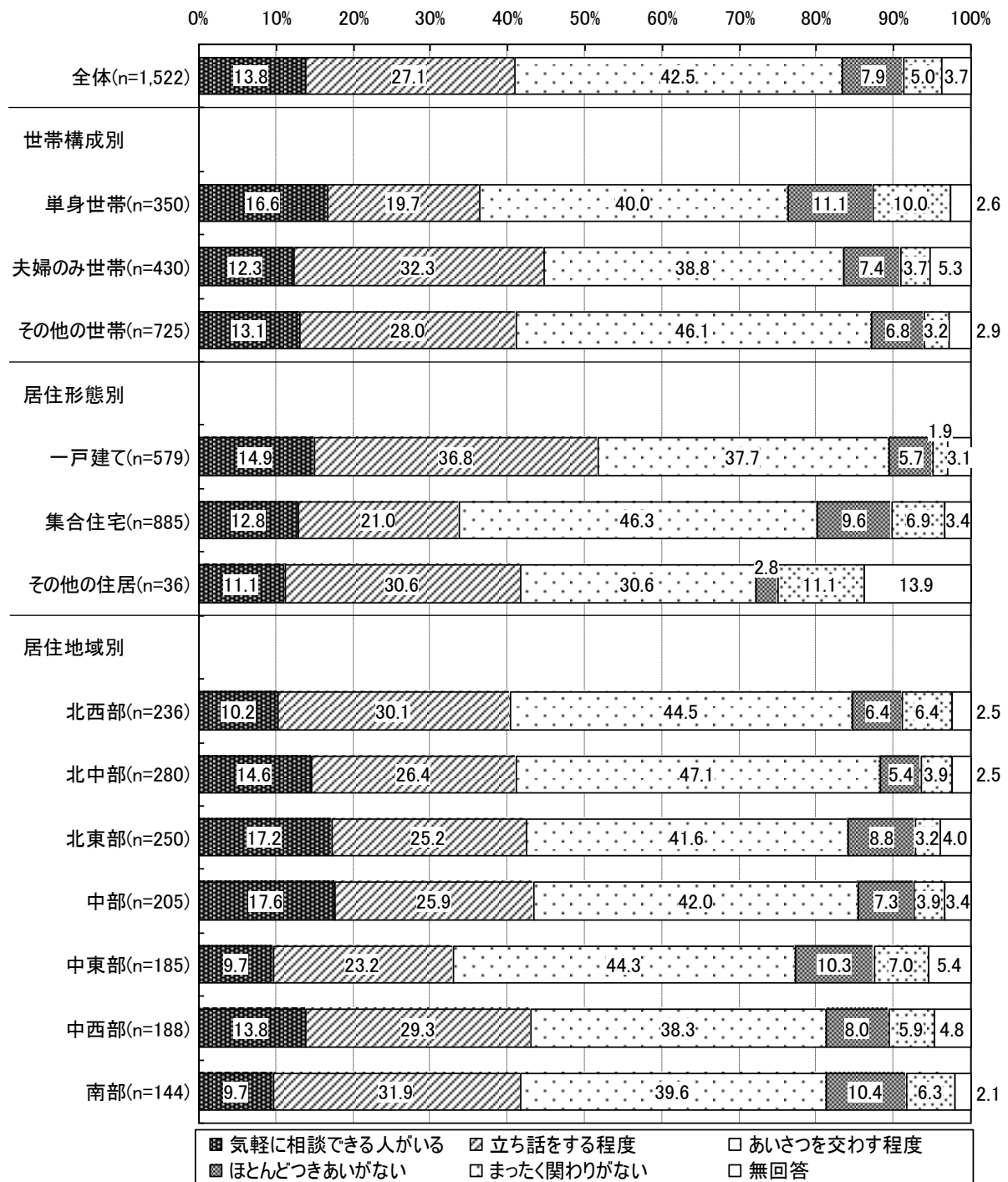
《概要》

- ・「あいさつを交わす程度」が42.5%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が27.1%、「気軽に相談できる人がいる」が13.8%などとなっています。

《属性別》

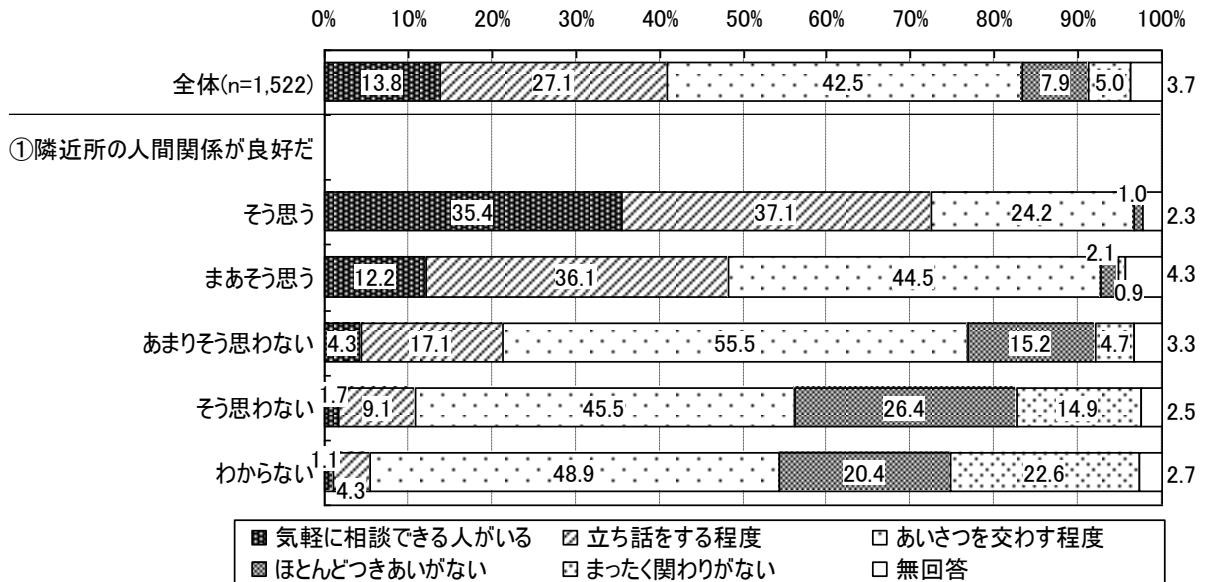
- ・65歳以上（特に女性）や一戸建てに住む人では、「立ち話をする程度」や「気軽に相談できる人がいる」と答える人の割合がその他の属性より高く、親密な近所づきあいが行われていることがうかがえます。





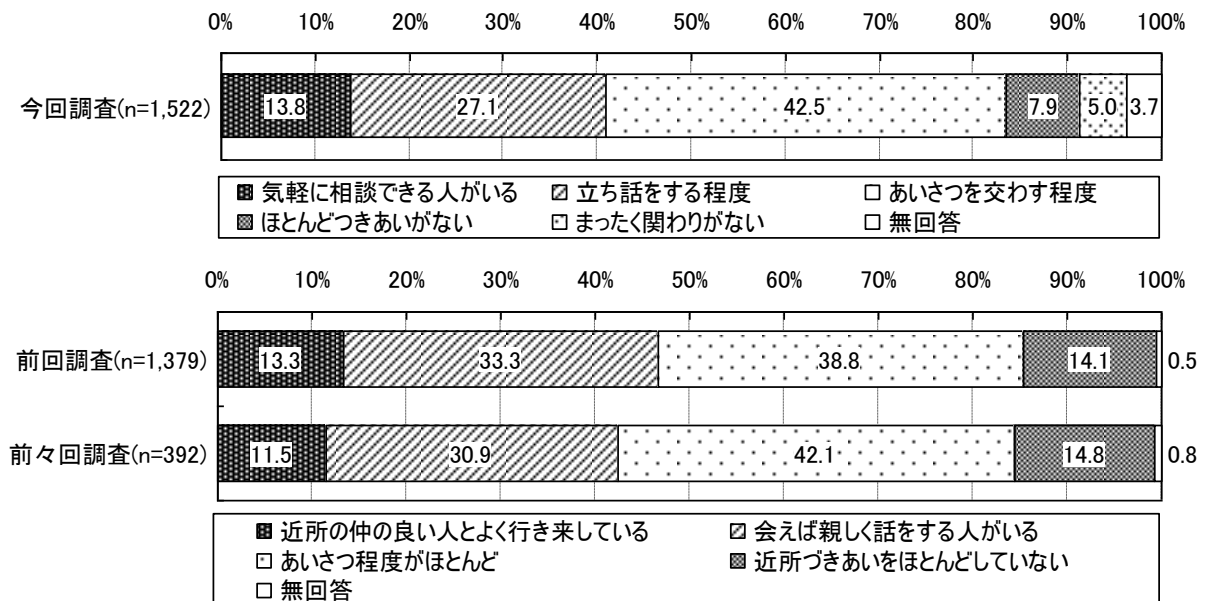
《設問間分析》

- ・「問5①隣近所の人間関係が良好だ」と「問6 ふだん、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。」の相関を見ると、人間関係が良好だと思う人ほど、「立ち話をする程度」や「気軽に相談できる人がいる」と答える人の割合が多いことがわかります。



《時系列比較》

- ・選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、回答傾向は前回調査、前々回調査と大きく変わりありません。



※問6で「3 あいさつを交わす程度」「4 ほとんどつきあいが無い」「5 まったく関わりが無い」と答えた人に対する質問

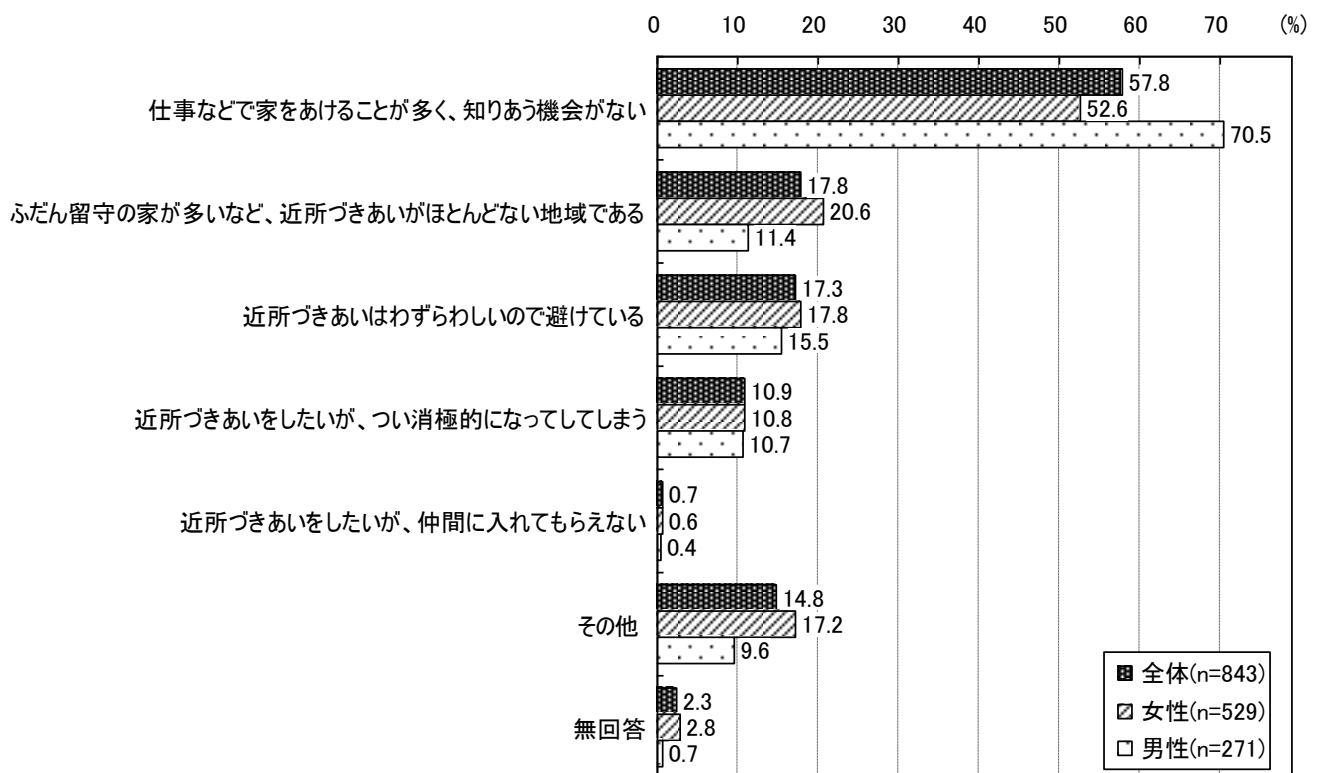
問6付問 あまり近所づきあいをしていない理由は何でしょうか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

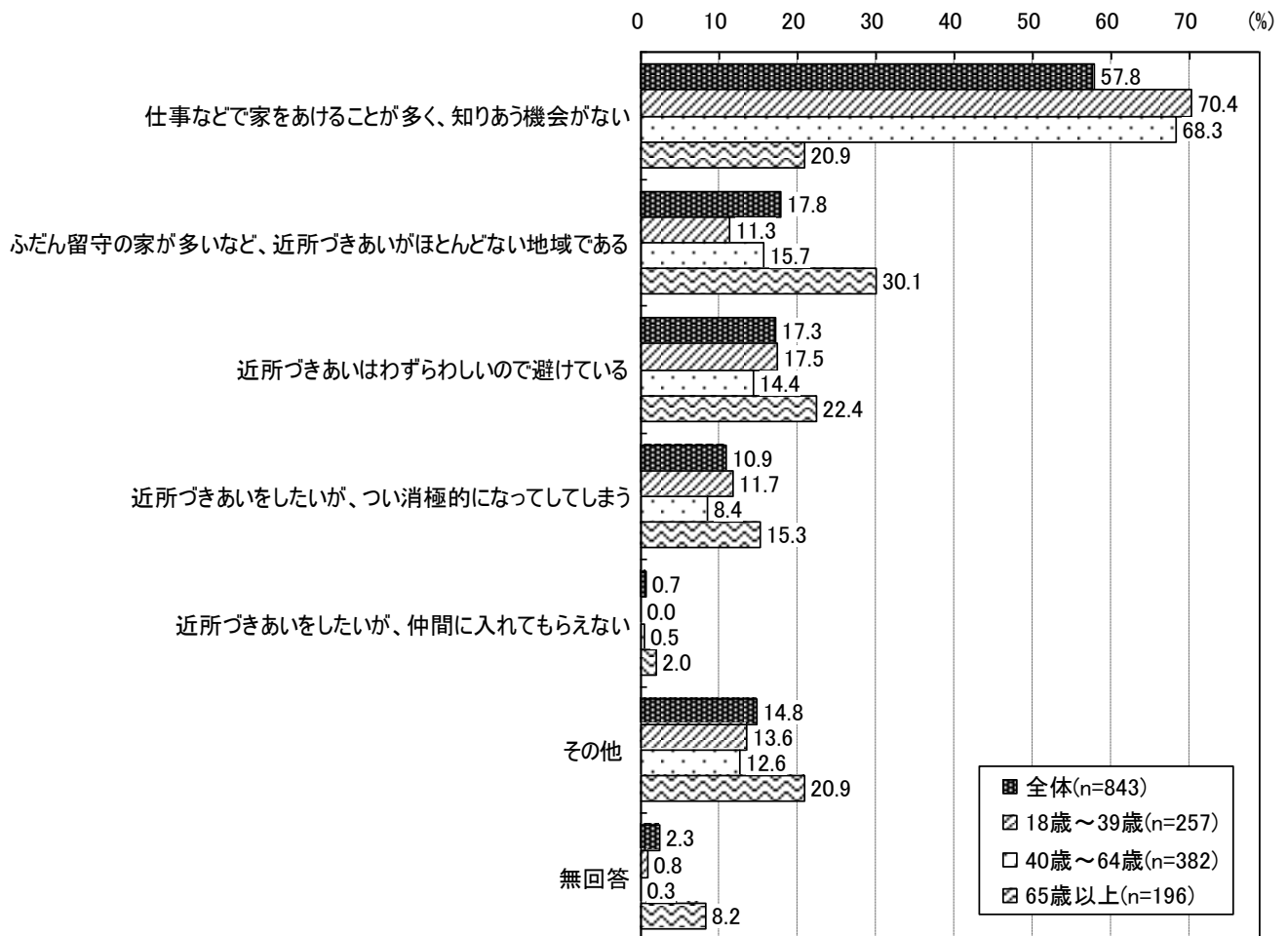
- ・「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」が57.8%と、過半数を占めています。

《属性別》

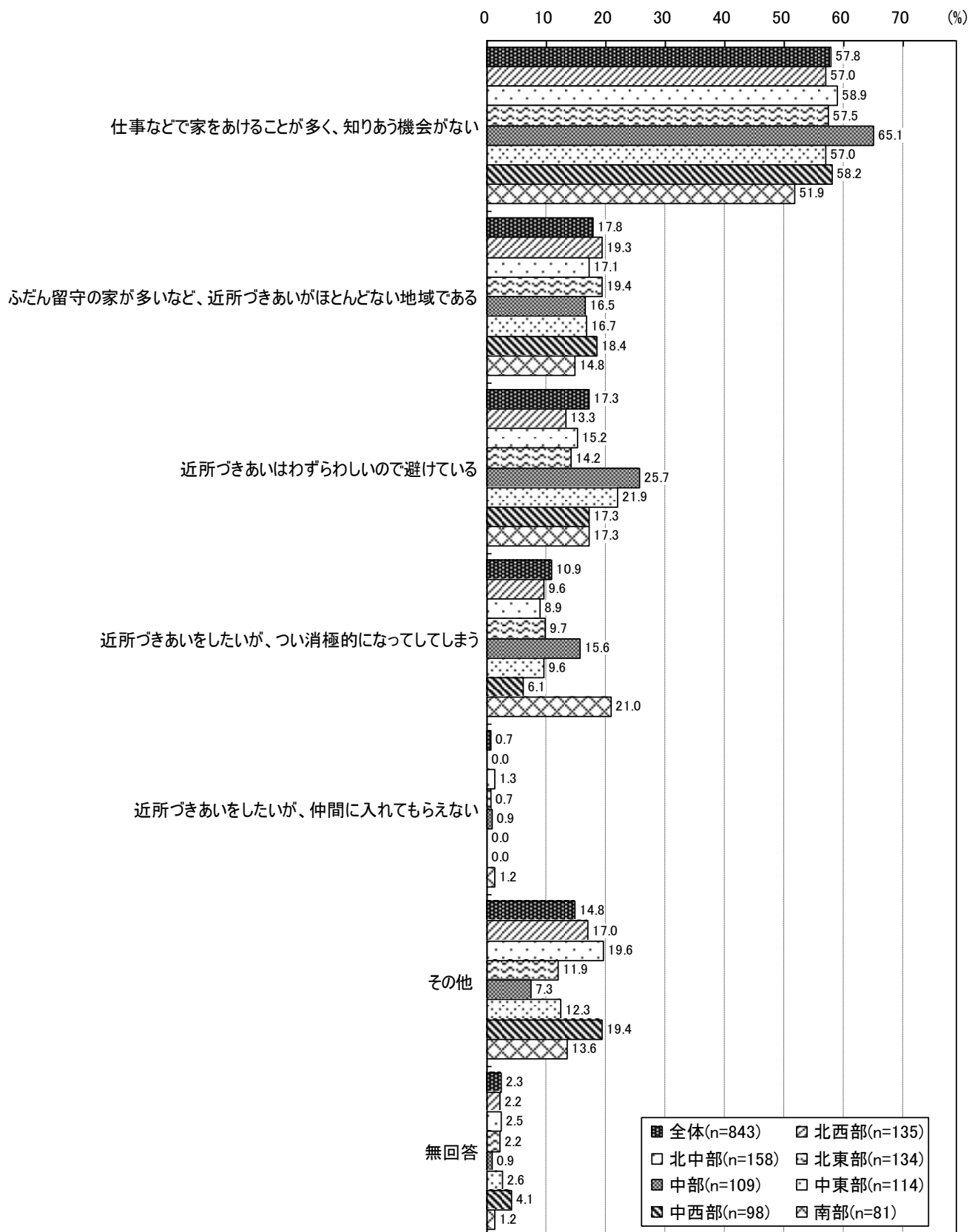
- ・性別に見ると、男性は「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」が70.5%ととりわけ高くなっています。



- ・年齢別に見ると、「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」は18歳から64歳にかけて70%前後を占めるのに対し、65歳以上では「ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない地域である」が30.1%を占めています。



- ・地域別に見ると、中部で「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」が65.1%、「近所づきあいはわずらわしいので避けている」が25.7%と多く見られます。



問7 この5年間に、住んでいる地域で行われている活動に参加しましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

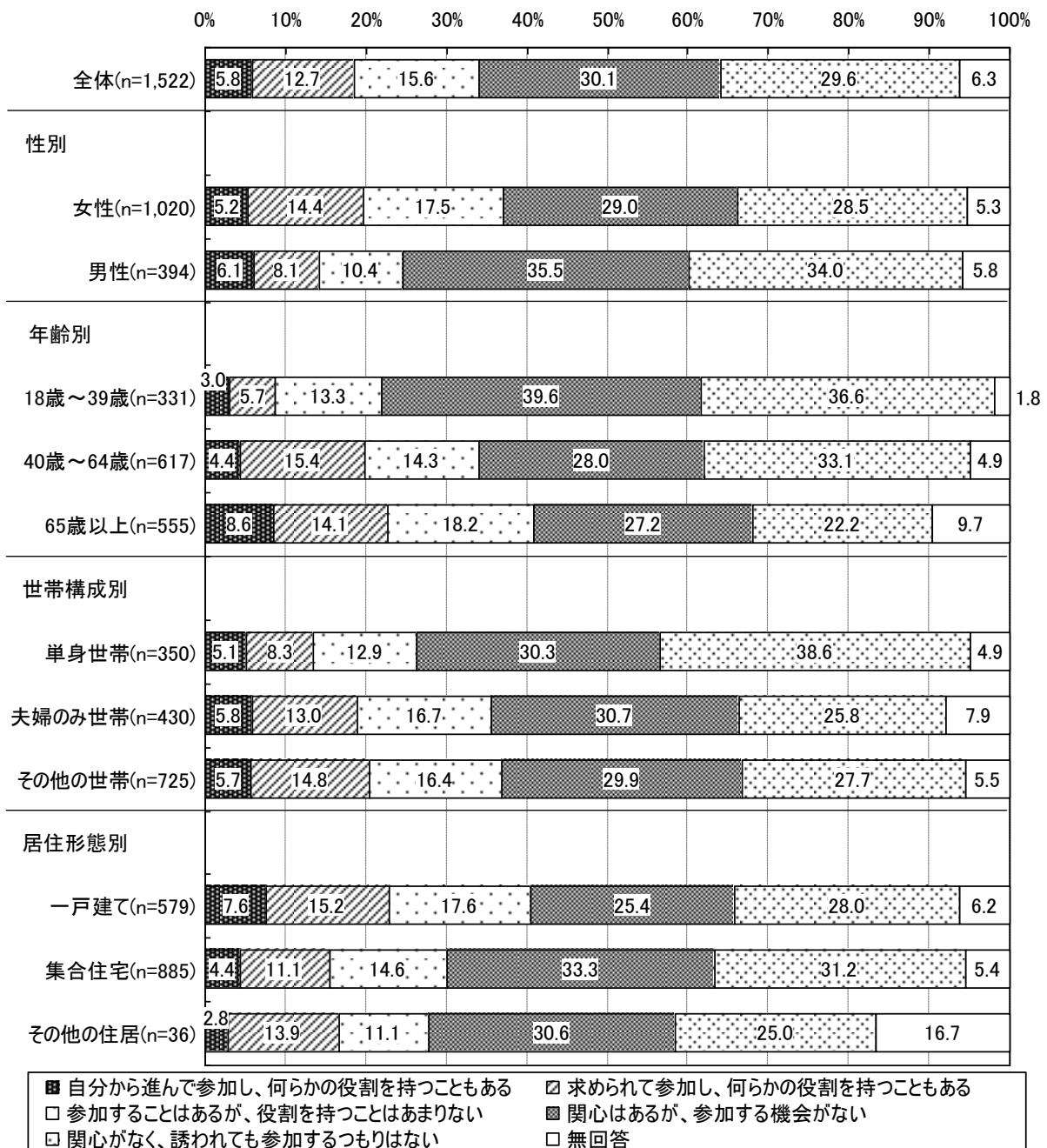
《概要》

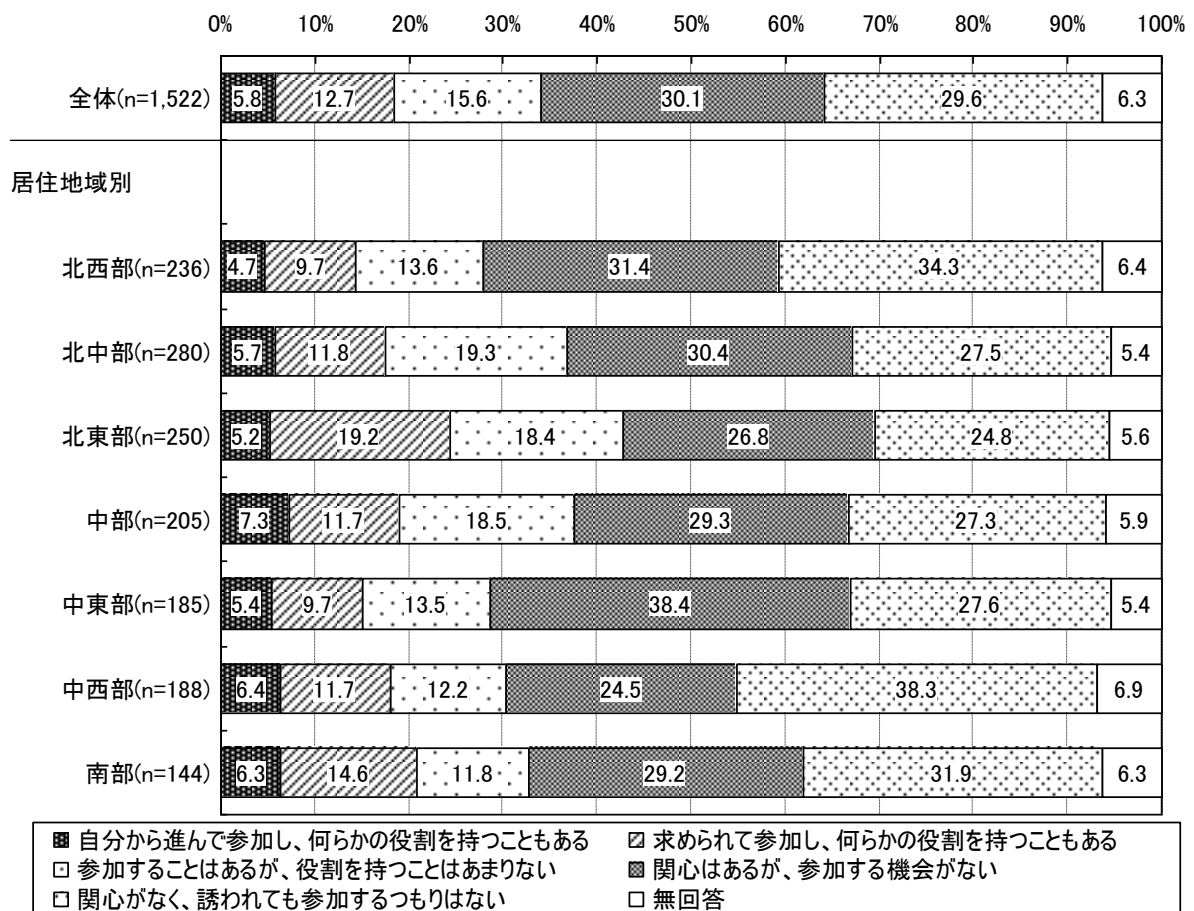
・「関心はあるが、参加する機会がない」が30.1%と最も多く、次いで「関心がなく、誘われても参加するつもりはない」が29.6%と、地域活動に参加していない人が59.7%を占めています。

《属性別》

・地域活動に参加経験のある人*は、65歳以上で40.9%と年齢が高いほど多く見られます。また、北東部（42.8%）や一戸建て（40.4%）で多くなっています。

*「自分から進んで参加し、何らかの役割を持つこともある」「求められて参加し、何らかの役割を持つこともある」「参加することはあるが、役割を持つことはあまりない」の合計





※問7で「1 自分から進んで参加し、何らかの役割を持つこともある」「2 求められて参加し、何らかの役割を持つこともある」「3 参加することはあるが、役割を持つことはあまりない」と答えた人に対する質問

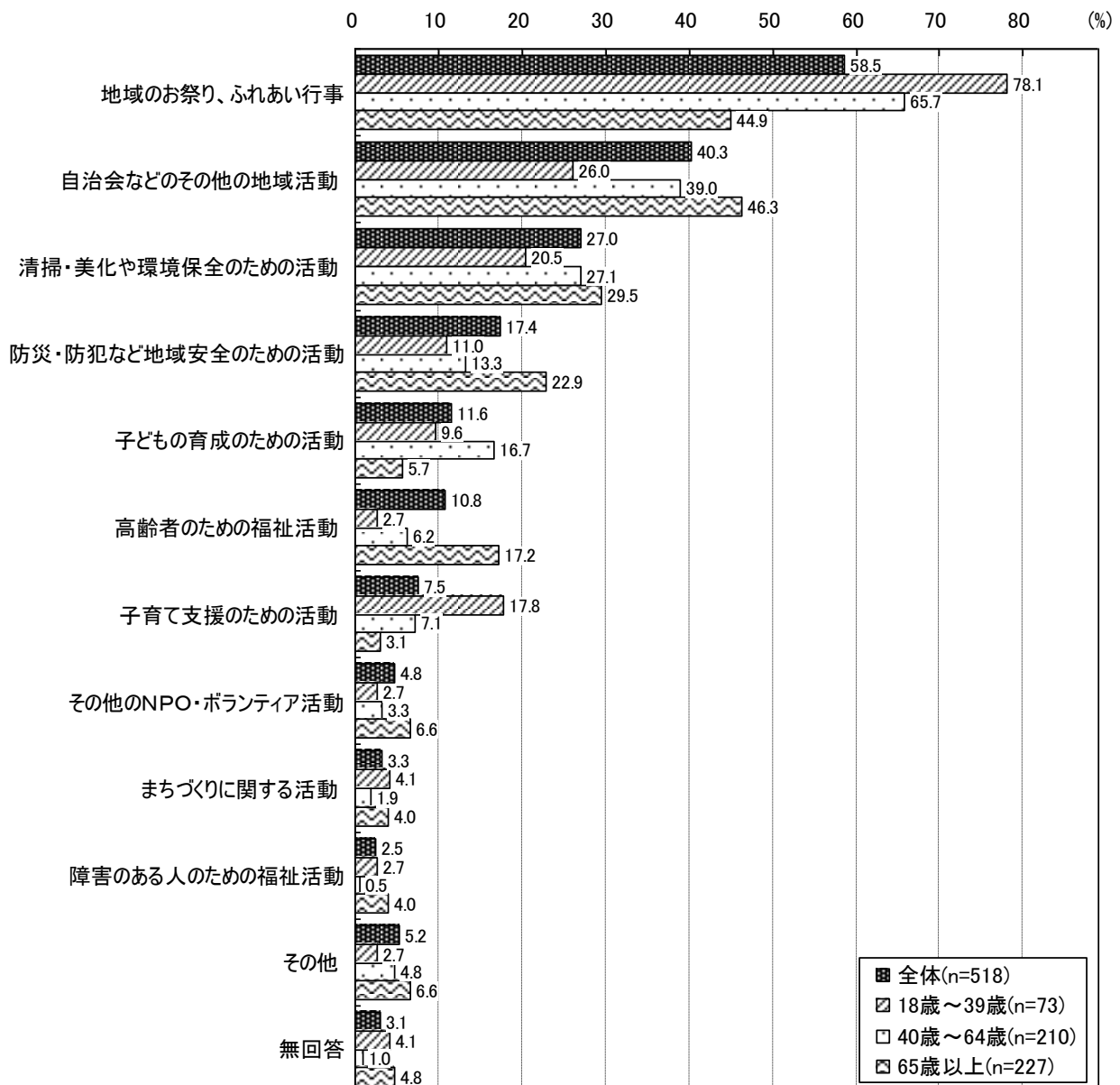
問7付問1 あなたが、この5年間に参加したことのある活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

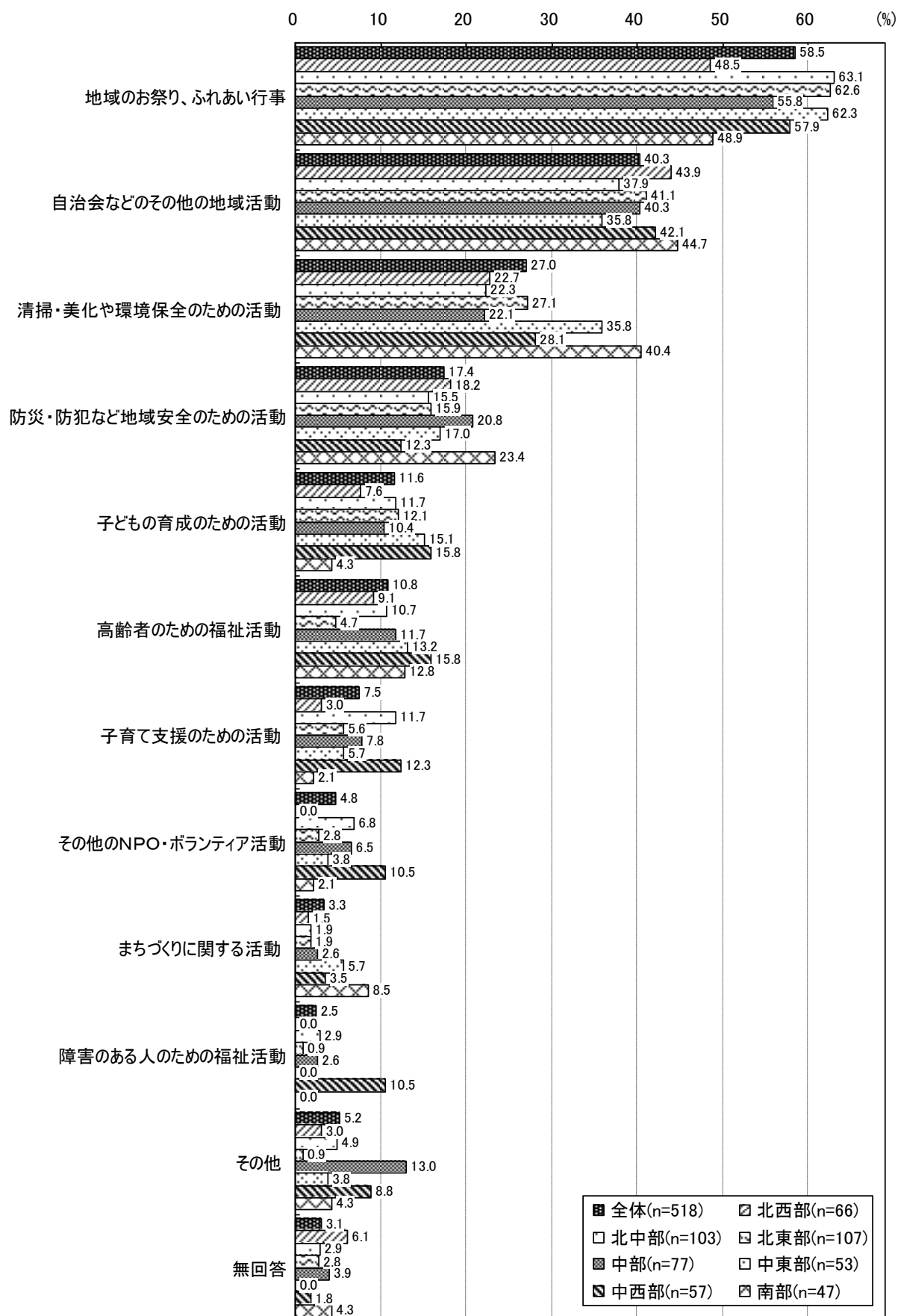
- ・過去に参加したことのある活動は、「地域のお祭り、ふれあい行事」が58.5%と最も多く、次いで「自治会などのその他の地域活動」が40.3%となっています。

《属性別》

- ・年齢別に見ると、「地域のお祭り、ふれあい行事」や「子育て支援のための活動」は年齢が若いほど多く、「自治会などのその他の地域活動」や「清掃・美化や環境保全のための活動」「防災・防犯など地域安全のための活動」「高齢者のための福祉活動」などは年齢が高いほど多く見られます。



・地域別に見ると、「清掃・美化や環境保全のための活動」は、南部で40.4%、中東部で35.8%と多くなっています。



※問7で「1 自分から進んで参加し、何らかの役割を持つこともある」「2 求められて参加し、何らかの役割を持つこともある」「3 参加することはあるが、役割を持つことはあまりない」と答えた人に対しての質問

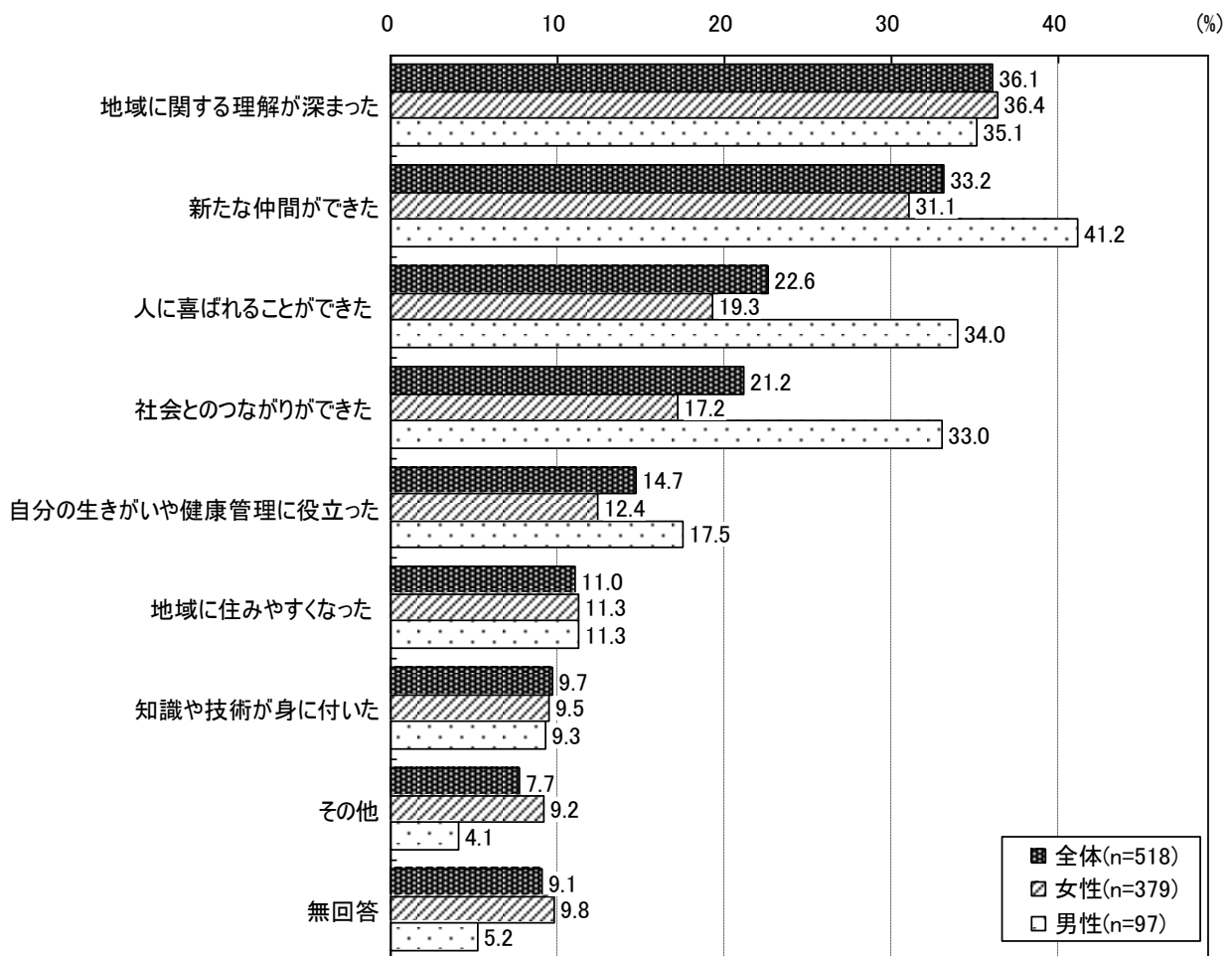
問7付問2 住んでいる地域の活動に参加して、良かったと感じることはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

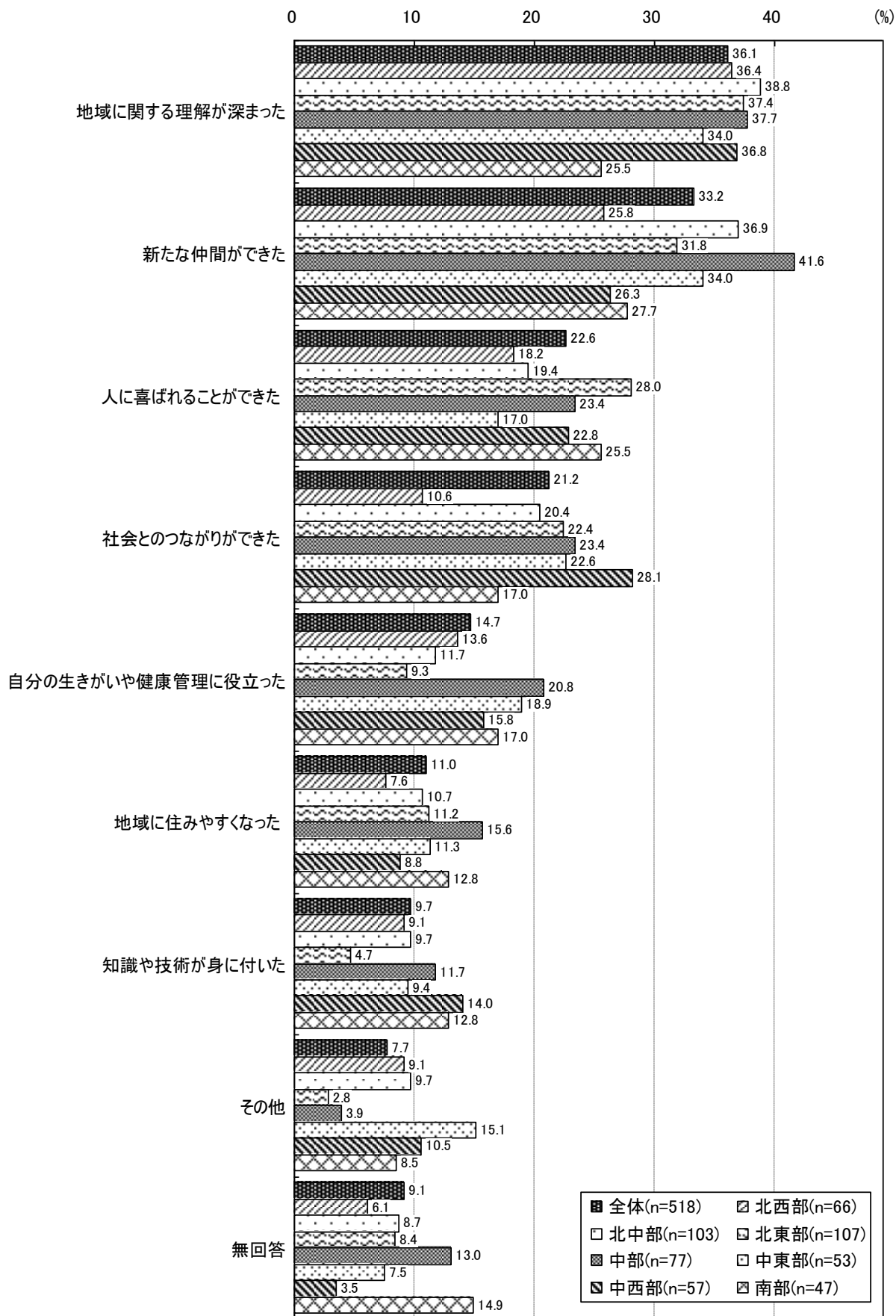
- ・「地域に関する理解が深まった」が36.1%と最も多く、次いで「新たな仲間ができた」が33.2%、「人に喜ばれることができた」が22.6%、「社会とのつながりができた」が21.2%などとなっています。

《属性別》

- ・性別に見ると、男性で「新たな仲間ができた」「人に喜ばれることができた」「社会とのつながりができた」と答える人が女性を大きく上回っています。



・地域別に見ると、中部で「新たな仲間ができた」が41.6%と多くなっています。



※問7で「1 自分から進んで参加し、何らかの役割を持つこともある」「2 求められて参加し、何らかの役割を持つこともある」「3 参加することはあるが、役割を持つことはあまりない」と答えた人に対しての質問

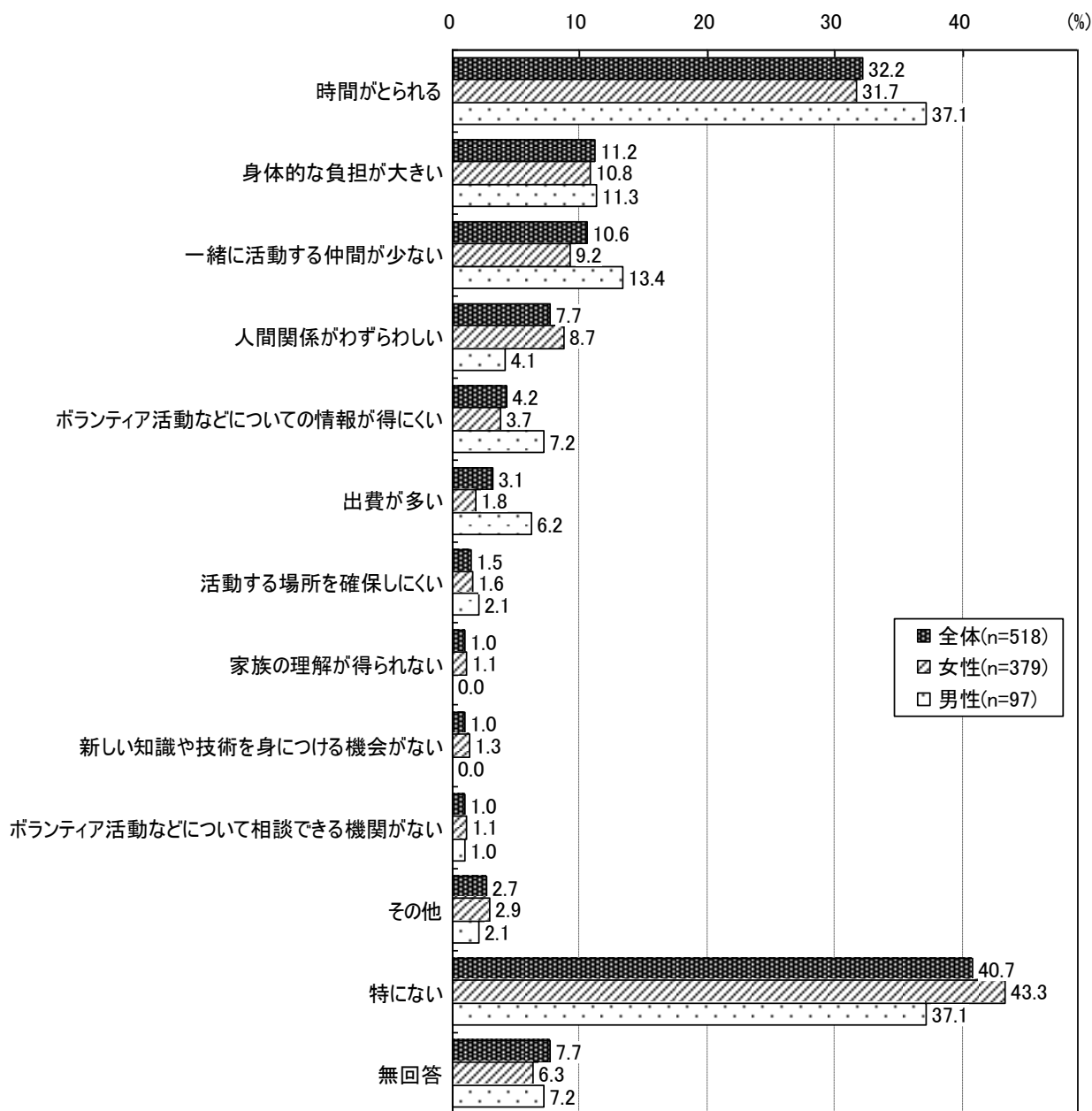
問7付問3 住んでいる地域の活動に参加して、何か負担に思ったことはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

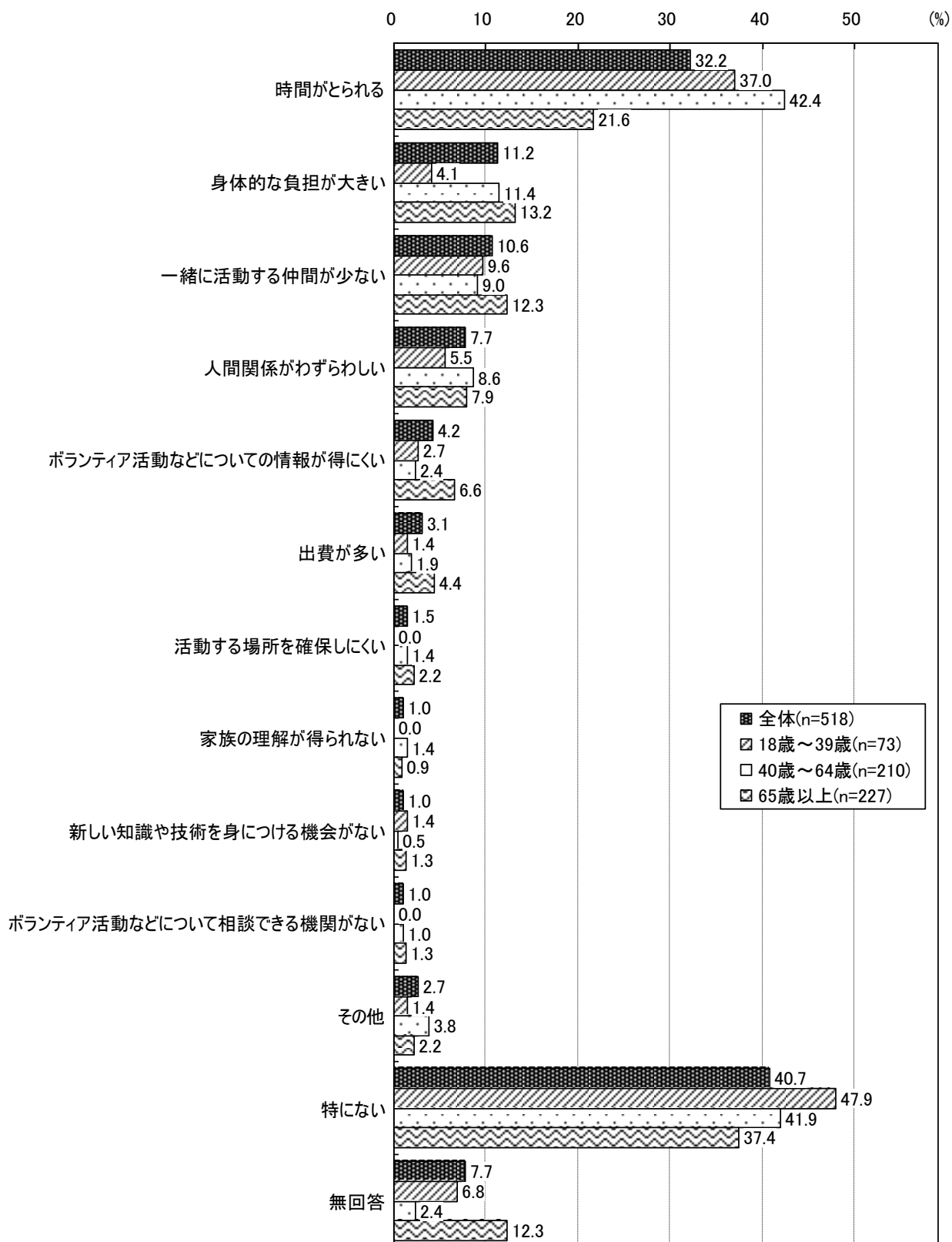
- ・「特にない」と「無回答」を除くと、地域活動に参加している人のうち、51.6%が何らかの負担を感じており、内容としては「時間がとられる」が32.2%と最も多くを占めています。

《属性別》

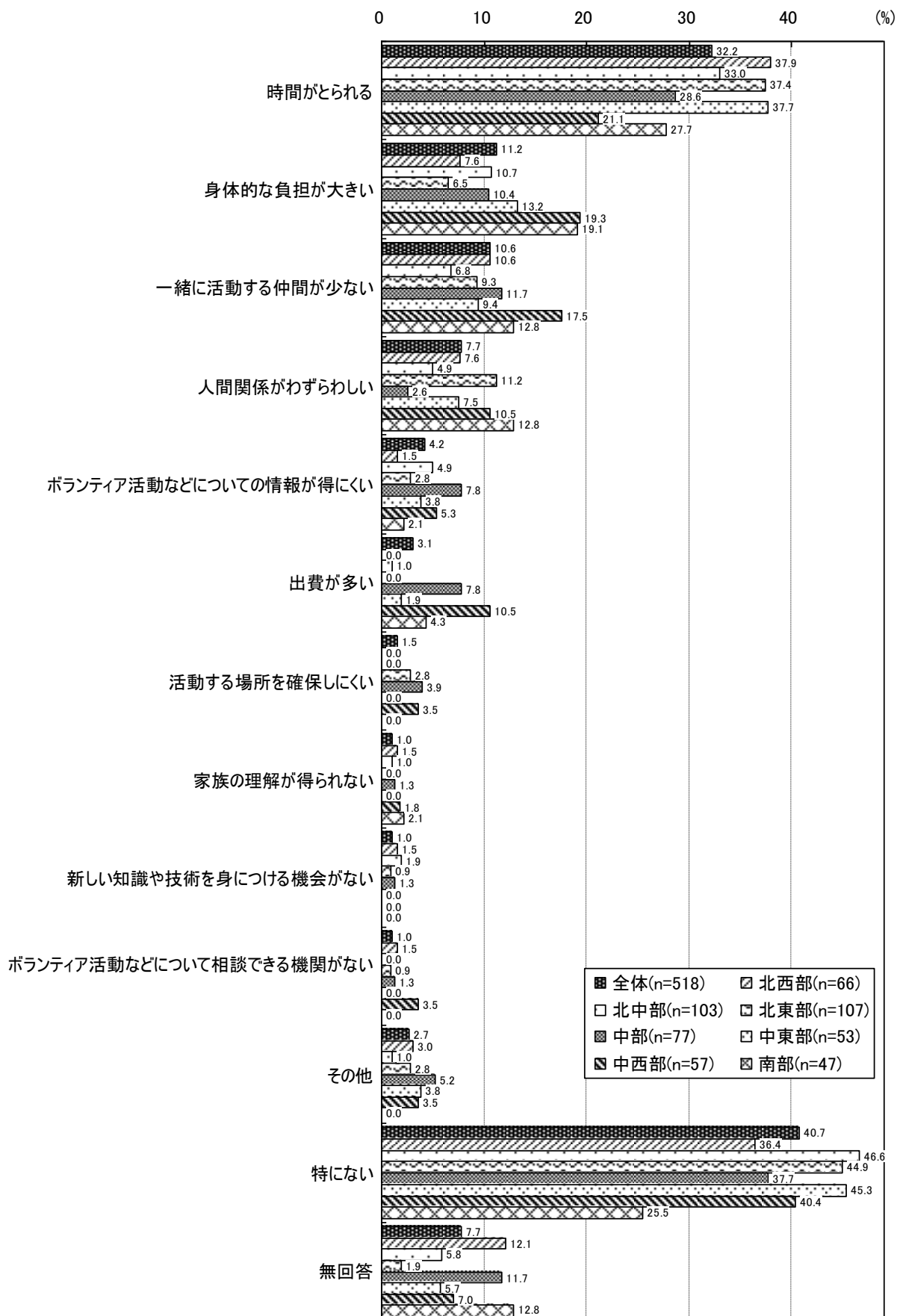
- ・性別に見ると、男性で「時間がとられる」が37.1%を占めています。



・年齢別に見ると、40歳から64歳で「時間がとられる」が42.4%と多く見られます。



・地域別に見ると、「身体的な負担が大きい」が中西部（19.3%）や南部（19.1%）で多く、「一緒に活動する仲間が少ない」が中西部で17.5%と多くなっています。



※問7で「4 関心はあるが、参加する機会がない」「5 関心がなく、誘われても参加するつもりはない」と答えた人に対する質問

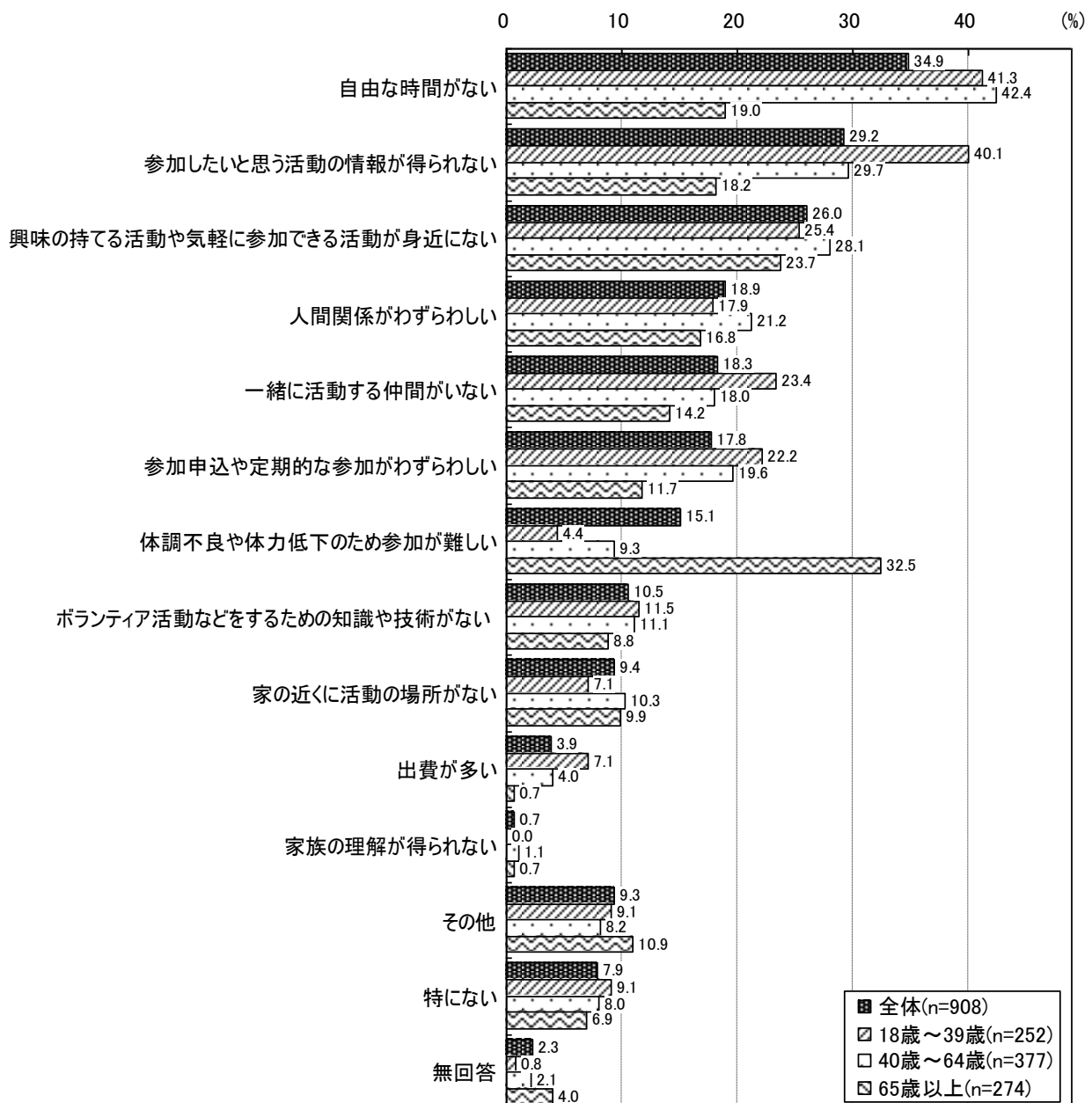
問7付問4 住んでいる地域の活動に参加しない、または参加できない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

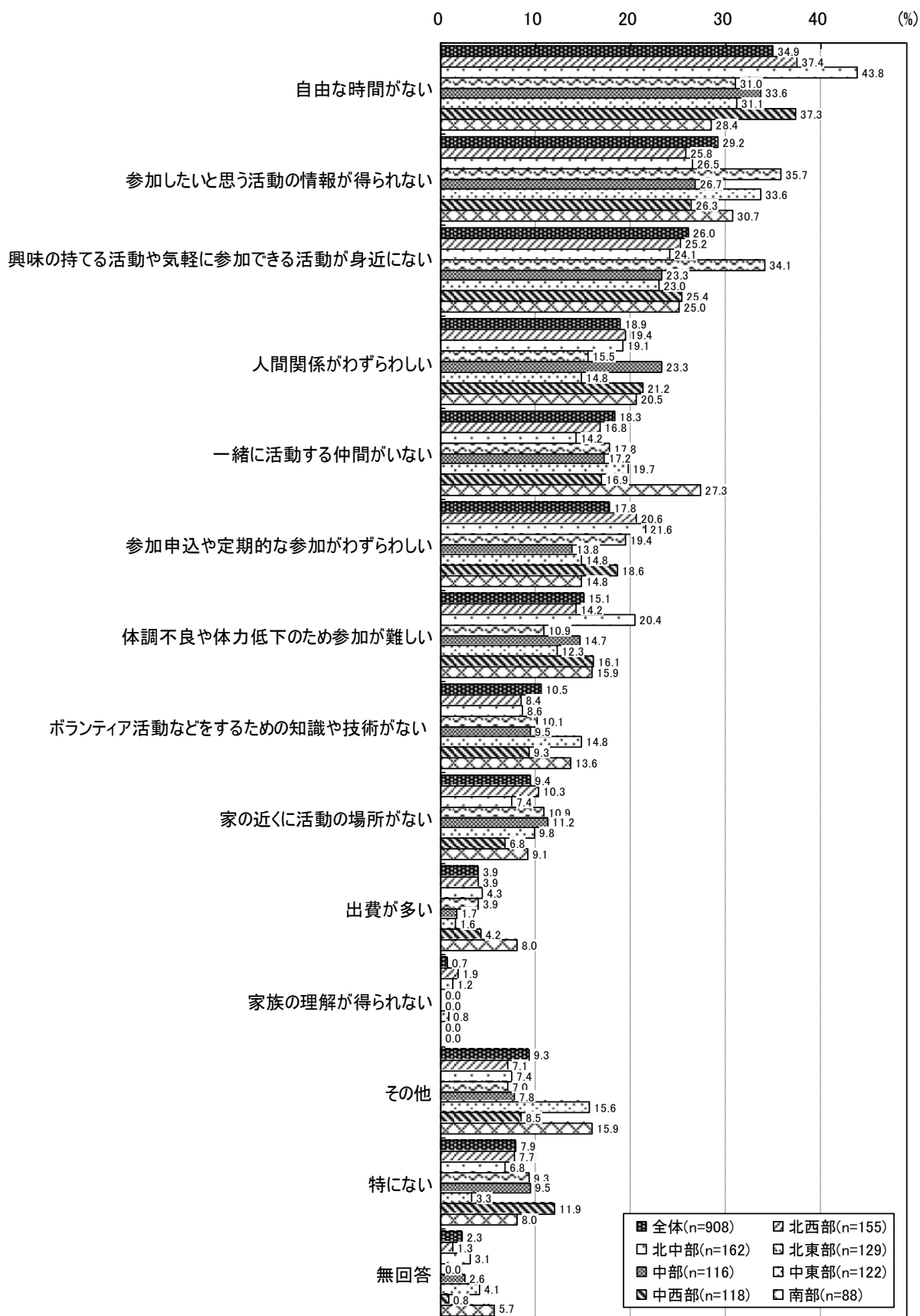
- ・「自由な時間がない」が34.9%と最も多く、次いで「参加したいと思う活動の情報が得られない」が29.2%、「興味を持てる活動や気軽に参加できる活動が身近にない」が26.0%となっています。

《属性別》

- ・年齢別に見ると、「自由な時間がない」は18歳から64歳にかけて、「参加したいと思う活動の情報が得られない」は18歳から39歳、「体調不良や体力低下のため参加が難しい」は65歳以上で回答割合が高くなっています。



・地域別に見ると、北中部で「自由な時間がない」が43.8%とひとときわ多いほか、北東部で「参加したいと思う活動の情報が得られない」が35.7%、「興味のある活動や気軽に参加できる活動が身近にない」が34.1%と多く見られます。



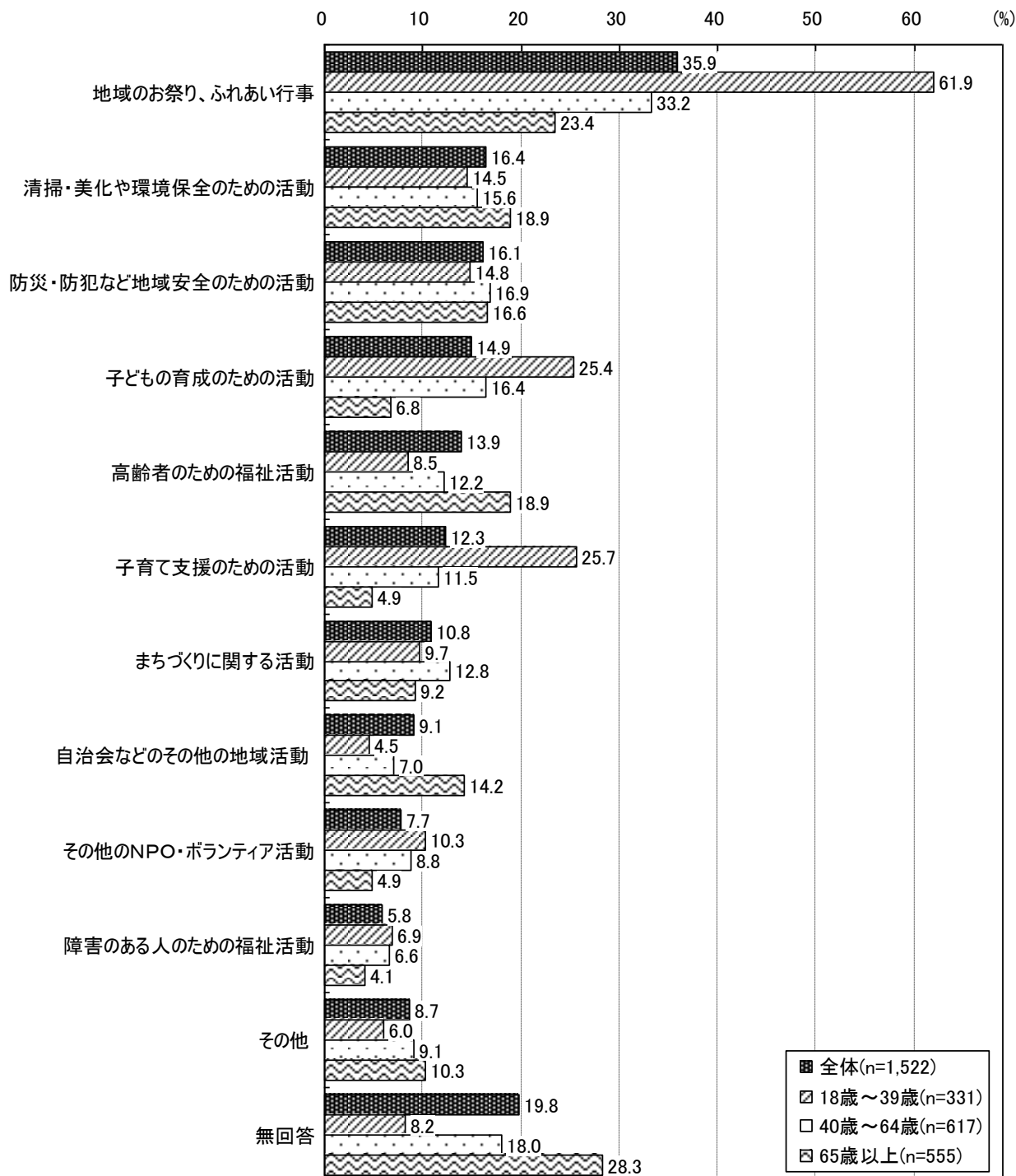
問8 今後参加してみたいと思う活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

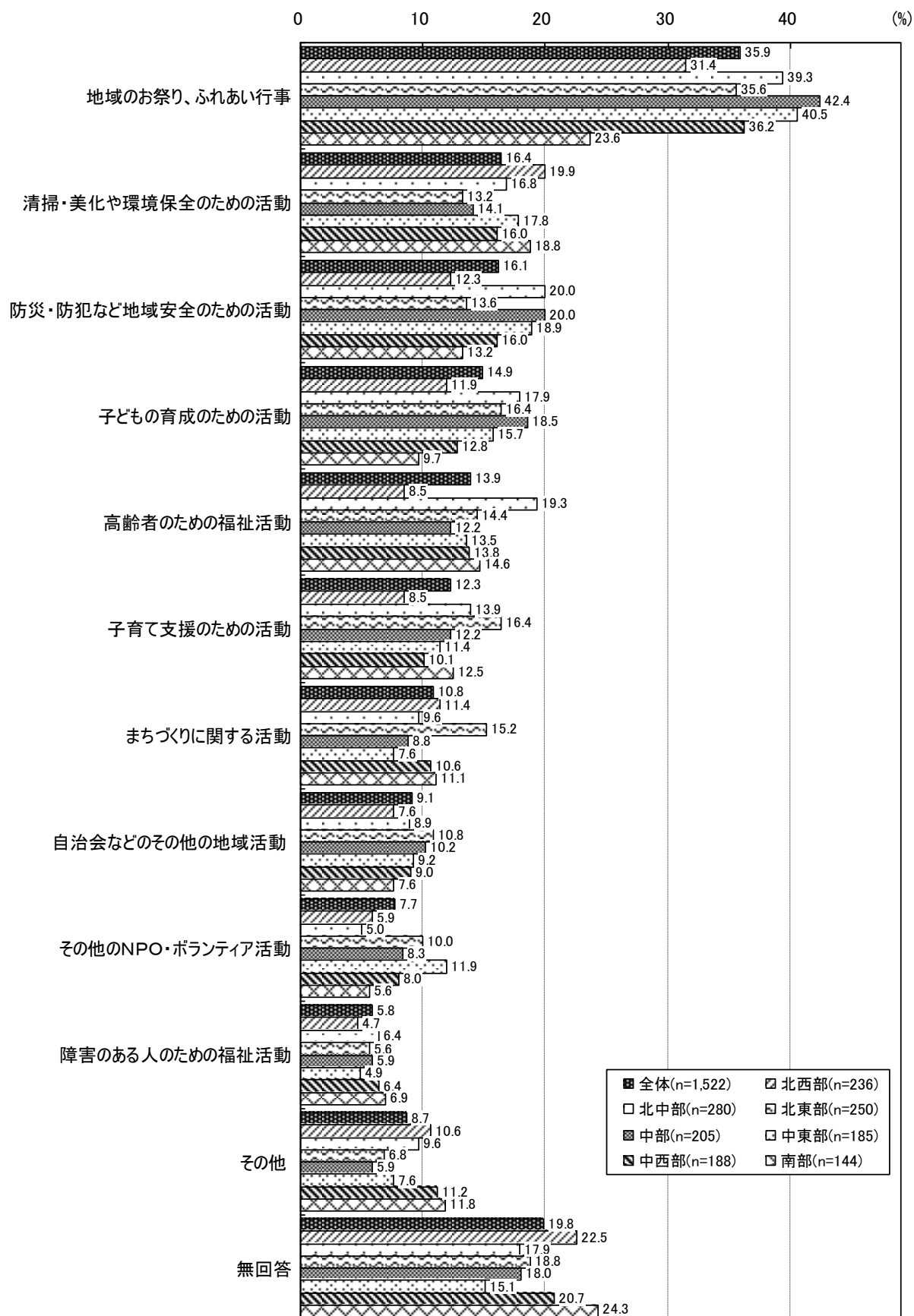
・「地域のお祭り、ふれあい行事」が35.9%と最も多くなっています。

《属性別》

・年齢別に見ると、18歳から39歳で「地域のお祭り、ふれあい行事」が61.9%を占めるほか、「子育て支援のための活動」が25.7%、「子どもの育成のための活動」が25.4%となっています。



・地域別に見ると、「地域のお祭り、ふれあい行事」が中部で42.4%、中東部で40.5%と多く見られるほか、北中部で「高齢者のための福祉活動」が19.3%とやや高くなっています。



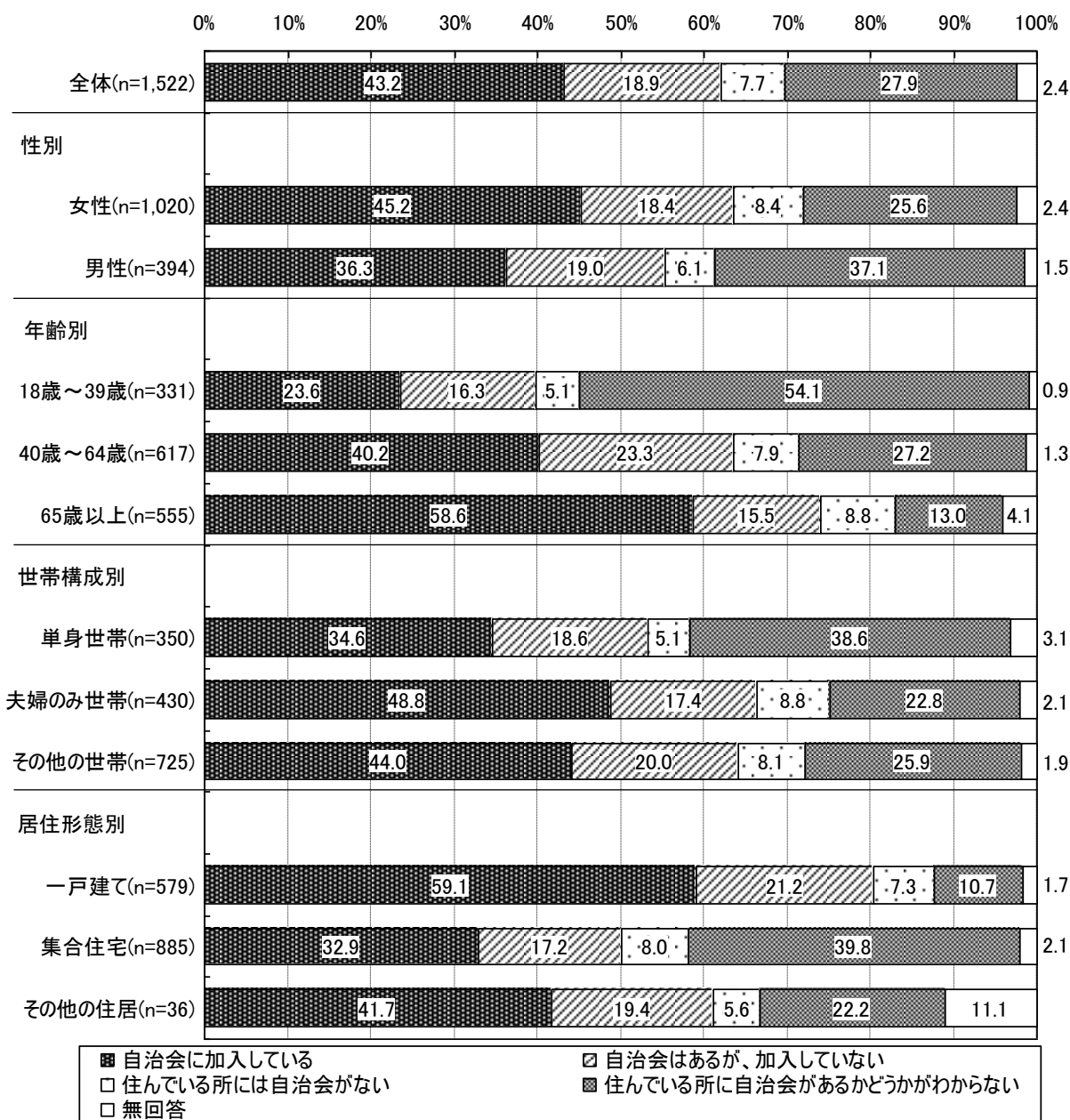
問9 地域の自治会に加入していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

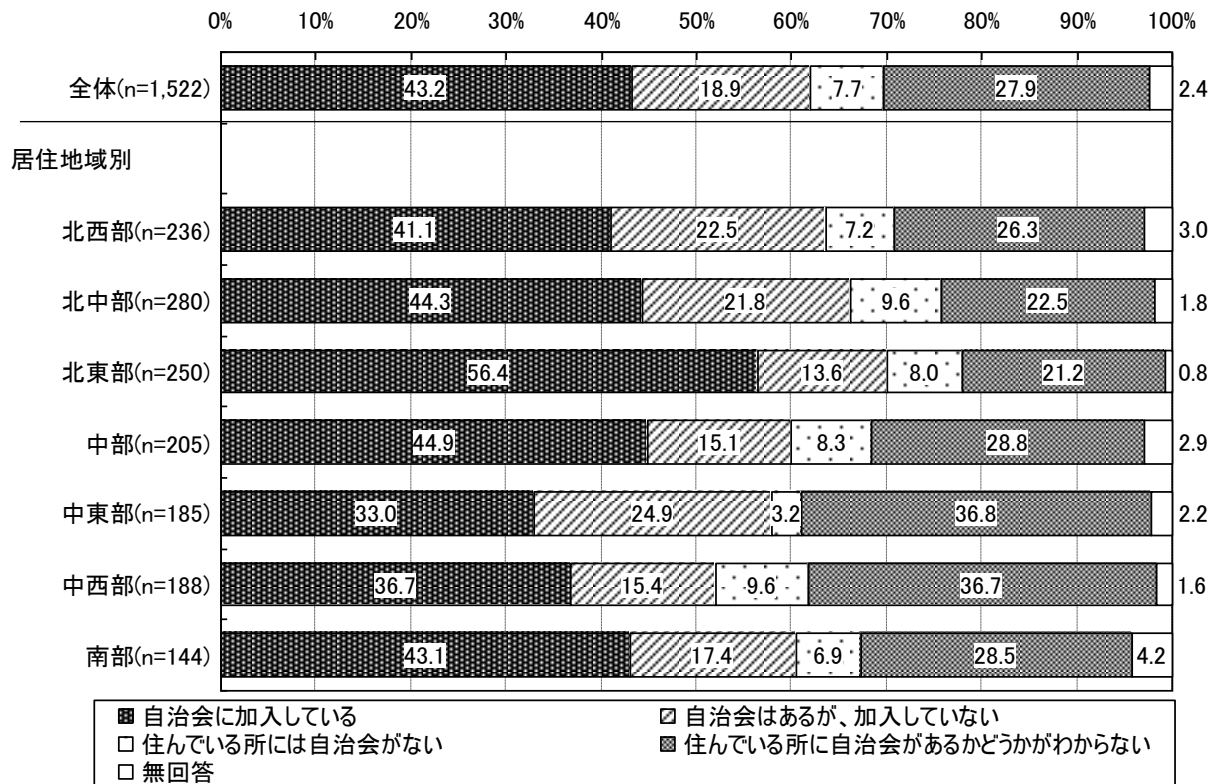
《概要》

・「自治会に加入している」が43.2%を占める一方、「住んでいる所に自治会があるかどうか分からない」が27.9%、「自治会はあるが、加入していない」が18.9%となっています。

《属性別》

・「自治会に加入している」との回答が多い属性は、65歳以上（58.6%）、一戸建て（59.1%）、北東部（56.4%）などとなっています。
 ・18歳から39歳では「住んでいる所に自治会があるかどうか分からない」が54.1%を占めています。





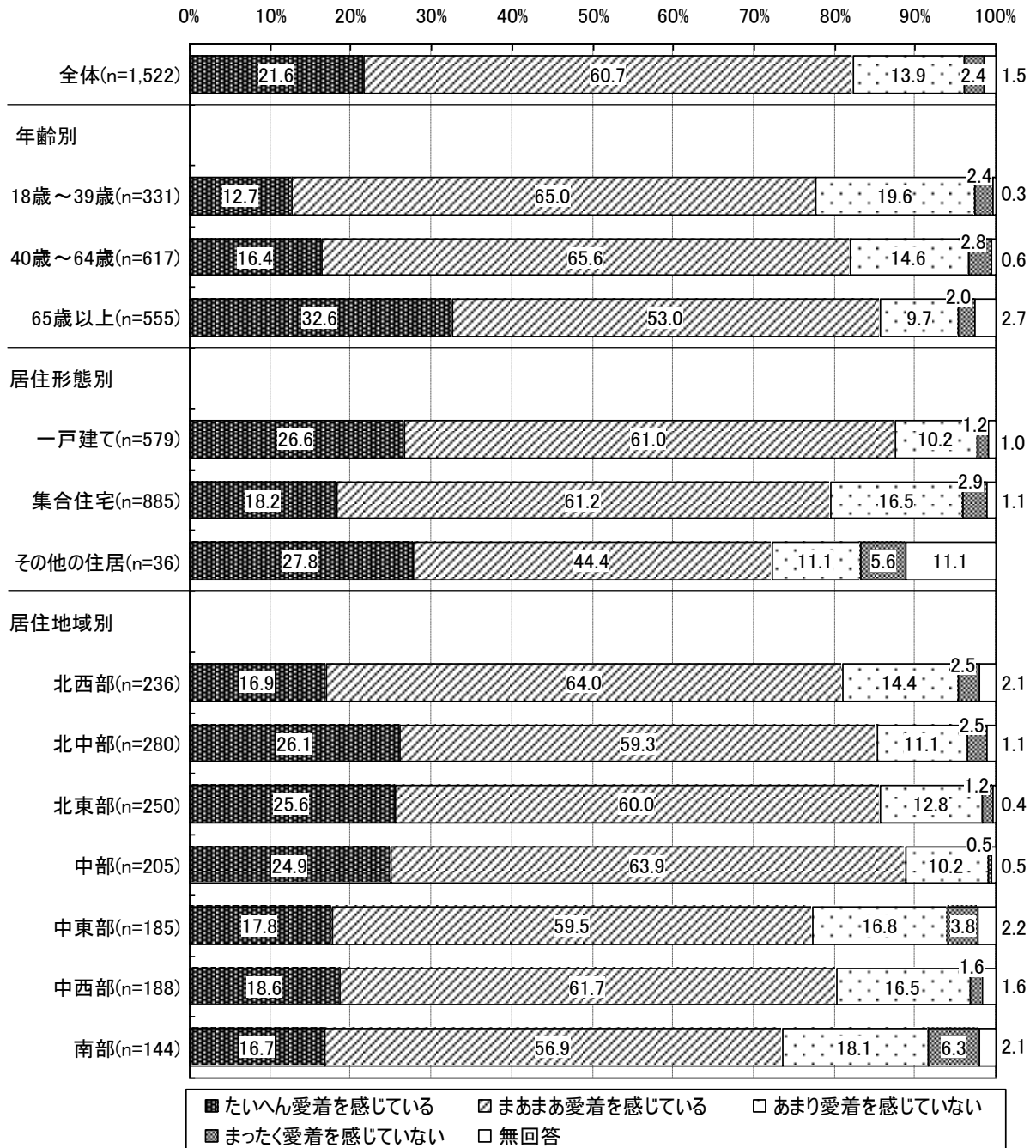
問10 現在住んでいる地域に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「たいへん愛着を感じている」が21.6%、「まあまあ愛着を感じている」が60.7%と、合わせて82.3%が地域に愛着があると感じています。

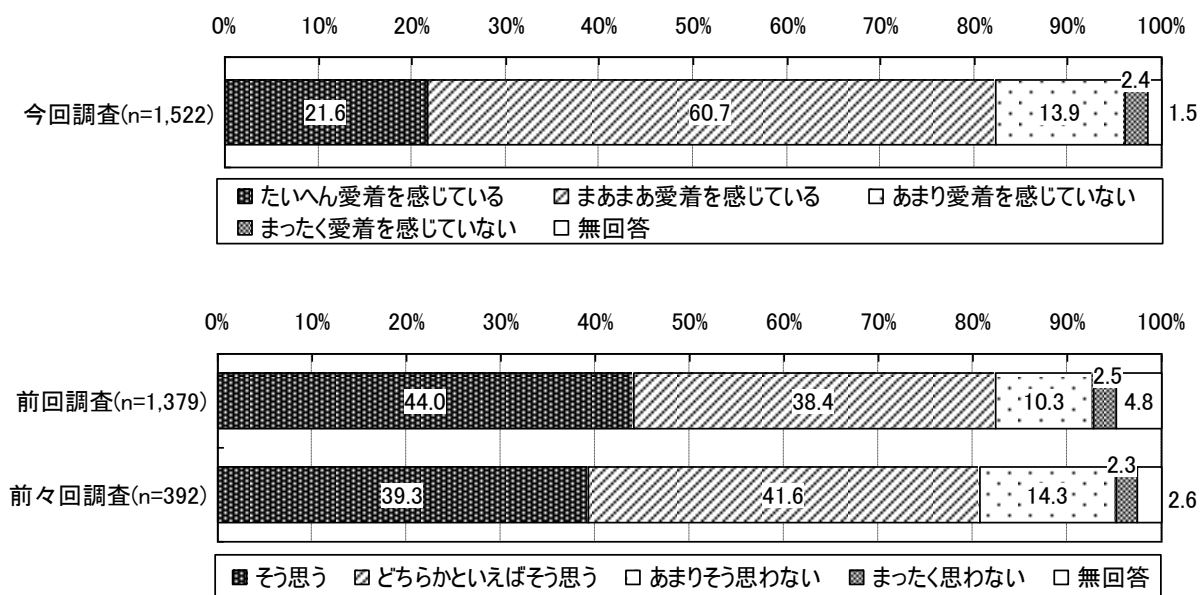
《属性別》

・65歳以上で「たいへん愛着を感じている」が32.6%と多くなっています。



《時系列比較》

・ 選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、回答傾向は前回調査、前々回調査と大きく変わりありません。



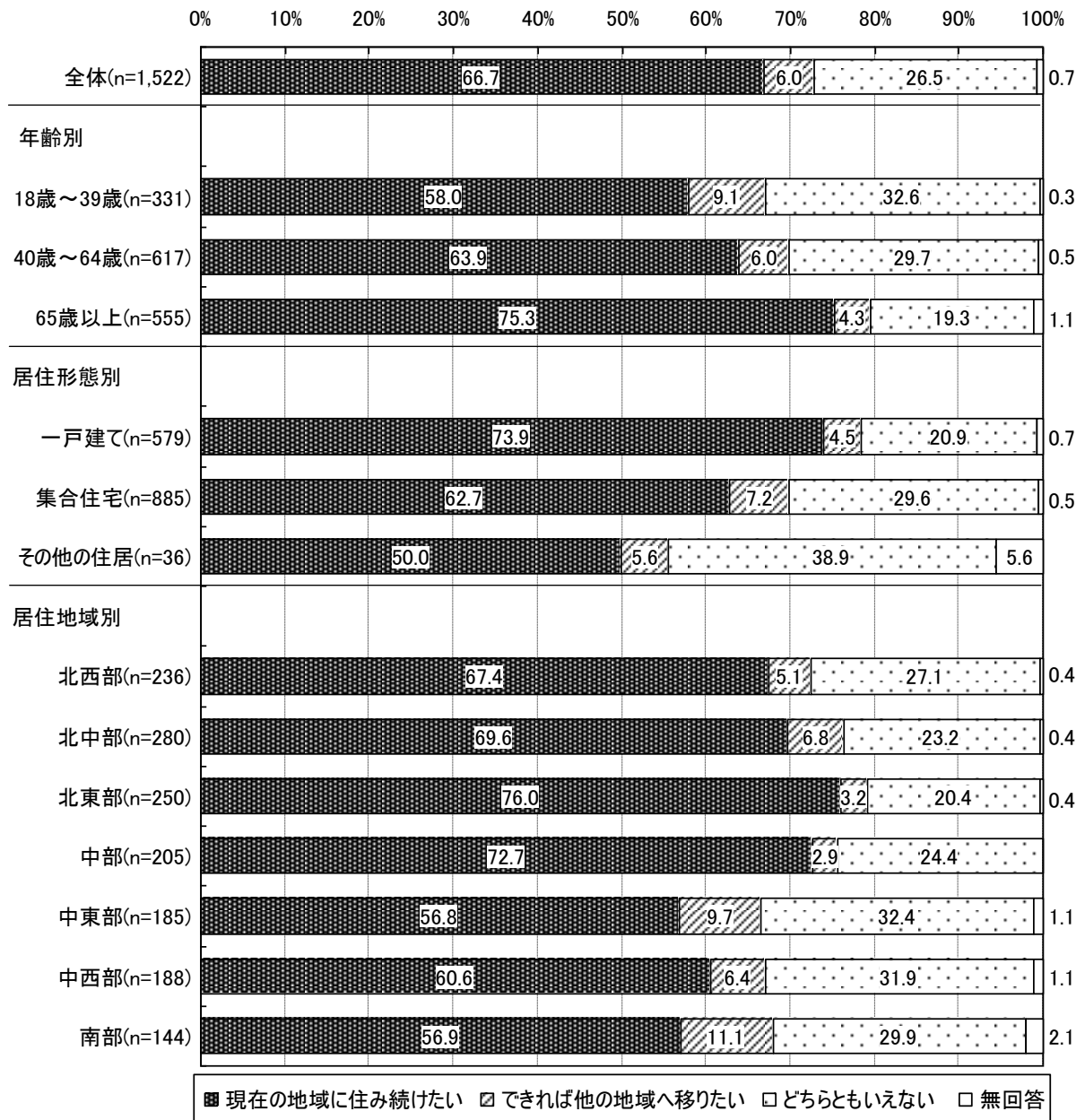
問11 現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「現在の地域に住み続けたい」が66.7%を占めています。

《概要》

- ・「現在の地域に住み続けたい」と答える人が多い属性は、北東部（76.0%）、65歳以上（75.3%）、一戸建て（73.9%）、中部（72.7%）などとなっています。
- ・南部で「できれば他の地域へ移りたい」と答える人が11.1%と他の地域よりやや多く見られます。



※問11で「1 現在の地域に住み続けたい」と答えた人に対する質問

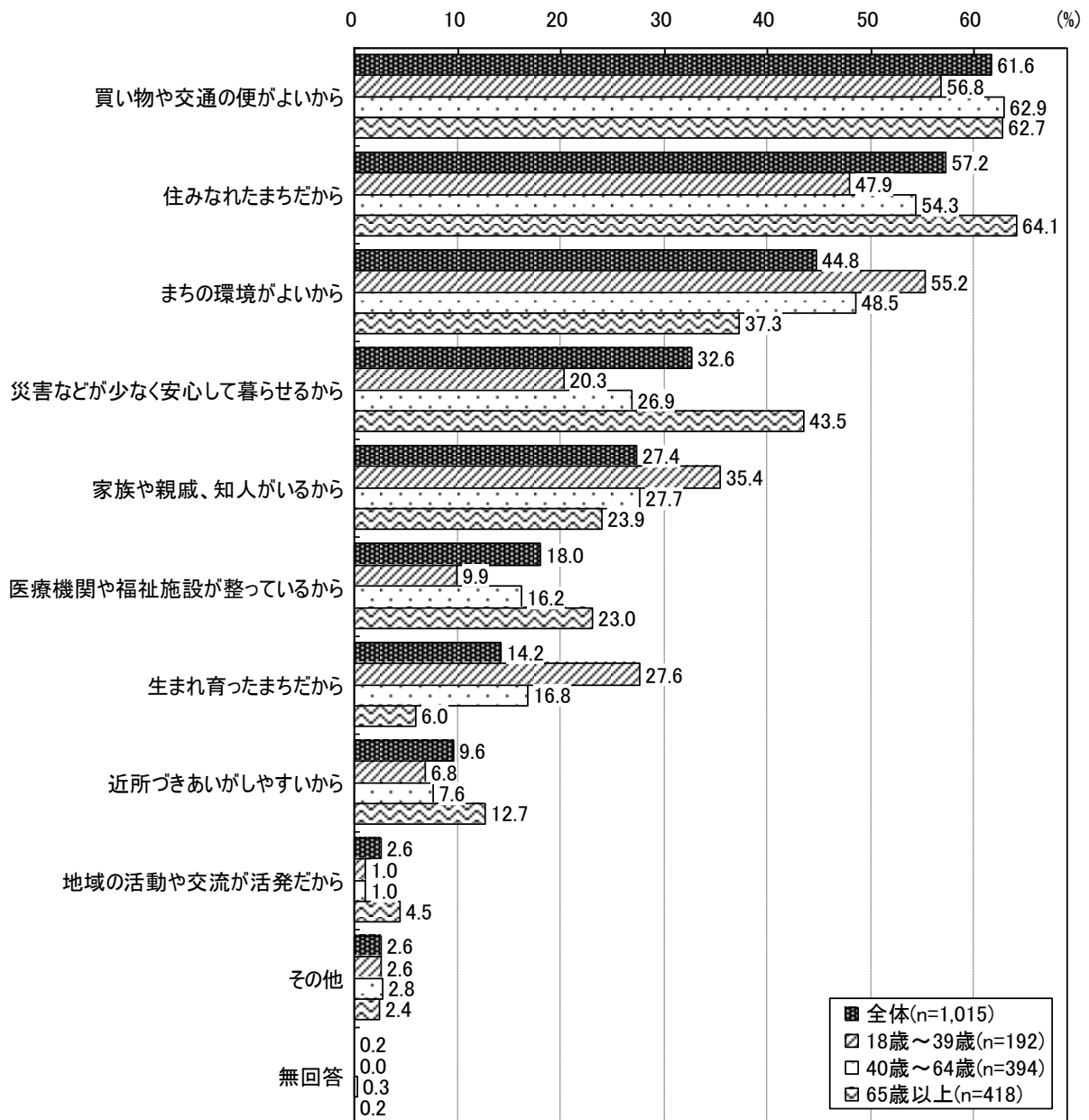
問11付問 現在の地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。お考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

《概要》

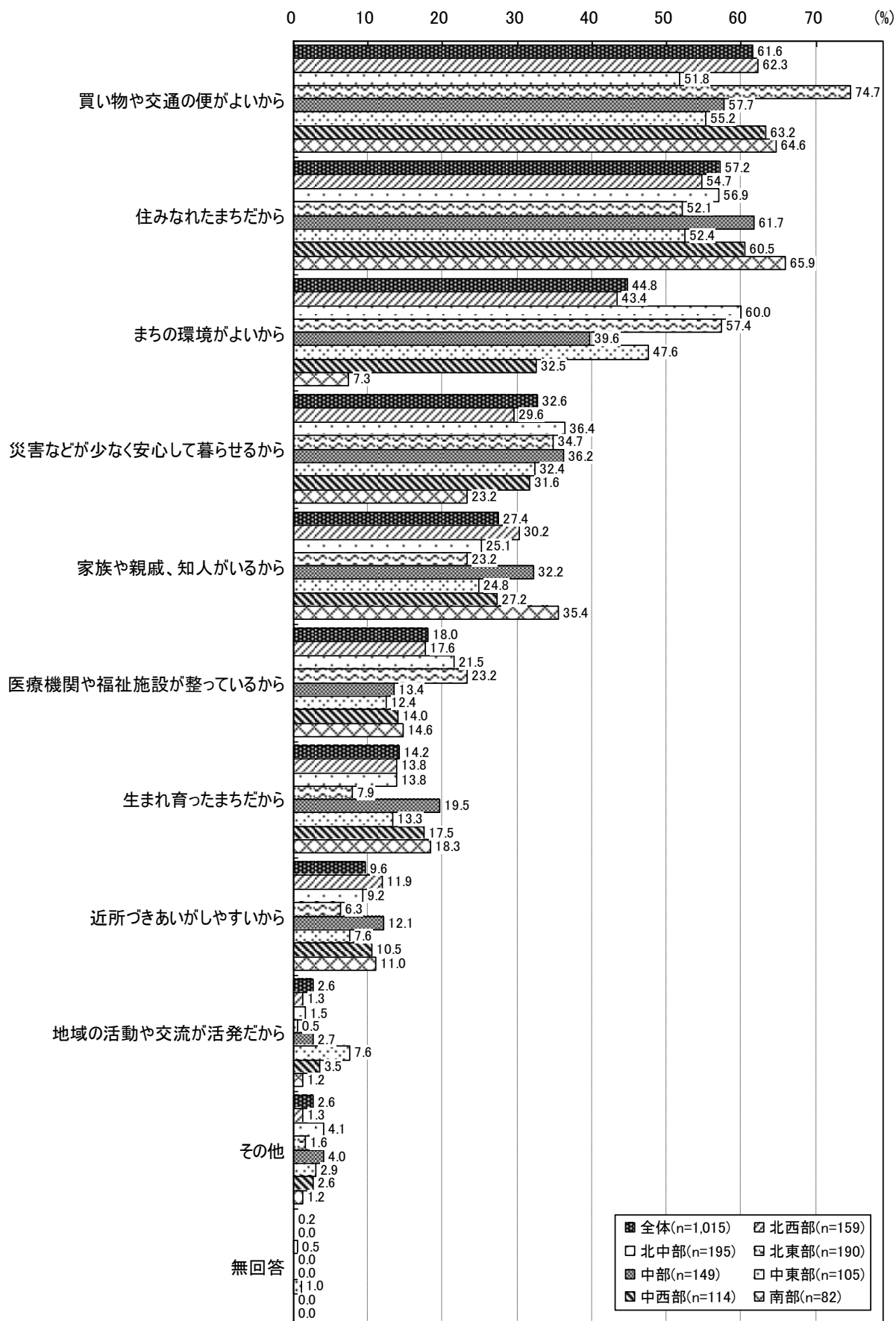
- ・「買い物や交通の便がよいから」が61.6%と最も多く、次いで「住みなれたまちだから」が57.2%、「まちの環境がよいから」が44.8%、「災害などが少なく安心して暮らせるから」が32.6%などとなっています。

《属性別》

- ・年齢別に見ると、「住みなれたまちだから」や「災害などが少なく安心して暮らせるから」、「医療機関や福祉施設が整っているから」は年齢が高くなるほど多く、「まちの環境がよいから」や「家族や親戚、知人がいるから」、「生まれ育ったまちだから」は年齢が低いほど多く見られます。



・地域別に見ると、「買い物や交通の便がよいから」は北東部（74.7%）で、「まちの環境がよいから」は北中部（60.0%）や北東部（57.4%）でそれぞれ多く見られます。



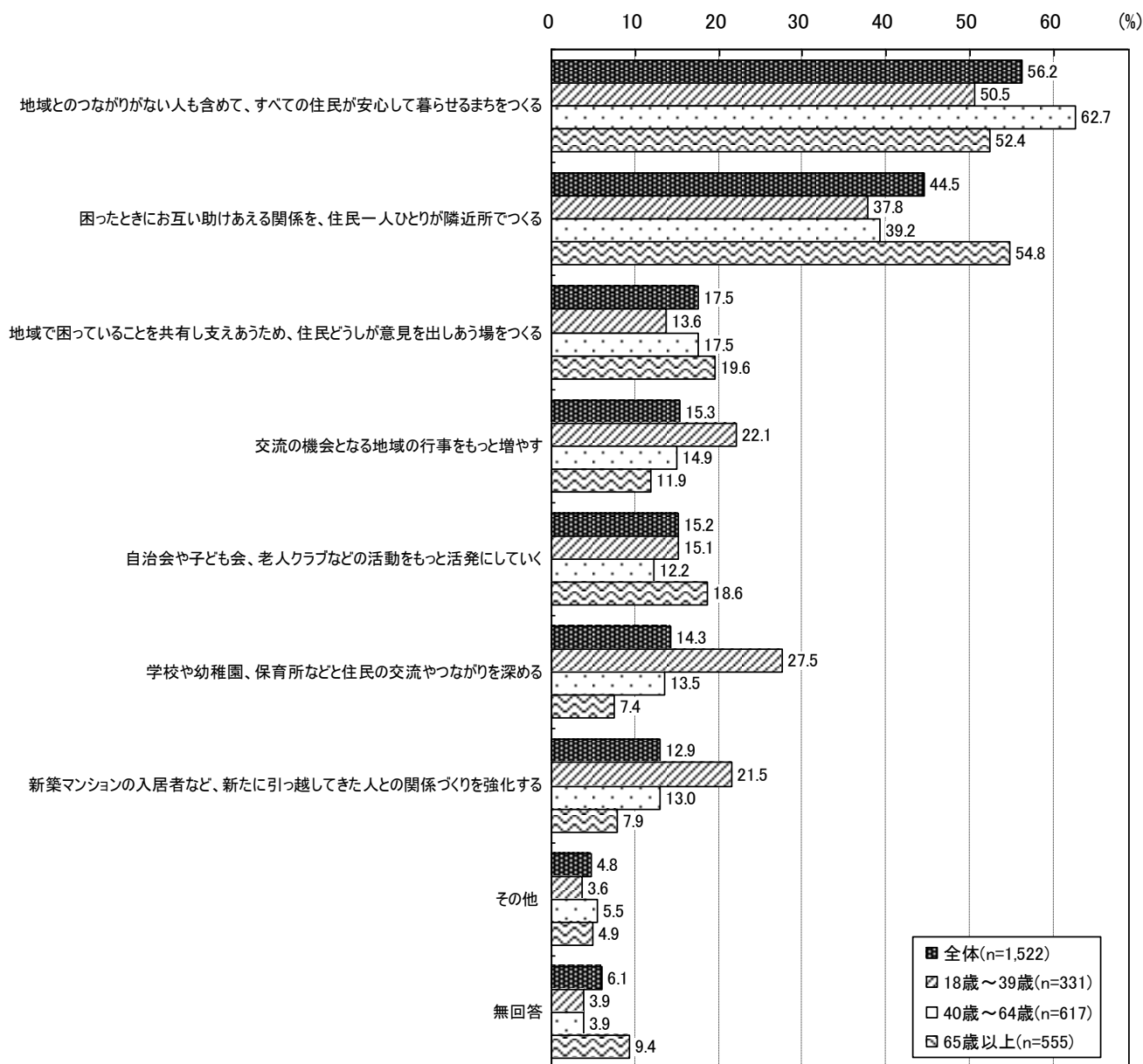
問12 今後、誰もが暮らしやすい地域をめざすにあたり、住民としてどのようなことに取り組めばよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

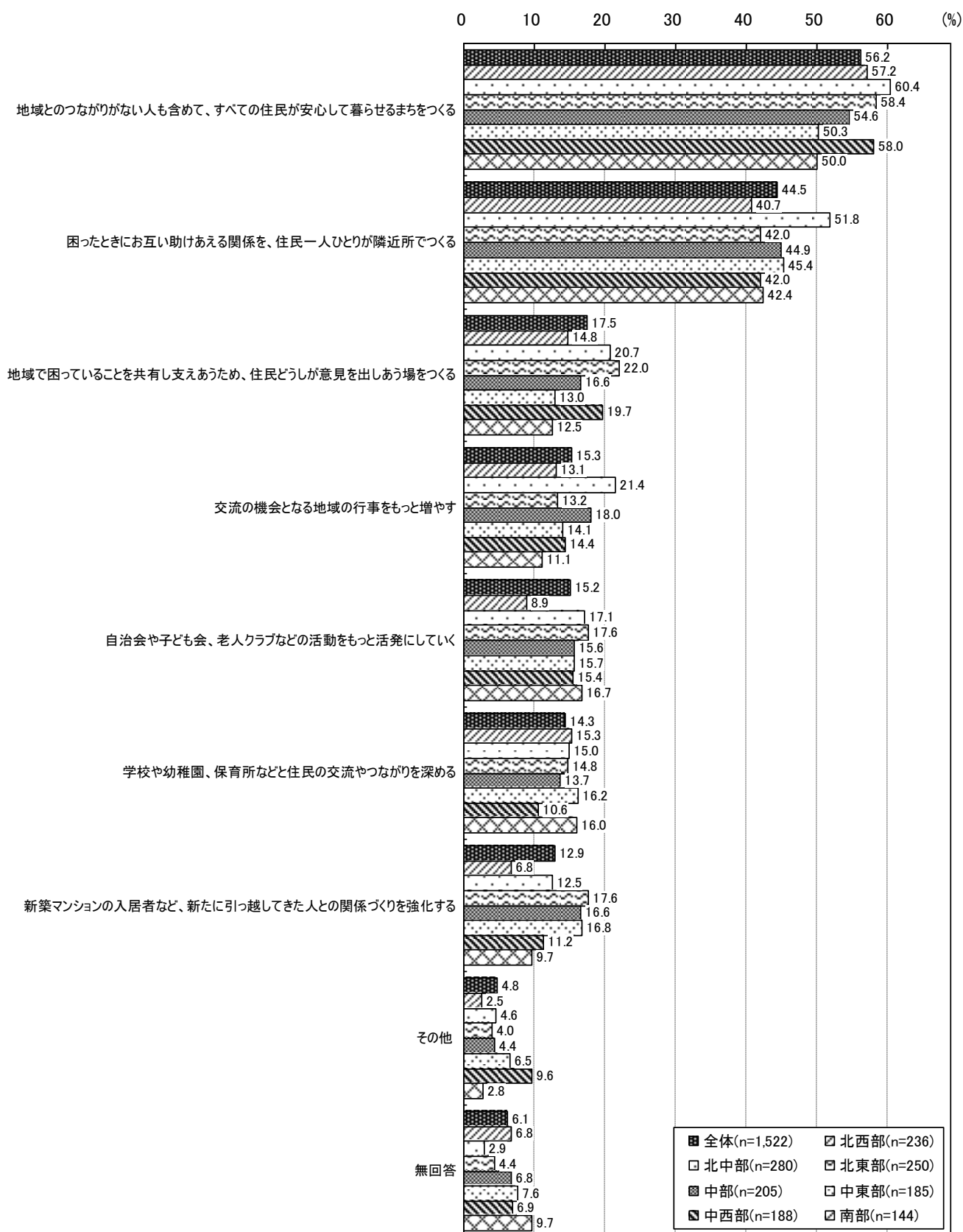
- ・「地域とのつながりがない人も含めて、すべての住民が安心して暮らせるまちをつくる」が56.2%と最も多く、次いで「困ったときにお互い助けあえる関係を、住民一人ひとりが隣近所で作る」が44.5%となっています。

《属性別》

- ・「地域とのつながりがない人も含めて、すべての住民が安心して暮らせるまちをつくる」は40歳から64歳で62.7%と多く見られます。
- ・「困ったときにお互い助けあえる関係を、住民一人ひとりが隣近所で作る」は65歳以上の54.8%、「学校や幼稚園、保育所などと住民の交流やつながりを深める」は18歳から39歳の27.5%とそれぞれ多く見られます。



・地域別に見ると、北中部で「困ったときにお互い助けあえる関係を、住民一人ひとりが隣近所で作る」(51.8%)や「交流の機会となる地域の行事をもっと増やす」(21.4%)、北東部で「地域で困っていることを共有し支えあうため、住民どうしが意見を出しあう場をつくる」(22.0%)が多く見られます。

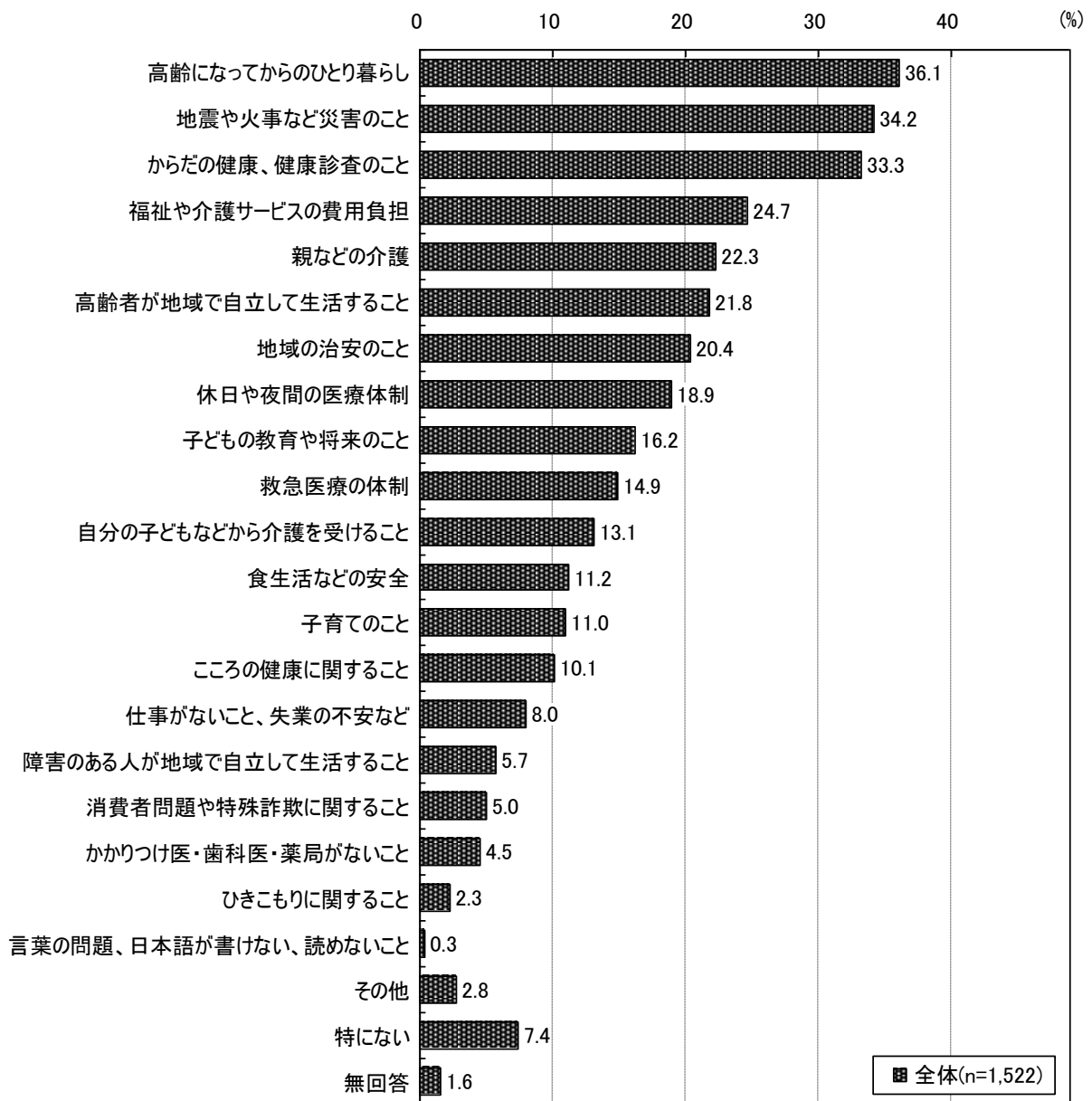


生活する上での課題や福祉サービスについて

問13 日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

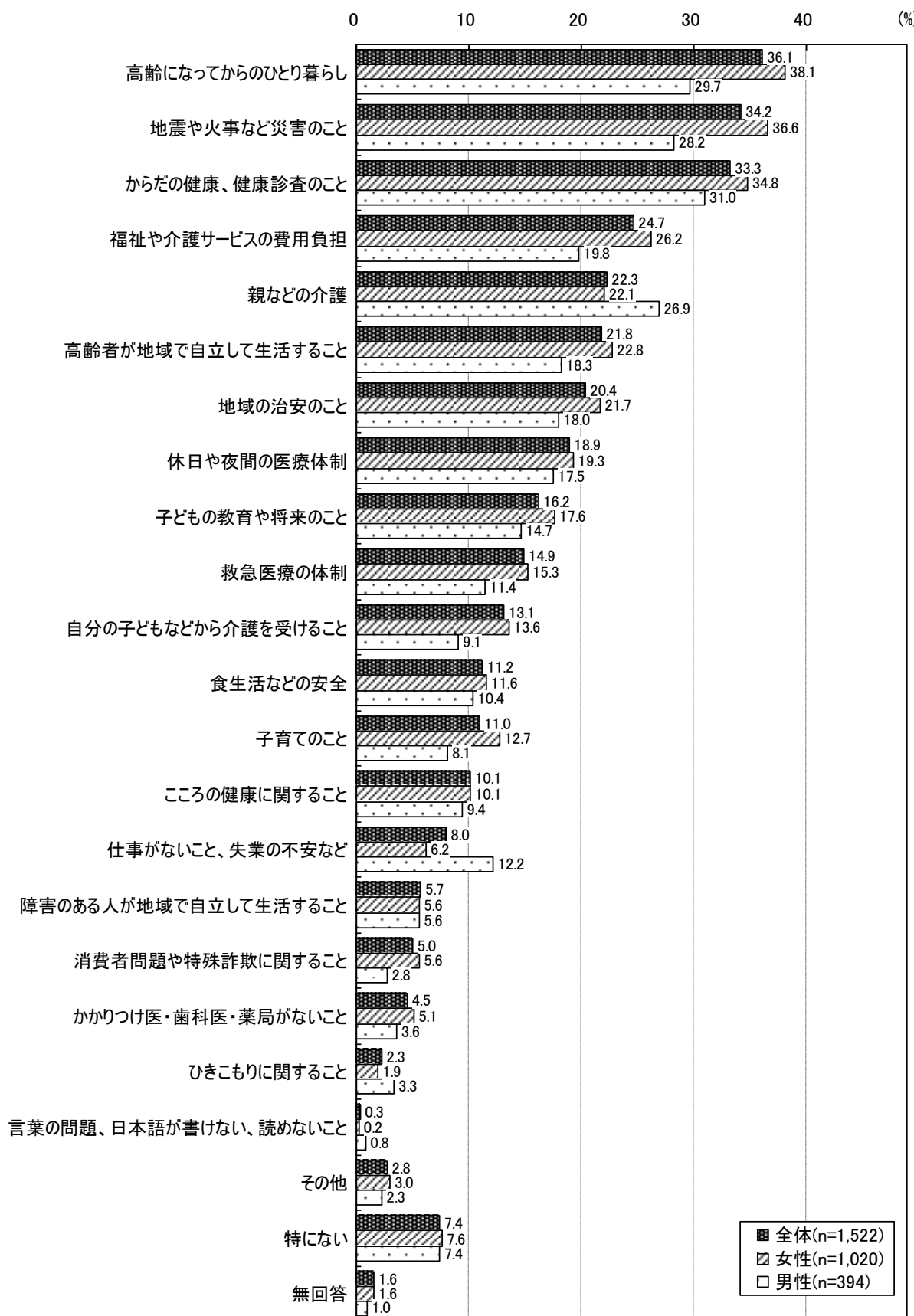
《概要》

- ・「特にない」と「無回答」を除く91.0%の人が何らかの悩みや不安を感じています。
- ・内容別には、「高齢になってからのひとり暮らし」が36.1%と最も多く、次いで「地震や火事など災害のこと」が34.2%、「からだの健康、健康診査のこと」が33.3%、「福祉や介護サービスの費用負担」が24.7%、「親などの介護」が22.3%、「高齢者が地域で自立して生活すること」が21.8%などとなっています。

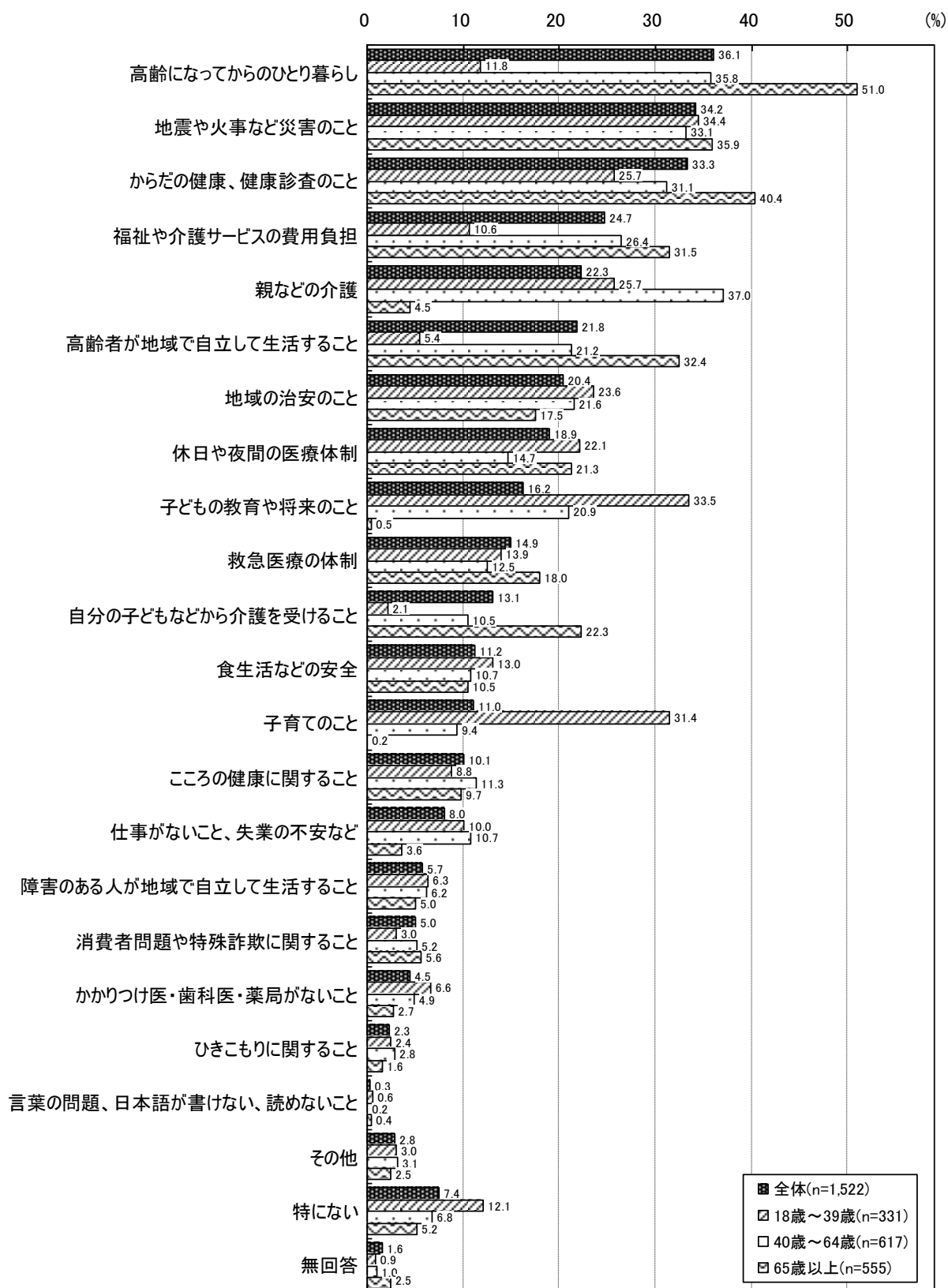


《属性別》

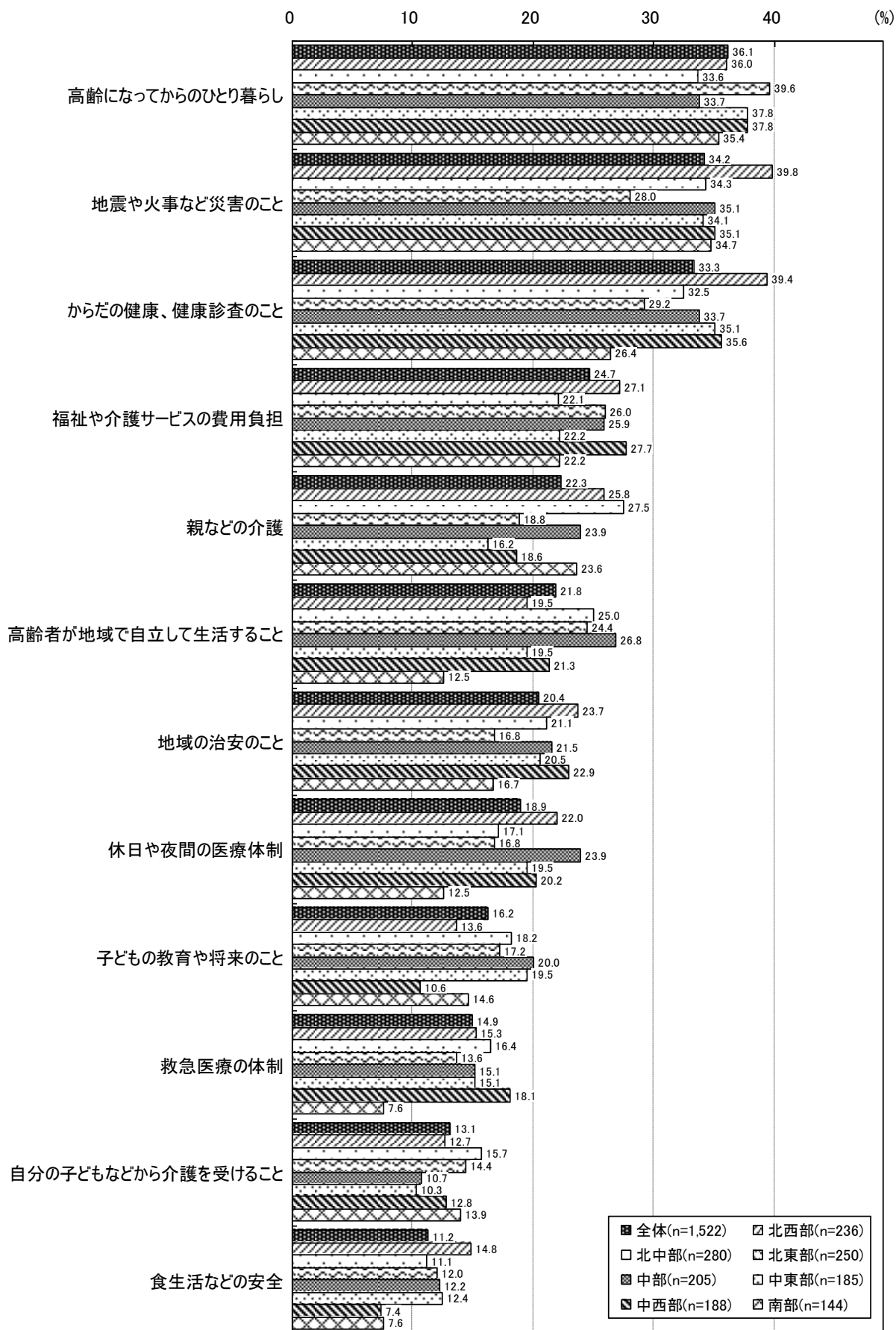
- ・性別に見ると、「高齢になってからのひとり暮らし」や「地震や火事など災害のこと」、「福祉や介護サービスの費用負担」などについて女性の回答割合が高くなっています。

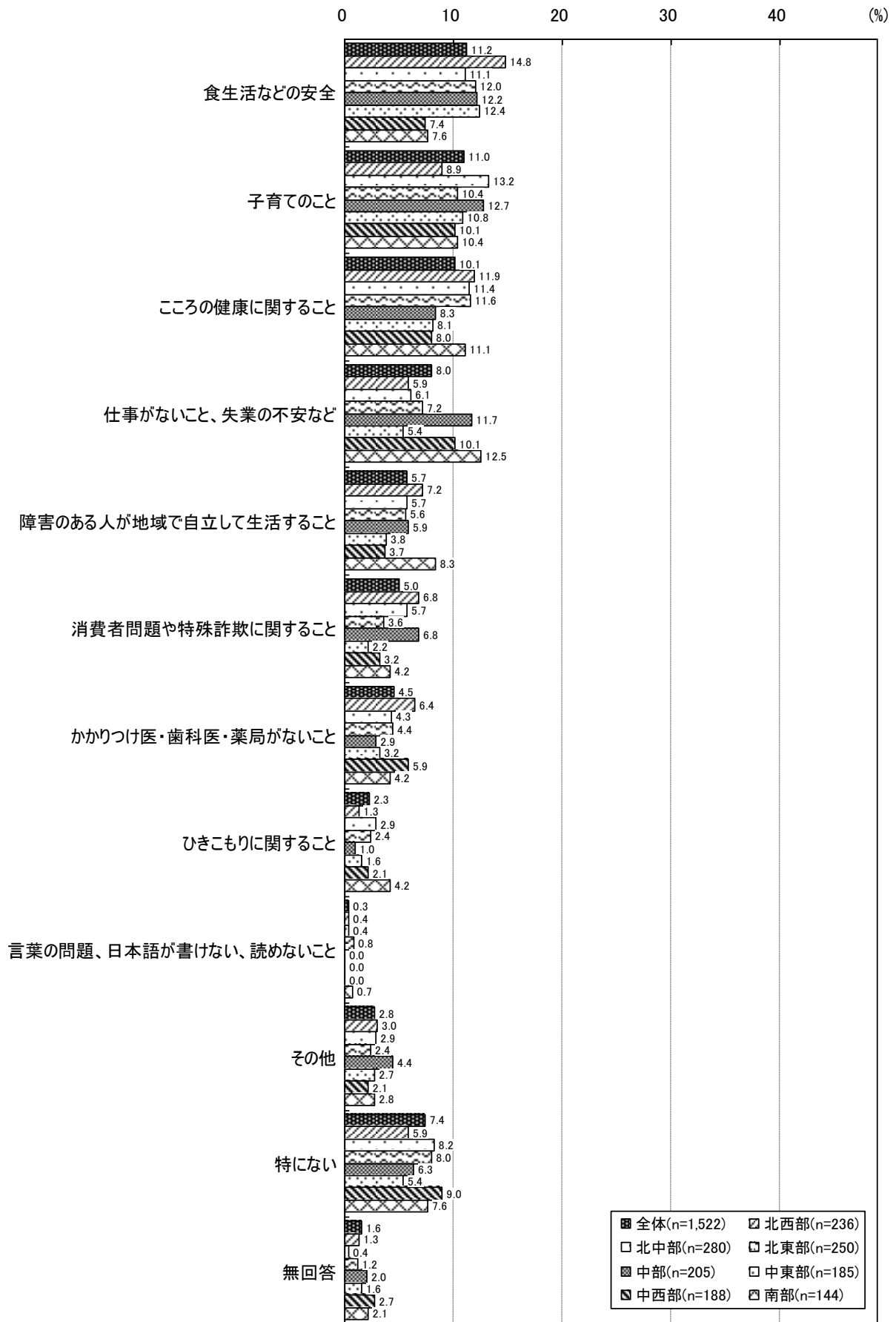


- ・年齢別に見ると、65歳以上で「高齢になってからのひとり暮らし」が51.0%を占めるほか、「からだの健康、健康診査のこと」や「高齢者が地域で自立して生活すること」「福祉や介護サービスの費用負担」などが多く見られます。
- ・40歳から64歳では「親などの介護」が37.0%、18歳から39歳では「子どもの教育や将来のこと」が33.5%、「子育てのこと」が31.4%と多く見られます。



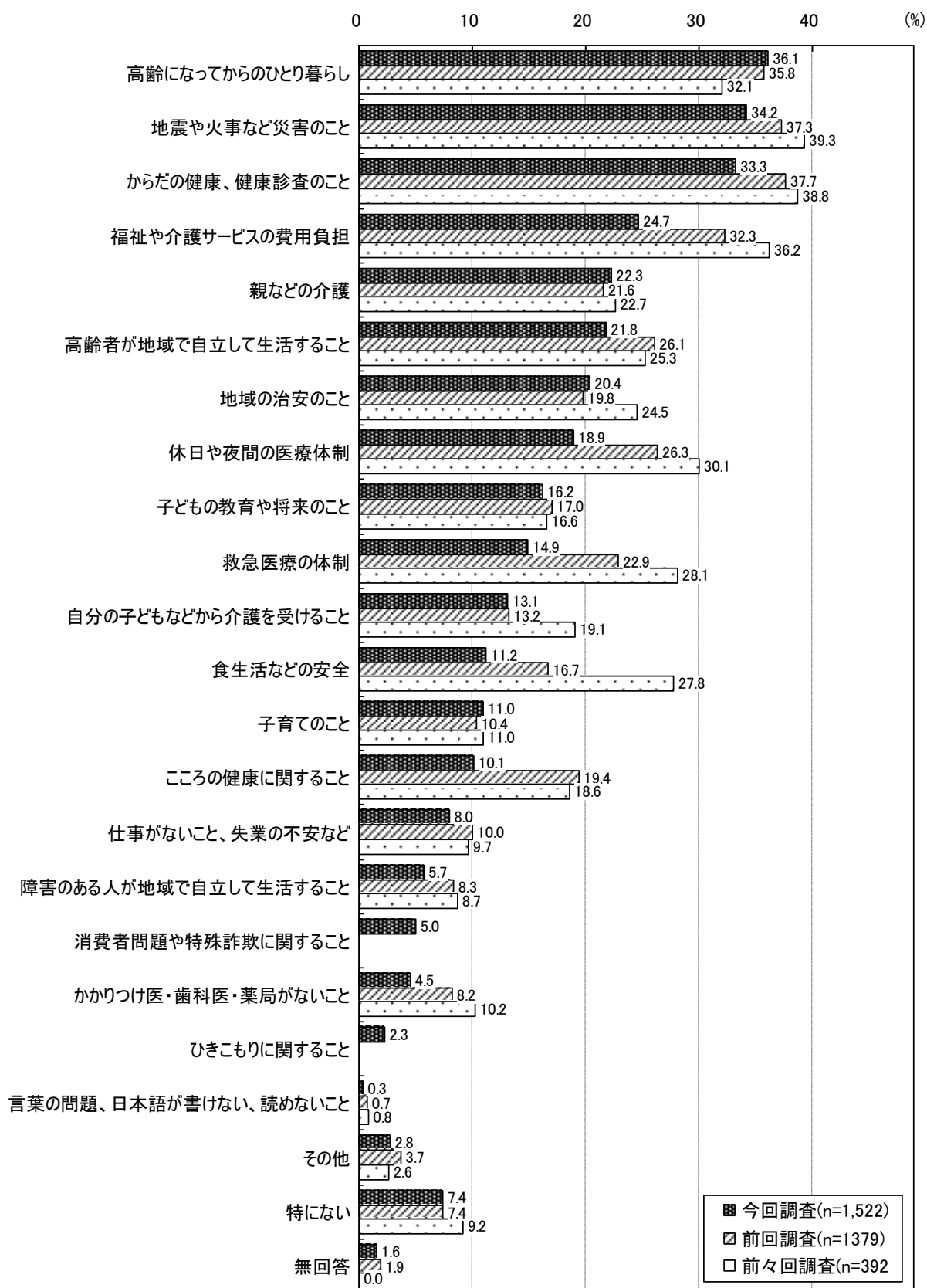
・地域別に見ると、「休日や夜間の医療体制」で中部が23.9%、北西部が22.0%とやや多く見られます。





《時系列比較》

- ・ 選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、「福祉や介護サービスの費用負担」や「休日や夜間の医療体制」、「救急医療の体制」、「食生活などの安全」などで前回調査、前々回調査の割合を下回っています。



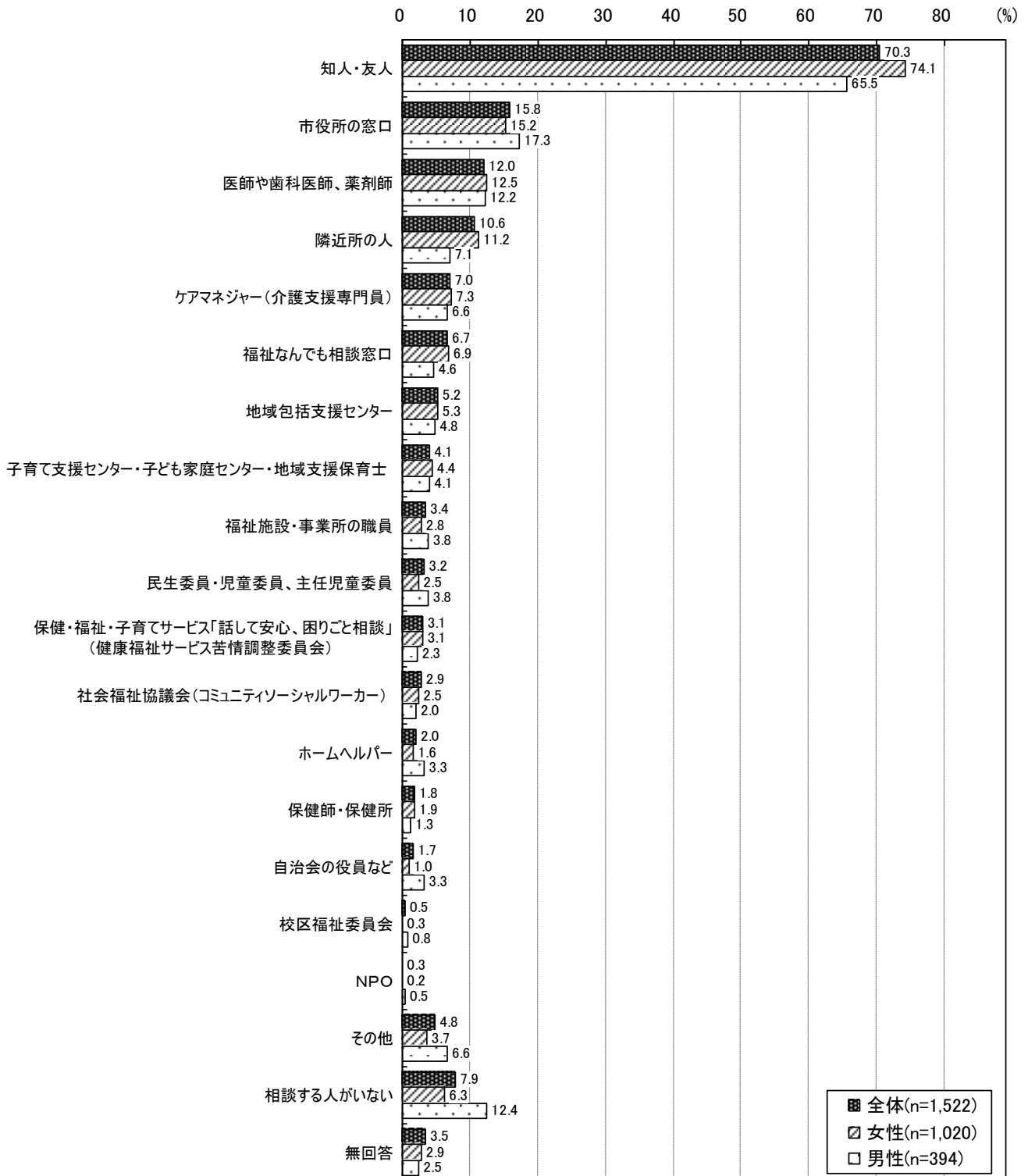
問14 悩みや不安などがあるときに、ご家族や親戚以外に相談するとすれば、誰に相談しますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

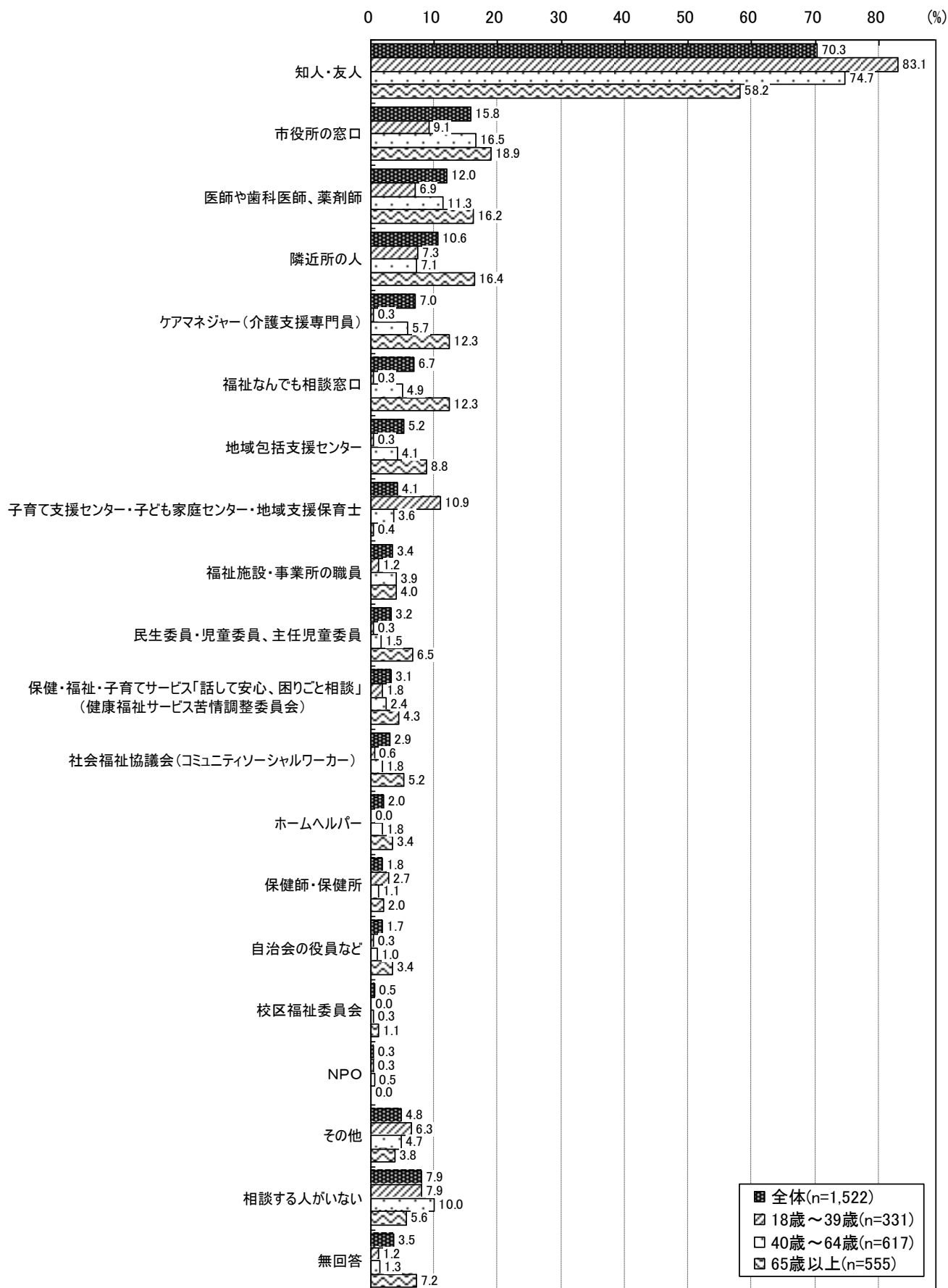
・悩みや不安の相談先について、「知人・友人」が70.3%を占めています。

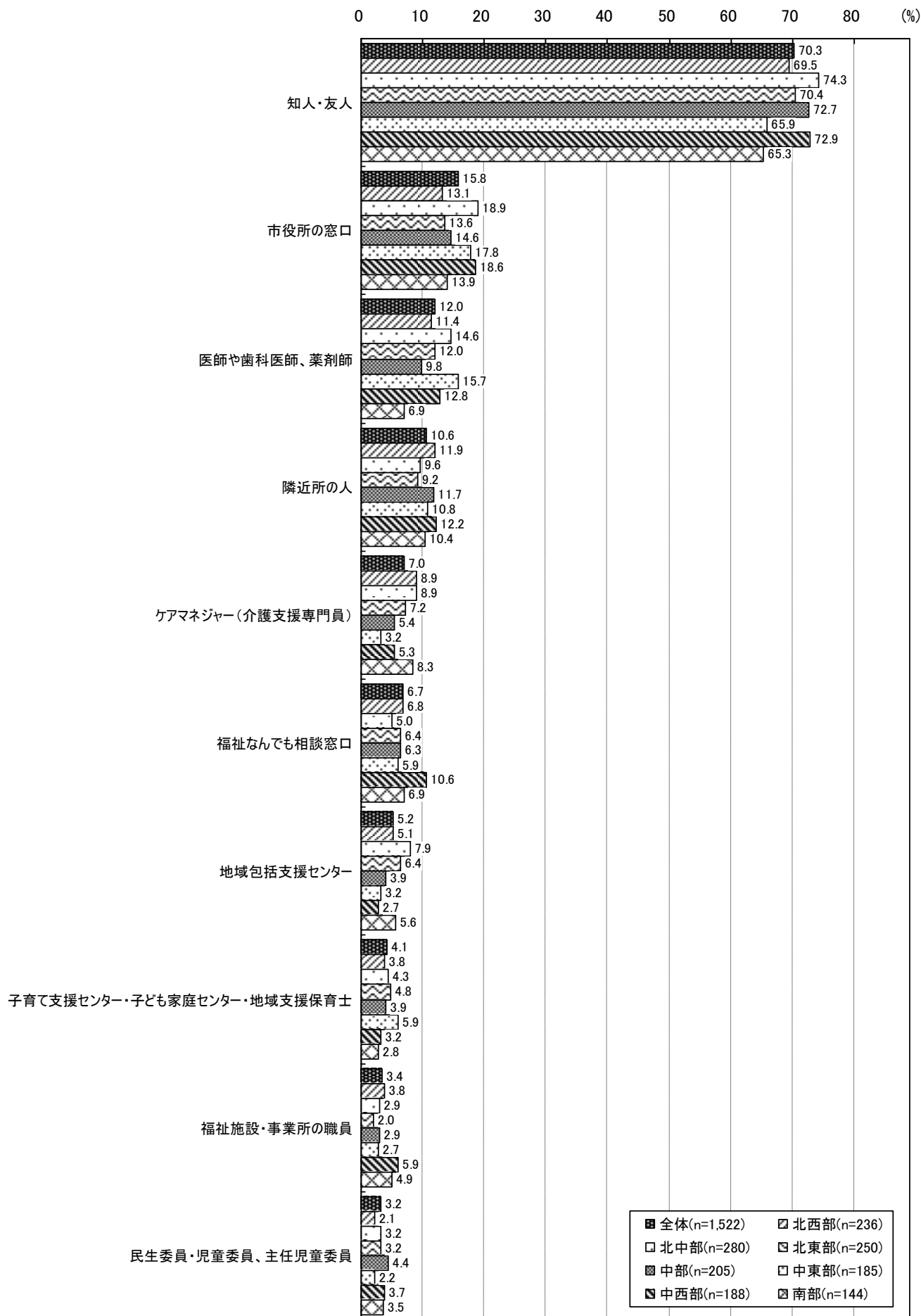
《属性別》

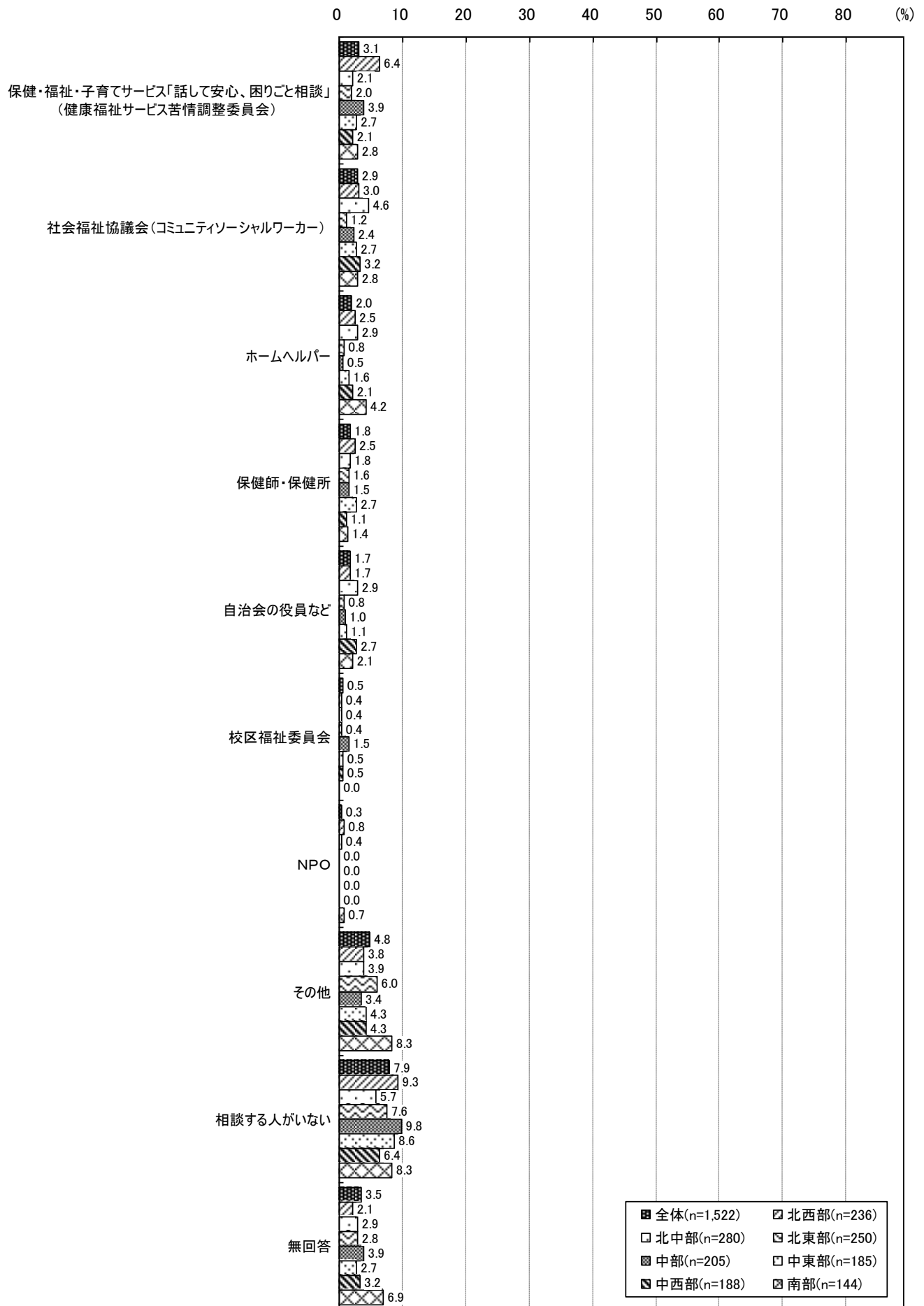
・性別に見ると、女性で「知人・友人」が74.1%と男性より多く、男性については「相談する人がいない」が12.4%と女性より多く見られます。



・年齢別に見ると、65歳以上で「医師や歯科医師、薬剤師」など多くの相談先をあげる傾向にあります。







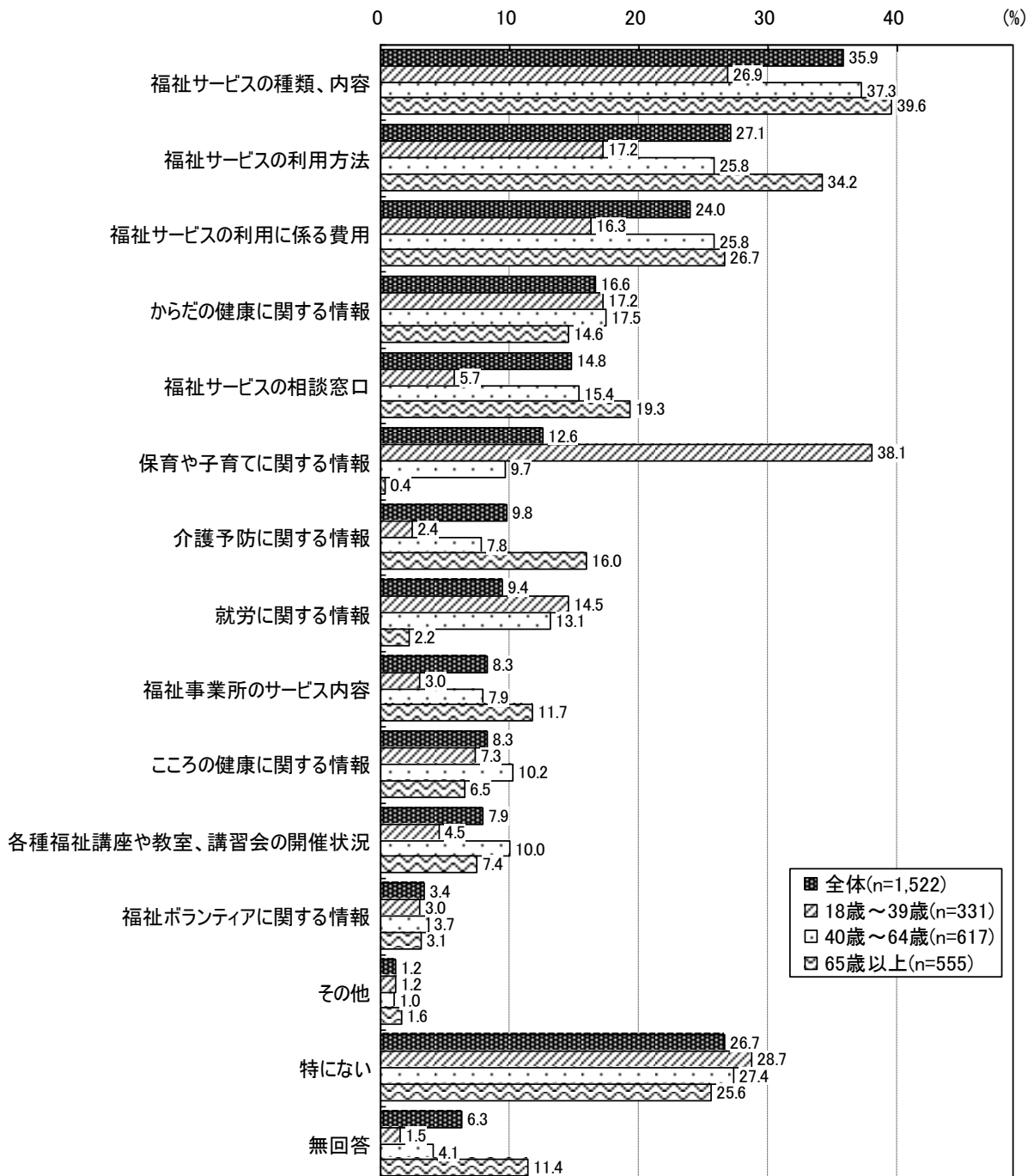
問15 健康づくりや福祉について、知りたい情報がありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

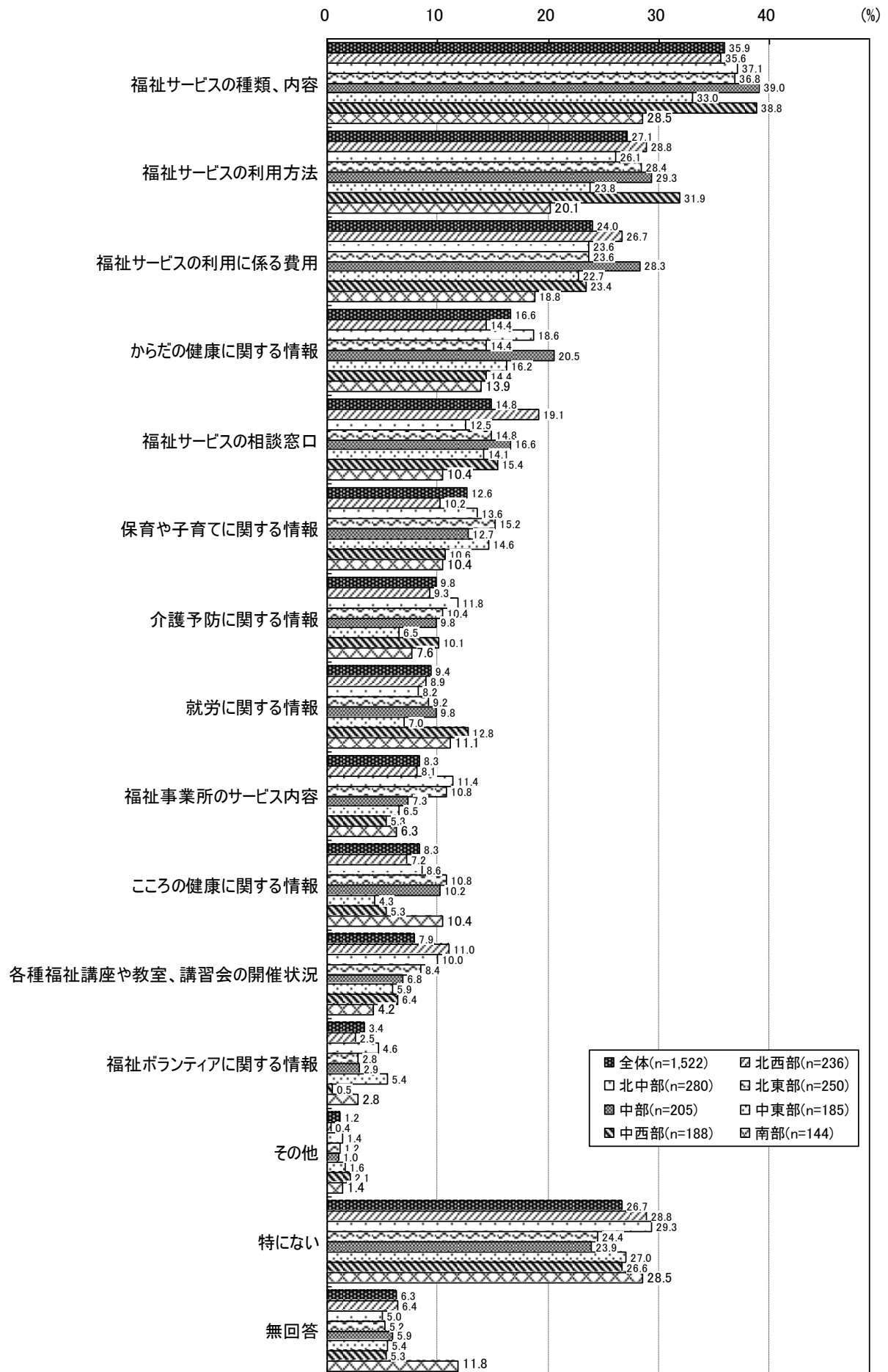
《概要》

- ・「福祉サービスの種類、内容」が35.9%と最も多く、次いで「福祉サービスの利用方法」が27.1%、「福祉サービスの利用に係る費用」が24.0%など、福祉サービスに関する情報が上位を占めています。

《属性別》

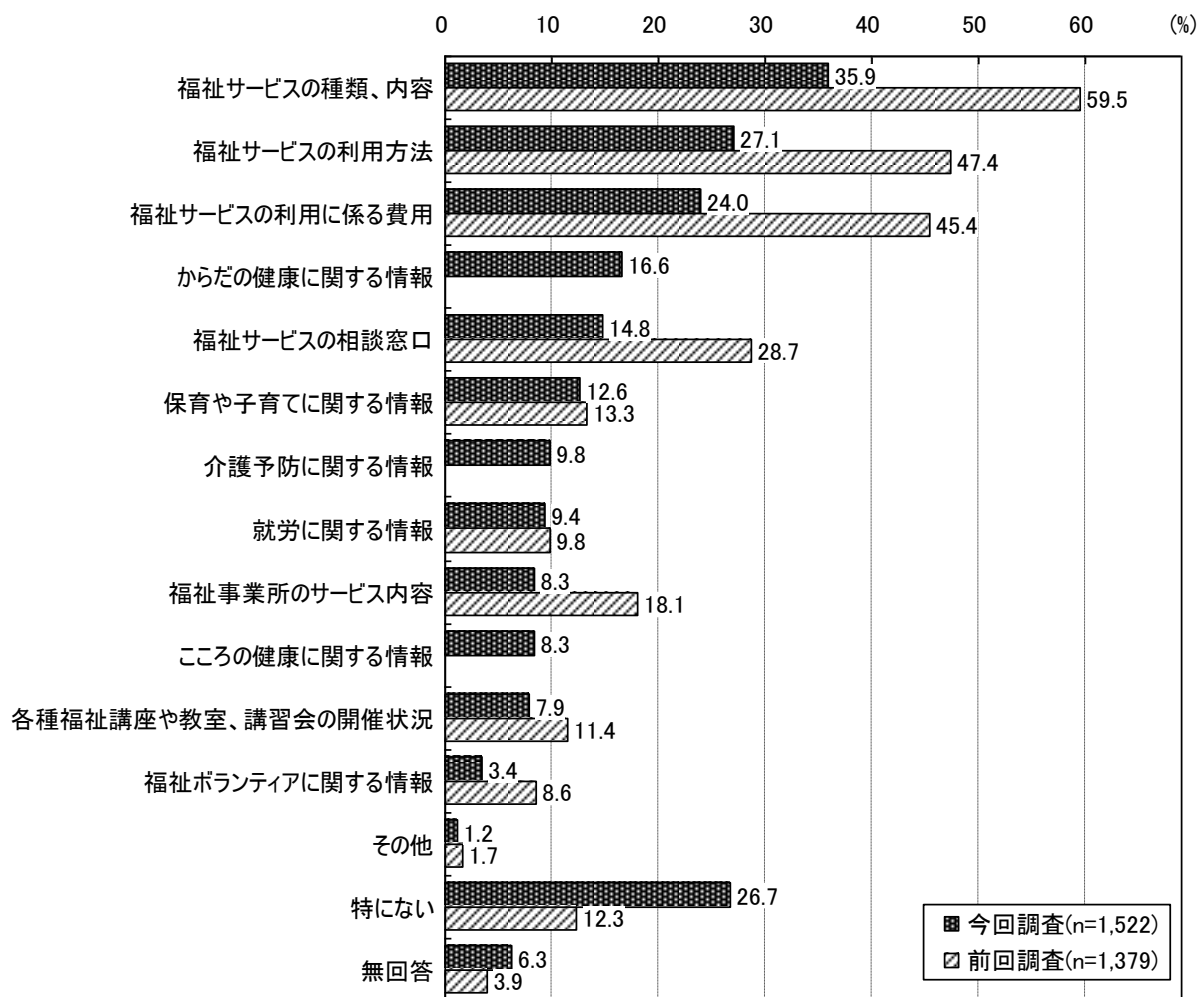
- ・年齢別に見ると、「福祉サービスの種類、内容」「福祉サービスの利用方法」「福祉サービスの利用に係る費用」は40歳以上で、「保育や子育てに関する情報」は18歳から39歳で多く見られます。





《時系列比較》

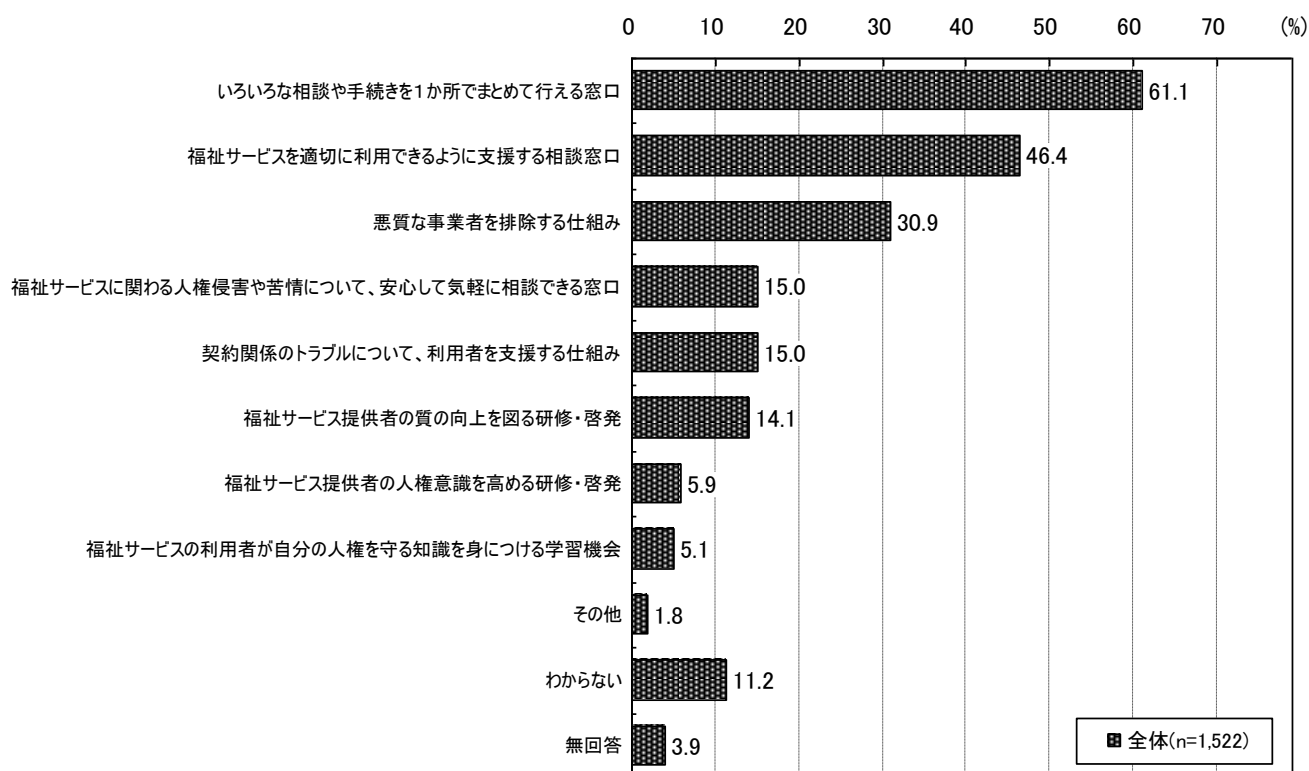
- ・ 選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、福祉サービスに関する情報は大幅に割合が低下しています。



問16 行政や事業者などによる福祉サービスを安心して利用できるようにするため、どのようなことを充実すべきだと思いますか。お考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

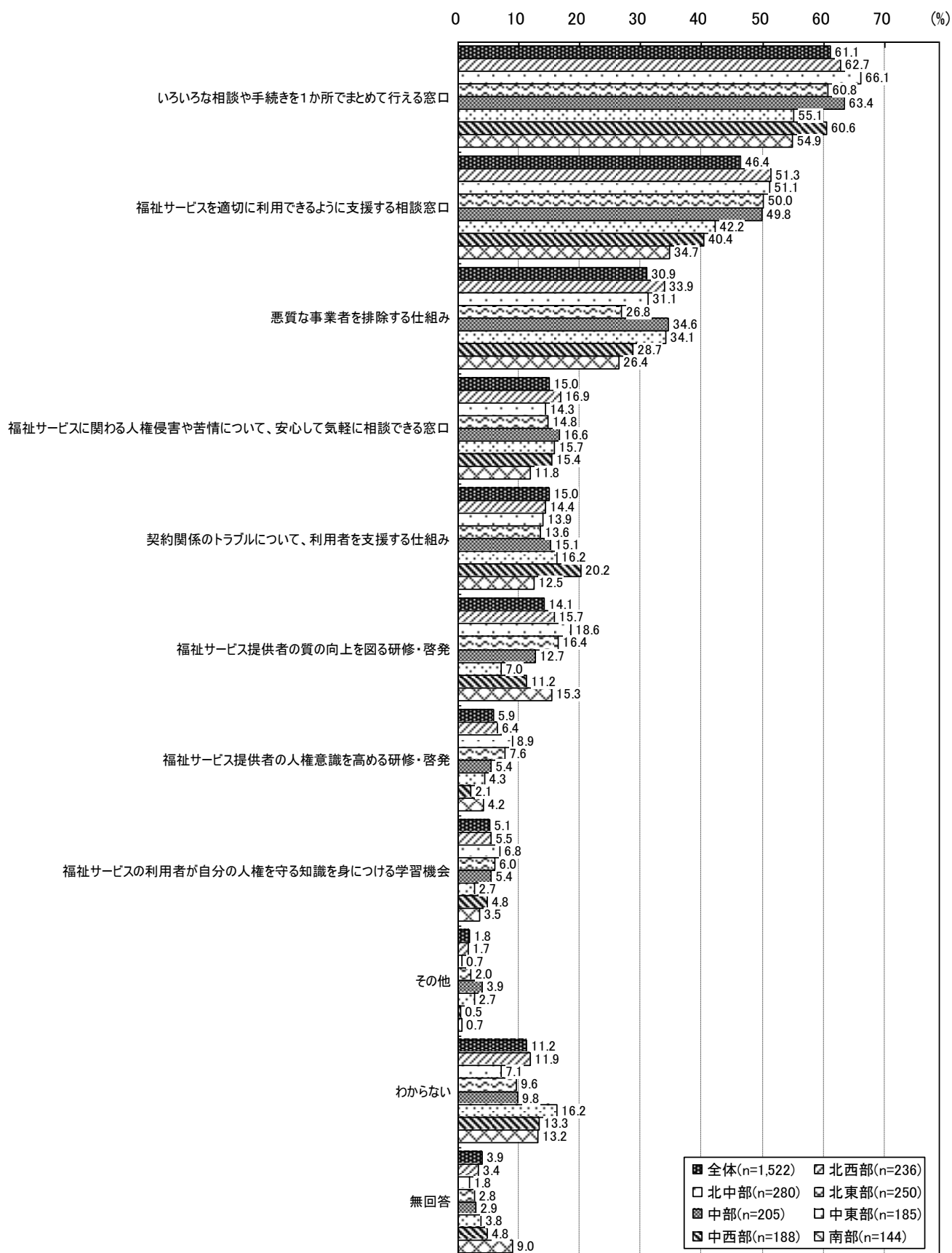
《概要》

- ・「いろいろな相談や手続きを1か所でまとめて行える窓口」が61.1%と最も多く、次いで「福祉サービスを適切に利用できるように支援する相談窓口」が46.4%、「悪質な事業者を排除する仕組み」が30.9%などとなっています。



《属性別》

・「いろいろな相談や手続きを1か所でまとめて行える窓口」は北中部で66.1%と多く見られます。

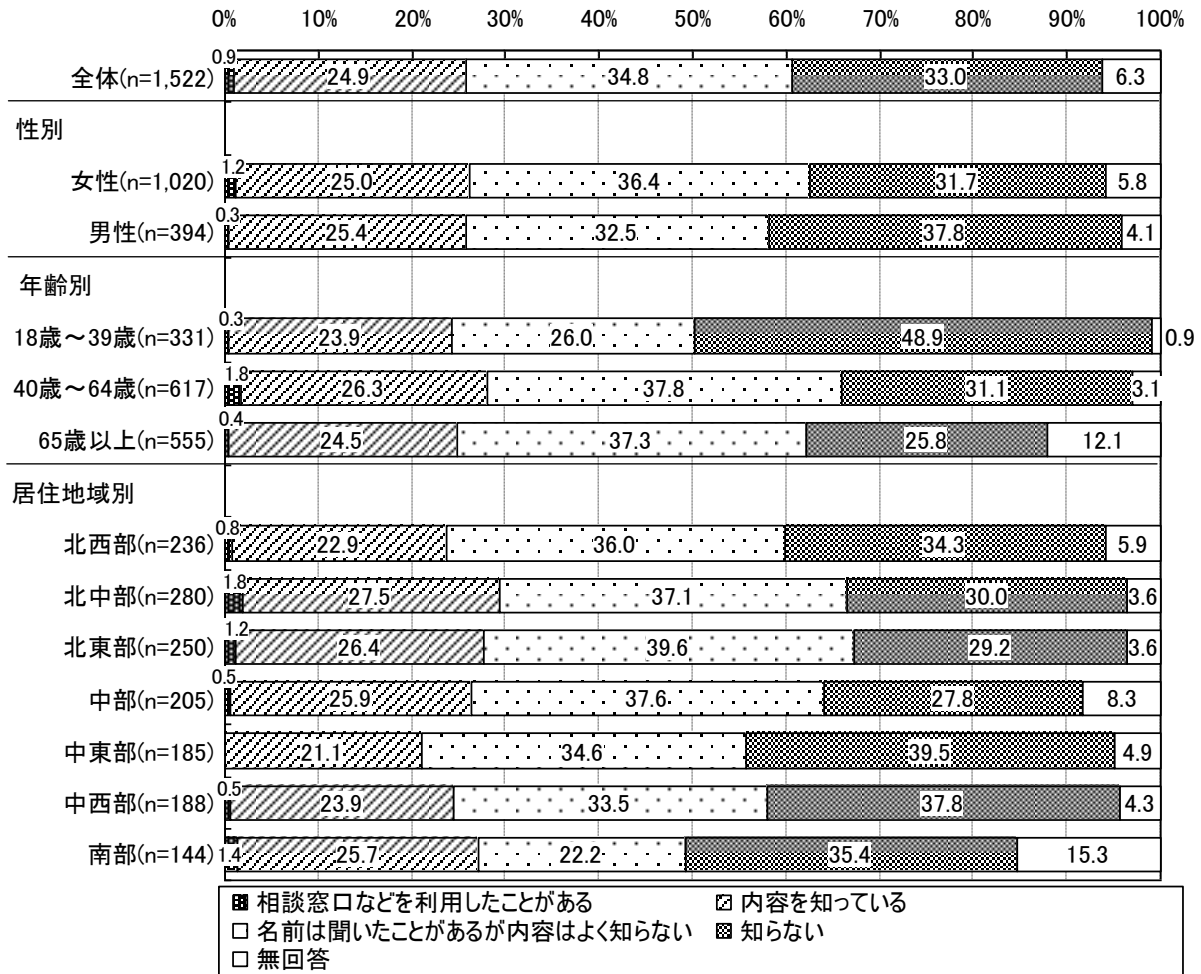


問17 市民の権利を守るための以下の仕組みについて知っていますか。①～④のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

①成年後見制度

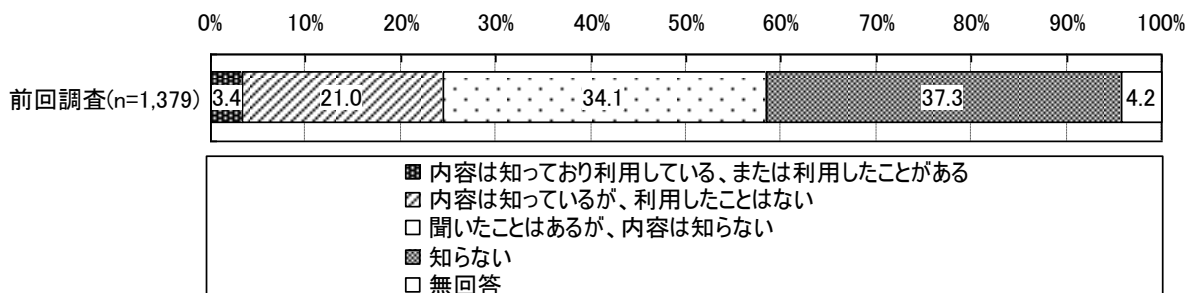
《概要》

・「相談窓口などを利用したことがある」(0.9%)、「内容を知っている」(24.9%)、「名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」(34.8%)を合わせて、成年後見制度のことを聞いたことがある人は60.6%となっています。



《時系列比較》

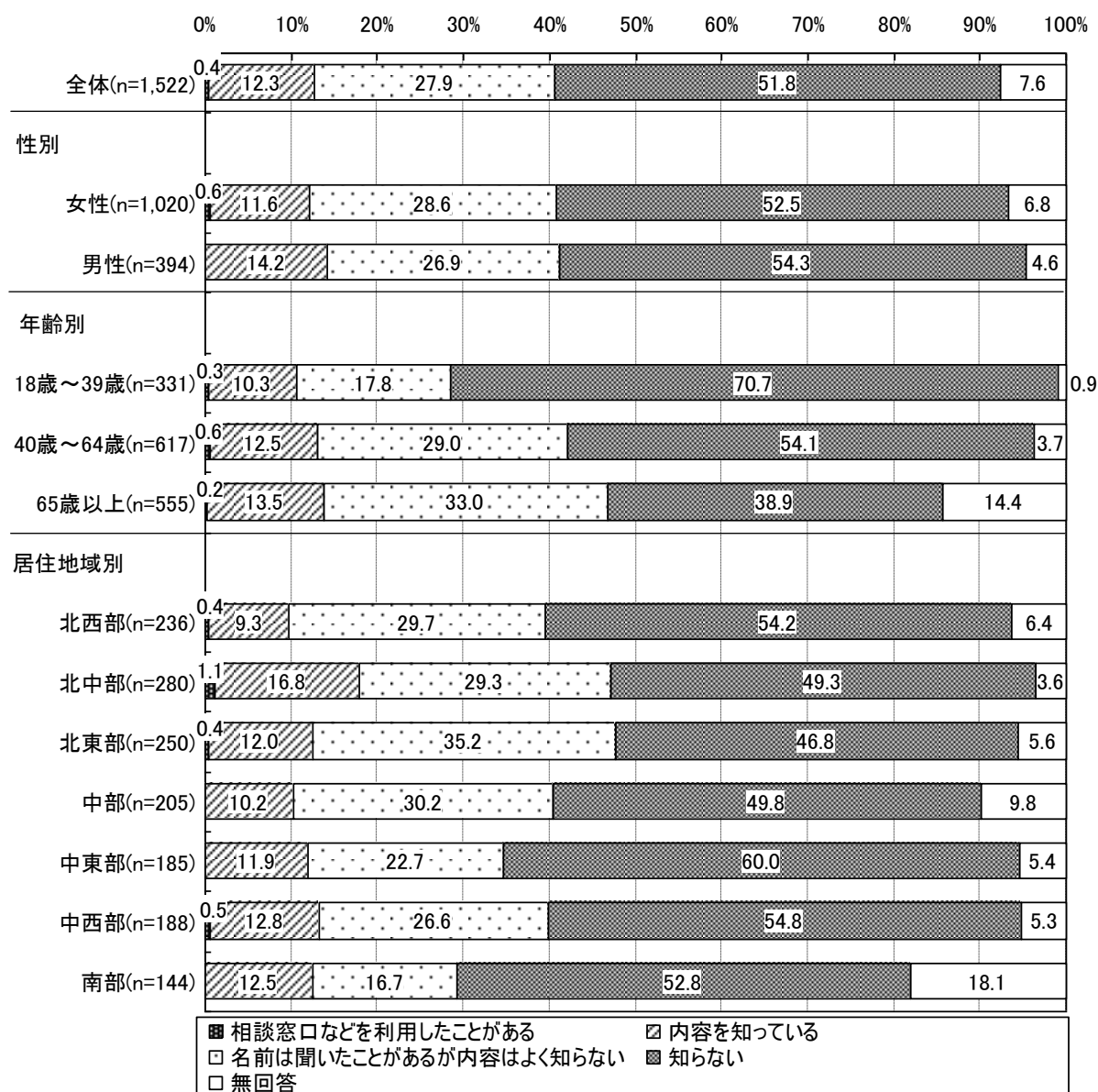
・選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、回答傾向は前回調査と大きく変わりありません。



②法定後見制度

《概要》

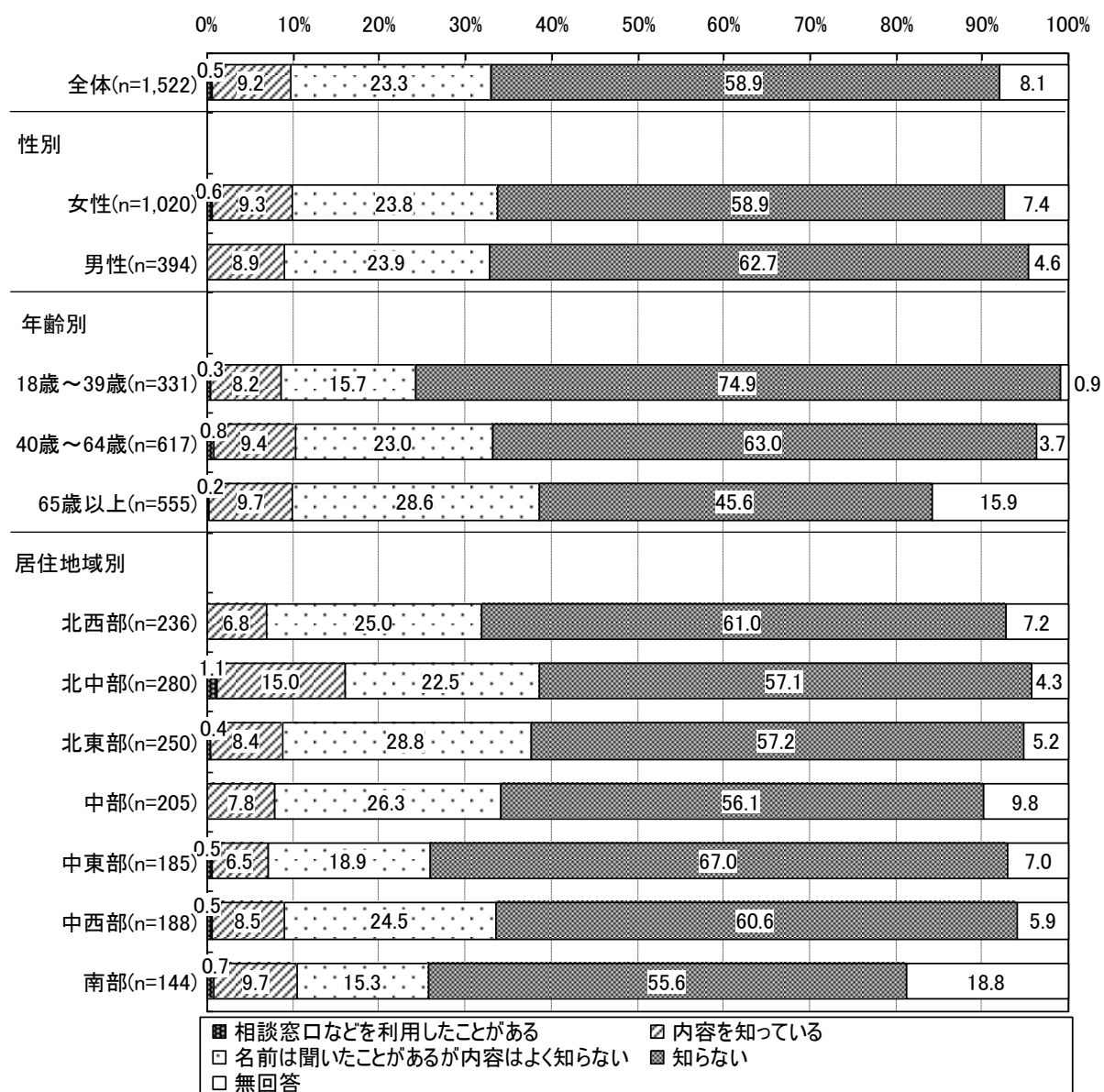
- ・「相談窓口などを利用したことがある」(0.4%)、「内容を知っている」(12.3%)、「名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」(27.9%)を合わせて、法定後見制度のことを聞いたことがある人は40.6%となっています。



③任意後見制度

《概要》

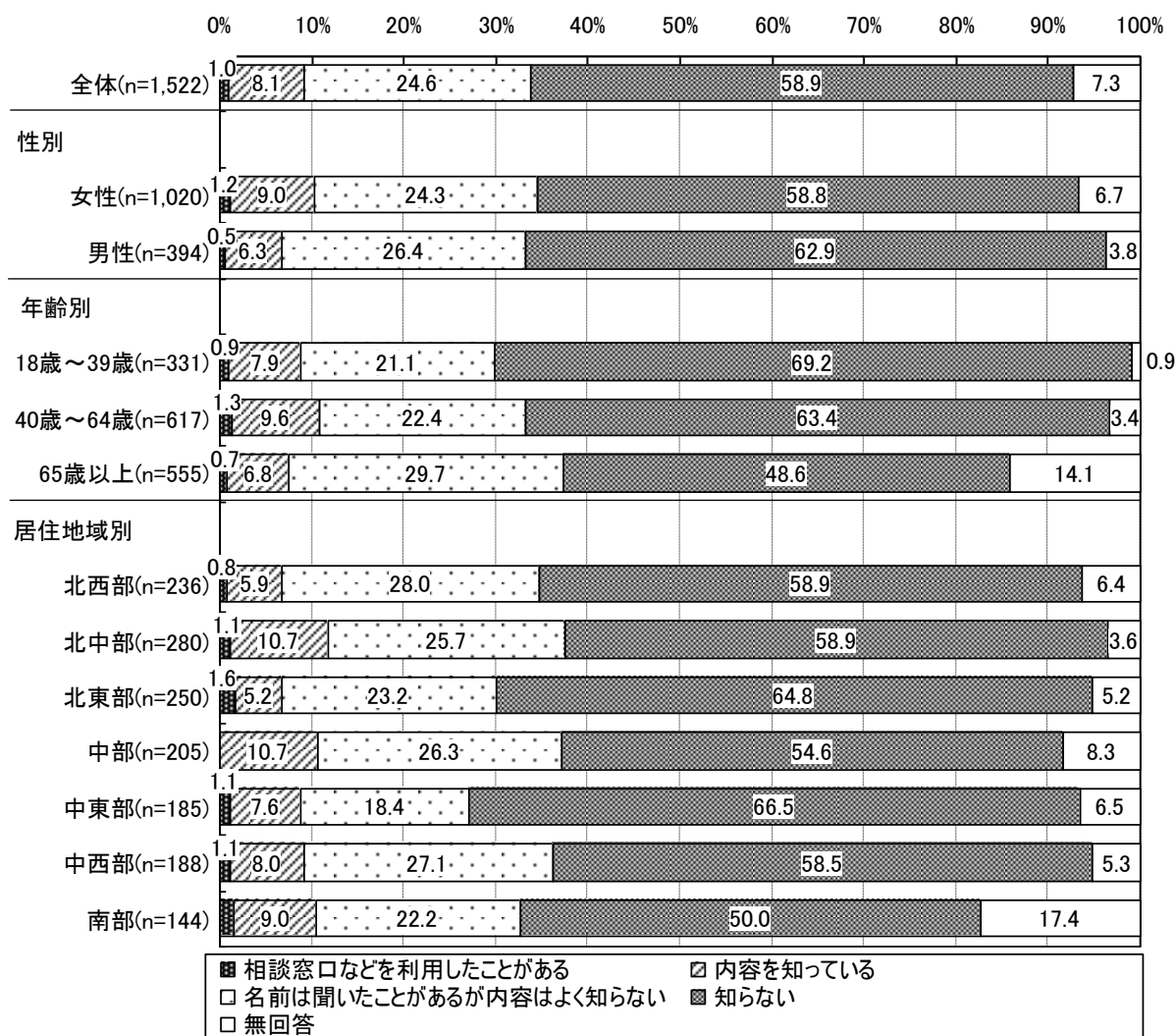
・「相談窓口などを利用したことがある」(0.5%)、「内容を知っている」(9.2%)、「名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」(23.3%)を合わせて、任意後見制度のことを聞いたことがある人は33.0%となっています。



④日常生活自立支援事業

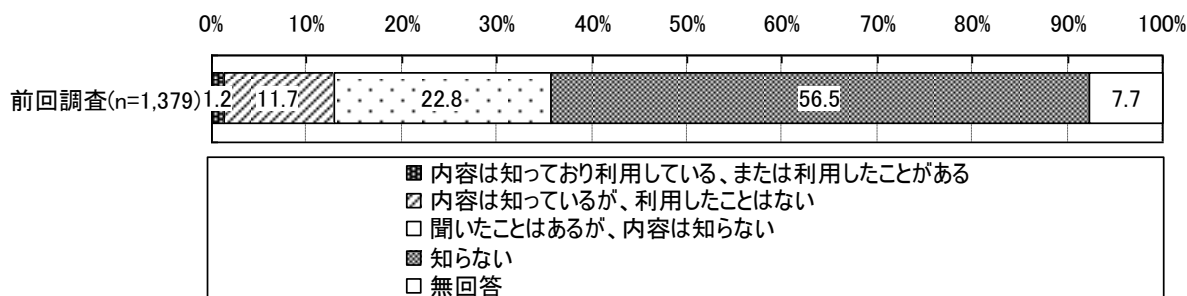
《概要》

・「相談窓口などを利用したことがある」(1.0%)、「内容を知っている」(8.1%)、「名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」(24.6%)を合わせて、日常生活自立支援事業のことを聞いたことがある人は33.7%となっています。



《時系列比較》

・選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、回答傾向は前回調査と大きく変わりありません。



地域福祉を進めるための取り組みについて

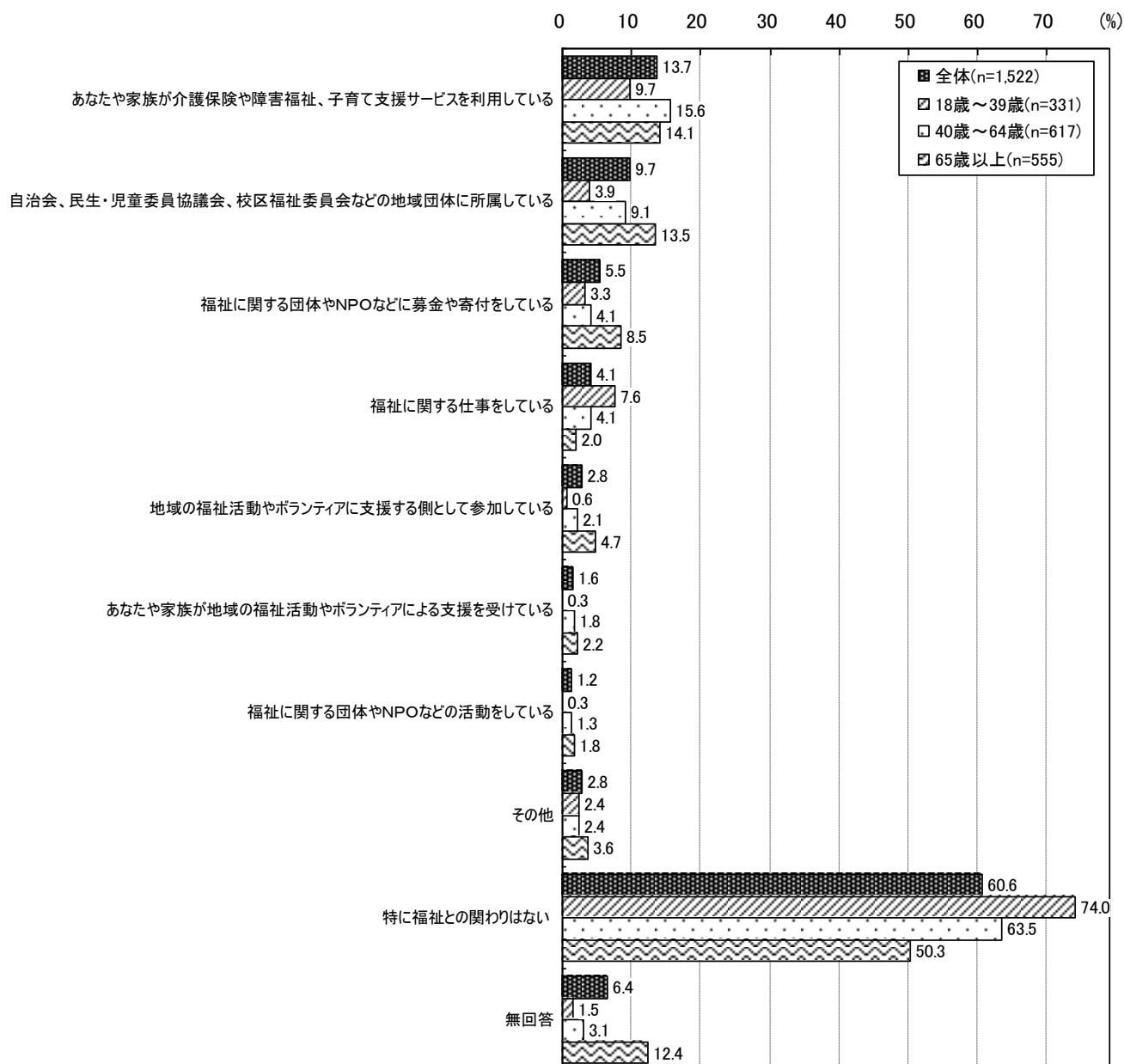
問18 現在、あなたと福祉との関わりは、次のどれにあてはまりますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

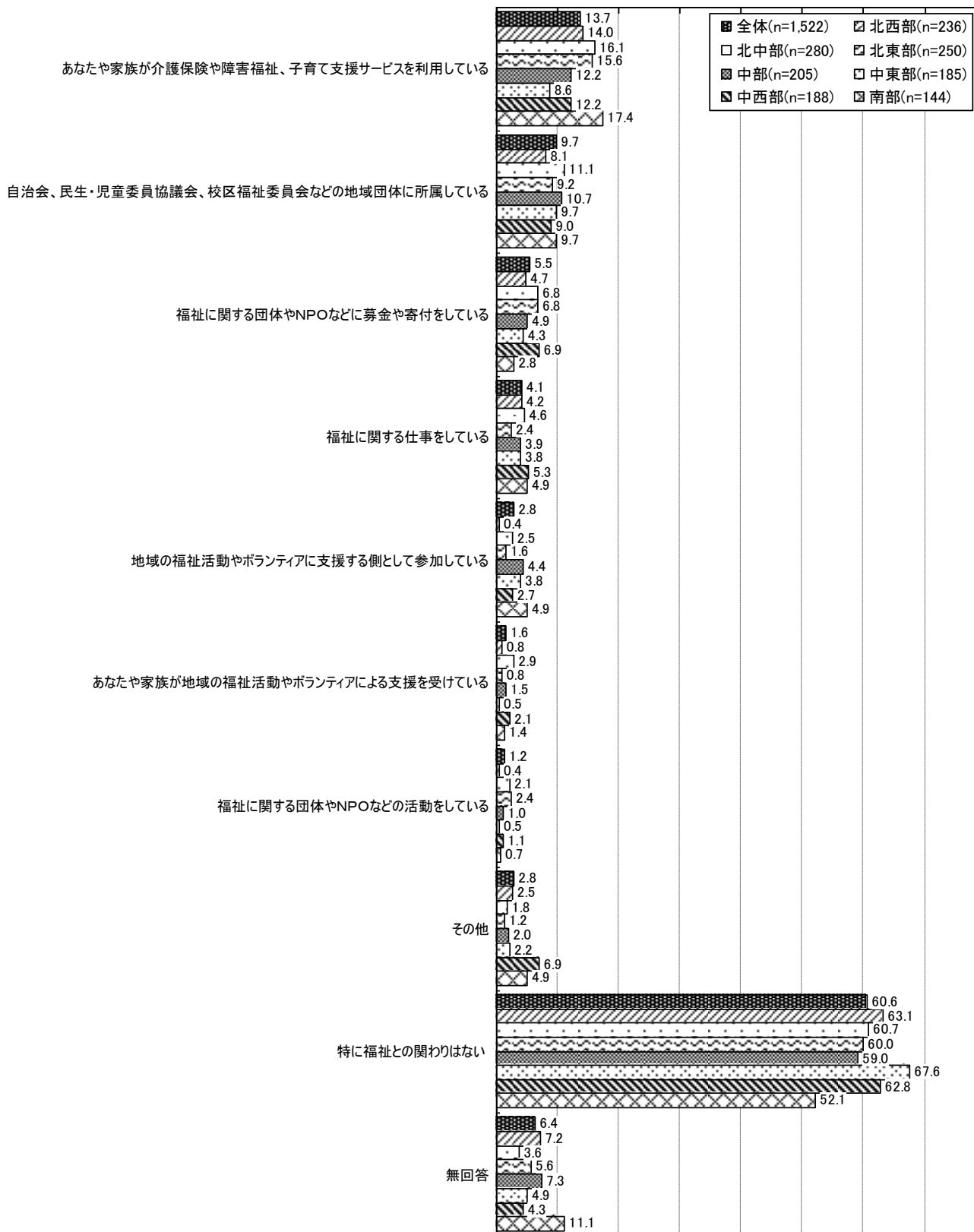
- ・「特に福祉との関わりはない」と無回答を除くと、33.0%が何らかの福祉との関わりを持っており、内容別には「あなたや家族が介護保険や障害福祉、子育て支援サービスを利用している」が13.7%、「自治会、民生・児童委員協議会、校区福祉委員会などの地域団体に所属している」が9.7%となっています。

《属性別》

- ・年齢が高くなるほど「特に福祉との関わりはない」の割合が低下し、福祉との関わりを持つ人が多くなる傾向が見られます。

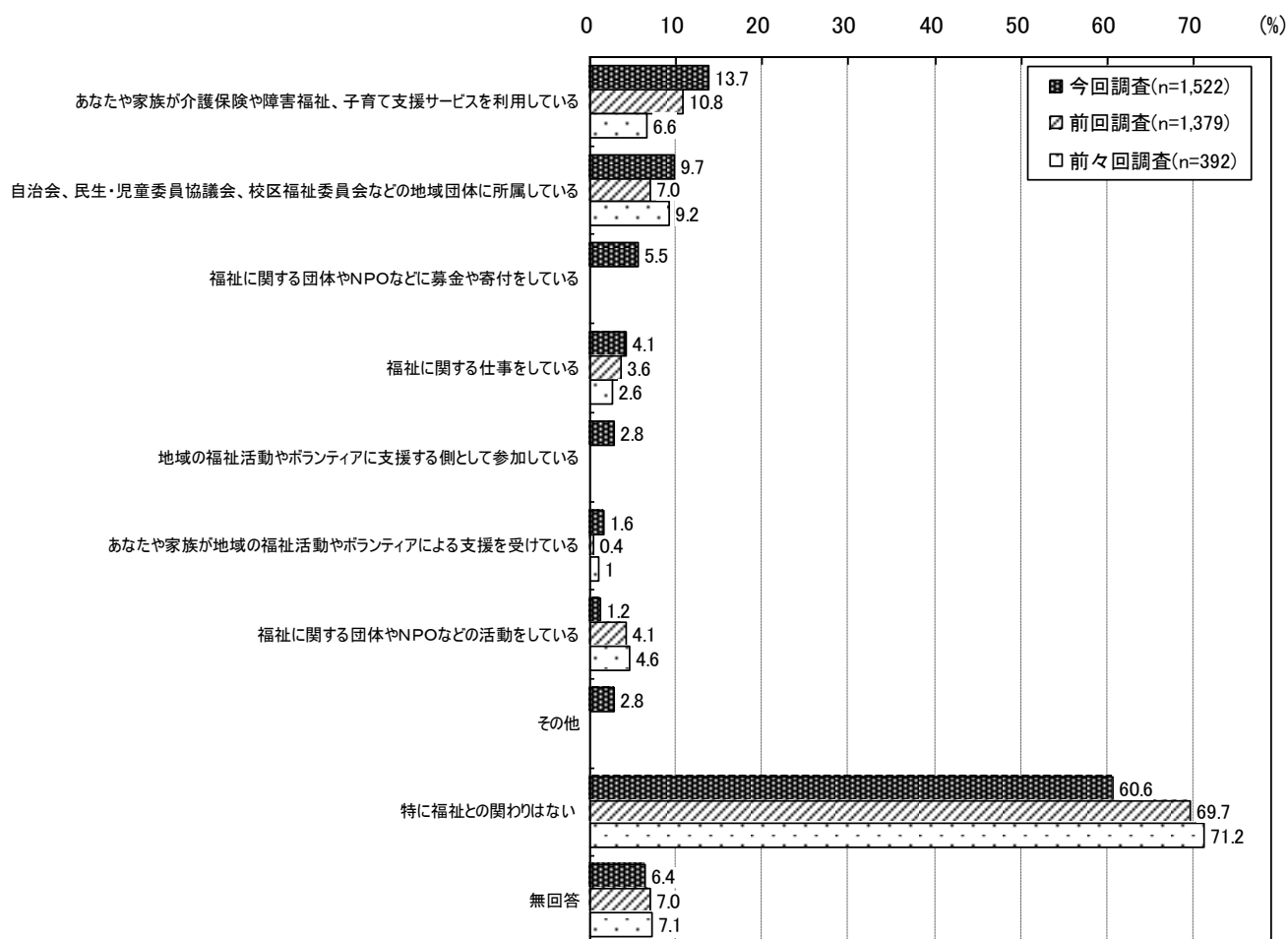


0 10 20 30 40 50 60 70 (%)



《時系列比較》

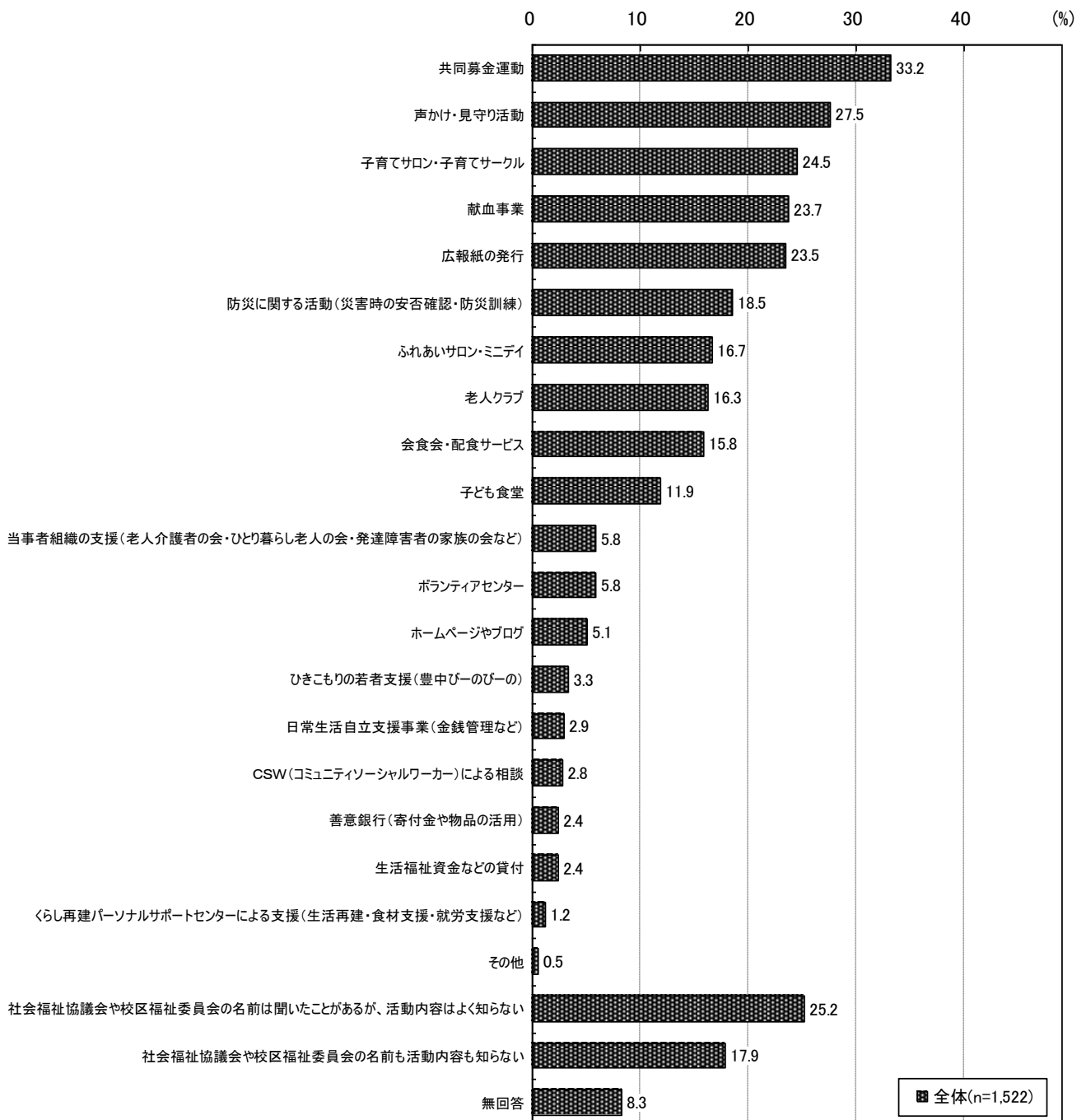
- ・ 選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、福祉サービスを利用している人の割合は徐々に高まる傾向が見られます。



問19 豊中市社会福祉協議会や各小学校区の校区福祉委員会が行っている活動のうち、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

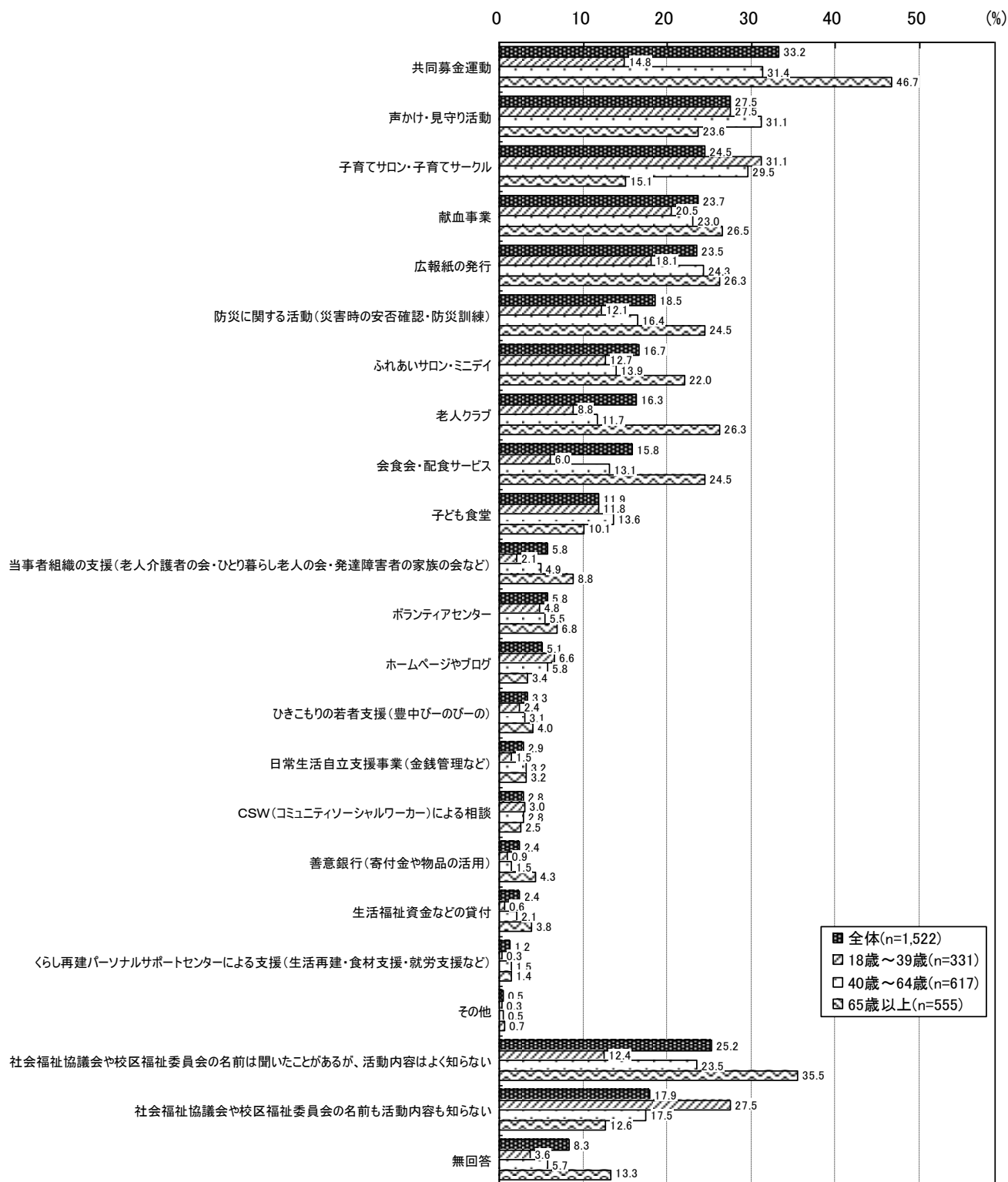
《概要》

- ・「共同募金運動」が33.2%と最も多く、次いで「声かけ・見守り活動」が27.5%、「子育てサロン・子育てサークル」が24.5%、「献血事業」が23.7%、「広報紙の発行」が23.5%などの順と続いています。
- ・「社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が25.2%、「社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前も活動内容も知らない」が17.9%となっています。

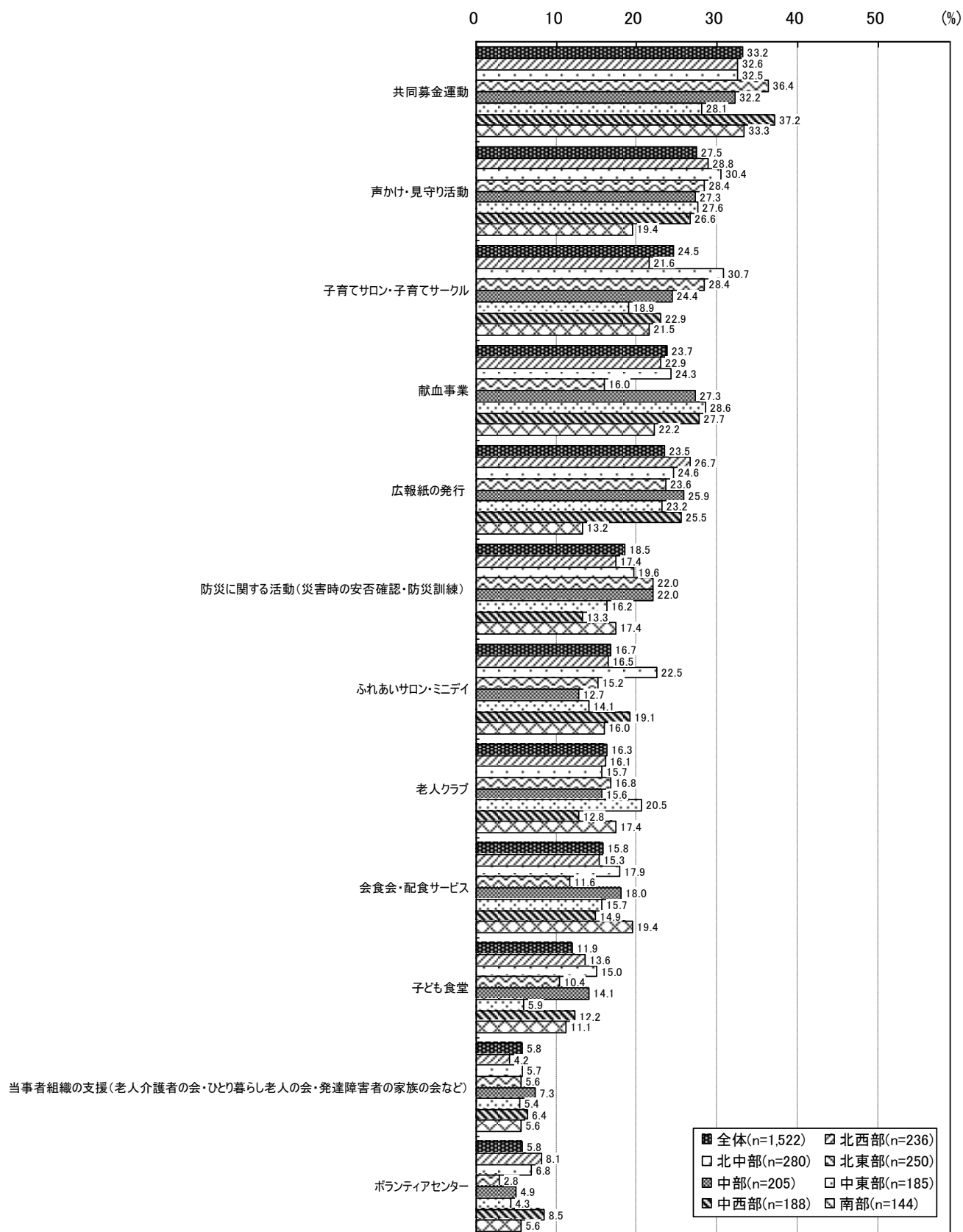


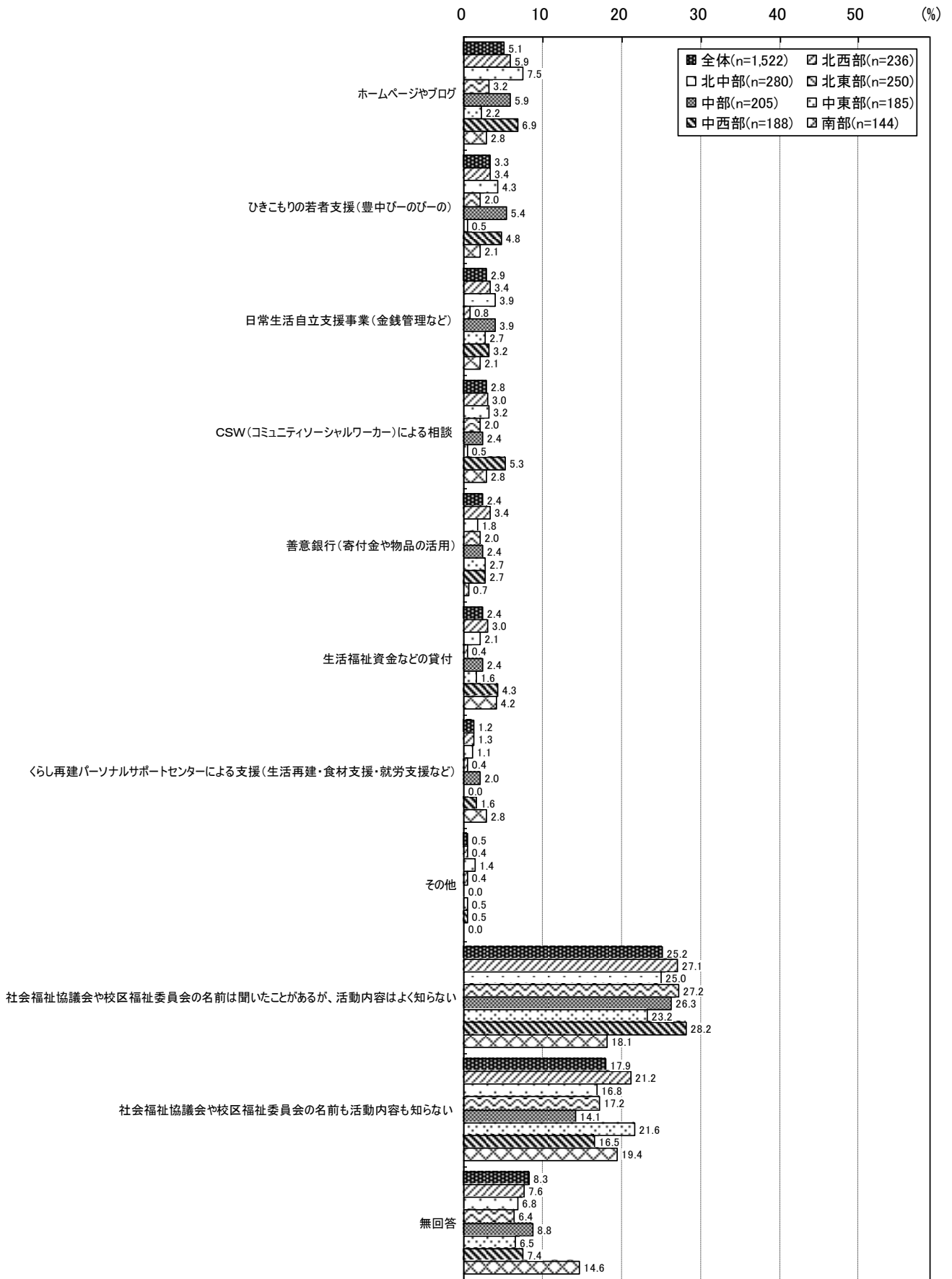
《属性別》

- ・年齢別に見ると、「共同募金運動」や「献血事業」、「広報紙の発行」など多くの活動内容で年齢が高くなるほど周知される傾向にあります。
- ・「社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」についても年齢が高くなるほど割合が高くなっており、「社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前も活動内容も知らない」は逆に年齢が低いほど多く見られます。



- ・地域別に見ると、北中部で「子育てサロン・子育てサークル」や「ふれあいサロン・ミニデイ」の割合が他の地域より多く見られます。
- ・南部では「社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」と答える人の割合が他の地域より低くなっています。





問20 民生委員・児童委員の役割を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「よく知っている」が4.6%、「ある程度知っている」が29.5%と、合わせて34.1%が民生委員・児童委員の役割について知っています。

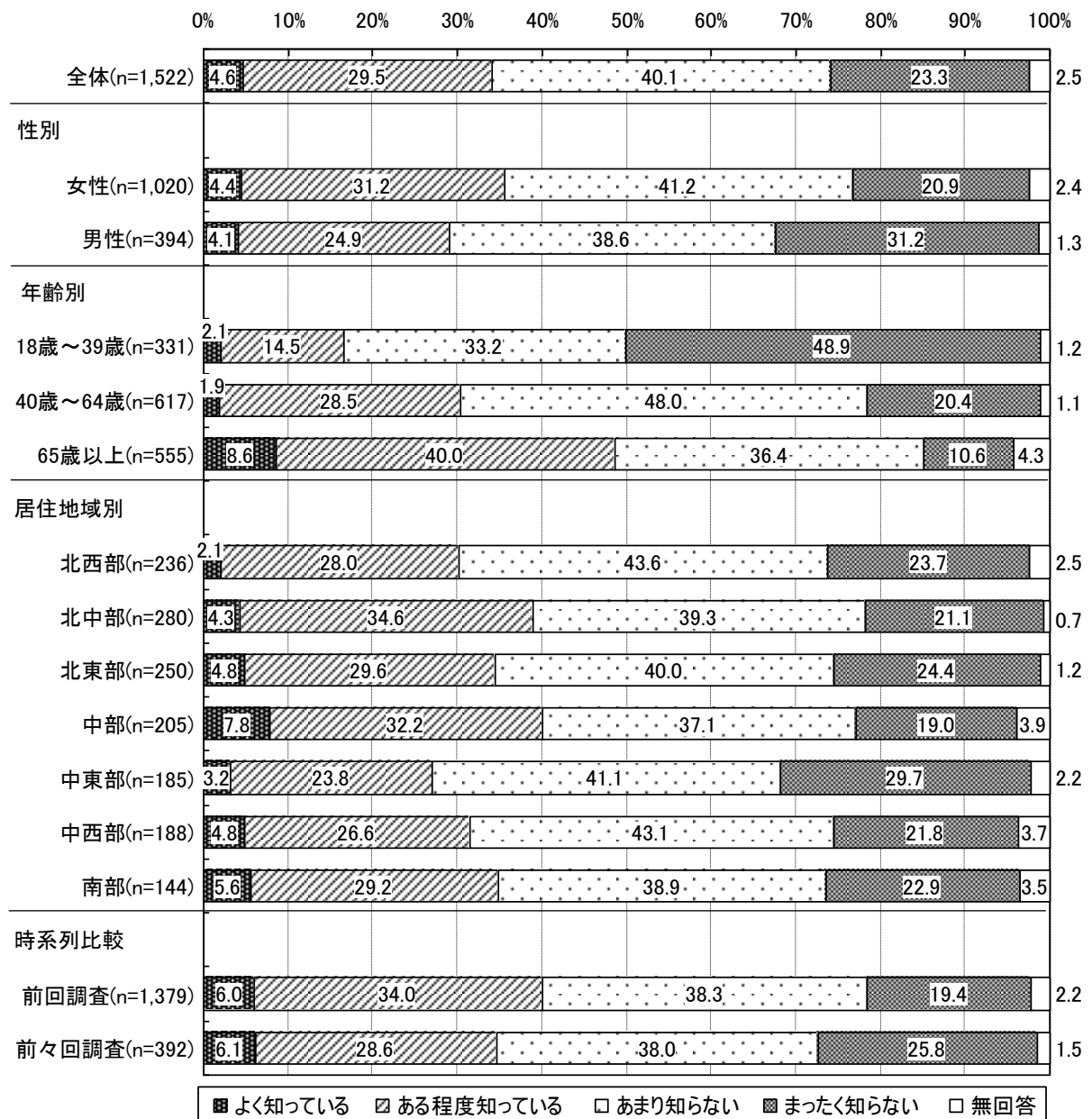
《属性別》

・年齢別に見ると、年齢が高くなるほど知っている人の割合が高くなり、65歳以上では「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせて48.6%となっています。一方、18歳から39歳では「まったく知らない」が48.9%を占める結果となっています。

・地域別に見ると、中部（7.8%）で「よく知っている」という人が多くなっています。

《時系列比較》

・前回調査で知っている人は40.0%で、今回は割合が低下しています。



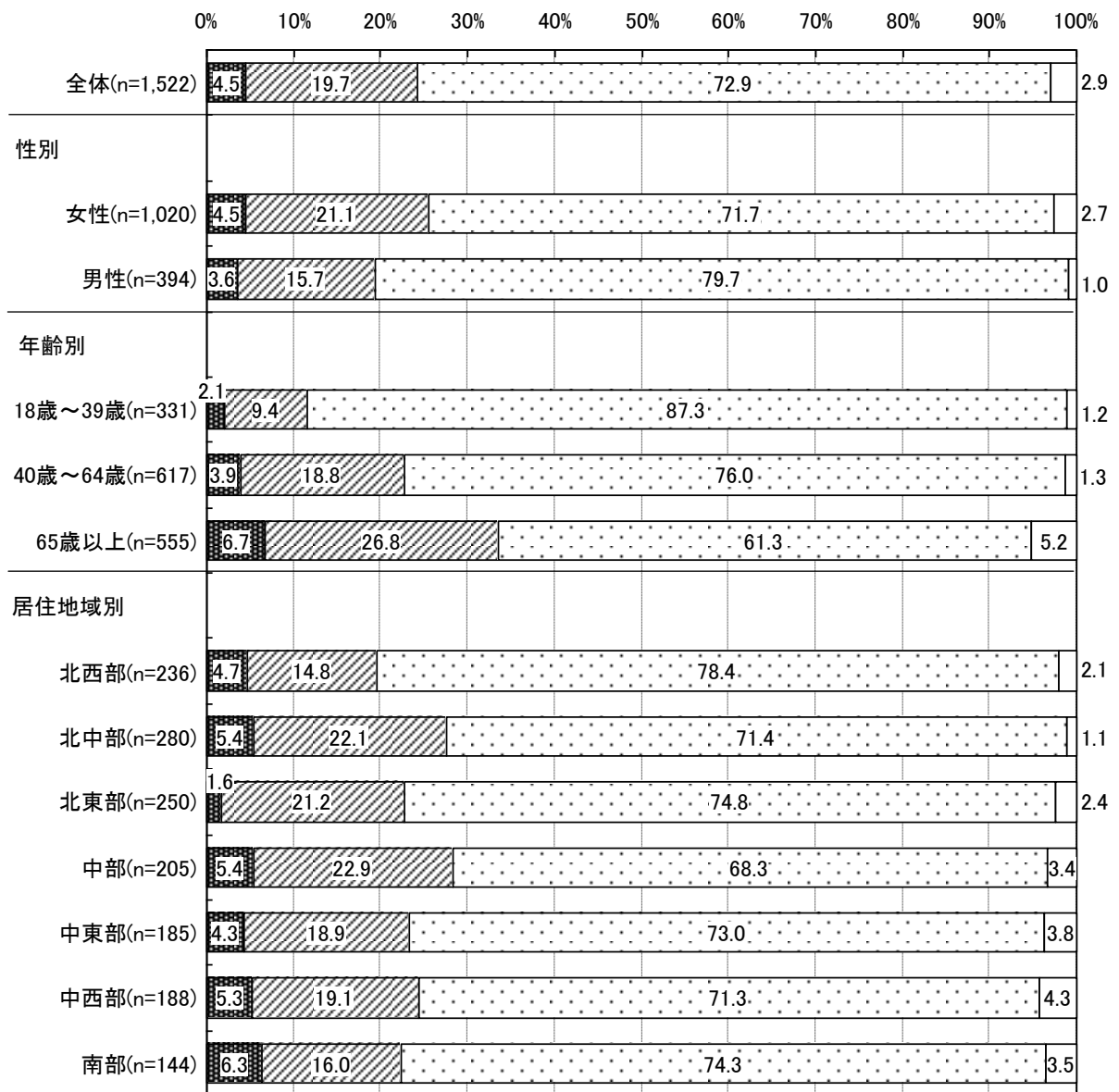
問21 平成29年（2017年）3月に策定された豊中市の地域包括ケアシステム推進基本方針を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「名前も内容もよく知っている」が4.5%、「名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」が19.7%と、合わせて地域包括ケアシステム推進基本方針を知っている人は24.2%となっています。

《属性別》

・65歳以上で基本方針を知っている人が33.5%と比較的多く見られます。



■ 名前も内容もよく知っている □ 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない □ 名前も内容も知らない □ 無回答

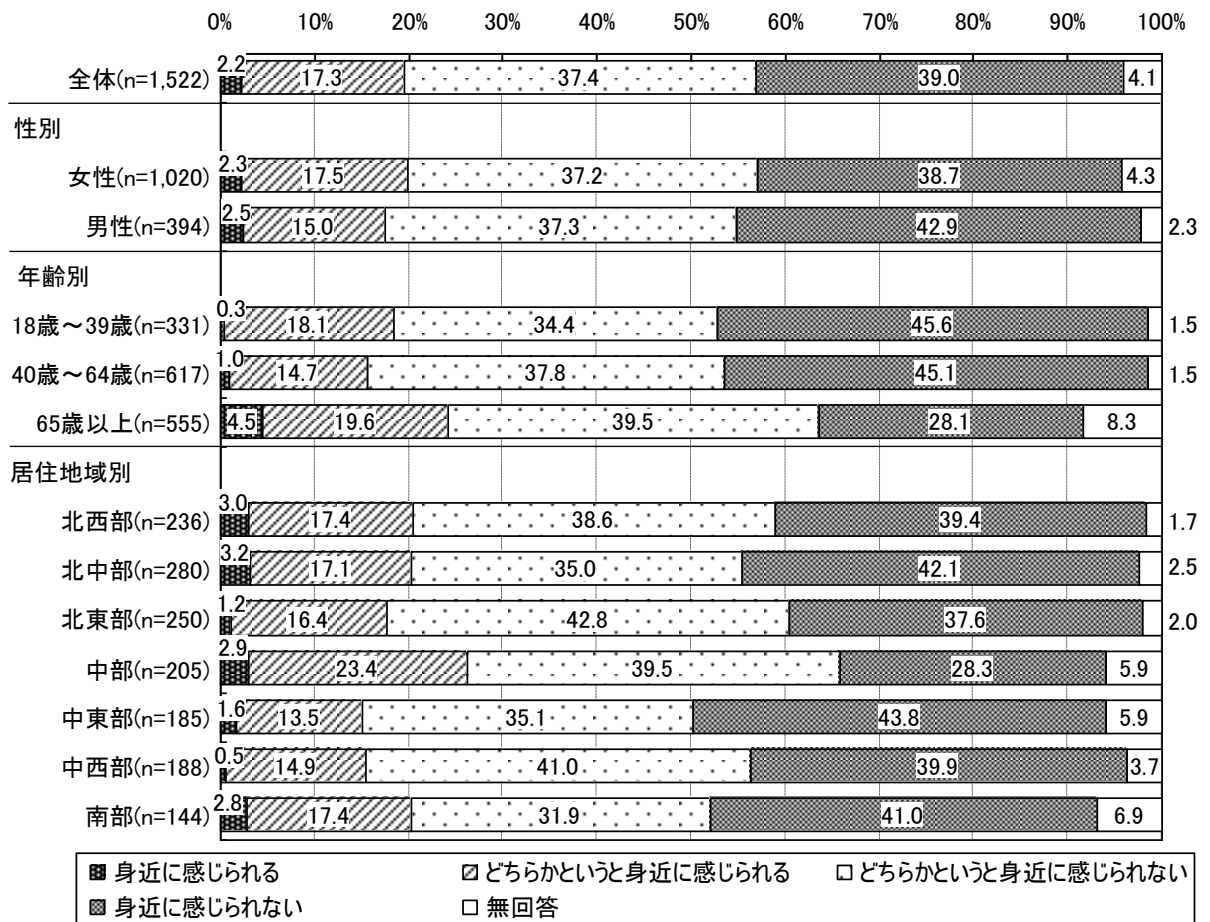
問22 豊中市地域福祉計画の理念である「誰もが互いに尊重しあい、安心して健康に暮らすことのできる福祉コミュニティの実現」について、身近に感じますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「身近に感じられる」(2.2%)、「どちらかというとな身近に感じられる」(17.3%)を合わせて、地域福祉計画の理念を身近に感じている人は19.5%となっています。

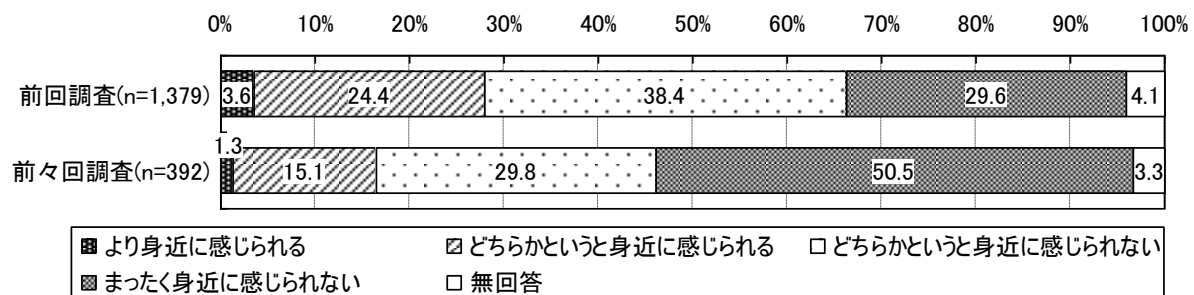
《属性別》

・計画の理念を身近に感じている人の割合がやや高い属性は、65歳以上(24.1%)や中部(26.3%)となっています。



《時系列比較》

・選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、地域福祉計画の理念を身近に感じている人は前回調査の28.0%より低下しています。



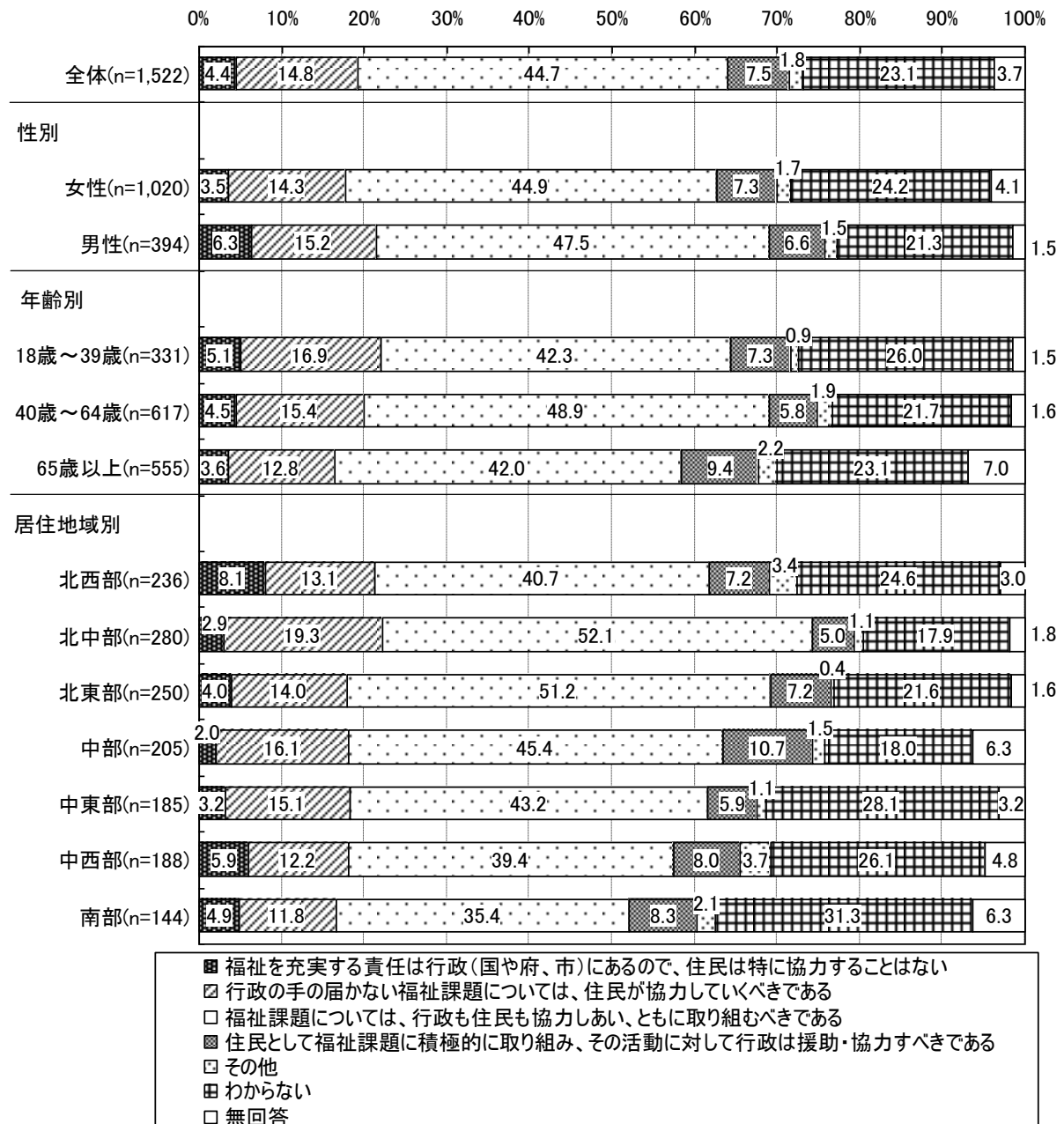
問23 福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。お考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

《概要》

- ・「福祉課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである」が44.7%と最も多くを占めています。
- ・これに次いで「わからない」が23.1%、「行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである」が14.8%、「住民として福祉課題に積極的に取り組み、その活動に対して行政は援助・協力すべきである」が7.5%などとなっています。

《属性別》

- ・地域別に見ると、「福祉課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである」は北中部（52.1%）や北東部（51.2%）で多く見られます。また、南部では「わからない」が31.3%と他の地域より多く見られます。



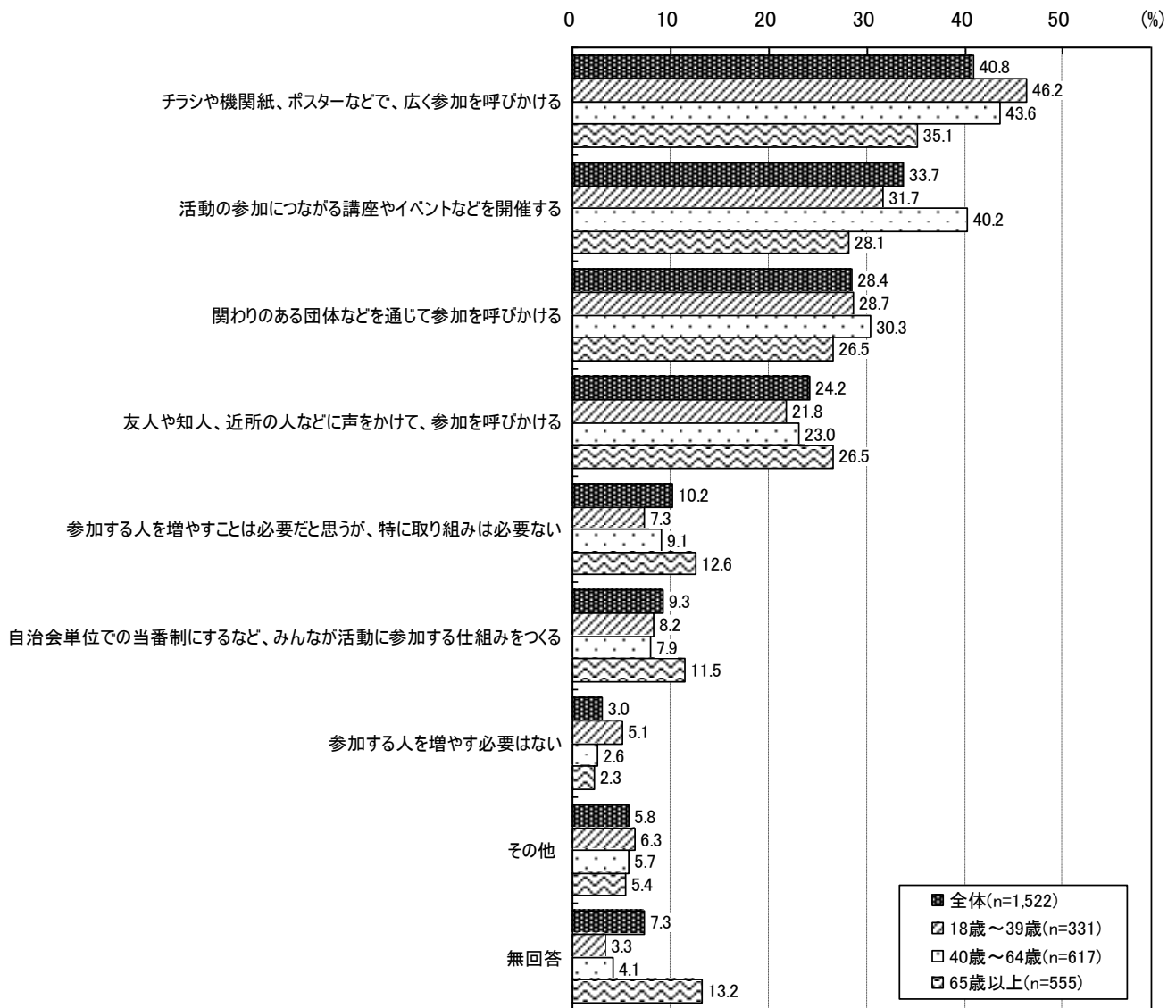
問24 福祉の活動をする人を増やすために、地域においてどのようなことに取り組んだらよいと思われますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

《概要》

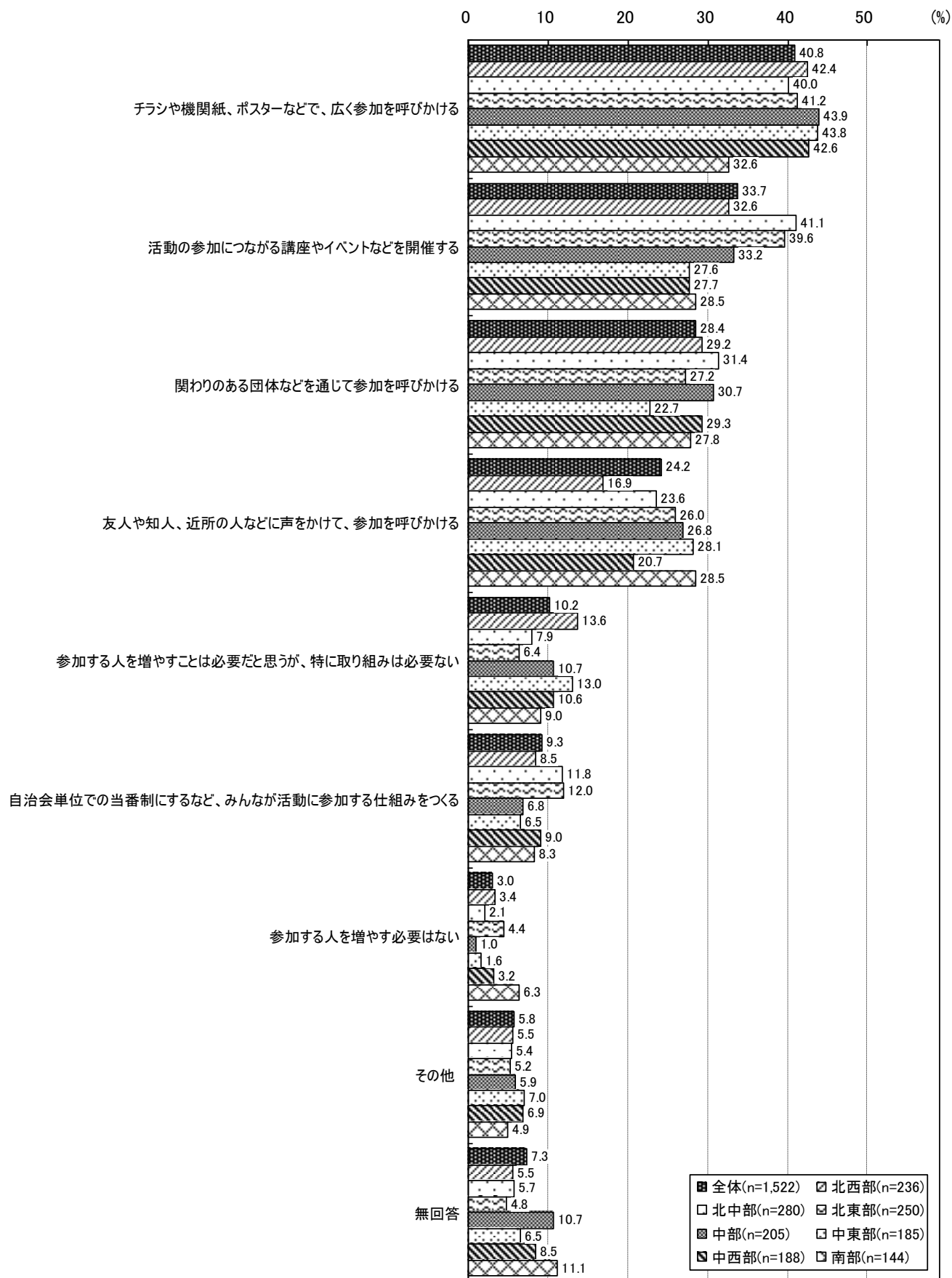
- ・「チラシや機関紙、ポスターなどで、広く参加を呼びかける」が40.8%と最も多く、次いで「活動の参加につながる講座やイベントなどを開催する」が33.7%、「関わりのある団体などを通じて参加を呼びかける」が28.4%、「友人や知人、近所の人などに声をかけて、参加を呼びかける」が24.2%などとなっています。

《属性別》

- ・「チラシや機関紙、ポスターなどで、広く参加を呼びかける」は年齢が低いほど回答割合が高くなり、「活動の参加につながる講座やイベントなどを開催する」は40歳から64歳で40.2%と多く見られます。

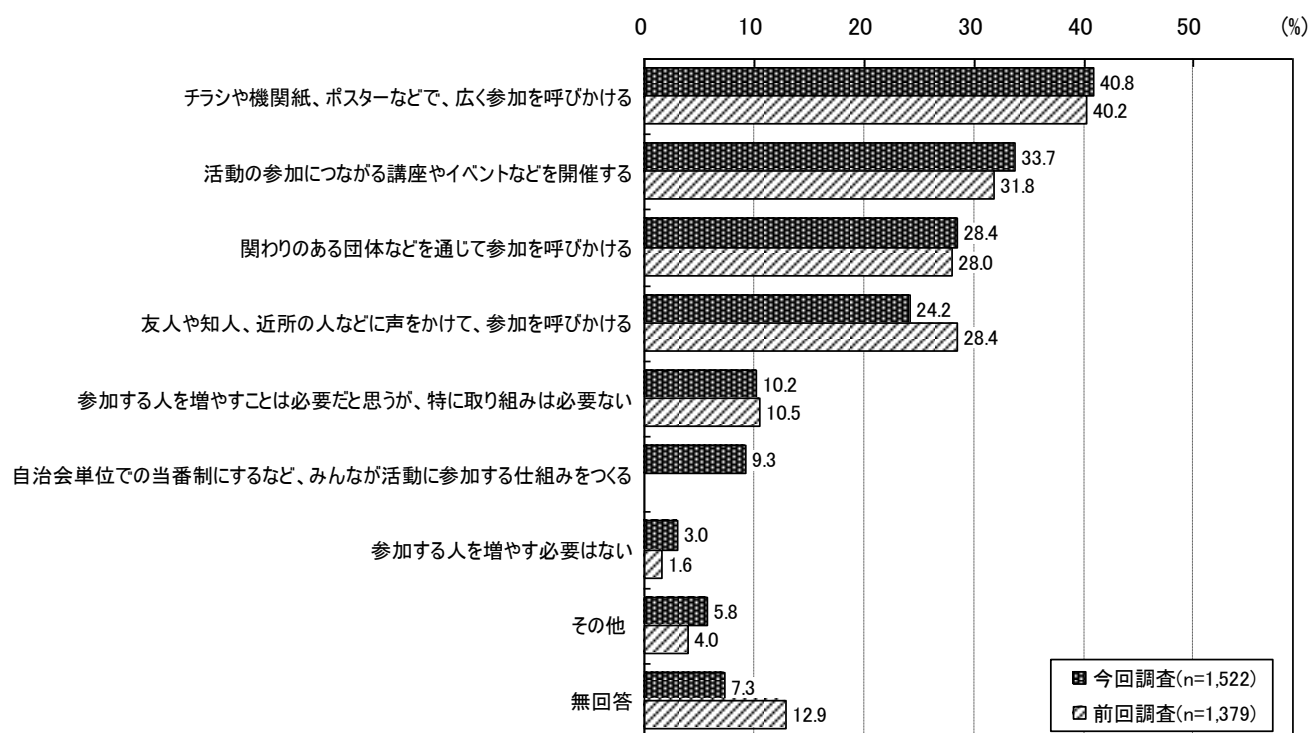


・地域別に見ると、「活動の参加につながる講座やイベントなどを開催する」が北中部で41.1%、北東部で39.6%と多くなっています。



《時系列比較》

- ・ 選択肢の置き方が異なるため、厳密な比較はできませんが、回答傾向は前回調査と大きく変わりありません。



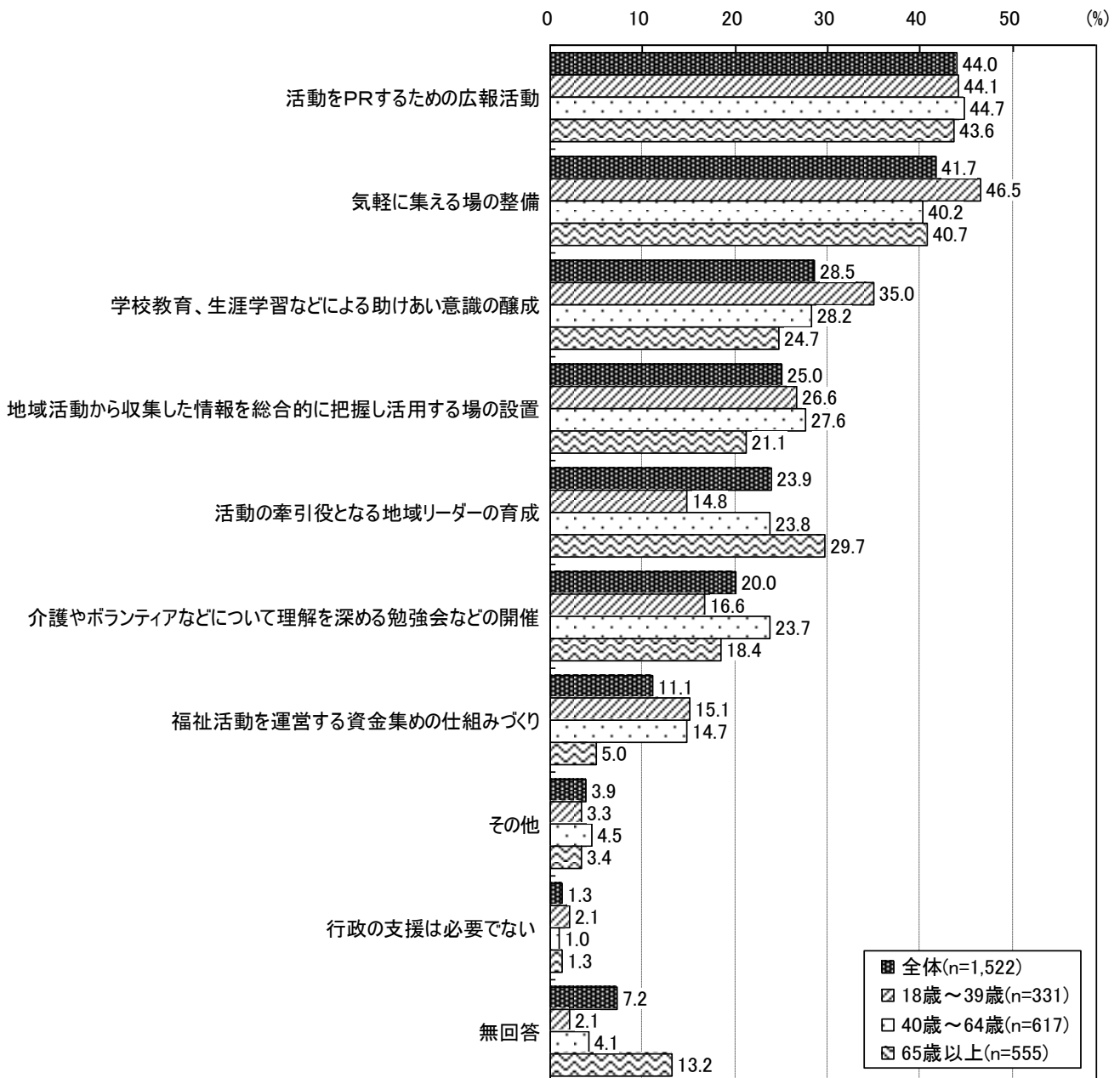
問25 地域の中で、住民がお互いに助けあう仕組みをつくっていくときに、行政にはどのような役割が必要だと思いますか。お考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

《概要》

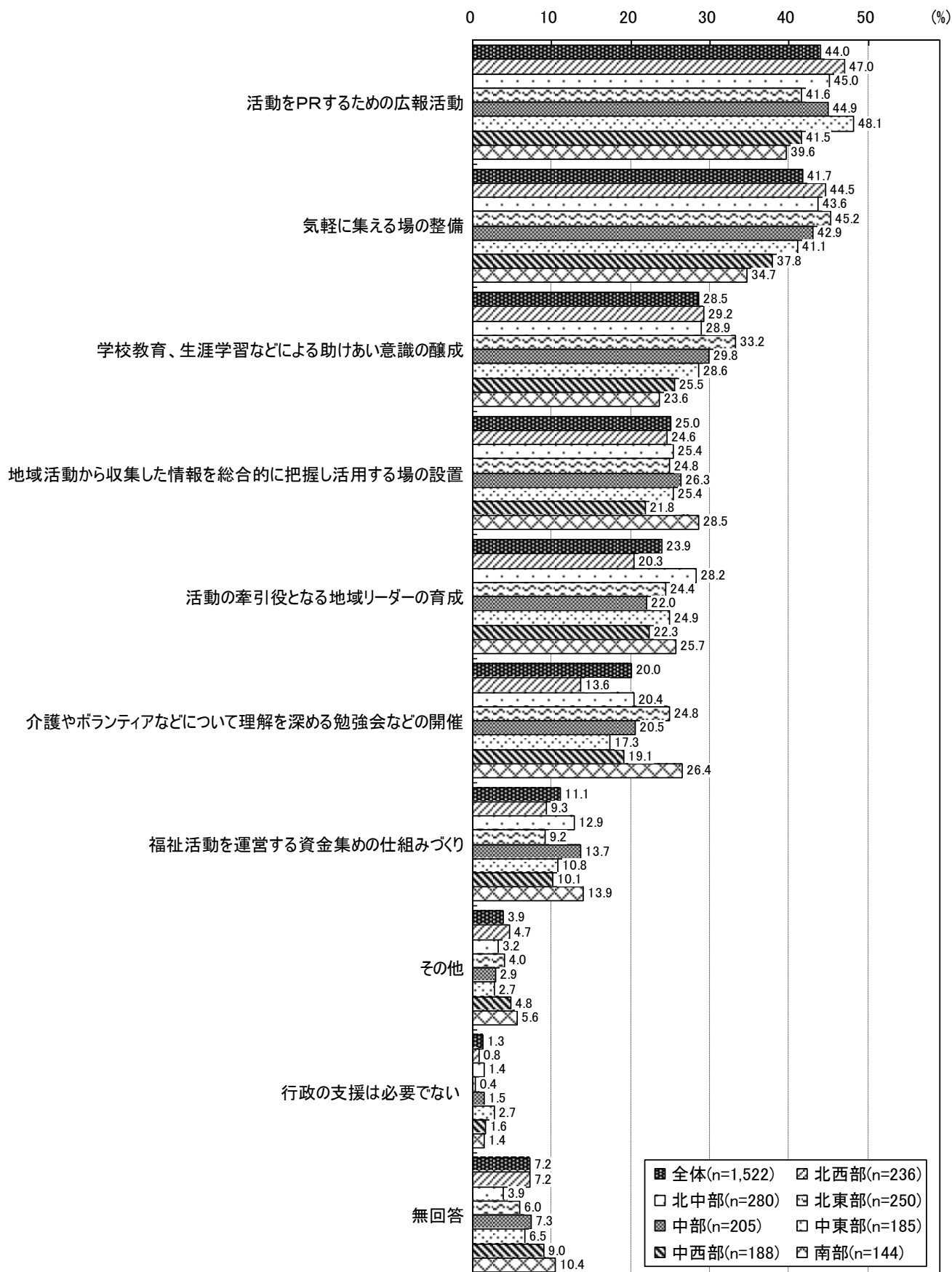
・「活動をPRするための広報活動」が44.0%、「気軽に集える場の整備」が41.7%、「学校教育、生涯学習などによる助けあい意識の醸成」が28.5%、「地域活動から収集した情報を総合的に把握し活用する場の設置」が25.0%、「活動の牽引役となる地域リーダーの育成」が23.9%などの順となっています。

《属性別》

・年齢別に見ると、18歳から39歳で「気軽に集える場の整備」(46.5%)や「学校教育、生涯学習などによる助けあい意識の醸成」(35.0%)が多く、65歳以上で「活動の牽引役となる地域リーダーの育成」が29.7%と多く見られます。



・地域別に見ると、「介護やボランティアなどについて理解を深める勉強会などの開催」が南部で26.4%と多くなっています。



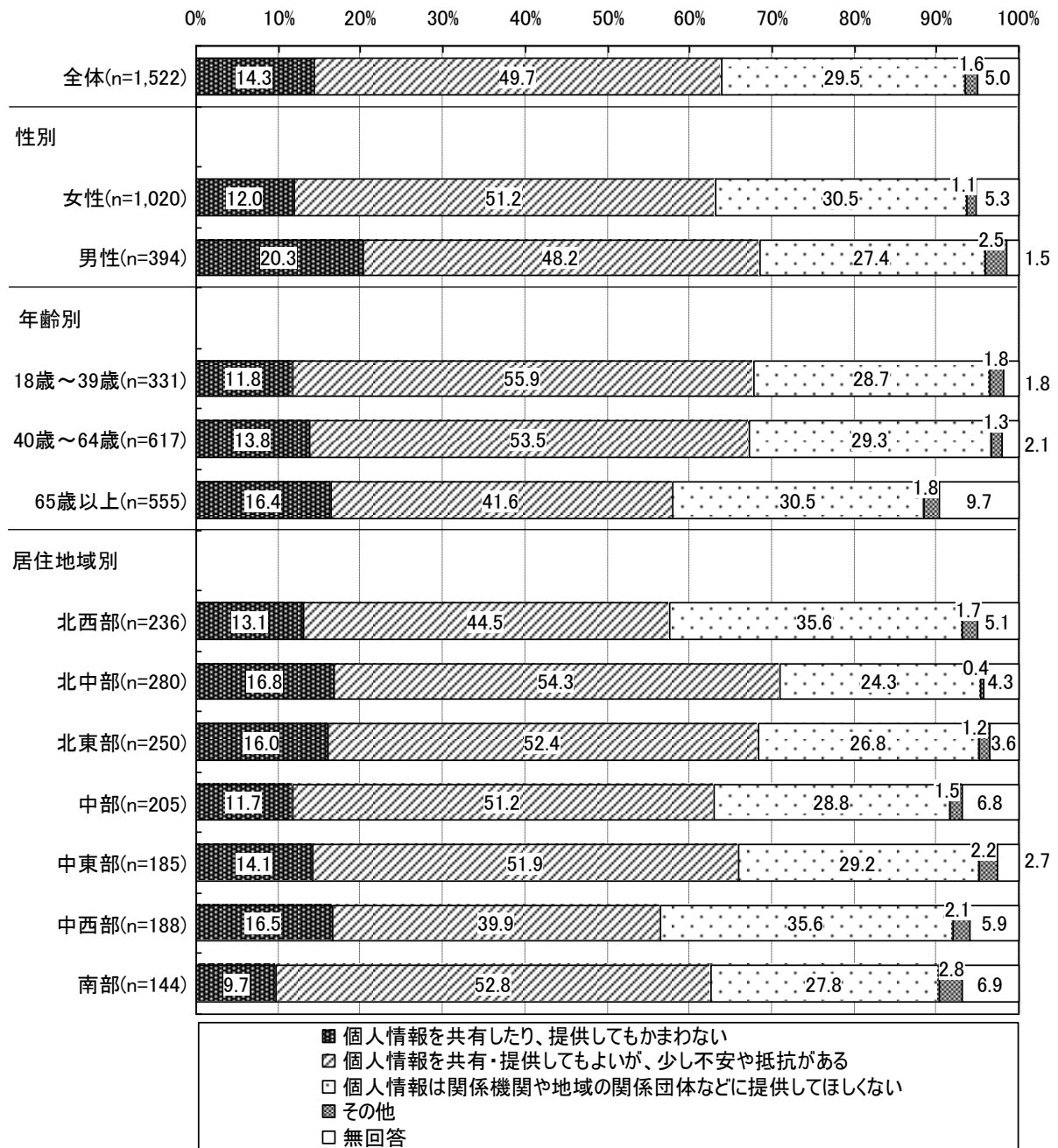
問26 地域福祉に関わる活動や災害発生時の支援のために、ご自身の個人情報が行政内部や関係機関、地域の関係団体などの間で活用されることについて、どのように思われますか。お考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

《概要》

・「個人情報を共有・提供してもよいが、少し不安や抵抗がある」が49.7%を占め、次いで「個人情報は関係機関や地域の関係団体などに提供してほしくない」が29.5%、「個人情報を共有したり、提供してもかまわない」が14.3%となっています。

《属性別》

・性別に見ると、男性で「個人情報を共有したり、提供してもかまわない」が20.3%と多く、女性と比べて個人情報の提供に抵抗感のない人が若干多く見られます。



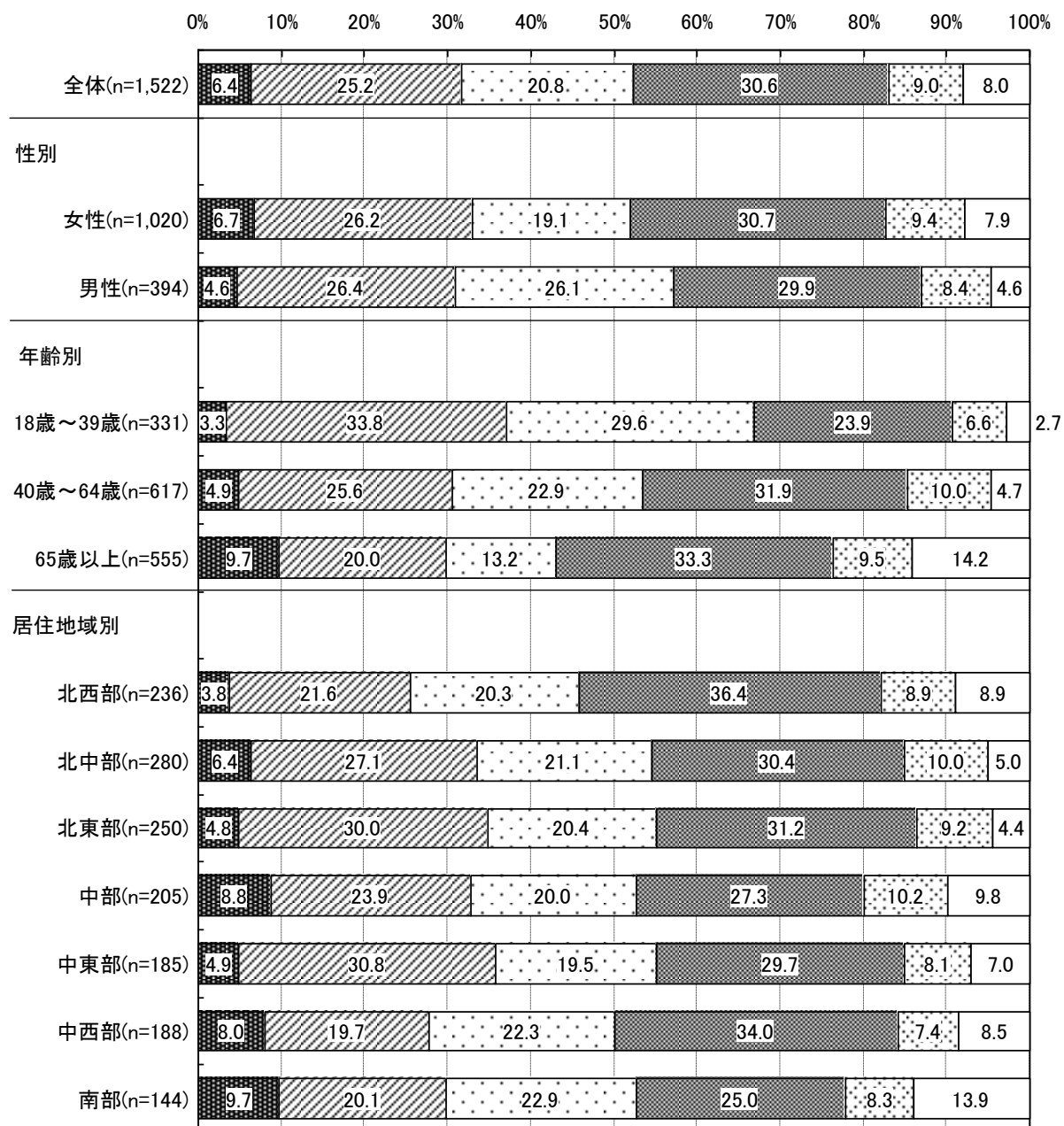
問27 身近な地域で住民が助けあうための活動に今後参加したい（やってみたい）と思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

《概要》

・「現在も活動に参加しており、今後も参加したい」が6.4%、「現在は活動に参加していないが、今後は参加したい」が25.2%と、合わせて身近な地域での助けあい活動に参加意向を示す人は31.6%となっています。

《属性別》

・参加意向を示す人が多い属性は、18歳から39歳（37.1%）、中東部（35.7%）、北東部（34.8%）などとなっています。

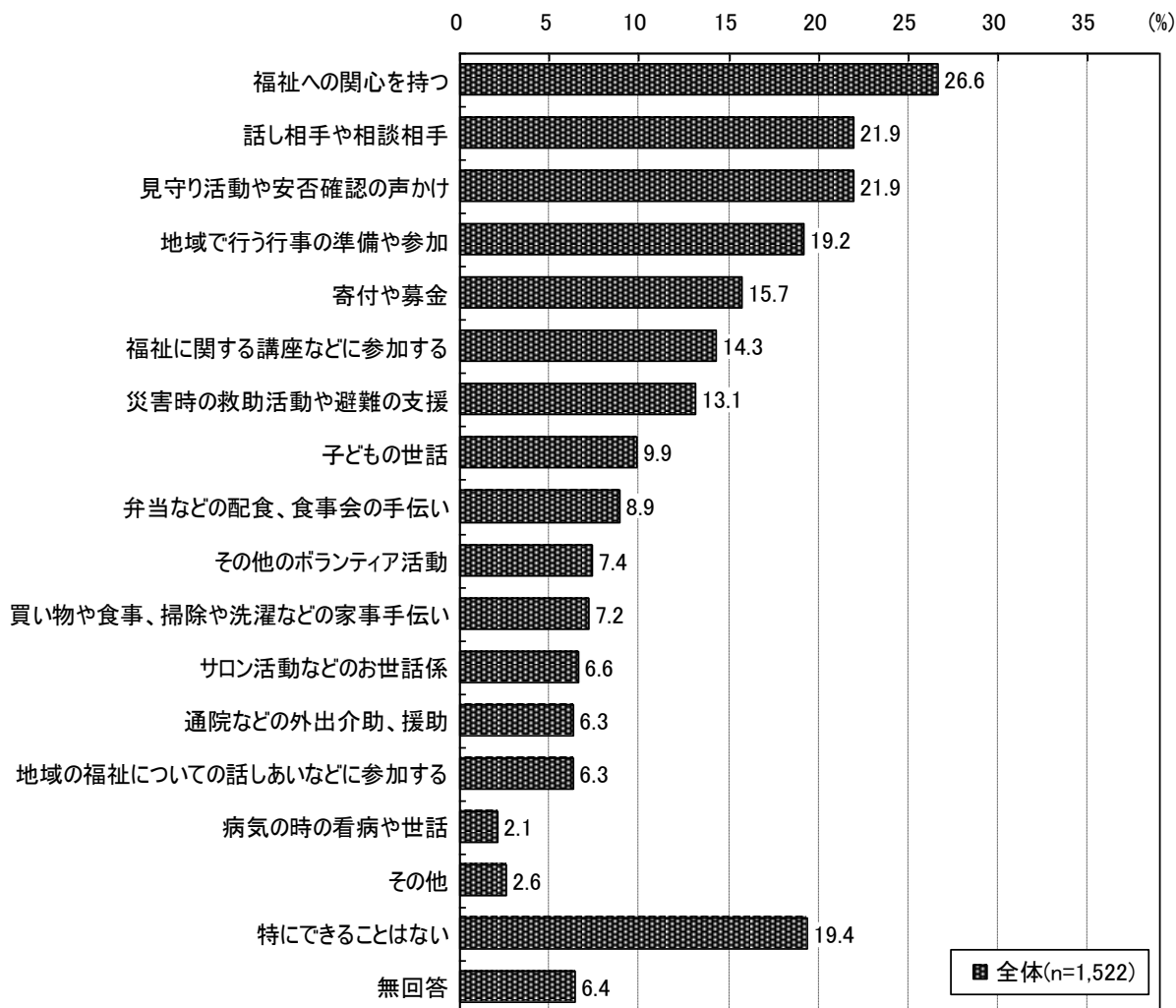


現在も活動に参加しており、今後も参加したい
 現在は活動に参加していないが、今後は参加したい
 そのような活動には関心がない(参加したくない)
 参加したいと思うが、事情があり参加できない
 その他
 無回答

問28 地域で暮らす人々が安心して暮らせるように、あなた自身ができそうなこと、やってみたいと思うことがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

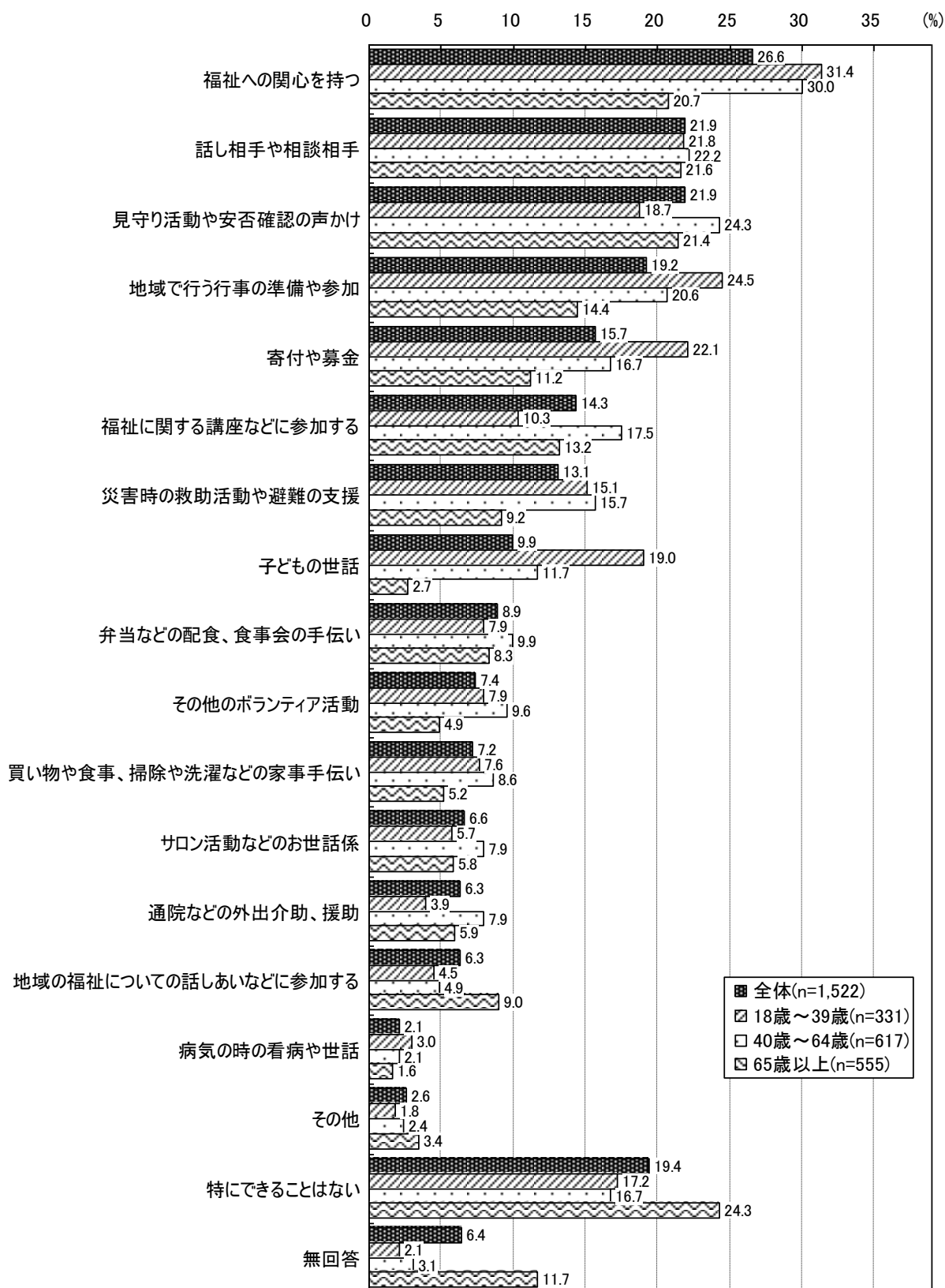
《概要》

・「特にできることはない」と「無回答」を除く74.2%の人が何らかの取り組み内容についてできそう、やってみたいと答えており、内容別には「福祉への関心を持つ」が26.6%、「話し相手や相談相手」と「見守り活動や安否確認の声かけ」がそれぞれ21.9%、「地域で行う行事の準備や参加」が19.2%などとなっています。

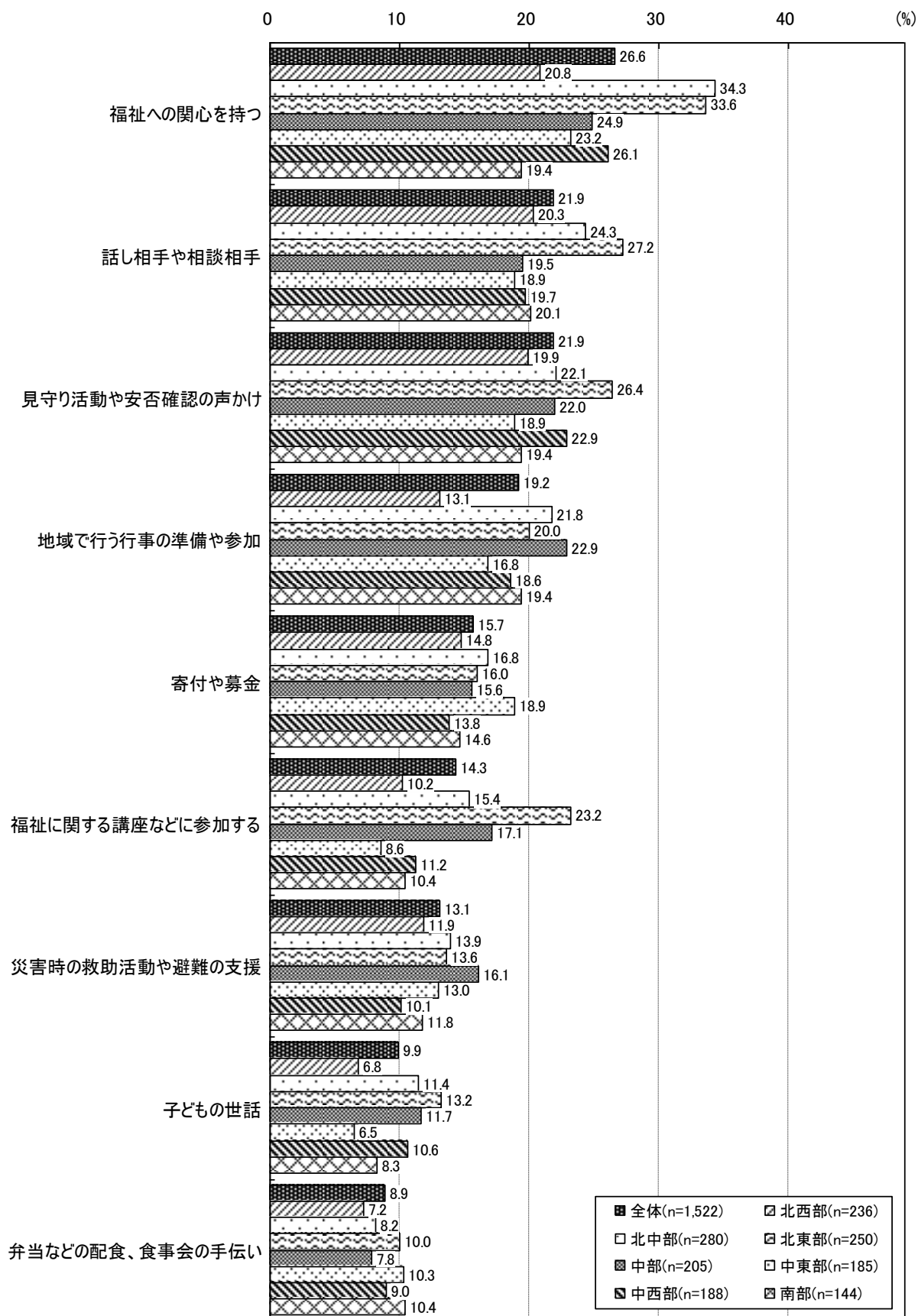


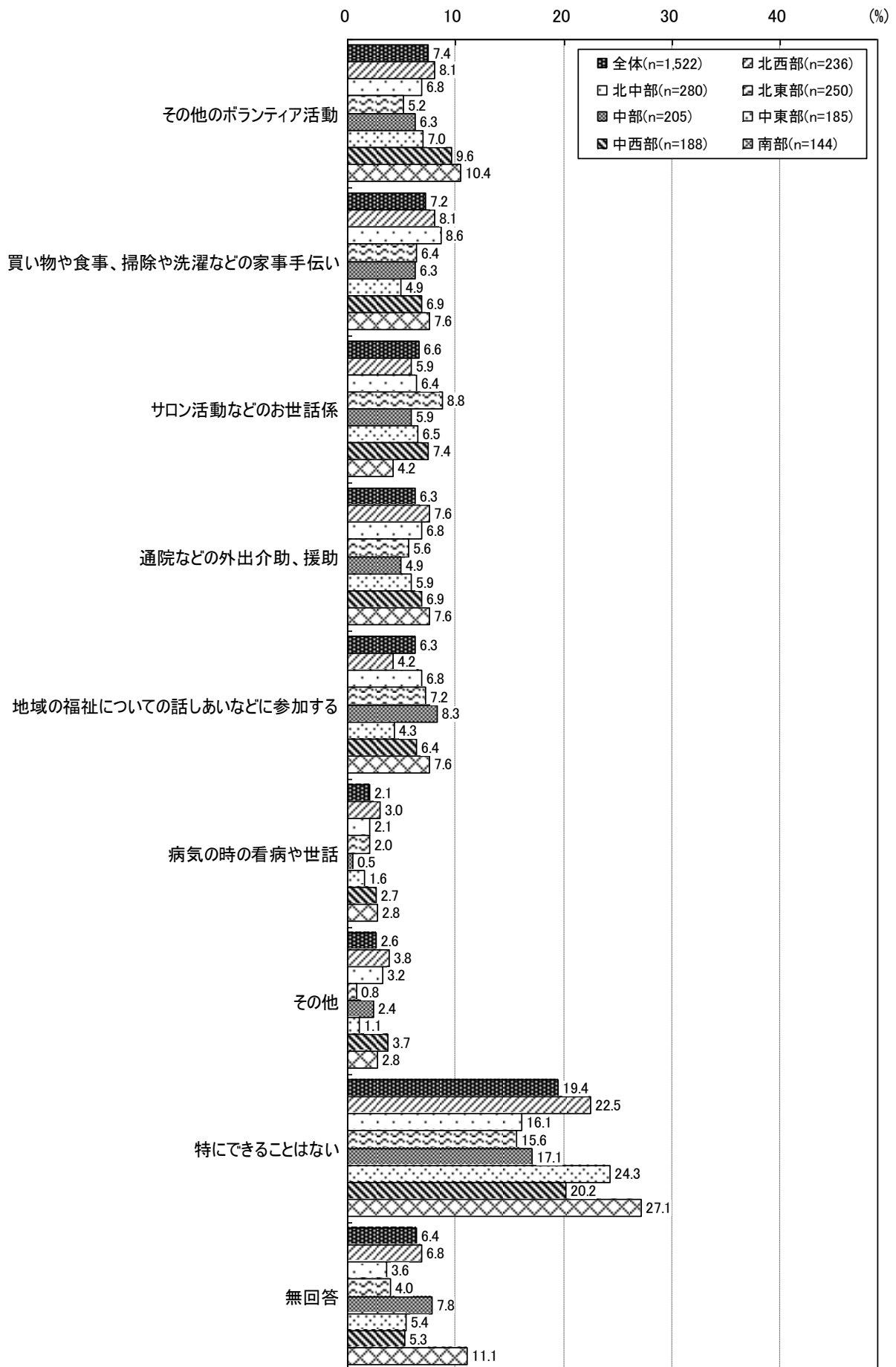
《属性別》

- ・年齢別に見ると、「福祉への関心を持つ」は18歳から64歳、「見守り活動や安否確認の声かけ」や「福祉に関する講座などに参加する」は40歳から64歳、「地域で行う行事の準備や参加」や「寄付や募金」、「子どもの世話」は18歳から39歳で割合が高くなっています。



- ・地域別に見ると、北東部や北中部では「福祉への関心を持つ」や「話し相手や相談相手」が多く見られます。
- ・南部では「特にできることはない」が27.1%と多く見られます。





自由回答意見

- ◆最後に、地域における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けたご意見、行政へのご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

【地域や福祉への関心について】

関心が深まった

- 今回のアンケートで地域福祉のことをより知りたくなりました。きっかけをいただき感謝いたします。やはり人は助けあいですものね。
- このアンケート用紙をいただいて広報誌をよく読んでいます。自分がいかに人に助けられているかということをしわかりました。まだ考えがしっかりしていませんが、何とか私たち夫婦が自分たちでできるだけ元気で生をまっとうしたいと思います。
- 現在、特に福祉活動に参加することは考えていませんが、時間など状況にあわせて今後できることがあれば参加することもあるかと存じます。自分も年を取りますし、いつかお世話になることもあるかも知れませんが、他人事と考えず今回のアンケートを機会にもう少し考えていくことも必要だなと思いました。
- 日頃、福祉関係は意識せず生活しているため、ほとんど何も知らないと感じました。高齢化社会には大変重要なことだと思います。
- 初めてこのようなアンケートを受け取りました。「豊中市市報」はできる限り読んでいます。これから70代～80代となる身なので、病気になった時どこを訪ねて相談するのが不安を持っています。福祉活動のこと、もっと知ることが大切だと思っています。このようなアンケートに参加させていただいたことで、市の活動状況を知ることができ良かったと思っています。今のところまだ元気なのでボランティアで自分にできることに参加してみても良いのではと思っています。
- 私自身、日常の生活に流され福祉活動についてあまり考えることもなかったのですが、この調査で行政が一生懸命考えてくださっていると知り心強く思いました。何か一つでもできることがあれば参加したいです。
- 現在は健康でこのような福祉活動について深く考えることはなかったです。将来もしかしたら福祉の助けを受けるようになるかも知れないと考えると、ご近所や地域との関わりについてもふだんから考えておかないといけないことなのかなと思いました。暮らしやすい地域づくりにもっと関心を持ちたいと思います。
- 私自身いたって健康で生活も充実しており、老後のこと一人になってしまった時のこと等、今のところあまり考えていませんでしたが、この機会に少し考えようと思わされました。少し周りを見てもいろんな方々がいて、どうされるのかと気になることもありましたが、その中に私が入って何かお手伝いできることがあるのかなと思ったりもしています。
- 豊中に住んでいることに現在は誇りを感じていますが、少し体調を崩しリハビリ中などで地域活動にはあまり参加していませんが、また元気になれば何かできればと思っています。
- 独身なのでイマイチ地域活動に関心が持てないが、もう少し興味を持つようにしなければならぬと感じた。

関心はあるが、参加は難しい

- 関心もあり必要であること、ある程度の知識もあるのですが、実際に関わっていけるだ

けの余裕と勇気が今の自分には足りないのだと思います。

- 地域における福祉活動には関心があり参加したい気持ちはありますが、週に6日朝から晩まで仕事をしていると余裕がなく、広報誌に目を通すこともありませんでした。誰でも気軽に参加できる福祉活動の場をつくってもらえたら、輪が広がっていくのではないかと思います。
- 仕事をしているのでなかなか活動に参加することが困難です。土曜日に開催される活動が増えるとうれしいです。
- 夫婦共働きが増え日々の仕事に追われ、なかなか時間がないので福祉活動の参加が難しい。参加したい気持ちがあってもできない人が多いと思う。
- 夫が地域の活動に積極的に参加しているので夫から知識を得ていますが、私自身健康に不安があるので参加したいができない。
- 福祉活動やいろんな会合に出たいと思いますが、体がだんだんときつくなってきて参加するのが難しくなっています。
- 気持ちの上では福祉活動に協力したいと思っても、自分の体に自信がなくなっています。
- 私自身認知症なので福祉活動に参加できません。それでも何かできることがあれば、公園の掃除とか出たいと思います。
- 自身が要支援1ですので、地域の福祉活動はなかなかできない有り様です。
- 福祉活動にと思っても心にも生活にも余裕がない。自分たちが他人に迷惑をかけないように生活したいが、年金で足りない分を補填できる仕事がない。市から65歳過ぎた人の就労に関する情報は得られない。
- 毎日子ども（障害者）の世話で時間を取られていて、なかなか地域の活動に参加できないですが、子どもが外出している時間などに見守り活動などできることがあればと思っています。
- まだ引っ越して来たばかりで妊娠中のため、特に活動にも興味がなく無知です。今後、子育てするにあたり、支援や交流が必要になってくるのかなとは思いますが。まだ実感もなく必要性をそこまで感じていません。とても大切なことだとは思っているので、何かできればと思いますが豊中市にいるのも長くはないと思うので、そこまで取り組めないのかも知れません。
- 助けあいは大切だと思うが、福祉活動に参加し始めると自分の生活が少なからず犠牲になりそうな気がする。余裕があればやりたいと思う。

【地域コミュニティ、自治会について】

地域の現状・課題

- 定年後に現在の住まいに引っ越したため、地域の自治会役員、マンションの理事会役員などすることで少しずつ人との関わりが広がり、なかなか活発な地域だと思います。住みやすいところです。
- 豊中に住み始め2年しか経っていません。お年寄りが多いなと感じたことがあります。見守り活動などで子どもをみていただいているのでとても感謝しております。また、学校での交流の場も多くいろいろ学べて良いです。
- 一人での生活をしている人が多く見られるようになったと思います。老人の見守りが必要になるかと思うようになりました。
- 家族が同居しているが、日中は一人になってしまう老人に対する支援について考慮してもらえるとありがたい。

- 隣に住んでいる人が女か男かもわかりません。そういう单身マンションや住宅が増えていと思います。いざという時に助けてもらう人がいるのといないのとは全然違うと思います。
- 近所づきあいがなくなってきました。そんな中で助けあっていけるのか不安はありません。
- 転勤族が多い町ですぐ近隣の人が引っ越していく感じなので、深い人間関係を築くのが少し難しいのではと思います。当たり障りなく暮らすにはとても良い地域だとは思いますが、何かあっても頼れない、小さい子どもを持つお母さんは多いのではないのでしょうか。
- 多くの人が協力や参加するような取り組みを考えるのはいいですが、この地域は転勤の出入りも多く、活動を活発化させたり強制のようになったり、当番制のようなものになっては長く住む人にとって負担が大きいと思います。
- 暮らしやすい地域づくりは非常に難しい問題です。行政の方からいろいろ良い活動等をつくっていただいても、その地域の方々が素直に取り入れることが難しいと思います。地域または隣保に世話好きな方がおられると良いのですが、年齢が高くなるにつれて体力がなくなります。
- 地域の方とは個人的にはおつきあいや話をしたりしていますが、組織の中に入ることは不可能ですので活動に参加することはできません。市が直接することでしたら仕事を退職すれば少しでも参加できると思います。
- 東丘は地域活動にある程度活発な地域だとは思いますが、気軽に入って行くには少し抵抗があります。配食のお手伝いを考えたことがありましたが、人づてにつくる人の圧力が厳しいと聞き止めました。
- 私が住んでいるのは府営桜塚住宅、10年に1回の理事では自治会の人々との交流もありますが、この団地も建っては44年、月1回草むしりの場で階段の10世帯と顔を合わせる機会も住民が70歳～80歳の老齢になりシルバー人材に委任、月1回の交流もなくなりました。建物自体が交流を阻む形なのです。扉を閉めれば安心安全ですが、交流も切断。この団地以前は二戸一の家で人々は鍵もかけず外には共有の洗い場があって、人々の会話でさざ波のようなやりとり…。自然なかたちで交流の場を持てるなら…、それが最大の望みです。
- マンション住まいで昼間は一人でいるので外部との接点がない。ドアを閉めると一人の世界なので近隣とおつきあもないので、今利用しているデイサービスに週一回出かけるだけなので人と話したい。同じ世代の方との集まりがあれば参加したい。ケアマネジャーから「コラボ」でいろんな催しがあるので一度見学に行ってみてはといわれている。毎日が体の状態を心に気にしながらの生活なので、なかなか勇気を出していろんなことに参加できる状態にないので淋しい。デイサービスがもう少し利用できると嬉しい。

自治会の現状・課題

- 現状の自治会の役割が不明確。何をしているのかわからない。
- 自治会の活動をよく知っていないことに気づきました。新しくできたマンション生活では自治会の声が届いていないのです。地域の行事にも集合住宅の我々を積極的に受け入れる姿勢がないのかも…。情報をもっとください。
- 私の地域は自治会への参加がすごく少ないと聞いています。我が家もそうです。どなたに聞けばいいかわからず…。公民分館の活動は活発ではありますが、次につなげることが大変難しく（役をどなたかにお願いしないといけない等）、自治会に加入し皆で当番制などできることをやっていかないと、地域の活動は衰えるばかりだと思います。同じ方がいろんな活動に重複していることが多く負担も多いと聞きます。

- 昔のように地域で率先してお世話する者がなく、自治会はあっても名前だけ。回覧物も回さないでという家庭がほとんどです。豊中の広報があるということでしょうか。淋しいです。
- 自治会員の高齢化問題について悩んでいます。公営住宅は自治会の当番が順番で回ってきます。掃除も2か月に1回あります。年齢や体調による配慮をしてもらいたいのですが、配慮を申し出ることがとても悪いことのように感じさせられるのが現状です。生活には便利な地域なのですが、そういう意味で住みにくさを感じています。
- 自治会員に入っていないと何人にも知らされないのが老人は淋しい。
- 地域への関心や物の考え方に、若い方とのズレを感じます。私たちは中年層ですが自治会への参加などが減って自治会の役員も永久参加となっている。自分たちの子どもの安全を守るのも人まかせであり、親の方の参加がないですね。小・中学校への意識改善をもう少し進めていただければうれしく思います。

地域活動、自治会のあり方

- 地域住民の連携を図り、地域の清掃等、その組織づくりに行政が積極的に取り組むべし。そのことが住民どうしの親しみ、助けあい、気配りが生まれ、子どもを含めた公共心が生まれる。基本的なことから行政の努力が必要と考える。
- 地域のあり方を見直す時代が来たのではないのでしょうか。今までのようなやり方では見向きされないとします。
- 仕事が忙しくても単身者でも、小さい子どもがいてもお年寄りでも参加を断わりづらいような活動ではなく、気軽に協力できるような内容でないと続かないし参加はしにくいです。自治会の活動を増やしたり、地域の行事を増やしたりするというのは若い人たちはついて来ないのではないかなと思います。
- 子どもたちが小学生の頃に地域のPTAをはじめ、自治会にも参加、お手伝いをさせていただきました。その頃より十数年経った今も、毎年の行事や活動はほとんど変化なく継承されており不思議でなりません。少子高齢化により地域の世帯の構成も変化しているにも関わらずです。もっと柔軟に簡素化できるものは手を加えていかれたら良いのにとします。
- 近所づきあいは相手が信用できないと難しい。個人情報あまり開示しない現在は、その人がどんな人なのか、安心できる人なのか、子どもだけで公園で遊べない世の中になって、本当に地域の安全というものに？マークです。
- 新しく来た人たちも地域に打ち解けられる仕組みをつくってほしい。
- 地域活動に対する豊中市の支援が少ない。また、古い住民、古い組織が非協力的である。
- 新住民が何か提案しても古住民に否定されるなど、地域のリーダーの存在は従来のことを継続していくには良いが変化には対応できない。行政の工夫が望まれます。
- 同じ人ばかりの活動で新しい人が入りにくいように思う。
- 特定の人が上に立って、したり顔で活動しているのが変。特定の人がやっている活動から外れたところに本当に困っている人がいます。豊中市の福祉等の活動は、一部の特定の人自己満足、自己利益で終わっています。
- 長年関わってきた人たちばかりで、なかなか既存の活動は参加しにくいです。豊中市は転入が多いので、一工夫あればもっと参加者も増えるように思います。がんじがらめで決まりごとばかりではなく、もっと流動的に参加できるような団体のあり方を考えていきたいです。
- 各自治会活動で熱心な福祉活動のできる人を選ぶこと。人選に問題あると思う。福祉活動のアピールが足りない。自治会を通じて取り組んでほしい。

- どこの地域も小さな子どもから高齢の方まで様々な年齢の方がいます。すべての方が満足いく地域づくりというのは正直難しいと思います。うちは小さな子どもがいますので、通うのに不便な歩道や危険な歩道などが気になりますが、高齢の方にも共通することだと思います。そのような意見を気軽に相談や伝えることのできるシステムがあればいいなと感じます。
- URに住んでいますが何をやるにもお金が必要です。自治会費をすべての住民に収めるように頼みたい。たとえわずかでも人にものを頼んだり協力してもらった時はお手当金を出すべきだと思う。お年寄りの人でも幾ばくかの収入になると協力してくれる人もあると思う。敬老の日の祝い金、バスの割引金など豊中市はもっと福祉へお金を出すべきだと思います。

【身近な助けあい、支えあいについて】

顔の見える人間関係づくり

- 助けあうためにはお互いに知りあう、信頼しあうことが大事で、知らない人には難しいですね。そのことを実感します。
- まずは近隣の方々との信頼できる人間関係を築くことが大切だと思います。自然と助けあいの気持ちが生まれてくるよう心がけたいと思っています。
- 向こう三軒両隣の言葉があるように、近所とのつきあい、あいさつが当たり前、「わが町」との意識を持つ、明るく楽しいまちづくりを豊中市が推進していただきたい。
- 高齢化社会がどんどん膨らむ中で大きな課題だと思います。ご近所、友人、仲間との交流が大切、地域にリーダーシップがあれば、それを支援する手助けがあること、誰かが動かなければついて行けない。支援を受ける年齢となり考えることは多くありますが行動が伴わないのも事実です。豊中市の福祉活動に応援したいと思っています。
- 暮らしやすい地域にするためには、まず第一に近隣の方々の協力姿勢、周りへの関心、助けあい、他人事と思わず受け入れていくことが大切だと思います。その中で困ったこと、解決しないことを行政に相談し、協力していただける体制が必要なのではないかと思っています。

身近な助けあい、支えあいの大切さ

- 地域への福祉活動の推進といわれますが、形にはめた手助けの参加が必要なものかもしれないが、もっと心から声かけ、手助け等を住民が自然と活動できるようにしてほしいと思います。
- 古くからお住まいの方が減り、近所とのコミュニケーションがなくなってくる中、私の住むところはまだまだ恵まれた地域ですが、これからは高齢者、保育問題が重要なこととなると思います。地域の助けあいがますます大事ですが、これからも近所での助けあい等、近所で頑張りたいと思います。
- 昔は町内みんなで子どもを育てていましたが、現在はプライバシーの問題とってお節介のひと言で済ませているように思う。自分の子どもは友だちと一緒に、みんなで育つという認識が薄れているように思います。人は誰かのお世話になっている。人は誰かのお役にたっている。小さい時から親も隣の頑固なおじさんも必要。手をつないでみんなで生きていくという教育を願っています。
- 今は二人で何とか自立して暮らしていますが、もう少しすると老体はまうます大変になってくると思う不安はある。地域の人から声かけでもしていただくと元気になると思う。

助けあい、支えあいの課題、改善策

- 今の世の中は物騒で、住民どうし助けあえる関係になるのが難しいと思う。だから行政が掲げる“住民が互いに助けあう仕組み”というものも完璧にできることはないだろう。完璧、パーフェクトを求めるのでは意味がないと思うので、しっかりと現実を見て“目標”を立てるべき。現実離れしていることをいくらめざしても達成できないのは当然だ。
- 今後ひとり暮らしの老人が増える中、行政の対応が追いつかないのではないかと。かといって身近な地域での住民の助けあいは必要と思うが、身近なだけに難しい課題がある。
- 特に最近感じますが、地域の方々と仲よく助けあい、住みやすいまちづくりは一人ひとりの意識の問題もあると思いますが、いろんな公民館行事にしてもただ役員さん関係者のみがわかっているのではなく、もっと何らかの方法で皆さんに伝わるようにしていただきたいと思います。
- いろいろな活動があると思いますが、イマイチ内容が理解しにくい。参加したいと思ってもどのように手続きをすれば良いのかわからないし、いろいろなこと聞かれたり電話も次から次へ回されたりして話がうまく通じないように思います。誰でもが参加できるように簡単な行事から呼びかけてくだされば、もっと身近に感じ行動しやすくなります。自治会等にリーダーがいてくだされば安心して参加できると思います。民生委員の人たちは忙しくあまり話せない。福祉に関する人を総会の時に参加していただき、少し時間を取れば人の口から広がって、私たちも安心して参加できると思います。
- ふだんから家の周りや近隣を見回る人を復活させる工夫が大切だと思います。リタイア老人や引きこもり青年が家の周りや近隣の掃除、草花の世話などをすることを奨励する工夫がいるでしょう。さらに通勤やランニング時に異常を見つける人を含めて気楽に報告し、その集計を知ることができる地域情報サイトがあれば良いと思います。
- PTA、健育、指導ルーム、福祉委員会などで活動してきましたが、福祉委員会はポイント帳なるものがあり、何となく若い人（40代、50代）は入りにくい感じがしました。資金は潤沢。でも見ていくつになってもお世話されるよりは誰かの役に立ちたいという高齢者の皆さんには感服でした。超高齢化の時代、“仕事”を与えるのが福祉活動になるでしょう。なので、すぐ補助金を出さない方が良いと思います（会合やバス旅行とか）。小学校区のふれあいサロンの場所が遠く参加しにくい人がいました。車の運転ができなくなった高齢者も参加できるよう、もっと小さなコミュニティを活性化すべきだと思います。でも、与えるのは娯楽じゃなくて役割、仕事が良いと思います。
- もっと若い人たちが活動できる場が増えれば良いと思う。現在は退職後の方たちが中心となっているが、若い人たちが行うことでより良くなるもの（例：小学生対象のX'mas会など）がたくさんあると思う。しかし若い人たちと現在活動してくださっている方たちとの生活リズムが異なり若い人たちが集まらない。

【福祉活動、ボランティア活動について】

思いやりの心を育む教育の大切さ

- 大人になってからボランティア、チャリティをしようといっても、そういう環境が育っていない。キリスト教の国は自然とその精神が芽生え育まれている。今の日本の義務教育のあり方に疑問を持つ。
- 近所トラブルが多い世の中です。一人ひとりが思いやりの気持ちを持つ心を、学校教育または福祉活動においていってほしい。殺人事件が多すぎます。
- 今やっている人は私が私が感があり、地域で特別に何かしようというのではなく、一人ひとりがごみを拾うとか、よろける人を手助けするとか、人間として当たり前ができる

人間をつくる教育が必要です。人にいわれてやることではない。地域の中で悩みや個人的なことを他人（近所の人）にいいたくない。人の不幸は密の味的な気がする。豊中市は特別とか思っている市役所の上層から人間の心を持って心配りをすれば良いと思う。

- 戦後の「自由と平等」の強調が何をやっても自由、したくないことはしなくて良いという考え方の横行が地域社会への参加を薄めてきたように思う。社会の一員、また社会の最小単位である家庭を構成する一員として、自由には義務と責任が伴うことの教育面が欠けてきたと思う。家庭教育はもちろんだが、それを担う親自身の教育を含めて学校教育の中で「自由と平等」には「責任と義務」が伴うこと、同時に相手にも「自由と平等」があり、それを尊ばなければいけないことなどを恐れず教育していく必要があるのではないか。結局一人で生きている訳ではなく、生きていけるものではないこと等を長い目で教育が何より大切だし、結局はそれしかない。

福祉(活動)に対する思い

- 今はまだ直接福祉にお世話になっておりませんので何ともいえませんが、行政の世話になることを恥と思う人もまだ多いと思います。本当にお世話になる人が声を発せられるようお願いしたいと思います。
- 最後まで他に迷惑をかけないように努力を継続する個人的な信念は最後まで続けたいと思っていますが、より多くの人たちが福祉活動の恩恵が受けられることを願っています。
- 福祉活動が片寄っているように思う。行政は細やかに市民に活動すべき。
- 近所や知りあいに困っている人がいれば手伝いたいと思うが、活動に参加や団体に入るのは煩わしく思います。気軽に自分の得意なことができれば良いと思います。
- 介護、子育て世代ですが煩雑な仕事に忙殺されています。良かれと思ってイベントを開かれても、本当に大変な人は参加できないのでは。きちんと福祉にお金を使って仕組みを定着させて、コロコロ変わらず何かあった時に手助けしてほしいだけです。困った時ほど手続きが難しく役に立たないという思いをしているので、例えば後見人申請などとも使えないです。
- 安心して生活できる地域づくりのためには、福祉活動は欠かせないとは思いますが。ただ一方、体が多少不自由になっても高齢者となっても、個人の生活にあまり関わってほしくない、ほっといてほしいと思っている方もたくさんいます。それは自己責任の問題として対処することになりますが、その辺のバランスが難しいと思います。
- 小さい子どものいる家庭への配慮ばかりで、40～50代の家庭へのサービスがまったく感じられない。サービスがなくても豊中に住んでいて良かったと感じたい。40～50代は利用されていると思うばかりです。
- 10/30に「お困りごとないですか？」と3人、市関連の方たちが65歳以上対象ですがと玄関先にやってきた。一軒一軒回っているという。何しに来たんだろうと話してみた。とよなかの広報誌をみても知らない人。就労でお世話になったNPOの方々には店前を通ると活動してる！と心の中で応援しながら通り過ぎる。時間があるかないかといえば、時間つくれます。勤務先も私も月1くらい弁当配食、食事会手伝いできそうなのに。目先優先ですよ。

福祉(活動)への関わりを深める仕組みづくり

- 転入転出の多い豊中では、若い世代でも中高年の世代でも孤立しがちだと思う。私自身も友人はいません。今ある地域の組織とも努力なしではつながれない。簡単に参加できないと忙しい世代は参加しにくい。同じ世代どうして、または様々な世代でつながれる仕組みづくりがあれば、仲よくなったどうして「地域のために…」「ボランティアしたい…」という気持ちが熟成されていくのではないのでしょうか。何かやりたいと潜在的に心

に秘めている人はとても多いと思います。仕組みづくり、場づくりのアイデアがとても大切だと思います。

- 地域活動へ参加することによりポイントを配布する等、目に見える形で報酬があると地域活動へ積極的になる人が増えると思う。地域活動を行うことで得になる、行わないと損になるという感情が地域活動への入口となり、動機は不純かも知れないが一度地域活動の中でコミュニティを形成してしまえば、日々生活への不安は安らぎ、長期的には行政にとって支出増大のデメリットを負ってでも価値はあると思う。ただし、そのポイントの保有量によって住民としての優劣を判断されるような性質であってはならない。
- 暮らしやすい地域とは一体どんな地域なのかと考えると、子どもを持つ親としては学校教育、子育て支援、医療体制、自由に遊べる公園（子どもどうしが勝手にコミュニケーションを取れる広場）が充実してもらえたらいいかなと思いました。あと、子どもどうしの輪が広くなれば必然的に親がついてきますので、福祉活動を推進するのであれば、まず子どもから興味を持ってもらうことはどうでしょうか。

困っている人、助けを求めている人の把握

- 誰もが暮らしやすい地域にするためには、年齢層や生活環境によって違う様々なニーズをまずは把握していくことが大事だと思う。困っている人が困っていると、助けてほしい人が助けてほしいといえるとは限らない。地域でそういった声を上げられる先をつくり、また身近にそういう場があれば良い。自治会や小さい地域単位での活動が望ましいと思う。私自身もいろいろなお手伝いやボランティアに参加したいと思っているが、子どもが小さく、なかなか身動きが取れない状況である。
- 福祉活動といってもあまりに範囲が大きすぎてわかりづらい。子どもを対象にしても、子育てなのか保育なのか、子どもに対しての活動か…。高齢者に対してもいろいろ家庭により困ることはそれぞれです。まずお願いしたいのは、困っている人はなかなか他人に相談できないので、見つけてあげる形態が必要。これは行政でもボランティアでもいいと思います。
- 私自身は困っていることも少なく関心も薄い方ですが、本当に福祉の援助を必要としている方の声に耳を傾け、声を上げられない方に気づき、支援ができるように頑張ってもらいたいです。福祉は人の手がいることですね。行政が人手不足では充実も難しいかと思いますが、自分の住む町は住みやすく温かい町であってほしいと思います。

ボランティア活動

- 私は地域とは関係ないところでボランティア活動をしています。改めて意識することでたくさん活動ができる場があることを知り、これから特に身近に感じさせられることばかりなので考えさせられました。
- 常勤の仕事があるため、土・日に限られるのですがボランティア等の活動をしています。報酬などは期待しませんが、活動を認め喜んでいただけて労ってくだされば満足ですが、このような小市民の個人の活動では目に留めていただくこともなく、自己満足のようなのが何とも寂しい限りです。
- ボランティアを自分で進んでできる人を探す。
- 「とよなか」の冊子を時々読んでいますが、小さい子どもや高齢者を対象とした企画が多く、参加の意欲はありますが同世代の参加が少なそうで参加に抵抗があります。同世代の単身世帯も参加しやすいような企画を考えていただければ、今後参加してみたいと思います。
- ボランティア活動をしてみたいけど、やったことはありません。気軽に参加できるシステムがあったらいいなと思います。高校生など親子で参加できればやりたいです。若い

時からボランティアに参加するのは大切なことだと思います。

- 子育てが一段落したところ、義父の介護問題等ありました。テレビでも子ども食堂のことなど気になっていました。少しでも何か役に立ちたいと思いがありますが、継続することが難しいような気がします。回数制など参加しやすいお手伝いができるといいです。
- ボランティア活動の募集内容が一目でわかるような一覧表がスマホなどで簡単に見られると、ハードルが下がり参加しやすいと思う。
- 他の市で自分がやったボランティアがポイントとなり、将来そのポイントを使って助けてもらえる制度がありボランティアをしているという方の話を聞いたことがあります。豊中市はありますか。あれば活用したいです。
- 議員がまず先頭に立ち福祉について議論すべき。政務活動費、歳費を見直すことによるファンドを創設し、活動の支援ができる体制を整えることが重要。ボランティアとはいえども活動には資金が必要だと判断いたします。
- 社会貢献する人はよくやっていると思う。やらない人は勝手なおじさん、おばさんも多い。この点ダイバーシティを感じる良いところですよ。調査内容は詳細によく勉強してください。感謝しています。

【集いの場・機会について】

気軽に集える場・行事

- 地域清掃、夏まつり、地域運動会及び文化祭等の行事ではふだん会わない方に会える良い機会だと思います。続けて行ってほしいものです。
- 地域ごとに気軽に集える場の整備が必要。そこでお茶飲みながら談話して楽しくおしゃべりができたり、高齢者の体力予防体操をしたり、引きこもりをなくし、いつでもその場所へ出て来れるように、週（月）に1回でも活動できる場があれば良いと思う。
- 気軽に参加できる行事をたくさん開いてほしい。
- 年配の方、子ども世帯の方などの行事はあるが、中年層が参加できる行事がもっとあると良い。子どもがいなくて転勤族のため、集合住宅等でつきあいがまったくない。
- 地域の中に、気軽に集えてホッとできるような無料休憩場を地域住民で運営できる仕組みがあって、自分や家族のためになったらもっと地域活動に関心を持つようになるかも知れない。道で近所の人、地域の人に会っても、車の通行が多くてゆっくり話せない。地域憩いの場はとても大切だと思う。
- 気軽に行ける食堂や話ができる空間がほしい。背もたれのいすがほしい。地域のいたるところで。
- 地域のお年寄りとおふれあう場とかもあればいいなと思います。
- 病院へ行くと特に用もない高齢者の方が受診もせず、お話だけして帰ったりする姿を見ます。高齢者の方々の集まることのできる場所があまりないのかと思いました。
- 公民館がもう少し室数が多くて皆さんが使えると人も集まるのではないかと。
- 地域には住民が集まって交流したり会議をする場所がない。公民館など。組織はあるが箱がない。
- 広報で興味深いイベント（料理・ガーデニングなど）を見かけますが、平日開催が多く仕事でなかなか参加できません。土・日に開催してもらえれば参加、地域の方と知りあうことができるといいなと思います。ご検討をお願いします。
- 囲碁、音楽（オルガン、ギター等の楽器）が趣味ですが、囲碁であれば子どもに教える、音楽であれば一緒に演奏するなどを気楽にできる場所があれば良い。
- 気楽に参加できるトレーニングセンター、料理教室など低料金で提供できる場所を増や

す努力をしてほしい。また、健康寿命を延ばすための取り組み、体操教室、野外レクリエーション、ハイキングなど。

- ピンコロ教室→元気教室、手芸教室、おしゃべりサロン、わかい会。7月から座ってする体操、歩いて数分にある会館で無理なく指導も良く楽しい時間を過ごしています。私にとっては大変ありがたく感謝しております。続けられる限り続けようと思っています。
- 人の温かさに触れると人は優しくなれるもの、友人や家族と暖を囲み語りあう時間が自分を支えてくれる存在に気づき、きっかけになるかも知れませんね。

公園、親子の集いの場

- 赤ちゃんを連れていけるママカフェのようなところをもっと増えてほしいです。
- もっと気軽に小さい子どもが集まって、親子とも友だちをつくる場所（児童館など）があれば良いと思います。また、幼児～小学校卒業まで、気軽に遊びに行ける室内型施設があったら良かったのと思います。みんな、マンションのエントランスで遊んでいるので。
- 小学校の校庭をグランドゴルフなど老人向けスポーツにも開放し、子どもたちも一緒に参加できると良いのではと思います。服部の方にはグランドゴルフ、ゲートボールなどできる施設がありますが、北では知らないだけかも知れませんが見かけないので。
- 小学生が放課後に集まれる場所の設置。
- 子どもがのびのびと遊ぶことができる公園や施設を増やしてほしいです。雨の日でも親子で遊ぶことができる場所なども増やしてほしいです。
- 子どもたちが安心して自由に遊べる場所がほしい。近くの公園は野球やサッカーが禁止されている。ボール遊びは他の子や近所に住む人たちの迷惑になることは良くわかる。だからといってすべてを禁止するのはどうなのか。ならば別の場所を提供してボール遊びができるようにするなど、何か他の策の提案があっても良いのではないか。あれもこれもダメでは子どもがかわいそう。今の大人が子どもの時も周りに迷惑をかけて成長したはず。地域で子育てをしていける環境を心から願います。
- 引っ越して間もないので具体的な活動はまだよくわかりませんが、子育てをする上で集まれる場所が少ない、あっても遠いため、なかなか参加することができない。上の子が小学校に上がると地域とのつながりももう少し感じるようになるのではないかと期待している。
- 公園で遊ぶ小学生がうるさいと近隣の住民から各小学校に「公園で遊ばせるな」と電話があったと、以前学校の集まりで聞きました。福祉の活動ありがたいですが、公園の意義から市民どうして共有できてないと感じている。子どもが気の毒です。
- 最寄りの公園が長興寺公園なのですが、車でそばを通ったり子どもを遊ばせたり利用させていただいています。金属バットや硬いボールで球技を禁止する告知をお願いします。何かあってからでは謝罪やマナーが悪いだけでは済まなくなります。近くの学校への告知や告知看板などで、球技を公園ではなく運動場もしくは球技場とするようお願い致します。

【子どもの教育・子育て支援について】

子育て支援・教育に力を入れる

- 高齢者ばかり目を向けず、もっと若者や子どもたちのことに対して活動してください。立派な大人になって税金を払ってもらえるようにしてください。
- 子育て支援にもっと力を入れていただきたいです。

○次代を継ぐ子どもの教育が肝要とずっと思っています。

待機児童問題

- 預ける保育園、幼稚園がいっぱいみたいなので引っ越しを考えています。子育て支援はしっかりしているのに残念です。
- これから子育て世代になりたいと思っても、待機児童が多すぎてとても子どもを産める環境ではありません。もっとこれからの世代にお金を回してほしいです。そして時間のある高齢者に子どもの面倒をみてもらえるような制度をつくって貰いたいです。
- 保育園の4月入所申し込みの結果が出るまでが長く、結果が出た後の準備期間が短いです。慣らし保育の期間も短い。北の方は施設が充実していますが、庄内西小の区域は大阪市との境なので全体的に利用できる施設が少ないと思います。病院も北側ばかりで、救急の時は行くのに時間がかかるので困ります。
- 新千里西町に住んでいますが、高齢者に対する行政や地域からのサポートは手厚いように感じます。一方で新しいマンションがどんどん建設され子育て世代も激増しています。私も4歳の息子がいますが、認可保育園に2年待ちましたが入れず、やむを得ず無認可→幼稚園に通わせています。保育園の待機児童解消にもっと力を入れてほしいです。新しくマンションを建設する場合に保育施設の導入も義務付けるとか…。それから予防接種のワクチンも数が不足し受けることができず、長期間待たされています。こういった問題が発生していることを把握し、解決に向けて取り組んでいただきたいです。

子育て支援制度

- 地域に子育て世代は多いが、図書館の絵本の読み聞かせは週1回しかないのが残念。土日の開催も検討してほしい（幼児向け）。支援センターは保育所併設なのが使いづらい。他の市のように子どもの遊べる独立した施設をつくってほしい。保育所をもっと増やしてほしい（千里中央周辺）。待機児童対策を強化してほしい。
- 豊中市に引っ越ししたばかりです。支援センターやサークルを利用しましたが、とても良かったです。
- 授乳できる場所やおむつ替えができる場所の増加。子育ての助成金の増額。保育園の増加（安心して預けられるところ）。

経済的支援

- 高齢者ばかりではなく子育て世帯も増えているので、教育支援に補助金を出してほしい。千里中央は保育園の一時預かり代や幼稚園入園費など高すぎる。同じ豊中市なら統一してほしい。多子世帯なので負担が多くて困っている。インフルエンザ接種の補助金制度も設けてほしい。第3子の保育料無償も一番上の子が小学校3年生までという基準を止めてほしい。子どもの年齢が離れているのでサービスが受け取れないのはおかしい。
- 子の医療費ゼロ（中学卒業まで）の行政が多い中、自己負担があることは子育て支援に対して積極的な姿勢を示しているとはいいいにくい。特に保育園への入園が困難な状態が続いており、子育て世代としては決して子育てしやすい環境であるとはいいいくため改善を求めます。

保健医療体制

- 小児科の少なさ、予約制のところも多く、急病の際、どこへ行けばいいのか、とても不安です。夜間の急病体制も遠いところへ行くなど医療体制を充実してほしいと思います。
- 乳幼児の健診について、1歳半健診時の個々にテストのような確認あります。この年齢は生活環境（上に兄弟がいるとか家族数が多いとか）、性格によって数分の確認テストで

判断は難しいと思います。何度もできるまで質問をし、最終できない場合は数か月後に再度来所して確認テストをやらされます。何人も子育てをしたことのない母親にとっては、これは親切ではなく自分の子どもが成長の遅れがあるというレッテルを貼られることとなります。ノイローゼ気味となり自分の子どもを愛せない、育てなくていいという状況にもなり得ます。来所ではなく希望する場合は個々の家庭に訪問し優しく対応していただきたい。この健診は今後必ず見直しを希望します。

ひとり親家庭に対する支援

- 働けるであろう人が生活保護を受け必死に働いている人より優雅にしているが、日々を暮らすため必死に働き給料を得たら年収オーバーと手当も受けられず、ひとり親でも何の助けももらえず生活している人もいる。ひとり親なのに入籍せず、子どもを生んで手当を受け取っている人もいる。そんな人をしっかり見極めてほしい。
- 福祉をここまで推進するなら本当に困っている人を助けてほしい。福祉って介護だけなのですか。ひとり親で家を購入した時、市役所から民生委員を通して、ひとり親の証明を取るようにいわれた。失礼な話だと思った。必要性を問うとわからないといわれたことなど、役所も答えられないことを市民に求めないでほしい。

【高齢者福祉・介護保険制度について】

高齢化対策を

- 年寄りにとってはありがたい世の中となりうれしく思う。
- 今後、高齢化社会になるので、介護など暮らしやすい街にしてほしい。将来的に年金が出るのか不安もある。先のことも考えて制度や政策を行ってほしい。
- 独居老人対策、急務。
- もっとひとり暮らしの立場の人への関わりを配慮した地域づくりをしてほしい。
- 老齢で働けなくてもお金がなくても、1か月7万円位の年金（国民年金）があれば、あとは行政が何とかしてくれるから安心という日本国の豊中市ができたらいいですね。
- 今は元気で働き自立して生活しているが、高額所得でもなく元気で働いているうちは良いが年と共にいつまで働けるのか老後はかなり不安に思う。年金も先延ばしで、いざその年になって貰えるのかどうかも不安。どちらにしてもいつまで生きるかはわからないが老後が非常に心配だ。低額所得の者でも安心して暮らせる老後になればと希望している。

高齢者福祉制度

- 80歳と90歳の夫婦です。この先はどうなることかと心配しています。90歳の夫は認知症で老老介護になっています。買い物に2時間出る間に預かっていただくところ、例えば公民館のようなところが近くにあると便利なんです。遠いと連れて行くことができません。施設も急にはダメだそうで外出に困っています。良い場所があればと思っています。
- 買い物や食事、洗濯など家事手伝いをしていただきたいと思う。
- 現在は孫娘と同じ市内の特養に入居しており、願わくば車いすでも外出して孫娘と一緒に気軽に入れるレストラン、食事（介護食）ができる場所があればうれしいです。外出がしたいのです。介護食レストランを！
- 敬老の日の記念品、足の悪い人でも会場まで来なければ渡さないシステムはどうかと思います。足だけでなく気分のすぐれない人もいることを考えてほしいと思います。それ

と一生懸命来られる人にお手拭1枚はあまりにもお粗末ですね。予算の関係もあると思いますが、他の都市に比べると違いが大きいです。

- 入院時の保証人は行政の方で考えてほしい。
- 高齢で働けなくてもお金がなくても、1か月7万円位の年金（国民年金）があれば、あとは行政が何とかしてくれるから安心という日本国の豊中市ができたらいいですね。

介護保険制度

- デイサービスについて、近くを利用したいと思っても要支援の人たちの利用が多く、介護者が順番を待っているがなかなか通所できない状況である。病院あるいは整形外科の先生を通して通っている場合もあるのか。ケアマネジャーさんを通して順番が難しい。問題点もあるのでは。
- ヘルパーステーションのレベルの低さ。人の噂などプライバシーの侵害があり、とても嫌だ。もっと意識レベルを高く持つように指導してほしいです。
- 介護をしてくださる方が訪問されていますが、年配者が不安を持つ一つは、貴重品（現金含む）が失われることの不安を抱いておられる方が多いと感じています。介護の方すべてではないとしても一部の人のそうした行為が老いた人に不安を与えていることは残念に思います。教育や介護施設の方の徹底した教育に期待しています。

【情報提供・発信について】

行政による情報提供・発信の充実

- 情報提供をもっと活発にしてほしい。
- 市民への情報のアクセシビリティを高めるべき。どんなに良いことしていても情報が届かなければ効果は薄い。
- 市役所に情報を集めに行きやすい雰囲気や場所の提供をしていただきたいです。
- 行政よりもっとアピールして情報がほしいです。
- 広報版のアピールが足りない。
- 豊中市の予算の都合もあるが、数多くの市民に対し現在の福祉活動の推進状況や暮らしやすい地域づくりの施策等についてわかりやすく説明し広報することで、市民の理解度及び積極性の向上を図る必要があると思慮される。
- 市の福祉やヘルプがもっとわかりやすくなれば、ひとり暮らしにも役に立つと思います。期待しています。
- 福祉についてわからないことがたくさんあり、まず何から何処へ行ってどんな手続きするのか。何がわからないにかもわからない状態で、突然必要になります。必要になる前に案内すべきだと思います。利用者から来るのを待つのではなく、行政が動かないと成り立たないことだと思います。だから現在あまり活動が充実していないと思います。もっと動いてください。
- 市の行事についての情報が少なく、市が何をやっているのか、何をやろうとしているのかわからない。また、参加するについても情報が少なく、積極的な行動に走れない事情があります。いろいろな活動がなされていると思いますが、すぐ仲間に入れるような雰囲気ではありません。
- 広報とよなかなどに、もう少しわかりやすく参加しやすいように書いていただければ、または市のホームページなどにわかりやすくPRするなど、関心のある人は見ていると思います。また、災害時、避難場所などはホームページにわかりやすく載せてほしいです。

- “福祉活動”が身近でないのであまりよくわかりませんが、この先親の介護もあると思うので、市の広報などで特集など、わかりやすくどんなことができるのかなど知らせてほしい。ホームページでも良い。
- このアンケートで初めて知ったこともあり、「そうなんだ」と思うこともあったので、もう少し認知度を上げる活動が必要ではないかと思いました。知らない人の方が多いのではないかと思います。
- 視覚障害があり携帯電話も持っていないので、地域の活動や緊急事態情報を知る機会が少ないです。田舎のように地域に拡声器などで豊中市の情報を知らせてくれる方法はないでしょうか。
- 子どもがいないため、特に何も情報が入って来ないので豊中市の取り組みがわからないことが多いです。最寄駅が江坂なので吹田と混ざりがちになってしまいます。
- 私のような夫婦二人暮らしで現役世代というのは、あまり福祉との関わりを持つ機会がない。それでもまずは自治会や福祉だより等の書面を通じて、現在の取り組みを把握するように心がけている。数十年後には老人二人の暮らしとなるだろうと思うので。そこで思うのは、私だけでなくITを活用した広報、相談、手続きが可能となる未来を実現してほしいということです。
- 子育て支援については広報などで確認しているが、必死に自分で情報を収集しないとサークルなどに参加できないように感じる。義務教育でないのは承知ですが、今困っているのは子どもの幼稚園問題で、入れるか入れないか、どこの幼稚園が豊中市にあり、いっどこでどうしたらいいか、それこそ必死に情報を集めなければ幼稚園難民になるとか。豊中市は特に激戦区。子ども支援、子どもサービス云々の前に、もっと子育てしやすい安心して子どもを育てられるサービスや情報を提供していただける市にしてほしい。今は子育てに不安ばかりです。例えば幼稚園に入る子どものいる家庭には幼稚園情報など送付していただけたらするとありがたいです。
- 介護保険の申請方法や利用方法などがもっと簡単にわかりやすくなればと思います。実際、実父や義父ががんにかかり入院となった時、一時退院の際、入浴や食事、階段の昇りなど介護が必要になり申請を…と書いていても看病でなかなか申請もできず（申請しても面談などできる状態でもなく）、どうすればと思っている矢先亡くなり、結局何もできなかった。もっとスムーズな流れをつくってほしいものです。
- 今、母（80代）が施設を探していて、いくつか見学に行ったりしています。私がPCで情報を取り場所確認等を行っていますが、母はPCもスマートフォンも使いませんので情報が集めにくいようです。パソコンを使わない、ネットを見ない者はどうしたらいいのだといつも嘆いています。施設といっても様々な種類があり、各々新しいものもできているようです。ある程度の年齢の高齢者には、市から各施設の一覧のような物（金額・サービス・空き状況のわかるもの）が紙で配布されるサービスをお願いできれば嬉しいです。
- 町の看板はよく拝見するので、ポスターやチラシをもっとつくってほしい。Webの時代といわれているが、Webに関して信頼度は低いと思う。やはり昔ながらのチラシ・ポスターが良い。
- 他市に住んでいる親の後見人になっているが、書類が多く弁護士、司法書士、裁判所となかなか大変です。今のうちに子どものためにも勉強する場があればと思います。

福祉活動に関する情報発信

- もっと広報活動を行うべき。どのような活動を行っているか、ほとんど知らないのでは。
- 地域における福祉活動の内容を詳しく知らないなので、広報誌やホームページを見てみようと思った。

- 具体的にどんな福祉活動をしているのかをわかりやすくPRしてほしい。大部分の人は知らないで関心がないのだと思う。
- 福祉活動がいつ、どこで行われているかも知らない。いろいろ活動されているようですが、広報を通じて知るのみです。もっと間口を広げてもらいたいものです。
- 簡単に福祉活動のお手伝いができる情報を取れる仕組みがあれば、気軽に参加できるかも知れない。
- 今年の4月に引っ越してきましたが、実際、豊中市や地域でどのような活動が行われているのか、よくわからないのが正直なところです。もし歩いている途中や買い物をしている時などに、そのような活動のアピールがあればわかるかも知れないと思いました。
- 単身者、ひとり暮らしで日中は仕事で不在が多い人でも参加可能な活動があれば参加させていただきたいのですが、その情報をどこで得ることができるのかよくわかりません。行政に関わる窓口等へ出向けば得られるのでしょうか、窓口の開いている時間帯はほぼ勤務時間と重なり出向きにくいです。駅やスーパーでの情報掲示があればありがたいです。
- 動く（働く）ことのできる高齢者に対して、福祉活動のPRを増やす。駅やバスなど公共機関で広告（福祉活動のPRだけでなく、市が行っている、行う予定の活動内容）をする。市報だけでは情報を取得しにくいいため。
- 2年か3年前位にメールで刀根山にボランティア活動はあるのかと聞いたら、「ないです」といわれました。聞かなくてもボランティアがあるかないか、わかるようにホームページをつくってほしかったです。
- 老人も子どももない家庭なので福祉のサービスをほとんど実感することはないです。寄付金を集められるだけで、その後どのように使われているか広報などでもっと報告してほしい。
- 看護師なので職業としては医療・福祉に関わっていますが、地域でとなると関わり方もわからないので、自分にできることがあるなら（例えば災害時など）知りたいです。子どももなく後に遺す人がいないので、財産の寄付や募金など、今取り組んでおられる事業の情報がないので、ネットなどの能動的な方法ばかりでなく、調べる時間や方法も少ないので広報誌やポスターで「街を歩いていたなら目に入るな」というレベルでの受動的な方法があれば嬉しく思います。

【相談支援体制について】

気軽に相談できる窓口

- 行政に相談ごとがあれば連絡先の一覧表を作成していただきたいと思います。各戸に配布していただいたら助かると思います。
- 相談したいと思った時に気軽に相談できる窓口をつくってほしい。仕事をしている人は平日の9：00～17：00に相談できる人はいません。相談するために仕事を休める人もいません。福祉関係すべて相談できる窓口がほしいです。
- 夫婦とも後期高齢者で持病があり、気力・体力の衰えを実感しながら毎日を過ごしている老夫婦です。子どもはいません。これからますます厳しくなっていく老老介護生活で、いずれ福祉の支援が必ず必要となる高齢者、障害者の立場でしか今回のアンケートには答えられてないと思います。本当に安心して気軽に相談できる窓口が身近にほしいと切に願っています。
- 介護などのわかりやすい相談窓口がほしい。気軽に仕事後夕方からでも行けるところ。いろいろその家族にあった提案をしてほしい。

- もっと気軽に相談ができたり集まりやすい場があるといいなあと思います。10代、20代、30代の…など、大きめのくくりのようなものを設け、人が集まりやすい、話せるような場があちらこちらに、好みによったりその時の困りごとで選べる場があったりするといいなあと思います。
- 私は様々なコミュニティ活動に参加するには80歳過ぎていますので、市から毎年健康診断の勧めを毎年送っていただき感謝しています。お陰さまで健康で自己管理に食生活、運動、近所の友だちと時々はつきあいで互いに情報を出しあい、今のところ充実した生活をしています。でもいざとなったら市の相談室に相談できるという場所があることを心の頼りにして頑張っていきたいと思っています。

相談窓口での対応

- 市役所の窓口の対応が非常に良くなり市民として感謝しています。これからも市民に寄り添って対応していただければ大変ありがたいです。
- 窓口で対応される方は、相談しやすい人物で親身に聞き迅速な対応と機転をきかすことが重要ではないかと思います。嫌々対応しているのか、またこわい印象を与える方は担当をやめていただいた方が良くかと思ひます。
- 自治体、行政の福祉相談窓口を建前的な理想・理念を振りかざす窓口でなく、もっと身近で親近感のある気軽に相談できる場として提供してほしい。
- 生活が苦しく市役所に相談に行ったが、結局何もしてくれなかった。

【社会福祉協議会や民生委員・児童委員について】

社会福祉協議会について

- 豊中市社会福祉協議会や校区福祉委員会の活動を掲示板やスーパーに内容を書いて貼ったり、広報に載せたら良いなあと思います。
- 社会福祉協議会は高齢者や子育てサークルなどが中心で、思春期（中学生）の子どもの相談するところがない。就職活動中の学生の心のケアなど、地域に住むどの世代にも対応してほしい。学生、社会人、主婦それぞれに悩みや不安を抱えていると思うので、相談窓口など増やしてほしい。

民生委員・児童委員について

- 民生委員は一体どんなことをする人ですか。広報とよなかで書いて（説明して）ください。
- 民生委員のあることは知りませんでした。
- ひとり暮らしの高齢者・病人、民生さんが把握し、年齢問わずお元気な方が一日一回安否確認出向かなくても電話するとか、自分からも電話するとか考えてほしい。倒れたままのこともある。集会所にいらっしやいばかりでなく、外出しない、できない人にひと声かける運動が必要と思う。
- まったく活動を行っていない民生委員を知っています。行政として活動内容の点検等をしっかり行っていただきたいです。

【生活環境について】

環境、景観、まちづくりについて

- 住みやすい町にしてくれたら良いと思う。

- 緑も多く、きれいで素敵な町なのでとても好きです。自分の子どもにもこの町で育ってもらいたいと思っています。より良い生活をよろしく願いいたします。
- 緑あふれる美しい豊中市にしてほしい。他の私鉄沿線から羨まれる豊中市であるのにまったくその実感がない。北豊中、南豊中では差があり過ぎて不満を感じる日々…。住みたい町No.1の豊中市にしてほしい。
- 福祉、保育所、病院、介護等の施設の充実は必要ですが、それだけが住みよい環境ではなく緑化や景観美も大事ではありませんか。大型マンション建設、住宅密集による急激な住民増加は犯罪、火災等様々な災害率の増加が懸念されます。緑地や花々が多い景観の美しい環境は人の心を穏やかにし、犯罪抑制、騒音の減少は何より住みやすい町ではないでしょうか。緑や花の美しい場所には人が集まり、地域住民のふれあい、コミュニケーションの拡大により助けあい、大人の住民間のつながりが増すのではないのでしょうか。豊中市は美しく穏やかに暮らせるまちづくりも取り入れていただければありがたいと思います。
- 子どもたちが家の周りで遊んだり、年寄りが散歩したり談笑する場所も奪ってしまっている。豊中は家の周りで生活を楽しむということができない住みにくい町になってしまった。若ければ別の町へ移り住みたい。とても人に勧める町ではないと思う。住みやすい魅力的な町のビジョンがなく、無秩序、無計画に行政が進められているように感じられる。
- ニューヨーク市長が提唱した「割れ窓理論」のように、豊中市内の街が汚れていれば誰もが暮らしやすいと感じることが低いことから、月に1回は各自治会、各地域団体、NPO法人、行政機関が協力連携して、一斉に1時間程度の環境整備を行うのも一つの方法と考えます。老若男女問わず、体を動かし協力しあうことで、自己の充実、他者との人間関係の構築等が得られ、時間はかかるとは思います但至少ずつでも豊中市が良くなればと思います。

道路交通について

- 豊中市特に上野あたりは環境もよく住みやすく気に入っているが、道路の整備は良くななく危険を感じる。豊中高校の辺りのバス、車の通行が多く特に不安。
- 豊中第三中学校バス停あたりの歩道、段差や傾きがあり、足の弱い方、車いすが危ない。
- この辺は坂道が多いので歩きやすい舗装道路を。若い人は感じないようですが老人はキャリーケースか杖をついて歩くのは大変。
- 道路の整備。老人や体の不自由な方が歩きにくい道路が多い。同じところを何回も掘り返す期末の工事を止めて道路整備を進めてほしい。
- 豊中市と大阪市の境い目がわかりにくい地域で、いろいろなことが大阪市の方が便利で豊中市に忘れられている地域のような気がします。家の前の道路もガタガタで車いすでは押す方も乗る方も大変ですが、どちらの市がきれいにしてくれるのかもわかりません。
- 他市から転入して6年経ちました。道の悪さに驚いています。散歩に出てもベンチがない。高齢者にも思いやりのある町であってほしいです。救われるのは住民の優しさです。そこに希望を持ちたい。
- 宅地に造成して多くの人を呼んで来て税金を増やすことはある程度理解できるが、人の移動する道路が整備されていない。箕面や池田の人の大阪への車で移動で道という道は渋滞、混雑で人・自動車の往来が危険で出来にくくなっている。
- 年配の方が散歩途中休めるいす等が歩道にもう少しあると良いなと思います。
- 福祉の基礎には交通安全がある。一方通行の道の横断歩道で両方見て渡る人は少ない。「一方通行」の標識を立て看板と道路上の両方にハッキリ示すこと。警察官にいったが対応してくれない。

- 迷惑駐車が多くあります。意識させる方法はないのか。とても危ないです。
- 自転車の利用方法が目にも余る。自転車道をつくるとか、「歩道の通行を厳禁にする」とかしてほしい。各人のモラルには期待できない。

路線バスについて

- 今暮らしているところは住環境、住民関係も良好ですが、交通が不便。とよなか広報の講座に参加したくても難しいです。バスがあれば助かります。
- 豊中の町の中心に住民であればいつでも出かけたが、何しろ高齢になってしまい歩かねばならない。バス、電車の駅まで行くのもできないし、箕面のように路線バスが走っていると便利だなと思います。
- 東西の交通の便を望みます。
- 阪急バスの本数を増やしてほしい。車の運転ができなくなった高齢者がバスを利用しやすくしてほしい。
- 利倉西は市の出張所もなくなり不便になった。交通の便が悪くバスを復活させてほしい。以前は阪急バスが運行していたが廃止された。福祉活動などから取り残されている。
- 近い距離でも長距離でも同じ料金のバス、ちょっと考えてほしい。
- 年金生活です。市民病院等遠くへ行きたい時、バスが少ないのでタクシーで行くのに交通費がかかります。もっとバスの便を考えてほしいと思います。
- 税務署（池田）も市役所も遠くて困っている。バスの本数をもう少し増やしてほしい。
- 前に青バスが通っていましたが、今は廃止され駅まで行くのに車か自転車を使わなくては行けず、高齢者の行動が制限されたような気がします。もう一度、バスの運行を考えていただけないでしょうか。
- バス停前に腰かけられる設備を設置できるよう関係機関に働きかけてください。
- 阪急バスの停留所にベンチがなく、お年寄りの方、足の弱い方が多いので、ぜひ「ベンチ」をつくっていただきたいです。
- 最近、地域の周辺を病院のバスがまわるようになったため、利用している人々もいるようだが、それぞれ通院している病院も違い、主人の同伴が多くなっている。そのため交通費等も2倍、行政からのチケット、70歳以上等利用していないが、所により地域交通バスのような物があると良いと思う。
- 豊中市は高齢者に対して気配りが悪いような気がする。大阪市に居住していた時は、交通費の割引、水道代の控除等特典があった。住環境は恵まれていると思いますが…。箕面市等は「オレンジゆずるバス」が目にもふれます。豊中市は貧しい高齢者は置き去りにされているような気がします。
- 大阪市には50円の負担のみで市営地下鉄やバスにのることができる「敬老パス」がありますが、豊中市はかなり以前に似たようなものがありましたが、いつの間にか廃止になりました。地下鉄やバスは交通費が高く年金生活者にはかなりの負担となり、行きたいところがあっても躊躇してしまいます。豊中市も再度「敬老パス」のような制度の復活を検討してほしいです。そうすれば高齢者ももっとアクティブな生活ができて心身の健康につながるのではないのでしょうか。

【防災・防犯対策について】

災害など緊急時の対応

- 福祉活動の方が家族構成を一応把握してくだされば、災害等の時に役立つと思いますが…。

- 個人情報との兼ねあいがありますが、特にひとり暮らしの高齢者や障害者の実態調査を行政や地域、警察などが調査し、緊急時の対応をしていただけると助かります。災害、事件、孤独死など。
- 高齢者ばかりの町で空き家、ひとり暮らし等が多く、ごみ分別等ができなく自分が認知症を自覚できず、家族も気づいていない場合、火事等が気がかりです。
- 91歳の独居老人につき「見守り」「救急」が必要。同居家族なし。どうして連絡を取れば良いか。
- なるべく行政に頼らず生きていくのが当然と思っている。最近、市の職員は言動も柔らかくよくわかる回答をしてくれます。災害が大きくなってきた今日、パトロールをよくしてくれて、この石垣は大丈夫または不安ですよとか、見て回ってくれることはできるのかな。自分で自宅の周辺は大丈夫と書いていても、どうなんだろうと思う。雨水の管は何mおきに設置され、家が増えたところには管を増やすこと、なぜできないのか疑問はある。市役所の返答は「できません」のみ。大雨の後、ごみ、木の葉の掃除大変です。今できて年齢を重ねていく。このように心配で気分悪い。

防犯対策

- 安心して暮らしやすい地域づくりに向けた意見として、豊中全域のことを知りたく思いますが、せめて校区内で起きた事件（痴漢、引ったくり…）・事故は素早く知らせて個々に注意を促していただければ幸いです。愛する「豊中」が永遠に他市より羨ましがられる「市」であり続けるために。
- 今まで以上に各交差点に防犯カメラを設置し、安全なまちづくりをしてください。
- 防犯カメラは治安を守る方法として大変有効だと思いますし、結果も出ていますので、できる限り増設してほしい。
- 防犯カメラをもっと増やしてほしい。
- 夜の明かりでLEDを取り入れていただき本当に明るくなり助かっています。また、防犯の意味でもパトロール（警官または住民）をたまにはしてほしいと願っております。我が住んでいる町がますます安心・安全、住みやすい町に、また栄えていけるよう願って止みません。
- 暗い道などの街灯の設置、鏡の設置、もっと詳しく調べてほしい。
- 最近夜、外灯を点けない家があります。用心のため点けるよう行政からの指示があればと思っています。

【行政に対して】

福祉行政について

- 行政・住民が協力して福祉充実の豊中に期待したいと思います。
- 市民が生活に困らないような行政システム、制度の策定・実施を強く希望します。所得が少ない家庭の支援などをぜひともしていただきたい。（生活保護ではなく）
- 今いわれている高齢社会は人口減少の結果といわれています。今後も続くと思われるので、みんなで支えあっているように豊中市健康福祉部皆さん頑張ってください。私たちもできるだけ協力していきたいと思っています。
- 市への要望、私の希望としては福祉活動をしておられる方は老人が多いので大変でしょうが、直接お互いの顔を見てお話する機会をつくっていただけないでしょうか。それによって豊中市のいろいろの苦勞も理解していけるように思います。
- 良い計画ができるよう頑張ってください。

- 福祉に力を入れたらどうですか。
- 仕事でしか福祉を理解していない人たちに何もいうことはない。
- 設問等で地域住民が互いに助けあうなど、市民目線のことをいわれているが、ボランティアありきでは限界があるのではないか。地域福祉計画自体もよくわかっていないため、第3期や第4期など知る術もなく、今回のアンケートで初めて聞いた状況である。やはり行政がリーダーシップを取り、突き進めていただくのが筋ではないのか。豊中市民税を払って良かったと思うような行政の取り組みであってほしい。今回の意見も担当者レベルで終わることなく、しっかり対処していただきたいです。
- 財政難に名を借りた福祉切り捨てが長期続いていると思われる。自力努力、共助、公助のうち、豊中市で最も不足しているのは地域福祉といいながら、最も欠けているのは公助。地域住民は自助、共助に努めている。その努力に対して行政としてもっと積極的に行政の責務としての公助のあるべき姿を、住民の立場に立って進めてほしい。耳触りの良い言葉の地域福祉は、住民の反発や意欲の減につながる恐れもある。あるべき公助の役割を期待します。
- このような情報収集はふだんから市ホームページ等で行うべき。“福祉”という言葉の定義を再考すべきだろう。行政を支えている労働者がいかに弱い立場で苦しんでいるか、行政は理解できていない。住民が健康であれば基本的に“福祉”は不要である。故に市民の健康増進に努めるべきで、“救命力日本一”を目指すのではなく“救命される必要のない健康な街日本一”であるべきだ。煙草の製造・販売・所持を禁止しなさい。
- 安易な受給者を防ぐために、生活保護を市はさらに厳正に審査して決めてほしい。不正受給には罰金を取る。関係者（見逃し含む）は処分すべき。
- 豊中市は福祉活動は他より進んでいると思いますが、行政としても自由なアイデアを職員の方から出してほしいと思います。また、職員の方よりパート・バイトさんの方がいろいろな面でできていると思います。職員の方は公務員という頭を外して1+1=2ではなく、1+1=3でも、また1+1=1.5の失敗でもいいです、もっと自由な考え方を持ってください。自由なアイデアをもっと多くの公務員の方に持ってほしいです。ただ、市民も無理なことをいう人が多いので、公務員の方も大変だと思いますが。

市政全般について

- 豊中市は税金（市民税）が高い割に、市の運営が明確になっているとは思えない。関心を持っている人、いない人どちらもがアッと目を引く行政を期待しております。無関心の人がいなくなる程楽しいと思う地域づくりをしてほしいと思っております。今後も住みやすい明るく楽しい豊中に！
- 行政の対応が遅いと思われる時がある。
- 制度が複雑でわかりにくいものが多い。無駄な公的施設も多く税金のあり方を考えるべき。
- 行政もボランティアで安上がりに丸投げするのではなく、市税も使って行ってください。
- 豊中市は古くからいらっしゃる方が高齢となり若い人たちの影響力が小さくなっていて、高齢化社会の典型だと思われる。高齢者に対する施策と同時に、若い人たちをどうやって増やすかが大きな課題と思う。隣の伊丹市は若い家族が多く、車で移動できる環境が整っている（駐車場の大きい商業施設など）。豊中も若い家庭をしっかり支援すべきだと思う。
- 治安が良い、教育レベルが高いことが住んでいる周辺地域の良いところだと思います。お金は教育など今後につながる場所に上手に使ってください。外からの転入者の誘致や、住まいの環境をもっと整えてください。
- 豊中は子ども、老人がいない働く世代のみの夫婦には何のメリットもない市だと思う。

はっきりいって老人、子どもがいないので、税をそればかりに使用されている感があり、ただ住んでいるだけで愛着がわかない。

税金について

- 豊中市は淀川区とかに比べて税金が高いと聞いたことがあるが本当ですか。年寄りが暮らしやすい町にしてください。税金で苦しんでいるのは自分だけではないと思いつつも、もう少し何とかならんものかといつも考えている。
- 豊中市も財源が必要なのはわかりますが、固定資産税が高いのには困ります。
- 福祉関係の仕事をしています。今の時代、給料が良くならないのが現状ですが、それに比べ豊中市は税金が高く苦しい生活を送っています。
- 府民・市民税の負担が大きいので下げてほしい。
- 市民税を安くするため“市”として商売とはいわないが、一定のお金が入るような事業を起こしてほしい。雇用も増える。
- 私は独身でかなりの税金を豊中市に支払っています。「育った街だから」の思いがありますが、あまりにも行政サービスがいい加減です。細かいごみの分別とか、市で行ってみたいはいかがでしょう。雇用を創出できると思います。

【アンケートについて】

回答にあたっての思い

- 40代、仕事に忙しい毎日を送っています。こういうアンケートは60代・70代に出すべきだと思う。まだ自分のことでいっぱい。年を取ればそれなりに考えると思う
- 市の方にはお世話になって、ここまで一生懸命はうれしいのですが、少しアンケートの枚数が多くて年寄りには無理があります。
- 高齢の両親の世話とペットの介護のため、自治体などの活動に参加する時間は取れないのが現状で、そういう家庭は我が家だけではないと思います。このアンケートを書くための時間も、家事を犠牲にして行っているほどです。そういった家庭へのケア、支援に関しても考慮してほしいです。
- 非常に一般的な設問が多く、豊中市独自の地域福祉の課題があまりよくわかりません。もっと設問をしぼる方が良いのではないのでしょうか。
- “地域における福祉活動”の具体的内容が不明確。老人？病人？貧困子女？もう少し具体的な課題をあげないと内容の理解がバラバラではないのでしょうか。
- この意識調査の書類の中に記されていた注釈（*1、*2等）の部分を別用紙に印刷し同封していただき、自分の知識として後で読み直せるようにしていただけたら良かったのと思いました。
- このような調査、その整理などの人件費等に税金を無駄づかいされたくない。行政関係者の「上から目線」の姿勢の人は困る。結局は市役所、学校の先生など、ある程度以上のポストにいった人の定年退職者の受け皿としてのポストづくりに利用されては困る。利用されないように。

結果の公表、反映を

- アンケートの結果を着実に実行してもらいたい。ポーズだけではなく。
- 本調査を実行したことによる改善結果を全市民がわかるような形での報告を望みます。ホームページや広報誌に記載のみでは不十分。
- 福祉活動の推進のためにアンケートを実施し住民の意見を取り入れることは大切なこと

であるが、形だけのアンケートになってはまったく意味をなさない。アンケート結果がどのように反映されるかが重要である。また、本アンケートについては、あまりに質問数が多く、質問の内容が漠然としていて趣旨や要点がわかりにくい点がある。本アンケート作成にあっても、かなりの時間がかかっていると思われるが、市役所職員自身が本取り組みを行うにあたり、過度な負担や健康を損なわないように取り組んでほしい。

期待できない

- アンケートの結果から何か動きがあるのか、期待はできない。高齢者や子どものいる家庭の意見を聞いていると、生活しやすい状況とは思えないのが残念です。
- 両親以外深いつながりはほとんどない自分ですが、周りの人たちを見ていると皆、自己中心的過ぎると思うことが多々あります。職場での人との会話は交通マナー、ニュース程度での把握ですが、大げさではなく今の大人たちの生き方、考え方は私も含め、社会全体が助けあうという考え方を取り戻す、もしくは形成していかないと将来さらにひどくなり、日本は終わってしまうと思っています。私自身、このアンケートに答えていながら実際思うことは「どうせ意味ないのに」です。ですが、無視していた現状を一度立ち止まり、少しではありますが考えてみたいと思い書かせていただきました。何がいいのかわかりにくいですね。恐らくまとめると、「アンケート取っている場合ですか？」ということだと思います。

【その他】

- 市民病院のレベルをもっと上げてもらいたいと思います。
- 豊中市は子どもが多く子育てをするのにも近所に医療機関もたくさんあり安心はできるのですが、その反面、保育園は定員が多すぎて入ることもできず、金銭面が苦しいと思うことも多々あるので、専業主婦でも家にPCがあればできる仕事や内職など、子どもが家にいてもできる仕事を増やしてほしいです。
- 高槻市の友人に誘われ高槻市生涯学習センターでピラティスに参加しています。高槻市は行政による活動がとても活発で羨ましいです。市バスの無料パスがあり、友人は盛んに外出しています。高槻に引っ越して来るよう誘われています。
- 夕日丘ですが、もうちょっと近くに図書館があったらといつも思っています。予算上無理と思いますが。
- かたらいプラザの放送がなくなったのは寂しいです。頑張っている子どもの紹介は楽しみです。
- 何歳になっても学べる夜間学校などがあれば良いと思います。
- 若い方の手助けにはなりません、せめて「足を引っ張らない」生活を続けたい。自分の足で歩いて楽しみを見つけ、欲張らないでと思っています。移動図書館のおかげで読書に事欠きません。皆様にお世話になるばかりです。先に旅立った連れあいに、もうしばらく待ってもらいます。
- 豊中駅周辺に大きなスーパー（イオンなど）がないので、とても生活するのに不便です。
- 歩いて行ける範囲にコンビニなどがあれば助かります。

(以上)

参 考 資 料

アンケート調査に用いた調査票

豊中市地域福祉計画に係る市民意識調査

ご協力のおねがい

日頃より地域福祉の推進についてご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本市では、豊中市地域福祉計画に掲げる「誰もが互いに尊重しあい、安心して健康に暮らすことのできる福祉コミュニティの実現」をめざして、お住まいの地域における助けあいや支えあいの仕組みづくり、福祉活動の支援などの取り組みを進めております。

このたび、現行の第3期地域福祉計画が平成30年度(2018年度)をもって計画期間を終えることから、第4期の計画づくりに取り組むこととしました。

そこで、市内にお住まいの皆さまにアンケート調査を実施し、地域の状況や福祉に対するご意見を伺い、計画づくりを進めてまいりたいと考えております。つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、皆さまの率直なご意見・ご要望などをお寄せいただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、皆さまからのご回答は統計的に処理し、計画づくりの基礎資料としてのみ使用いたします。個々に記入いただいた調査票を公表するなど、回答いただいた方のご迷惑になることは決していたしませんので、安心してご記入ください。

平成29年(2017年)10月 豊中市

<ご記入にあたってのお願い>

- この調査票は、豊中市個人情報保護条例に基づき、市内にお住まいの18歳以上の皆さまの中から、3,000人の方を無作為に抽出してお送りしています。
- 障害や病気の状況などによって、あて名のご本人が記入できない場合は、代理の方がご本人の気持ちを聞きながらお答えください。
- 各質問には、平成29年(2017年)11月1日現在の状況でお答えください。
- 質問への回答は、あてはまる番号に○をつけるもの、記入欄に直接ご記入いただくものなどがあります。また、質問によって選んでいただく数を「1つ」「3つまで」などと指定していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 記入が終わりましたら、**11月20日(月)までに** 同封の返信用封筒に入れ、名前を書かずそのままポストに入れてください。(切手はいりません)

このアンケート調査についての質問などは、下記へお問い合わせください。

豊中市 健康福祉部 地域福祉課

電話：06-6858-2220 FAX：06-6854-4344

E-mail：chiikifuk@city.toyonaka.osaka.jp

はじめに、あなたとご家族についておたずねします。

問1 あなたについてお答えください。(1)から(7)のそれぞれについてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

(1) 性別	1 女性	2 男性	3 その他			
(2) 年齢	1 18歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳			
	4 50歳～59歳	5 60歳～64歳	6 65歳～69歳			
	7 70歳～74歳	8 75歳以上				
(3) 一緒に住んでいる家族の構成	1 ひとり暮らし	2 夫婦だけ	3 親と子の二世帯			
	4 親と子と孫の三世帯	5 その他()				
(4) 一緒に住んでいるご家族に次のような方がいますか(あなたご自身も含みます)(複数回答可)	1 3歳未満の子ども	2 3歳から小学校入学前の子				
	3 小学生	4 中学生	5 高校生			
	6 65歳以上の人	7 ねたきりの人	8 認知症の人			
	9 病気で療養中の人	10 障害のある人	11 ひとり親家庭の親子			
	12 閉じこもりやひきこもりの人	13 経済的に困っている人				
	14 その他()					
	15 あてはまる人は誰もいない					
	(5) 何かあれば頼りにできる親戚・知人についてお聞きします	1 30分以内で行き来できるところにいる				
		2 30分を超えるところであればいる				
		3 頼りにできる人は誰もいない				
	(6) 現在住んでいる小学校区(50音順)	1 泉丘	2 上野	3 大池	4 小曾根	5 北丘
		6 北条	7 北緑丘	8 熊野田	9 克明	10 桜井谷
		11 桜井谷東	12 桜塚	13 島田	14 少路	15 庄内
		16 庄内西	17 庄内南	18 新田	19 新田南	20 千成
		21 高川	22 豊島	23 豊島北	24 豊島西	25 寺内
26 東豊台		27 刀根山	28 中豊島	29 西丘	30 野田	
31 野畑		32 原田	33 東泉丘	34 東丘	35 東豊中	
36 豊南		37 壺池	38 南丘	39 南桜塚	40 箕輪	
41 緑地						
校区がわからない方はお住まいの町名(住所)をお書きください		町	丁目			
(7) 現在住んでいる住居の形態		1 一戸建て	2 集合住宅(マンションなど)			
		3 その他()				

お住まいの地域との関わりについておたずねします。

問2 あなたにとって、“自分のまち”と感じるのはどのくらいの範囲ですか。お考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------|----------|
| 1 自宅周辺の近隣（隣近所） | 2 自治会の範囲 | 3 小学校区 |
| 4 中学校区 | 5 豊中市全域 | 6 その他（ ） |

問3 外出する際によく使う移動手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------------|--------|-------------|------|
| 1 徒歩 | 2 自転車 | 3 バイク | 4 電車 |
| 5 バス | 6 タクシー | 7 自分で車を運転する | |
| 8 人の運転する車やバスなどに乗せてもらう | | | |
| 9 その他（ ） | | | |

問4 自宅の近所にお店やスーパーはありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 自宅から歩いていける範囲に店がある |
| 2 交通機関の利用も含めて15分程度の範囲に店がある |
| 3 近くには店がない |

問5 住んでいる地域について、どのように思いますか。①～⑥のそれぞれの項目について、お考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

	そう思う	まあそう思う	そう思わない	あまり思わない	わからない
① 隣近所の人間関係が良好だ	1	2	3	4	5
② 住民による交流が活発だ	1	2	3	4	5
③ 身近な助けあいやボランティア活動が活発だ	1	2	3	4	5
④ 手助けや見守りを必要としている人への地域の人の関心が強い	1	2	3	4	5
⑤ 住民が利用しやすい施設が整っている	1	2	3	4	5
⑥ 地域で抱える課題について住民どうしで話しあい、みんなで考えるような機会や場がある	1	2	3	4	5

問6 ふだん、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。主にあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 気軽に相談できる人がいる | 2 立ち話をする程度 |
| 3 あいさつを交わす程度 | 4 ほとんどつきあいがいい |
| 5 まったく関わりがない | |

付問 あまり近所づきあいをしていない理由は何でしょうか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない |
| 2 近所づきあいはわずらわしいので避けている |
| 3 近所づきあいをしたいが、つい消極的になってしまう |
| 4 近所づきあいをしたいが、仲間に入れてもらえない |
| 5 ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない地域である |
| 6 その他（ ） |

問7 この5年間に、住んでいる地域で行われている活動に参加しましたか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 自分から進んで参加し、何らかの役割を持つこともある |
| 2 求められて参加し、何らかの役割を持つこともある |
| 3 参加することはあるが、役割を持つことはあまりない |
| 4 関心はあるが、参加する機会がない |
| 5 関心がなく、誘われても参加するつもりはない |
- 次のページの付問4へお進みください

付問1 あなたが、この5年間に参加したことのある活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 地域のお祭り、ふれあい行事 | 2 高齢者のための福祉活動 |
| 3 障害のある人のための福祉活動 | 4 子育て支援のための活動 |
| 5 子どもの育成のための活動 | 6 清掃・美化や環境保全のための活動 |
| 7 防災・防犯など地域安全のための活動 | 8 まちづくりに関する活動 |
| 9 その他のNPO・ボランティア活動 | 10 自治会などのその他の地域活動 |
| 11 その他（ ） | |

引き続き、次のページの付問2へお進みください

付問2 住んでいる地域の活動に参加して、良かったと感じることはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 新たな仲間ができた | 2 社会とのつながりができた |
| 3 知識や技術が身に付いた | 4 人に喜ばれることができた |
| 5 自分の生きがいや健康管理に役立った | 6 地域に住みやすくなった |
| 7 地域に関する理解が深まった | 8 その他 () |

付問3 住んでいる地域の活動に参加して、何か負担に思ったことはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 時間がとられる | 2 身体的な負担が大きい |
| 3 出費が多い | 4 家族の理解が得られない |
| 5 人間関係がわずらわしい | 6 新しい知識や技術を身につける機会がない |
| 7 ボランティア活動などについての情報が得にくい | |
| 8 ボランティア活動などについて相談できる機関がない | |
| 9 一緒に活動する仲間が少ない | 10 活動する場所を確保しにくい |
| 11 その他 () | 12 特になし |

【問7で「4 関心はあるが、参加する機会がない」「5 関心がなく、誘われても参加するつもりはない」と答えた方におたずねします。】

付問4 住んでいる地域の活動に参加しない、または参加できない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 自由な時間がない | 2 家族の理解が得られない |
| 3 人間関係がわずらわしい | 4 参加申込や定期的な参加がわずらわしい |
| 5 出費が多い | 6 家の近くに活動の場所がない |
| 7 興味を持てる活動や気軽に参加できる活動が身近にない | |
| 8 参加したいと思う活動の情報が得られない | |
| 9 ボランティア活動などをするための知識や技術がない | |
| 10 一緒に活動する仲間がない | 11 体調不良や体力低下のため参加が難しい |
| 12 その他 () | 13 特になし |

【すべての方におたずねします。】

問8 今後参加してみたいと思う活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 地域のお祭り、ふれあい行事 | 2 高齢者のための福祉活動 |
| 3 障害のある人のための福祉活動 | 4 子育て支援のための活動 |
| 5 子どもの育成のための活動 | 6 清掃・美化や環境保全のための活動 |
| 7 防災・防犯など地域安全のための活動 | 8 まちづくりに関する活動 |
| 9 その他のNPO・ボランティア活動 | 10 自治会などのその他の地域活動 |
| 11 その他 () | |

問9 地域の自治会に加入していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 自治会に加入している |
| 2 自治会はあるが、加入していない |
| 3 住んでいる所には自治会がない |
| 4 住んでいる所に自治会があるかどうか分からない |

問10 現在住んでいる地域に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 たいへん愛着を感じている | 2 まあまあ愛着を感じている |
| 3 あまり愛着を感じていない | 4 まったく愛着を感じていない |

問11 現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 現在の地域に住み続けたい | 2 できれば他の地域へ移りたい |
| 3 どちらともいえない | |

付問 現在の地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。お考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 生まれ育ったまちだから | 2 住みなれたまちだから |
| 3 家族や親戚、知人がいるから | 4 近所づきあいがしやすいから |
| 5 地域の活動や交流が活発だから | 6 まちの環境がよいから |
| 7 災害などが少なく安心して暮らせるから | 8 買い物や交通の便がよいから |
| 9 医療機関や福祉施設が整っているから | 10 その他 () |

問12 今後、誰もが暮らしやすい地域をめざすにあたり、住民としてどのようなことに取り組みればよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 困ったときにお互い助けあえる関係を、住民一人ひとりが隣近所で作る |
| 2 地域で困っていることを共有し支えあうため、住民どうしが意見を出しあう場をつくる |
| 3 新築マンションの入居者など、新たに引っ越してきた人との関係づくりを強化する |
| 4 自治会や子ども会、老人クラブなどの活動をもっと活発にしている |
| 5 学校や幼稚園、保育所などと住民の交流やつながりを深める |
| 6 交流の機会となる地域の行事をもっと増やす |
| 7 地域とのつながりがない人も含めて、すべての住民が安心して暮らせるまちをつくる |
| 8 その他 () |

生活する上での課題や福祉サービスについておたずねします。

問13 日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 親などの介護 | 2 自分の子どもなどから介護を受けること |
| 3 高齢になってからのひとり暮らし | 4 高齢者が地域で自立して生活すること |
| 5 障害のある人が地域で自立して生活すること | 6 福祉や介護サービスの費用負担 |
| 7 食生活などの安全 | 8 こころの健康に関すること |
| 9 からだの健康、健康診査のこと | 10 休日や夜間の医療体制 |
| 11 救急医療の体制 | 12 かかりつけ医・歯科医・薬局がないこと |
| 13 子育てのこと | 14 子どもの教育や将来のこと |
| 15 ひきこもりに関すること | 16 消費者問題や特殊詐欺に関すること |
| 17 地域の治安のこと | 18 地震や火事など災害のこと |
| 19 仕事がないこと、失業の不安など | |
| 20 言葉の問題、日本語が書けない、読めないこと | |
| 21 その他 () | 22 特になし |

問14 悩みや不安などがあるときに、ご家族や親戚以外に相談するとすれば、誰に相談しますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---|-----------------|
| 1 隣近所の人 | 2 知人・友人 |
| 3 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 4 自治会の役員など |
| 5 校区福祉委員会 | 6 NPO |
| 7 ホームヘルパー | 8 福祉施設・事業所の職員 |
| 9 医師や歯科医師、薬剤師 | 10 保健師・保健所 |
| 11 ケアマネジャー（介護支援専門員） | 12 地域包括支援センター |
| 13 市役所の窓口 | 14 福祉なんでも相談窓口*1 |
| 15 子育て支援センター・子ども家庭センター・地域支援保育士 | |
| 16 社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー*2） | |
| 17 保健・福祉・子育てサービス「話して安心、困りごと相談」（健康福祉サービス苦情調整委員会*3） | |
| 18 その他 () | 19 相談する人がいない |

*1 福祉なんでも相談窓口：地域における、身近で気軽に相談できる窓口及び地域福祉の活動拠点です。市が社会福祉協議会に委託を行って各小学校区に開設され、民生委員・児童委員や校区福祉委員会などの地域のボランティアがその運営を行っています。

*2 コミュニティソーシャルワーカー：福祉制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど既存の福祉サービスでは対応が難しい人の問題解決に向けて、行政の關係課と調整を図る中心的な役割を担う専門職です。一般的に「CSW」と略されます。

*3 健康福祉サービス苦情調整委員会：健康福祉サービスの質の向上と利用者の権利を擁護するため、その利用に関する市民の苦情について公正・公平な立場で調整を行うため市が設置する組織です。この健康福祉サービス苦情調整委員会は、保健・福祉・子育てサービス「話して安心、困りごと相談」の愛称で、幅広い相談に対応しています。

問15 健康づくりや福祉について、知りたい情報がありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1 福祉サービスの種類、内容	2 福祉サービスの利用方法
3 福祉サービスの利用に係る費用	4 福祉サービスの相談窓口
5 保育や子育てに関する情報	6 福祉ボランティアに関する情報
7 各種福祉講座や教室、講習会の開催状況	
8 就労に関する情報	
9 福祉事業所のサービス内容	10 介護予防に関する情報
11 からだの健康に関する情報	12 こころの健康に関する情報
13 その他 ()	14 特にない

問16 行政や事業者などによる福祉サービスを安心して利用できるようにするため、どのようなことを充実すべきだと思いますか。お考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 福祉サービスを適切に利用できるように支援する相談窓口
2 福祉サービスに関わる人権侵害や苦情について、安心して気軽に相談できる窓口
3 いろいろな相談や手続きを1か所でまとめて行える窓口
4 福祉サービスの利用者が自分の人権を守る知識を身につける学習機会
5 福祉サービス提供者の人権意識を高める研修・啓発
6 福祉サービス提供者の質の向上を図る研修・啓発
7 悪質な事業者を排除する仕組み
8 契約関係のトラブルについて、利用者を支援する仕組み
9 その他 ()
10 わからない

問17 市民の権利を守るための以下の仕組みについて知っていますか。①～④のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

	相談窓口など を利用したこ とがある	内容を知って いる	名前は聞いた ことがあるが 内容はよく知 らない	知らない
① 成年後見制度*1	1	2	3	4
② 法定後見制度*2	1	2	3	4
③ 任意後見制度*3	1	2	3	4
④ 日常生活自立支援事業*4	1	2	3	4

*1 成年後見制度：認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない人（ここでは「本人」といいます。）について、本人の権利を守る援助者（成年後見人・保佐人・補助人）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。成年後見制度には、法定後見制度*2と任意後見制度*3があります。

*2 法定後見制度：家庭裁判所によって、本人の援助者として成年後見人・保佐人・補助人が選ばれる制度です。利用するためには、家庭裁判所に審判の申し立てをします。選任された成年後見人は、本人の意思を尊重しながら、契約や財産管理などを支援します。本人の判断能力に応じて、「後見」「保佐」「補助」の3つの制度を利用できます。

*3 任意後見制度：本人に十分な判断能力があるうちに、将来判断能力が不十分になった場合に備えて、「誰に」「どのような支援をしてもらうか」をあらかじめ契約（任意後見契約）により決めておく制度です。任意後見契約は、公証人の作成する公正証書によって結びます。

*4 日常生活自立支援事業：判断能力に不安のある人が経済活動上の不利益をこうむることのないように、福祉サービスの利用手続きの援助や日常的な金銭管理などを支援する事業です。豊中市では、社会福祉協議会が、対象者との契約に基づきサービスを提供しています。

地域福祉を進めるための取り組みについておたずねします。

問18 現在、あなたと福祉との関わりは、次のどれにあてはまりますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 福祉に関する仕事をしている
- 2 自治会、民生・児童委員協議会、校区福祉委員会などの地域団体に所属している
- 3 福祉に関する団体やNPOなどの活動をしている
- 4 福祉に関する団体やNPOなどに募金や寄付をしている
- 5 地域の福祉活動やボランティアに支援する側として参加している
- 6 あなたや家族が地域の福祉活動やボランティアによる支援を受けている
- 7 あなたや家族が介護保険や障害福祉、子育て支援サービスを利用している
- 8 その他 ()
- 9 特に福祉との関わりはない

問19 豊中市社会福祉協議会や各小学校区の校区福祉委員会が行っている活動のうち、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1 ふれあいサロン・ミニデイ | 2 声かけ・見守り活動 |
| 3 会食会・配食サービス | 4 子育てサロン・子育てサークル |
| 5 当事者組織の支援(老人介護者の会・ひとり暮らし老人の会・発達障害者の家族の会など) | |
| 6 防災に関する活動(災害時の安否確認・防災訓練) | 8 共同募金運動 |
| 7 献血事業 | 9 生活福祉資金などの貸付 |
| 8 共同募金運動 | 10 生活福祉資金などの貸付 |
| 9 善意銀行(寄付金や物品の活用) | 11 日常生活自立支援事業(金銭管理など) |
| 10 生活福祉資金などの貸付 | 12 子ども食堂 |
| 11 日常生活自立支援事業(金銭管理など) | 13 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)による相談 |
| 12 子ども食堂 | 14 広報紙の発行 |
| 13 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)による相談 | 15 広報紙の発行 |
| 14 広報紙の発行 | 16 ホームページやブログ |
| 15 広報紙の発行 | 17 老人クラブ |
| 16 ホームページやブログ | 18 暮らし再建パーソナルサポートセンターによる支援(生活再建・食材支援・就労支援など) |
| 17 老人クラブ | 19 ひきこもりの若者支援(豊中びーのびーの) |
| 18 暮らし再建パーソナルサポートセンターによる支援(生活再建・食材支援・就労支援など) | 20 その他 () |
| 19 ひきこもりの若者支援(豊中びーのびーの) | 21 社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない |
| 20 その他 () | 22 社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前も活動内容も知らない |
| 21 社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない | |
| 22 社会福祉協議会や校区福祉委員会の名前も活動内容も知らない | |

問20 民生委員・児童委員の役割を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 よく知っている | 2 ある程度知っている |
| 3 あまり知らない | 4 まったく知らない |

問21 平成29年(2017年)3月に策定された豊中市の地域包括ケアシステム推進基本方針*を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 名前も内容もよく知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない
- 3 名前も内容も知らない

* 地域包括ケアシステム推進基本方針：可能な限り住み慣れた地域で全ての人が安心して生活を継続できるよう、多様な主体でネットワークを構築し、医療・介護・予防(介護予防・疾病予防・重症化予防)・住まい・生活支援の各サービスが切れ目なく有機的かつ一体的に提供される体制の構築をめざす、豊中市の考え方を示したものです。

問22 豊中市地域福祉計画の理念である「誰もが互いに尊重しあい、安心して健康に暮らすことのできる福祉コミュニティの実現」について、身近に感じますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 身近に感じられる | 2 どちらかというとなりに感じられる |
| 3 どちらかというとなりに感じられない | 4 身近に感じられない |

問23 福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。お考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 福祉を充実する責任は行政(国や府、市)にあるので、住民は特に協力することはない
- 2 行政の手が届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである
- 3 福祉課題については、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである
- 4 住民として福祉課題に積極的に取り組み、その活動に対して行政は援助・協力すべきである
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問24 福祉の活動をする人を増やすために、地域においてどのようなことに取り組んだらよいと思われますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 友人や知人、近所の人などに声をかけて、参加を呼びかける
- 2 チラシや機関紙、ポスターなどで、広く参加を呼びかける
- 3 関わりのある団体などを通じて参加を呼びかける
- 4 活動の参加につながる講座やイベントなどを開催する
- 5 自治会単位での当番制にするなど、みんなが活動に参加する仕組みをつくる
- 6 参加する人を増やすことは必要だと思うが、特に取り組みは必要ない
- 7 参加する人を増やす必要はない
- 8 その他 ()

問25 地域の中で、住民がお互いに助けあう仕組みをつくっていくときに、行政にはどのような役割が必要だと思いますか。お考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 活動をPRするための広報活動
- 2 学校教育、生涯学習などによる助けあい意識の醸成
- 3 活動の牽引役となる地域リーダーの育成
- 4 介護やボランティアなどについて理解を深める勉強会などの開催
- 5 地域活動から収集した情報を総合的に把握し活用する場の設置
- 6 気軽に集える場の整備
- 7 福祉活動を運営する資金集めの仕組みづくり
- 8 その他 ()
- 9 行政の支援は必要でない

問26 地域福祉に関わる活動や災害発生時の支援のために、ご自身の個人情報行政内部や関係機関、地域の関係団体などの間で活用されることについて、どのように思われますか。お考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 個人情報を共有したり、提供してもかまわない
- 2 個人情報を共有・提供してもよいが、少し不安や抵抗がある
- 3 個人情報は関係機関や地域の関係団体などに提供してほしくない
- 4 その他 ()

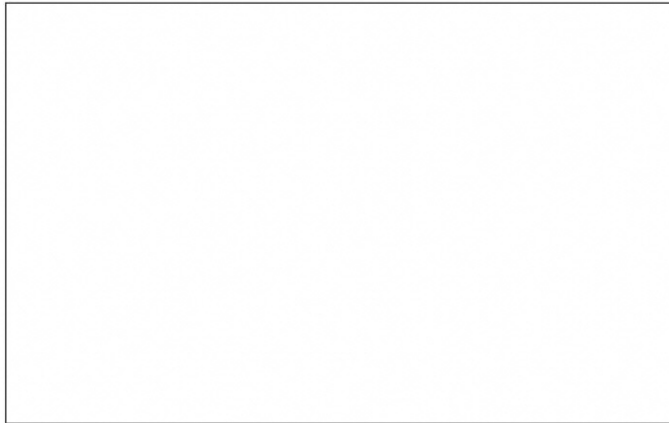
問27 身近な地域で住民が助けあうための活動に今後参加したい(やってみたい)と思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在も活動に参加しており、今後も参加したい
- 2 現在は活動に参加していないが、今後は参加したい
- 3 そのような活動には関心がない(参加したくない)
- 4 参加したいと思うが、事情があり参加できない
- 5 その他 ()

問28 地域で暮らす人々が安心して暮らせるように、あなた自身ができそうなこと、やってみたいと思うことがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 2 見守り活動や安否確認の声かけ |
| 3 買い物や食事、掃除や洗濯などの家事手伝い | 4 病気の時の看病や世話 |
| 5 通院などの外出介助、援助 | 6 子どもの世話 |
| 7 弁当などの配食、食事会の手伝い | 8 サロン活動などのお世話係 |
| 9 地域で行う行事の準備や参加 | 10 災害時の救助活動や避難の支援 |
| 11 その他のボランティア活動 | 12 寄付や募金 |
| 13 福祉への関心を持つ | 14 福祉に関する講座などに参加する |
| 15 地域の福祉についての話しあいなどに参加する | |
| 16 その他 () | |
| 17 特にできることはない | |

◆最後に、地域における福祉活動の推進や暮らしやすい地域づくりに向けた
ご意見、行政へのご要望などがありましたら、自由にご記入ください。



調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
11月20日(月)までにポストに入れてください。

豊中市地域福祉計画に係る市民意識調査

【平成29年度(2017年度)実施】

報告書

平成30年(2018年)3月

<編集・発行>

豊中市

(事務局：豊中市 健康福祉部 地域福祉課)

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号

電話 06-6858-2220

FAX 06-6854-4344

豊中市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>